# KDDI Smart Mobile Safety Manager 管理サイト ユーザーマニュアル

最終更新日 2015 年 10 月 22 日 Document ver.2.30 (Web サイト ver7.3.1)

# 変更履歴

日付	ver	変更箇所	変更内容
2014 年	2.15-2.19	リモートワイプ(iOS)	新規追加
2月20日	(Web サイト	リモートワイプ(Windows)	新規追加
	5.9.0)	暗号化(Windows)	新規追加
		組織インポート(新規)/(変更)	新規追加
		組織エクスポート	新規追加
		VPN 設定(iOS)	新規追加
		CA 証明書管理	新規追加
		機器/位置タブ(iOS)	位置情報のサーバー送信タイミングを変更
		リモートロック(Android)	ロック時の警告音を追加
		証明書管理(iOS)	パスワード付きの証明書をアップロードできるように変更
		ログ	時刻表示が「発生時刻」と「受信時刻」の二種類へ変更
2014 年	2.20-2.21	Zone management	新規追加
6月4日	(Web サイト	Wi-Fi フィルタリング	
	6.1.0)	(Windows)	
		プロキシ設定	新規追加
		全体	「Secure Setting」を「Secure Shield」に変更
			「設定ポリシー」を「設定テンプレート」に変更
			「USB ストレージ」を「USB」へ変更
			IMEI の標記を「IMEI / MEID」に変更
		Web フィルタリング	+browser Safety Manager for iOS に対応
		Web 閲覧履歴	
		お気に入り	
		機器(Android)	SSID 表記の追加
		機器(全体)	機器の表示上限数を 100 に拡張
		USB	禁止オプションを追加
		機器/位置タブ	履歴閲覧機能の追加
		全体	エージェントアイコンを変更
		USB	USB デバイス ID による使用制限を追加
2014 年	2.22-2.26	ゾーンポリシー構成(Android)	新規追加
8月27日	(Web サイト	MS Office ライセンス管理	新規追加
	7.0.0)	VPP ライセンス	新規追加
		VPP 設定テンプレート	新規追加
		管理対象アプリポリシー	新規追加
		設定セット全体	「デフォルト」指定を削除
		設定テンプレート全体	「デフォルト」指定を追加
		シュニノ訊中、沙虻	「システム設定」を「システム設定・診断」へ名称変更
		ンヘナム改正・診断	InternetExplorer の自動更新を制御する項目を追加
		機器(全体)	リスト表示の追加

2015 年	2.27-2.28	エージェント共通管理(Mac)	新規追加
3月27日	(Web サイト	リモートワイプ(Windows)	新規追加
	7.2.1)	Device Enrollment Program	新規追加
		<u>^</u> #	「iOS ID 証明書」を「Apple Push 証明書」に変更
		Ⅲ 至1本	管理対象の OS 種別に、Mac OS を追加
		リモートロック(iOS)	端末に表示されるメッセージを指定可能に変更
		VPN 設定(iOS)	新規オプション「ユーザー情報」を追加
		構成プロファイル	設定を追加
		VPP ライセンス	StoreID を表示するように対応
2015 年	2.29	クライアント証明書	Windows 機器に対応。
9月24日	(Web サイト	リモート操作(Android)	Android 機器のリモートロックに「解除コードによるロック解除」許可/不許可の設定を
	7.3.1)		追加。
		全体	「iPhone 構成ユーティリティ」の表記を「Apple Configurator」に置換。
			見出しの形式を変更
		VPN 設定(iOS)	VPN 接続タイプに Cisco AnyConnect / Juniper SSL (Junos Pulse) / カスタム SSL を
			追加
		ユーザーカスタム項目	「ユーザー分類」の名称を「ユーザーカスタム項目」へ変更。「自由入力」タブの新規追加。
			作成可能なグループ最大数を 300 へ変更。
		機器カスタム項目	作成可能なグループ最大数を 300 へ変更。
		アプリケーションレポート	検索項目に「アプリケーション名」「パッケージ名」を追加。
		CA 証明書管理	「コモンネーム」の表記を「発行先(証明書情報)」と「発行者(証明書情報)」の表記に変更
		エージェント共通管理(iOS)	「VPN カスタムキー」オプションを追加。
		管理対象アプリポリシー	「Per app VPN」オプションを追加。
		アプリケーション配信(iOS)	管理対象アプリ、バックアップ、Per app VPN 設定を追加。
		通知設定	通知項目に「位置情報設定の変更」を追加。
		機器画面位置タブ(Android 機	位置情報取得設定状態の表示を追加。
		器)	
2015 年	2.30	全体	デバイスマネジメントパック版についての注意事項を追加。
10月22日	(Web サイト		
	7.3.1)		

1	はじめに	9
1.1	 本製品の概要	
1.2	特徵	10
1.3	管理サイトの役割	12
1.4	管理サイト動作環境	13
1.5	本マニュアルの見かた	13

2	管理	<u> </u>	<u>14</u>
2.1	ŀ	トップタブ	. 15
2.2	7	マップタブ	. 18
2.2.1		機器の種類	. 19
2.2.2		管理外機器を管理対象機器に設定する	. 20
2.2.3		管理外機器を除外機器に設定する	. 20
2.2.4		除外機器を管理外機器へ戻す	. 20
2.3	檨	巻器タブ	. 21
2.3.1		表示	. 22
2.3.2		管理	. 31
2.3.3		機器	. 33
2.3.4		アプリ	. 45
2.3.5		セキュリティ(Windows 機器のみ)	. 49
2.3.6		位置	. 50
2.3.7		パッケージ	. 53
2.3.8		ウイルス対策ソフト	. 55
2.3.9		クライアント証明書(Android/iOS/Windows 機器のみ)	. 57
2.3.1	0	設定	. 60
2.3.1	1	メッセージ	. 63
2.3.1	2	個別キッティング	. 64
2.3.1	3	プロファイル(iOS/Mac 機器のみ)	. 65
2.3.1	4	リモート操作	. 66
2.3.1	5	Exchange 設定(iOS 機器のみ)	. 78
2.3.1	6	VPN 設定(iOS 機器のみ)	. 80
2.3.1	7	個別構成プロファイル(iOS 機器のみ)	. 88
2.4	7	イニュータブ	. 90

<u>3</u>	<u>メニュー設定項目</u>	<u>91</u>
3.1	組織	
3.2	組織図	
3.2.2	組織	
3.2.3	組織インポート (新規)	
3.2.4	組織インポート (変更)	
3.2.5	組織エクスポート	
3.3	Zone Management	
3.4	ゾーン	
3.4.2	ポリシー	113
3.4.3	ゾーンポリシー構成	117
3.5	ユーザー	
3.5.1	ユーザー	
3.5.2	ユーザーカスタム項目	
3.5.3	ユーザーインポート (新規)	
3.5.4	ユーザーインポート (変更)	
3.5.5	ユーザーエクスポート	141
3.6	機器	
3.6.1	マップ	
3.6.2	機器	
3.6.3	機器カスタム項目	
3.6.4	一括機器設定	
3.6.5	機器インポート (新規)	
3.6.6	機器インポート (変更)	
3.6.7	機器レポート (エクスポート)	
3.6.8	管理外機器エクスポート	
3.6.9	アプリケーションレポート	
3.6.10	0 メッセージ通知	
3.6.1	1 ネットワーク	

3.7	証明書管理	175
3.7.1	クライアント証明書管理	176
3.7.2	クライアント証明書一括アップロード	179
3.7.3	CA 証明書管理	181
3.8	管理	184
3.8.1	ログ	185
3.8.2	通知設定	188
3.8.3	ポータル表示設定	193
3.8.4	認証制御設定	196
3.9	設定	198
3.9.1	個人設定	199
3.10	Android	202
3.10.1	設定テンプレート	203
3.10.2	エージェント共通管理	207
3.10.3	エージェント個別管理	211
3.10.4	設定バックアップ	214
3.10.5	位置情報管理	216
3.10.6	App Manager	219
3.11	Android - 使用制限	221
3.11.1	アプリケーション禁止	223
3.11.2	SD カード	228
3.11.3	カメラ	232
3.11.4	Bluetooth	235
3.11.5	スクリーンロック	238
3.11.6	リモートロック	243
3.11.7	リモートワイプ	247
3.11.8	Wi-Fi フィルタリング	250
3.11.9	発信先制限	253
3.11.10	) アプリケーション検知	257
3.11.11	Secure Shield	261
3.12	Android - ウイルス対策ソフト	266
3.12.1	ウイルス対策機能	267
3.13	Android - セットアップ	271
3.13.1	アプリケーション配信	272
3.13.2	Wi-Fi	276
3.13.3	連絡先	280
3.13.4	暗号化	285

3.14	Android/iOS – ブラウザー	288
3.14.1	Web フィルタリング	289
3.14.2	Web 閲覧履歴	293
3.14.3	お気に入り	296
3.15	iOS	299
3.15.1	設定テンプレート	300
3.15.2	エージェント共通管理	303
3.15.3	構成プロファイル	305
3.15.4	構成プロファイルアップロード	310
3.15.5	ローミング設定	330
3.16	iOS - アプリケーション	333
3.16.1	VPP ライセンス	334
3.16.2	VPP 設定テンプレート	340
3.16.3	管理対象アプリポリシー	343
3.16.4	オリジナルアプリ登録	346
3.16.5	アプリケーション配信	350
3.16.6	アプリケーション検知	355
3.17	Mac OS	359
3.17.1	エージェント共通管理	360
3.18	iOS/Mac OS	362
3.18.1	Apple Push 証明書登録	363
3.18.2	Device Enrollment Program (DEP)	377
3.19	Windows	378
3.19.1	設定テンプレート	379
3.19.2	エージェント共通管理	382
3.19.3	エージェント個別管理	387
3.19.4	システム設定・診断	390
3.19.5	システムセキュリティ	393
3.19.6	MS Office ライセンス管理	397
3.20	Windows - 使用制限	401
3.20.1	アプリケーション禁止	402
3.20.2	USB	406
3.20.3	CD/DVD/ブルーレイ	411
3.20.4	Wi-Fi フィルタリング	414
3.21	Windows - セットアップ	417
3.21.1	暗号化	418
3.21.2	プロキシ	421
3.22	Windows MS-MDM	425
3.22.1	Web フィルタリング(MS-MDM)	426

<u>4</u>	<u>備考</u>	<u>430</u>
4.1	機能一覧	
4.2	ログー覧	
4.2.1	操作ログ	
4.2.2	システムログ	
4.2.3	Apple MDM ログ	
4.2.4	Android エージェントログ	
4.2.5	iOS エージェントログ	
4.2.6	Windows エージェントログ	
4.3	バックアップ・復元項目一覧	
4.4	インポートデータ入力方法	
4.5	VPP アプリケーションの配信手順	
4.5.1	VPP トークンについて	
4.5.2	VPP トークンの管理サイトへのアップロード	
4.5.3	VPP ライセンスの確認	
4.5.4	端末とユーザーの関連付け	
4.5.5	ライセンスの仮割当・割当の反映	
4.5.6	ライセンスの回収	
4.5.7	管理対象アプリポリシーの作成	
4.5.8	アプリケーション配信設定の作成	
4.5.9	アプリケーション配信設定を割当	
4.5.1	0   iOS 端末での割当許可	
4.6	同期情報一覧	
4.6.1	管理サイト→端末	
4.6.2	端末→管理サイト	
4.7	「(設定なし)」とした場合の各種設定の挙動	
4.7.1	Android	
4.7.2	iOS	
4.7.3	Windows	
4.8	ハードウェア ID インスタンスパスまたはシリアル ID の調べ方	
4.8.1	調査方法	
4.8.2	ハードウェア ID の取得	
4.8.3	デバイス インスタンス パスからのハードウェア ID とシリアル ID の取得	
4.9	用語集	

# 1 はじめに

本製品の概要、特徴、動作環境等について説明します。

1.1	本製品の概要	. 10
1.2	特徵	. 10
1.3	管理サイトの役割	. 12
1.4	管理サイト動作環境	. 13
1.5	本マニュアルの見かた	. 13

# 1.1 本製品の概要

KDDI Smart Mobile Safety Manager (以下、本製品と呼ぶ)とは専門の知識を必要とせずに、機器の管理・運用を行うサポート サービスです。KDDI Smart Mobile Safety Manager 管理サイト(以下、管理サイトと呼ぶ)では、機器の管理・運用を行います。 機器の状態や位置情報を確認したり、管理サイトよりリモートロックやリモートワイプ(初期化)をすることができます。 お使いのパソコンへのインストールは必要なく、インターネット上にて操作することができます。



## 1.2 特徴

#### ◆機器管理

管理サイト上で、機器にユーザーやグループを設定することで、機器の資産管理を容易に行うことができます。また、 Android 機器のバッテリー残量や iPhone/iPad 機器のデバイス容量、Windows 機器のハードディスク容量、Mac 機器の OS バージョンも確認することができます。

◆リモートロック

機器を紛失してしまい手元にない場合も、管理サイトからロックをすることができます。

◆リモートワイプ

機器を紛失してしまった場合や、所有者を変更する時などに、管理サイトから機器の全てのデータを削除し、初期化する(工 場出荷時の状態に戻す)ことができます。Windows 機器、Mac 機器、Android 機器と iPhone/iPad に対応しています。

◆アプリケーション禁止(※)

機器の設定画面やインストールされているアプリケーションの起動を禁止することができます。

◆連絡先設定(※)

連絡先を機器で1件ずつ登録しなくても、管理サイトから一括で連絡先を登録することができます。 ※Android 端末でのみ利用可能な機能です。 管理サイトの主な役割は機器に対してリモートで設定変更や制御を行うことです。管理サイト操作を行う上で主となる要素の概念を以下で説明します。



- ◆設定セット
- ・機器に対する設定や制御を定義したものです。この定義を「設定セット」と呼びます。
- ・管理サイト上から設定セットの作成および、対象機器への適用指示を行います。
- ・管理サイト上から行った設定セットの適用指示は、管理サーバーと端末が同期を行うことで実際に反映されます。

#### ◆機器

- ・本製品が管理する主な対象です。
- ・機器分類やユーザーカスタム項目を作成しなくても単一指定および、全指定での設定セットの適用が可能です。

#### ◆機器分類

- ・機器に紐づけることが可能な情報です。機器分類単位で設定セットの一括適用が可能となります。
- ・上記の例では購入年度が2000年の機器を対象にすることで、機器B、機器C、機器Dに一括適用が可能です。

◆ユーザー

・機器に紐づけることが可能な情報です。ユーザーの作成および機器への紐づけを行っても、ユーザー単位での設定セット の適用は行えませんが、紐づけたユーザーが所属する分類を用いた設定セットの一括適用が可能となります。

#### ◆ユーザーカスタム項目

・ユーザーに紐づけることが可能な情報です。ユーザーに紐づけることによりユーザーカスタム項目単位で設定セットの適用が可能となります。ただし、紐づけたユーザーが機器に紐づけられている場合に限ります。

・上記の例では営業が所有する機器を対象にすることで、機器A、機器B、機器Cに一括適用が可能です。

# 1.4 管理サイト動作環境

対応ブラウザー	Internet Explorer 8、Internet Explorer 9、Internet Explorer 10、Internet Explorer 11、Firefox、	
	Google Chrome	
	※Firefox、Google Chrome は最新版のみ対応。	
	※横 960 ピクセル以上の表示を推奨します。	
	※Apple Push 証明書の登録および更新の際、Internet Explorer では Apple Push Certificates	
	Portal サイトを表示できないため、Safari、Google Chrome、Firefox 等のブラウザーで 開	
	いてください。	
ネットワーク接続	インターネットへ接続可能なこと。	
	直接またはプロキシを介して管理サイトとHTTPS 通信(443 番ポート) ができること。	
対応言語	日本語/英語/簡体中文/繁體中文	

# 1.5 本マニュアルの見かた

- ・ボタン名、リンク名、タブ名などは[]で表記します。
- ・画面上のバージョン表記は実際のものとは異なる場合があります。
- ・本マニュアルはユーザー種別「管理者」用です。ユーザー種別「管理者」以外で管理サイトにログインした場合は、ユーザー
   種別(124ページ)に応じて編集や閲覧に制限がかかります。
- ・オプションマーク オプション がついているものはオプション機能です。ご契約されていない場合はご利用いただけ ません。

# 2 管理サイトの操作

管理サイトでは、管理デバイスに対するルール設定および、管理デバイスの状態確認を行います。

本章では、管理サイト上で操作起点となる4つのタブ(トップタブ、マップタブ、機器タブ、メニュータブ)について説明致 します。

2.1	トップタブ	15
2.2	マップタブ	18
2.2.1	機器の種類	19
2.2.2	管理外機器を管理対象機器に設定する	20
2.2.3	管理外機器を除外機器に設定する	20
2.2.4	除外機器を管理外機器へ戻す	20
2.3	機器タブ	21
2.3.1	表示	22
2.3.2	管理	31
2.3.3	機器	33
2.3.4	アプリ	45
2.3.5	セキュリティ(Windows 機器のみ)	49
2.3.6	位置	50
2.3.7	パッケージ	53
2.3.8	ウイルス対策ソフト	55
2.3.9	クライアント証明書(Android/iOS/Windows 機器のみ)	57
2.3.10	設定	60
2.3.11	メッセージ	63
2.3.12	個別キッティング	64
2.3.13	プロファイル(iOS/Mac 機器のみ)	65
2.3.14	リモート操作	66
2.3.15	Exchange 設定(iOS 機器のみ)	78
2.3.16	VPN 設定(iOS 機器のみ)	80
2.3.17	個別構成プロファイル(iOS 機器のみ)	
2.4	メニュータブ	90

管理サイトにログイン後、最初に表示されるページです。端末状況、最近利用した機器、本製品の利用状況 (ライセンス情報)、 機器セットアップ関連の情報を確認することができます。

【注意事項】

◆デバイスマネジメントパック版ではログイン方法・画面が異なります。



項番	対象	説明
1	בֿם	クリックするとトップページ(当画面)に移動します。
		(ページリンクでトップをクリックした際と同様の動作)
2	ログイン情報	ログインしている管理者の名前や利用企業名が表示されます。
3	ページリンク	クリックすると各ページに移動します。
		トップ…トップ画面を表示します。(当画面)
		マップ…マップ画面を表示します(18 ページ)
		機器…機器画面を表示します(21 ページ)
		メニュー…メニュー画面を表示します(90 ページ)
4	[ログアウト]	クリックするとログアウトします。

5	KDDI からのお知らせ	KDDIからのお知らせが表示されます。KDDIの設定により、表示内容は異なり、 また、お知らせ欄が表示されない場合もあります。
6	端末状況	登録されている端末状況に関するグラフ「OS 種別」「管理状態」「スクリーンロ
		ック」が表示されます。クラフ上にカーソルを合わせると、項目名と該当する  端末数が表示されます 凡例の項目名をクリックすることで 項日に該当する
		機器を表示します。
$\bigcirc$	最近使用した機器	最近使用した機器が表示されます。
		各機器(A)およひ、全部見る(B)をクリックすると機器ページを表示します。   (ページリンクで機哭をクリック」た際と同様の動作)
		各機器(A)をクリックした場合は、クリックした機器が選択された状態で機器ペ
		ージを表示します。
(8)	利用状況	以下の内容が表示されます。
		・ユーザーライセンス(使用数/契約数)
		ユーザーの作成状況をグラフと数値で表示します。最大10000 ユーザーまで
		作成か可能です。ユーサーの新規作成については「ユーサーを新規作成する」  123 ページおよび 別紙 Android エージェントューザーマニュアルの「ライヤ
		ンス認証を行う」、別紙 iPhone iPad ユーザーマニュアルの「ライセンス認証を
		行う」を参照してください。
		   ・機器ライヤンス(使用数/契約数)
		機器の作成状況をグラフと数値で表示します。最大 10000 機器まで作成が可
		能です。機器の新規作成については「機器を新規作成する」28 ページおよび、
		別紙 Android エージェントエーザーマニュアルの「フィセンス認証を行う」、  別紙 iPhone iPad ユーザーマニュアルの「ライヤンス認証を行う」を参照して
		ください。
		• 機哭物
		管理サイト上に登録されている機器数が表示されます。
		・資産管理限定機器ライセンス(使用数/契約数)
		資産管理限定機器の作成状況をグラフと数値で表示します。最大 10000 機器
		よで作成が可能です。機器の新規作成については「機器を新規作成する」28 ページを参照してください。
		・基本パッケージ
		利用可能な基本機能です。全ての機器で、ご利用いただけます。
		  ・オプションパッケージ(使用数/契約数)
		利用可能なオプション機能と利用状況をグラフと数値で表示します。ここで
		指すオプション機能とは、本製品で提供しているウイルス対策ソフト「KDD」
		Smart Mobile Safety Manager AntiVirus]を意味します。指定した Android 機器でのみ ご利用いただけます 機哭へのオプションパッケージ割り当てについ
		ては「機器にオプションパッケージの割り当ておよび解除を行う」 53 ページを
		参照してください。使用数が契約数に達している場合は、新たにオプションパ
		ッケージを割り当てることができません。
		・Apple Push 証明書
		Apple Push 証明書が失効する 60 日前より赤字で表示されます。
		※デバイスマネジメントパック版では、
		[オプションパッケージ(使用数/契約数)]は表示されません。
<b>(9</b> )	機器セットアップ	以下の内容が表示されます。
		・Android 用エージェント:エージェントダウンロード URL
		・iOS 用セットアップ:エージェントダウンロード URL
		・WINGOWS 用エーンェント:エーシェントタワンロード URL   ・Mac OS 用セットアップ・プロファイルダウンロード URI
		- · 企業コード
	利用規約    プライバシーポリシー	クリックすると、利用規約か新しいウィンドウで表示されます。   クリックオストープライバシーポルシーが新しいウィンドウズまニャッキオ
U	レンコハン ハリンニー	ノ ノ ノノ タ の C 、 ノ ノ 1 ハ ノ 一 小 リ ノ 一 小 朳 しぃ'ノイ ノ Γ 'ノ じ 衣 示 さ れ よ 9 。

12	ヘルプ	クリックすると、管理サイトとエージェントのユーザーマニュアル、エージェ ント対応端末表のダウンロード画面が新しいウィンドウで表示されます。
*1~4	④、⑪、⑪、⑫はすべての画	 面で表示されます。どの画面で操作を行っても同様の動作となります。

※デバイスマネジメントパック版の場合、KDDI ビジネスオンラインサポートヘログインすると、再度認証情報を入力せず に、上記トップ画面が表示されます。 機器のネットワーク接続状況をネットワークマップで確認することができます。また、各機器アイコンをクリックすると、 画面右側に詳細情報が表示されます。

【注意事項】

- ◆管理外機器は、Windows エージェントがインストールされている機器がネットワーク内に存在する場合のみ検出されます。
- ◆ネットワークで「管理外機器の検出」が無効になっている場合、そのネットワーク配下の管理外機器は検出されません。また、管理外機器で2日以上通信がない機器はマップ上から削除されます。詳細は、ネットワーク 171 ページを参照してください。
- ◆デバイスマネジメントパック版では、管理外機器の検出をご利用いただけません。
- ◆機器の検出には時間がかかる場合がございます。ネットワークの状況によって全ての機器が検出できない場合もございます。



項番	対象	説明
1	検索機能	検索機能を利用し、表示するネットワークマップを絞り込むことがで
		きます。機器の種類を選択、または、ネットワーク名を入力し[検
		索](A)をクリックします。どちらか片方のみの入力でも検索は可能で
		す。再度全てのネットワークを表示するにはブラウザーを再読み込
		み、または機器、ネットワーク名入力欄を空欄にし[検索](A)をクリ
		ックします。
		※管理対象機器、管理外機器、除外機器の説明については、「機器の
		種類」19 ページを参照してください。
		※デバイスマネジメントパック版では、表示されません。
2	グローバルネットワークアイコン	グローバルネットワークの IP アドレスが表示されます。
3	モバイルネットワーク	iPhone、3G 接続ができる iPad、3G で接続されている Android 機器、
		3G で接続されている Windows 機器が表示されます。
		※iPhone/iPad は Wi-Fi 接続の場合でも、3G 接続ができる機器であれ
		ばモバイルネットワークに表示されます。
4	機器アイコン	機器アイコンをクリックすると詳細情報⑨が表示されます。
5	Mac/iPad ローカルネットワーク	3G/LTE 接続ができない Mac/iPad はローカルネットワーク(IP アドレ
		スなし)に表示されます。
6	ローカルネットワーク	ローカルネットワークに接続されている機器が表示されます。
$\overline{\mathcal{O}}$	ローカルネットワークアイコン	ローカルネットワークの IP アドレスが表示されます。
8	[さらに読み込む]	機器は4行表示されています。[さらに読み込む]をクリックすると、
		表示行数が倍になります。
9	詳細情報	マップ上でクリックされた機器の詳細情報が表示されます。表示され
		│る情報は機器により異なります。[詳細]をクリックすると、機器の詳
		細画面が表示されます。

# 2.2.1 機器の種類

₩ EP	22.00
機器の種類	
ライセンス認証済み機器	機器にエージェントがインストールされており、ライセンス認証済みの機器。
ライセンス認証待ち機器	これからライセンス認証を行う予定がある機器で、機器検出機能により検出
	され、ライセンス認証待ち機器と登録されたもの。
	※管理外機器をライセンス認証待ち機器へ登録する方法は、「管理外機器を管
	理対象機器に設定する」20 ページを参照してください。
ライセンス認証対象機器	「ライセンス認証済み機器」と「ライセンス認証待ち機器」の総称。
資産管理対象機器	機器検出機能により検出された機器のうち、資産管理対象機器と登録された
	もの。ラベリングのみが可能。
	※管理外機器を資産管理対象機器へ変更する方法は、「管理外機器を管理対象
	機器に設定する」20 ページを参照してください。
管理対象機器	「ライセンス認証対象機器」と「資産管理対象機器」の総称。
管理外機器	機器検出機能により検出された、マップ上表示のみが可能な機器。
	・マップに表示されただけで、機器ライセンスを使用することはありません。
	管理対象機器へ変更すると機器ライセンスが使用されます。
	※管理外機器を管理対象機器へ変更する方法は、「管理外機器を管理対象機器
	に設定する」20ページを参照してください。管理外機器を除外機器に設定す
	る方法は「管理外機器を除外機器に設定する」20 ページを参照してください。
	・1 企業あたりの管理外機器の上限は 10000 までです。上限を超えて検出さ
	れた場合は、最終検出日時が新しい管理外機器を優先してマップに表示しま
	す。
	<ul> <li>・管理外機器は機器レポートには表示されません。機器レポートの詳細は、「機</li> </ul>
	器レポート (エクスポート)」158 ページを参照してください。
	・管理外機器は無通信検知の対象とはなりません。無通信検知の詳細は、「無
	通信検知を新規作成する」191 ページを参照してください。
除外機器	管理外機器をマップ上非表示の指定とした機器。

### 2.2.2 管理外機器を管理対象機器に設定する

ネットワーク機器検出機能で検出されたマップ上で表示のみが可能な機器(管理外機器)を機器一覧の管理下に置くことがで きます。下記の手順に従って行ってください。管理外機器をマップ上非表示に設定する(除外機器にする)場合は、「管理外機 器を除外機器に設定する」20ページを参照してください。

※デバイスマネジメントパック版では、本機能をご利用いただけません。

- 1. マップ画面より管理下におきたい管理外機器をクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させ、[管理]をクリックします。
- 3. 該当の機器を選択します。
- 4. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

※入力項目については以下を参照してください。

⇒機器を新規作成する 28 ページ

※ライセンス認証待ち機器、資産管理対象機器の詳細については、「機器の種類」19ページを参照してください。

### 2.2.3 管理外機器を除外機器に設定する

ネットワーク機器検出機能で検出されたマップ上で表示のみが可能な機器(管理外機器)をマップ上非表示に設定する(除外機器にする)ことができます。下記の手順に従って行ってください。管理外機器を管理下におく場合は、「管理外機器を管理対象機器に設定する」20ページを参照してください。

※デバイスマネジメントパック版では、本機能をご利用いただけません。

- 1. マップ画面より除外機器に設定したい管理外機器をクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [除外]をクリックします。

※画面を更新すると([F5]押下)、管理外機器に表示されなくなります。 ※機器の種類に除外機器を指定して検索を行った場合は除外機器も表示されます。

#### 2.2.4 除外機器を管理外機器へ戻す

マップ上非表示となった機器(除外機器)を、再度マップ上に表示する(管理外機器にする)には、下記の手順に従って行ってく ださい。管理外機器を除外機器に設定する方法は、「管理外機器を除外機器に設定する」20ページを参照してください。 ※デバイスマネジメントパック版では、本機能をご利用いただけません。

- 1. マップ画面で「除外機器」にチェックを入れ、[検索]をクリックし、除外機器を表示させます。
- 2. マップより管理外機器へ戻す除外機器をクリックします。
- 3. [操作]をクリックして操作メニューを表示させ、[除外解除]をクリックします。

※画面を更新すると([F5]押下)、除外機器に表示されなくなります。

## 2.3 機器タブ

機器一覧を表示することが出来ます。機器一覧はリスト形式で表示する事と、機器単位で表示することが出来ます。 リスト形式では、複数の機器に対する状態確認を行うことが出来ます。

機器単位では機器ごとに対する状態確認、ルール適用、リモート操作、削除を行うことができます。

ルール適用の際は、事前に設定セットを作成しておく必要があります。以下の画面は、特定の機器を一覧から選択すると表示されます。



機器の表示を切り替えることが出来ます。

## 2.3.1.1 リスト表示

機器一覧をリスト形式で表示する事が出来ます。

リスト形式では、複数の機器に対する状態確認、機器の絞り込み、機器の新規登録、機器の削除、機器のカスタム項目を設 定することが出来ます。

e	e La Participa - 機器 - Windows Internet Explorer										
6	€ • €	high contract and	and the second	Canadia			• 🔒 🕂 🗙	Google 🖁			<del>ب</del> 0
5	🏠 お気に入り	Elocoment Hill - 機器									
L			【企業名】							理者としてログイン	ŧ
L			トップ	マップ	機器						
L	絞り込み	1								<ul><li>4</li><li>詳細表示</li></ul>	
L	2						3	条件に該当す	る機器数 : 2 '	件 / 機器数 : 2	件
L	187至1前報 136位口味 -1		- テゴルター	# +	雷託来号	<d<#< th=""><th>08 2000</th><th></th><th></th><th></th><th>ก</th></d<#<>	08 2000				ก
L	通信日叶	17566°C0	1	17-9	e.087	#出#8½	も肌とハニンヨン	a. 7 dana			
L		1000.000	1.1.007								
L	108	And and a second					100010		100.000	1.00	<u>.</u>
L											
L											
L											
L											=
L											
L											
L											
L											
L											
L											
				5		/2					
					■ <u>利用規約</u>		 シ <u>ーポリシー</u> ⊡  :	<u></u>			J

項番	対象	前期
1	絞り込み	機器リスト表示の条件を絞り込みすることが出来ます。絞り込み条件として「検索」、「フ
		ィルター設定」を設定することが出来ます。
2	機器リスト	機器一覧より選択した機器がリストとして表示されます。対象の機器をクリックするこ
		とで機器(詳細表示)を表示することが出来ます。
		項目名の横の「▽」「▲」をクリックすることで(昇順・降順)に並べ替えを行うことが出
		来ます。
3	条件に該当する	絞り込みやフィルター条件にヒットした機器数をカウントして表示されます。
	機器	
4	詳細表示	クリックすることで機器(詳細表示)を表示することが出来ます。
5	ページ番号	既存のボタン操作でのページ送りに加え、新規に入力指定でのページ送り行うことが出
		来ます。

設定した条件に当てはまる機器情報のみ表示することができます。条件は「フィルター」、「検索」から指定することが出来 ます。

#### 2.3.1.3 フィルター条件を設定する

絞り込み条件としてフィルターの項目を指定して条件を設定します。

項目横のチェックボックスをクリックし、チェックがついた項目でフィルターを行うことができます。

「削除」 E をクリックすることでフィルター条件を削除することができます。複数の項目を選択することで、検索条件をさらに絞り込むことが可能です。

フィルターできる項目は以下のとおりです。

- ・OS、Android/iOS/Mac OS/Windows/Android (認証待ち)/iOS(認証待ち)/Mac OS(認証待ち)/Windows(認証待ち)
- ・組織、企業により登録されている組織名を階層表示する。
- ・電話番号、登録済み/登録なしで表示されます。
- ・ユーザー、登録済み/登録なしで表示されます。
- ・通信日時、認証済み管理機器/認証済み管理外機器/無通信検知機器/認証待ち機器/資産管理対象機器
- ・機器分類(機器カスタム項目)・ユーザーカスタム項目、機器分類として登録されている項目をフィルターする。

※デバイスマネジメントパック版ではフィルターできる項目が一部異なります。

絞り込み条件として検索条件を指定して条件を設定します。

検索対象をラジオボタンから選択し、検索キーワードを入力します。[検索]をクリックすることでリストに表示することが出 来ます。「削除」 そクリックすることで検索条件を削除することができます。複数の項目を選択することで、検索条件 をさらに絞り込むことが可能です。

🍘 💶 - 機器 - Windows Internet Explorer				- • ×
	Conto		gle	<del>ب</del> م
🚖 お気に入り				
【企業名】			管理者とし	ノてログイン中
トップ	マップ   機器	-LT		ヴァウト
紋切込み				詳細表示
検索対象	検索対象: 機器名	検索 条件(	こ該当する機器数 : 2 件 / 機	践器数:2件
● 機器名 ● OSバージョン	キーワード:		エージェント	
		-ジョン ↓	バージョン ↓   認証	日時 ↓
● T/1/4   ● 電話番号		Parise Service Next 1		
● IMEI   ● シリアル番号				an 1
● 機能パッケージ				Â
7-119-				
				=
		1 ém 2 8 - 1611 - 1		
	<u></u> <u>利用規約</u> @	ヿ <u>゚゚゚<del>ヺゔ゙゙</del>ヿ゙゚゙゙゙゙シ゚゚゠ヸ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚</u>		

検索できる項目は以下のとおりです。

※空白区切りによる複数の項目を入力することで複数の項目を指定することが可能です。

※端末認識番号について: Android 端末は IMEI / MEID からの検索が可能です。

- ・機器名
- ・ユーザー
- ・OSバージョン
- ・モデル名
- ・電話番号
- IMEI
- ・シリアル番号
- ・機能パッケージ

### 2.3.1.5 リストの並び替えを行う

リストの並び替えを行うことができます。 各項目の「▽」「△」をクリックすることで昇順、降順で並べ替えを行うことが出来ます。 ※複数の項目で並び替えを行うことは出来ません。

#### 2.3.1.6 リスト・詳細表示の切り替えを行う

機器の表示で機器(詳細表示)もしくは機器(リスト表示)を切り替えることができます。 [詳細表示]をクリックすることで機器(詳細表示)が表示されます。 切り替え後に[リスト表示]をクリックすることで機器(リスト表示)が表示されます。

#### 2.3.1.7 機器(詳細表示)を表示する

機器の表示で機器(詳細表示)を表示することが出来ます。

機器(詳細表示)はリストから対象の機器をクリックした場合と、「詳細表示へ変更」をクリックした場合に表示することが出 来ます。 機器に対する状態確認、ルール適用、リモート操作、削除を行うことができます。ルール適用の際は、事前に設定セットを作 成しておく必要があります。以下の画面は、特定の機器を一覧から選択すると表示されます。 ※設定セットの作成については以下を参照してください。

⇒メニュータブ 90 ページ



項番	対象	説明
1	検索/並び替え	(A)には検索対象項目、(B)には並び替えの対象項目が表示されます。検索する場合は、検索するキーワードを(C)に入力し、[検索] の をクリックします。検索後、全ての機器 を再表示するにはブラウザーを再読み込み、または(C)を空欄にし、再度[検索] の をク リックします。

2	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・全てにチェックを入れる:全ての機器のチェックボックスにチェックが入ります。チ
		ェックが入った機器は一括削除対象となります。
		・全てのチェックをはずす:全ての機器のチェックボックスからチェックを外します。
		・検索対象:検索対象を機器名、OS バージョン、モデル名、電話番号、IMEI、シリア
		ル番号、ユーザー、機能パッケージ、組織、登録した機器カスタム項目のいずれかに変
		更することができます。
		※OS バージョンで機器の検索をする際は、英字やカタカナの全角半角等を機器のバー
		ジョン名と全く同じ値で入力してください。文言が同じでも全角半角等が異なる場合、
		検索結果に表示されません。
		※端末認識番号について : Android 端末は IMEI / MEID からの検索が可能です。iOS 端末
		は IMEI からの検索のみに対応しています。
		・並び替え 昇順 : 機器一覧を機器名、エージェントバージョン、通信日時、認証日時の
		いずれかで昇順に並び替えます。
		・並び替え 降順 : 機器一覧を機器名、エージェントバージョン、通信日時、認証日時の
		いずれかで降順に並び替えます。
		・新規作成:ライセンス認証前に、あらかじめ機器情報を作成しておきます。
		機器のライセンス認証を待たずに、ルール設定を行っておくことが可能です。
		・一括削除:チェックの入った機器を削除します。詳細は「機器をまとめて削除する」29
		ページを参照してください。
3	機器一覧	登録されている機器一覧が表示されます。
		※各ページに表示される機器件数はリスト表示、詳細表示ともに 100 件です。
		(D):機器名
		(E):検索対象の機器情報(※1)
		(F):並び替え対象の機器情報
		※1 検索対象に機器名を選択した場合、機器名は既に上段に表示されているため中段に
		はユーザー名が表示されます。
		※通信日時が赤字表示されている機器は、無通信検知された機器です。
		※通信日時が赤字表示かつ、末尾に「(管理外)」と表示されている機器は、管理外検知さ
		れた機器です。
4	機器情報	機器一覧より選択した機器情報が表示されます。
5	[同期]	クリックすると管理サーバーとエージェントが通信を行います。詳細は「機器と同期す
-		る」27 ページを参照してください。
6	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・削除:機器を削除します。詳細は「機器を削除する」29 ページを参照してください。

#### 2.3.1.9機器と同期する

同期を行うと、管理サイトで行った各種設定を機器に反映します。また、Web 閲覧履歴や位置情報など、管理サイトで保持 している機器情報の更新を行います。通常、同期は定期的に行われますが、お急ぎの場合は手動で同期を行ってください。 なお、同期を行った後、設定の反映や機器情報が更新されるまでの時間は、サーバーの通信状況に依存します(ベストエフォ ート型)。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. [同期]をクリックします。
- 3. 確認画面で[OK]をクリックします。

※同期の際に受け渡しされる情報については以下を参照してください。

⇒同期情報一覧 461 ページ

#### 2.3.1.10 機器を新規作成する

通常、管理サイトへ機器の登録は、機器側でライセンス認証操作を行ったタイミングとなります。機器側のライセンス認証 を待たずに管理サイトへ機器を登録したい場合は、手動で事前登録することが可能です。事前登録をすることにより、機器 への各種設定作業を機器側のライセンス認証を待たずに行えます(機器への反映はライセンス認証を行った機器との同期が必 要)。また、事前登録した機器は、「ライセンス認証待ち」の状態となるため、ライセンス認証を行っていない機器を確認す る際にも役立ちます。

※デバイスマネジメントパック版ではご利用いただけません。

- 1. [その他の操作] 🔽をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 2.「新規作成」より作成対象とする機器をクリックします。
- 3. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

※画面上の「分類 1」および「自由入力 1」は機器カスタム項目です。機器カスタム項目を登録していない場合は表示されません。
※iPhone/iPad では、「+81」から始める国際電話番号が表示されていることがありますが、「0」から始まる日本の電話番号に置き換え

て入力してください。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【機器名】

機器名を入力します。必須入力項目です。 機器名は機器画面やログなど、管理サイトの様々な箇所で表示されます。

【種別】

種別を選択します。当項目は資産管理対象機器の場合のみ入力項目として表示されます。

#### 【所属】

登録済みのユーザーまたは組織を選択します。

【機器カスタム項目(分類)】

機器カスタム項目(分類)を選択します。機器カスタム項目(分類)を登録していない場合は表示されません。 機器カスタム項目(分類)を選択すると、機器カスタム項目(分類)単位で機器の一括設定が可能です。 【機器カスタム項目(自由入力)】

機器カスタム項目(自由入力)を入力します。機器カスタム項目(自由入力)を登録していない場合は 表示されません。備考欄としての位置づけになります。

【MAC アドレス (端末識別用)】

ライセンス認証が行われた機器と、当画面で登録した機器を関連付けるための MAC アドレスを入力してください。 MAC アドレスの確認方法については、機器に付属しているマニュアルをご参照ください。

【電話番号 (端末識別用)】

ライセンス認証が行われた機器と、当画面で登録した機器を関連付けるための電話番号を入力してください。 当項目は Android 機器および iOS 機器の場合のみ入力項目として表示されます。ハイフンは不要です。 電話番号の確認方法については、機器に付属しているマニュアルをご参照ください。

#### 【IMEI / MEID (端末識別用)】

ライセンス認証が行われた機器と、当画面で登録した機器を関連付けるための IMEI または MEID を入力してください。 当項目は Android 機器の場合のみ入力項目として表示されます。 IMEI / MEID の確認方法については、機器に付属しているマニュアルをご参照ください。

【シリアル番号 (端末識別用)】

ライセンス認証が行われた機器と、当画面で登録した機器を関連付けるためのシリアル番号を入力してください。 当項目は iOS 機器および Windows 機器の場合のみ入力項目として表示されます。

シリアル番号の確認方法については、機器に付属しているマニュアルをご参照ください。

#### 2.3.1.11 機器を削除する

管理サイトに登録されている機器を削除します。削除した機器は、管理サイト上から見えなくなりますので、一切の設定や 確認が行えなくなります。本製品から機器に対して行った設定はそのまま保持されるのでご注意ください。また、本操作を 行っても機器側でのライセンス解除作業、エージェントアンインストール作業、プロファイルアンインストール作業は別途 必要です。

※デバイスマネジメントパック版ではご利用いただけません。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

#### 2.3.1.12 機器をまとめて削除する

管理サイトに登録されている機器を複数指定して削除します。削除したい機器が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能 です。その他に事項ついては「機器を削除する」と同様です。 ※デバイスマネジメントパック版ではご利用いただけません。 1. 機器一覧より対象とする機器のチェックボックスにチェックを入れます。

- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 2.3.1.13 機器の入力値

機器では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
	入力必須です。
【機器名】	重複はできません。
	100 文字以内で入力してください。
	下記より選択
	ネット TV 端末, レコーダー, STB, AV アンプ, デジタルカメラ, デジタルビデオカメラ
	オーディオ, プレイヤー, プロジェクター, フォトフレーム, AV 系その他, デスクトップ
	ノート PC, ストレージ, PDA, プリンター, タブレット, スマートフォン, PC 系その他
	携帯電話, IP 電話, ルーター, FAX, スイッチングハブ, PLC モデム, 無線 LAN モデム
【理 <b>別】</b>	同軸ケーブルモデム, 通信系その他, エアコン, 冷蔵庫, 洗濯機, 照明, 電子レンジ
	Web カメラ, ゲートウェイ, ドアホン, センサー, 換気扇, ブラインド, シャッター
	雨戸, 散水機, 給湯器, 便座, 電気錠, 太陽光発電, 床暖房, ポット, 旧 調理器, 炊飯器
	掃除機,くらし系その他,据置ゲーム機,ポータブルゲーム機,家庭用ロボット
	娯楽系その他,その他
【所属】	プルダウンメニューでユーザーまたは組織を選択します。
【機器カスタム項目	
(分類)】	フルタウンメニューで分類内のクルーフを選択します。
【機器カスタム項目	1000 文字以内で入力してください。
(自由入力)】	制御文字は入力できません。
	重複はできません。
【MAC アトレス (端末識別用)】	「XX:XX:XX:XX:XX:XX」(X は大文字の 16 進数)という形式で入力してください。
	重複はできません。
【電話番号 (端末識別用)】	20 文字以内で入力してください。
	半角数字のみで入力できます。
	重複はできません。
【IMEI / MEID (端末識別用)】	100 文字以内で入力してください。
	半角英数字、記号のみで入力できます。
	重複はできません。
【シリアル番号 (端末識別用)】	100 文字以内で入力してください。
	半角英数字、記号のみで入力できます。

管理情報の確認および編集、	エージェント情報の確認、	ログの確認が行えます。
---------------	--------------	-------------

	et Explorer	- A to Y Google	
☆ お気に入り	Ē		-
	【企業名】 「トップ マップ 機器	管理者 メニュー	おとしてログイン中 ログアウト
検索:機器名 昇順:機器名 	₽▼ Windows機器1	→□ 「 関 ヤキュリティ 】 子の他 マ	Jスト表示 ↔
	1 管理情報 機器名 Windows機器1 所属 (なし) / 編集	エージェント エージェントバージョン 6.0.0.11 通信日時 2014/03/10 22:52:07 認証日時 2014/03/10 17:34:58	2
		OS OSバージョン Microsoft Windows 7 Professional Service Pack 1 (64 ビット)	3
		ネットワーク グローバル <b>ア</b> アドレス 122.249.236.1	4
		Zone Manasement ゾーン ゾーン1 ポリシー <u>ポリシー1</u>	5
	▼ ▼	ログ この機器のログを確認 ブライバシーポリシーの「ヘルプ」の	6

項番	対象	説明
1	管理情報	機器名、所属、機器カスタム項目が表示されます。[編集]をクリックすると、管理情報を 編集することができます。
		※アハイスマネシメントハック版では、機器名およい所属の編集は行えません。
(2)	エージェント	エージェントバージョン、通信日時、認証日時、アクティベーションコード(iOS のみ)   が表示されます。
		※アクティベーションコードは、iOS の場合のみ、ライセンス認証後に表示されます。
		手動でエージェント認証を行う場合、認証時に必要なコードになります。ライセンス認
		証後や、ポータル画面からエージェント認証を行う場合は、入力は不要です。
		※iOS の場合、iOS エージェントがインストールされていないとエージェントバージョ
		ンは表示されません。
		※iOS の通信日時は端末のエージェントからの通信、iOS ブラウザーからの通信、構成
		プロファイルの更新により更新されます。このため、通信日時が設定セットの適用後の
		日時である場合でも設定セットが必ず適用されているとは限りません。
		※通信日時が赤字表示されている機器は、無通信検知された機器です。
		※通信日時が赤字表示かつ、末尾に「(管理外)」と表示されている機器は、管理外検知さ
		れた機器です。

3	OS	OS バージョンが表示されます。
		例: Android 4.1.2、iOS 7.0.4、Mac OS X 10.4、Microsoft Windows 7 Professional Service
		Pack 1(32 ビット)
		※OS バージョンで機器の検索をする際は、英字やカタカナの全角半角等を機器のバー
		ジョン名と全く同じ値で入力してください。文言が同じでも全角半角等が異なる場合、
		検索結果に表示されません。
4	ネットワーク	グローバル IP アドレスが表示されます。
5	Zone	Zone Management で適用した「ゾーン」と「ポリシー」名が表示されます。
	Management	「ゾーン」と「ポリシー」の設定は 107 ページを参照して下さい。
6	ログ	[この機器のログを確認]をクリックすると、表示されている機器のログを確認することが
		できます。

※機器の事前登録を行わずに、機器のライセンス認証を行った場合、機器名の命名規約は以下のとおりです。 上から順に機器名の生成を行い、生成できた機器名を採用します。

・電話番号がある場合、「デバイス名 [電話番号]」。

- ・IMEI(MEID)がある場合、「デバイス名 [IMEI / MEID]」。iOS 端末は「デバイス名 [IMEI]」と命名。
- ・Wi-Fi がある場合、「デバイス名 [MAC アドレス]」。
- ・その他の場合、「デバイス名」。

※機器の事前登録に関しては以下を参照してください。

⇒機器を新規作成する 28ページ

#### 2.3.2.1 管理情報を編集する

機器情報を編集します。入力項目に関しては「機器を新規作成する」と同様です。 ただし、端末識別情報についてはライセンス認証待ちの機器のみ編集可能です。

※デバイスマネジメントパック版では、機器名および所属の編集は行えません。

※機器の新規作成に関しては以下を参照してください。

⇒機器を新規作成する 28 ページ

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。

2. [編集]をクリックします。

#### 2.3.2.2機器のログを確認する

クリックするとログ画面が表示されます。確認できるログは、選択した機器のログのみとなります。

※ログ画面の詳細は以下を参照してください。

⇒ログ 185 ページ

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. [この機器のログを確認]をクリックします。

機器状態の確認が行えます。OS によって表示する情報が一部異なります。

当画面で行う固有操作はありません。

#### 【Android 機器の場合】



項番	対象	説明
1	機器情報	機器一覧より選択した機器情報が表示されます。 ※「ネットワーク」タブに表示される SSID は、Android OS のバージョンにより 二重引用符などの記号付きで表示される可能性があります。

表示される内容は以下の通り。

※情報が取得できない場合は(Unknown)と表示されます。

パネル名	項目名	表示内容
	モデル名	モデル名が表示されます。
	電話番号	電話番号が表示されます。
	ネットワークモード	ネットワークモードが表示されます。
<b>甘</b> ★	ネットワークオペレーター	ネットワークオペレーターが表示されます。
举个	IMEI/MEID	IMEI/MEID が表示されます。
	ファームウェアバージョン	ファームウェアバージョンが表示されます。
	ビルド番号	ビルド番号が表示されます。
	シリアル番号	シリアル番号が表示されます。
ネットワー	パネルタイトル	ネットワーク表示名が表示されます。形式:「ネットワーク表示名_」。

クパネル	SSID	SSID が表示されます。		
※検知され	MAC アドレス	「XX:XX:XX:XX:XX:XX」形式の MAC アドレスが表示されます。		
たネットワ	IP アドレス	IP アドレスが表示されます。		
ークごとに		形式(IPv4): NNN.NNN.NNN/NNN		
パネルを表		形式(IPv6): XX:XX::XX		
示。		IP アドレスが 0 個の場合は空欄		
Bluetooth	状態	「有効」または「無効」が表示されます。		
化黑柱扣	無線ネットワーク	「有効」または「無効」が表示されます。		
1.4 值 1 頁 筆	GPS 機能	「有効」または「無効」が表示されます。		
	バッテリー残量	バッテリー残量が%で表示されます。		
ハッテリー	バッテリー状態	バッテリー状態が表示されます。		
	「スクリーンロック」項目につい	. ては、「スクリーンロック」ポリシーを設定している場合に、そのポリシーの内		
	容と、ポリシーに違反していない	いかどうかが表示されます。「スクリーンロック」ポリシーが設定されていない場		
	合は、いずれの項目も「制限なし」と表示されます。「スクリーンロック」ポリシーについての詳細は 238 ページ			
	を参照してください。			
		ポリシーを満たしている場合:		
		「端末は以下のポリシーを満たしています		
		解除方法:(ポリシーで設定した解除方法)		
		文字数:(ポリシーで設定した文字数)」		
	ハスリートのホリシー	ポリシーを満たしていない場合:		
		「端末は以下のポリシーを満たしています		
スクリーンロ		解除方法:(ポリシーで設定した解除方法)		
ック		文字数:(ポリシーで設定した文字数)」		
	パスワードの再利用	「〇回前までのパスワードを表示」または「制限なし」が表示されます。		
	パスワードの有効期限	「〇日」または「制限なし」が表示されます。		
	自動ロックまでの時間	「〇分」または「自動ロックしない」が表示されます。		
		下記いずれかが表示されます。		
		「〇回失敗でリモートロック」		
		「〇回失敗でリモートワイプ」		
	ロック解除失敗時の設定	「リモートロック/ワイプを行わない」		
		「〇回失敗でリモートロック」が設定されており、ロックメッセージが設定さ		
		れている場合は、ロックメッセージもあわせて表示されます。		
リモートロ	状能	「ロックされています」または「解除されています」が表示されます。		
ック				
		暗号化状態について、下記いずれかが表示されます。		
		「端末が非対応です」		
暗号化	状態	「暗号化されていません」		
		「暗号化中です」		
		「暗号化されています」		
root 化	状態	「root 化状態」または 「問題なし」が表示されます。		

	状態が「root 化状態」の場合、下記いずれかが表示されます。
	「su コマンドが存在します」
	「setuid されたコマンドが存在します」
検知内容	「root 化アプリケーション(アプリケーション名)がインストールされていま
	す」
	状態が「問題なし」の場合は、「問題なし」と表示されます。

## 【iOS 機器の場合】



項番	対象	説明
1	機器情報	機器一覧より選択した機器情報が表示されます。

#### 表示される内容は以下の通り。

※情報が取得できない場合は(Unknown)と表示されます。

パネル名	項目名	表示内容
	デバイス名	デバイス名が表示されます。
	電話番号	電話番号が表示されます。
	現在のキャリアネットワーク名	現在のキャリアネットワーク名が表示されます。
	ホームのキャリアネットワーク	ホームのキャリアネットワークが表示されます。
	名	
	IMEI	IMEIが表示されます。
	MEID	MEID が表示されます。
基本	OS バージョン	OS バージョンが表示されます。
	ビルドバージョン	ビルドバージョンが表示されます。
	モデル名	モデル名が表示されます。
	モデル番号	モデル番号が表示されます。
	モデムファームウェアバージョ	モデムファームウェアバージョンが表示されます。
	ン	
	シリアル番号	シリアル番号が表示されます。
	ExchangeActiveSync デバイス	ExchangeActiveSync デバイス ID が表示されます。
	-	
---------------	-----------------------	---
	ID	
	MDM プロファイルトピック	MDM プロファイルトピックが表示されます。
	UDID	UDID が表示されます。
	Bluetooth MAC アドレス	「XX:XX:XX:XX:XX:XX」形式の MAC アドレスが表示されます。
<b>ナットロ</b> ク	Wi-Fi MAC アドレス	「XX:XX:XX:XX:XX:XX」形式の MAC アドレスが表示されます。
*9*9-9	インターネット共有(テザリン グ)	「有効」または「無効」が表示されます。
陸坦动象		Apple Configurator を用いて iOS 端末を監視対象に設定している場合は、
血忧 <b>刈</b> 承	血抗对象	「有効」と表示され、そうでない場合は、「無効」と表示されます。
バッテリー	バッテリー残量	バッテリー残量が%で表示されます。
	デバイス容量	デバイス容量がギガバイト単位で表示されます。
	利用可能なデバイス容量	利用可能なデバイス容量がギガバイト単位で表示されます。
ストレージ	iCloud バックマップ	iCloud のバックアップが有効の場合は「有効」、無効の場合は「無効」と表
		示されます。
	前回の iCloud バックアップ日時	前回の iCloud バックアップ日時が「HH:MM:SS」形式で表示されます。
	パフコ じ 伊 雄	端末にパスコードが設定されている場合は「保護されています」と表示さ
		れ、設定されていない場合は、「保護されていません」と表示されます。
	パスコード準拠(デバイス)	構成プロファイルを含む全てのパスコードポリシー設定(Apple 社が定めた
7 7 1 _ 1 _ 1		ものを含む)と、実際のパスコード設定が合致している場合、「準拠してい
		ます」と表示され、異なっている場合には、「準拠していません」と表示さ
		れます。
	パスコード準拠(プロファイル)	構成プロファイルのパスコードポリシー設定と、実際のパスコード設定が
		合致している場合、「準拠しています」と表示され、異なっている場合には、
		「準拠していません」と表示されます。
	音声ローミング設定	「有効」または「無効」が表示されます。
ローミング	データローミング設定	「有効」または「無効」が表示されます。
	状態	「ローミング中です」または「ローミングしていません」が表示されます。
		iPhone3GS および iPod touch(第 3 世代)以降の端末において、パスコード
		が設定されている場合は、「データ保護は有効です」と表示され、パスコー
座旦ル	ᇇᅳᅣᅌᆍᄀᇡᆖᄮᆝᅎᄟ	ドが設定されていない場合は、「データ保護は無効です」と表示されます。
咱方儿	ハートリェア暗号化レヘル	iPhone3GS および iPod touch(第 3 世代)より前の端末の場合は、暗号化レ
		ベルにより「ブロックレベル暗号化」もしくは「ファイルレベル暗号化」
		と表示されます。
jailbreak	状態	「Jailbreak 状態」または「問題なし」が表示されます。
	iTunesStore アカウント	「サイン済み」または「未設定」が表示されます。
	iTunesStore アカウントハッシュ	iTunesStore アカウントハッシュが表示されます。
	マクティベーションロック	アプリ「iPhone を探す」のアクティベーションロックの状態を「有効」また
その他の情報		は「無効」で表示します。
	ロケーターサービス	位置情報を使ったサービス(※「iPhone を探す」等)の設定状況を示します。
		「有効」または「無効」が表示されます。
	おやすみモード	「有効」または「無効」が表示されます。

# 【Mac 機器の場合】

🍘 👘 💷 📲 - 機器 - Windows Internet Explorer			
OO - Note the second se	rtJavets/822 - 🔒 👍	X Google	• م
☆ お気に入り ■ Optimal Star - 機器			
【企業名】			管理者としてログイン中
トップ	マップ 機器 メニュー		ログアウト
↓ 検索: 機器名 □ 昇順· 機哭之			リスト表示 🕶
	$\sum$	MacBook Air	ゆ 同期
	Mac .		
2014/12/09 18:2557	& 管理 🛛 🖵 機器 🖌 🗙 アプリ 🔹 参プロフ	ファイル 🛛 健 リモート操作	操作 🚽
	基本	ストレージ	
	デバイス名	デバイス容量 111 887 GB	
	osバージョン 10.9.4	利用可能なデバイス容量 49.113 GB	
	ビルドバージョン 13E28	暗号化	
	モデル名 MacBook Air	暗号化有無 暗号化されています	
	モデル番号 MacBookAir5,1	パーンナル復旧キー 設定されています	
	シリアル番号	所属団体の復旧キー 設定されています	
	MDMブロファイルトビック		
	The ARD alls disc to be		
	ネットワーク	1	
		- @  <u>^//</u> @	

項番	対象	説明
1	機器情報	機器一覧より選択した機器情報が表示されます。

※暗号化情報の取得は Mac OS X 10.9.x 以降の Mac 機器のみ有効です。

※デバイスマネジメントパック版では、本機能をご利用いただけません。

## 表示される内容は以下の通り。

※情報が取得できない場合は(Unknown)と表示されます。

パネル名	項目名	表示内容
	デバイス名	デバイス名が表示されます。
	OS バージョン	OS バージョンが表示されます。
	ビルドバージョン	ビルドバージョンが表示されます。
基本パネル	モデル名	モデル名が表示されます。
	モデル番号	モデル番号が表示されます。
	シリアル番号	シリアル番号が表示されます。
	MDM プロファイルトピック	MDM プロファイルトピックが表示されます。
	Ethernet MAC アドレス	「XX:XX:XX:XX:XX:XX」形式で Ethernet MAC アドレスが表示されます。
ネットワーク パネル ストレージ	Wi-Fi MAC アドレス	「XX:XX:XX:XX:XX:XX」形式で Wi-Fi MAC アドレスが表示されます。
	Bluetooth MAC アドレス	「XX:XX:XX:XX:XX:XX」形式で Bluetooth MAC アドレスが表示されます。
	デバイス容量	デバイス容量がギガバイト単位で表示されます。
	利用可能なデバイス容量	利用可能なデバイス容量がギガバイト単位で表示されます。

	暗号化有無	「暗号化されています」または「暗号化されていません」が表示されます。
暗号化	パーソナル復旧キー	パーソナル復旧キーが表示されます。
	所属団体の復旧キー	所属団体の復旧キーが表示されます。

# 【Windows 機器の場合】

	prer	
🚱 🕞 💌 🕅 gozjinicki konistuplimani.	igNippert,Lanato(172) - 🔒 👍	X Google P 🗸
🚖 お気に入り 🔄 Optimal die - 機器		
【企業	名】	管理者としてログイン中
	トップ 📗 マップ 📗 機器 📕 メニュー 📗	ログアウト
検索:機器名 昇順:機器名	▼ Windows機器1	リスト表示 🖝 🖍 o 同期
Windows 2012/05/29 09:24:55	1 & 管理 🔲 機器 🗗 リモート操作	操作 🗸
	基本	ハードウェア
	コンピューター名	種別 ノートPC
	ワークグループ名	CPU Intel(R) Core(TM) 15-3320M CPU @ 2.60GHz (2.60GHz)
	Windowsバージョン Microsoft Windows 7 Professional Service Pack 1 (32 ビット)	メモリ 7.88 GB
	システム製造元	マザーボード 05GRXT
	システムモデル名	ビデオカード Intel(R) HD Graphics 4000
	シリアル番号	TPM (Unknown)
	ネットワーク - ローカル エリア接続	BIOS
	NIC名	メーカー Dell Inc.

項番	対象	説明
1	機器情報	機器一覧より選択した機器情報が表示されます。

※デバイスマネジメントパック版では、本機能をご利用いただけません。

表示される内容は以下の通り。

※情報が取得できない場合は(Unknown)と表示されます。

パネル名	項目名	表示内容	
	コンピューター名	コンピューター名が表示されます。	
	ワークグループ	ワークグループ名が表示されます。コンピューターがワークグループに参加し	
		ているときのみ表示されます。	
	ドメイン	ドメイン名が表示されます。コンピューターがドメインに参加しているときの	
基本		み表示されます。	
	Windows バージョン	Windows バージョンが表示されます。	
	システム製造元	システム製造元が表示されます。	
	システムモデル	システムモデル名が表示されます。	
	シリアル番号	シリアル番号が表示されます。	
	パネルタイトル	ネットワーク表示名が表示されます。形式: 「ネットワーク表示名_」。	
ネットリーク ※検知されたネッ	NIC 名	NIC 名が表示されます。	
	接続方法	「有線」、「無線」、「モバイル」、「Bluetooth」のいずれかが表示されます。	
	MAC アドレス	「XX:XX:XX:XX:XX:XX」形式の MAC アドレスが表示されます。	
イルとな小。	IPアドレス	IP アドレスが表示されます。	

		※形式(IPv4): 「NNN.NNN.NNN/NNN」
		※形式(IPv6): 「XX:XX::XX」
		※IP アドレスが 0 個の場合は空欄。
		デフォルトゲートウェイが表示されます。
	テノオルトケートワェイ	※0 個の場合は「(なし)」。
	DHCP	「有効」または「無効」が表示されます。
	DHCP サーバー	DHCP サーバーの IP アドレスが表示されます。
		DNS サーバーの IP アドレスが表示されます。
		※0 個の場合は「(なし)」。
		DNS サフィックス名が表示されます。
		※0 個の場合は「(なし)」。
		グローバルネットワーク名が表示されます。グローバルネットワーク名をクリ
		ックすると、ネットワーク画面へリンクします。
	ネットローク	外部ネットワークに繋がっていない NIC の場合は、「(なし)」と表示され、外部ネットワ
	* 9 - 9 - 9	ークに繋がっているが当該のネットワークがネットワーク画面で登録がされていない
		場合は、「未作成」と表示されます。
		ネットワーク画面の詳細については、「ネットワーク」171 ページを参照してください。
プリンター	名前	プリンター名が表示されます。
※検知されたプリ		
ンターごとにパネ	ポート	ポート番号が表示されます。
ルを表示。		
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	「デスクトップ」、「ノート PC」、 「タブレット」、 または「その他」が表示
	種別	「デスクトップ」、「ノート PC」、 「タブレット」、 または「その他」が表示 されます。
	種別 CPU	「デスクトップ」、「ノート PC」、 「タブレット」、 または「その他」が表示 されます。 CPU 名、クロック数(GHz 単位で小数点以下 2 桁まで表示)が表示されます。
ハードウェア	種別 CPU メモリ	<ul> <li>「デスクトップ」、「ノート PC」、「タブレット」、または「その他」が表示されます。</li> <li>CPU 名、クロック数(GHz 単位で小数点以下 2 桁まで表示)が表示されます。</li> <li>メモリサイズが表示されます。小数点以下 2 桁まで表示。</li> </ul>
ハードウェア	種別 CPU メモリ マザーボード	「デスクトップ」、「ノート PC」、「タブレット」、 または「その他」が表示 されます。 CPU 名、クロック数(GHz 単位で小数点以下 2 桁まで表示)が表示されます。 メモリサイズが表示されます。小数点以下 2 桁まで表示。 マザーボード名が表示されます。※検知されたマザーボードごとに表示。
ハードウェア	種別 CPU メモリ マザーボード ビデオカード	<ul> <li>「デスクトップ」、「ノート PC」、「タブレット」、または「その他」が表示されます。</li> <li>CPU 名、クロック数(GHz 単位で小数点以下 2 桁まで表示)が表示されます。</li> <li>メモリサイズが表示されます。小数点以下 2 桁まで表示。</li> <li>マザーボード名が表示されます。※検知されたマザーボードごとに表示。</li> <li>ビデオカード名が表示されます。</li> </ul>
ハードウェア	種別 CPU メモリ マザーボード ビデオカード TPM	<ul> <li>「デスクトップ」、「ノート PC」、「タブレット」、または「その他」が表示されます。</li> <li>CPU名、クロック数(GHz 単位で小数点以下 2 桁まで表示)が表示されます。</li> <li>メモリサイズが表示されます。小数点以下 2 桁まで表示。</li> <li>マザーボード名が表示されます。※検知されたマザーボードごとに表示。</li> <li>ビデオカード名が表示されます。</li> </ul>
ハードウェア	種別 CPU メモリ マザーボード ビデオカード TPM メーカー	<ul> <li>「デスクトップ」、「ノート PC」、「タブレット」、または「その他」が表示されます。</li> <li>CPU名、クロック数(GHz 単位で小数点以下 2 桁まで表示)が表示されます。</li> <li>メモリサイズが表示されます。小数点以下 2 桁まで表示。</li> <li>マザーボード名が表示されます。※検知されたマザーボードごとに表示。</li> <li>ビデオカード名が表示されます。</li> <li>オーカーが表示されます。</li> </ul>
ハードウェア	種別 CPU メモリ マザーボード ビデオカード TPM メーカー バージョン	<ul> <li>「デスクトップ」、「ノート PC」、「タブレット」、または「その他」が表示されます。</li> <li>CPU 名、クロック数(GHz 単位で小数点以下 2 桁まで表示)が表示されます。</li> <li>メモリサイズが表示されます。小数点以下 2 桁まで表示。</li> <li>マザーボード名が表示されます。※検知されたマザーボードごとに表示。</li> <li>ビデオカード名が表示されます。</li> <li>TPM のバージョンが表示されます。</li> <li>メーカーが表示されます</li> <li>バージョンが表示されます</li> </ul>
ハードウェア BIOS	種別 CPU メモリ マザーボード ビデオカード TPM メーカー バージョン	<ul> <li>「デスクトップ」、「ノート PC」、「タブレット」、または「その他」が表示されます。</li> <li>CPU名、クロック数(GHz単位で小数点以下2桁まで表示)が表示されます。</li> <li>メモリサイズが表示されます。小数点以下2桁まで表示。</li> <li>マザーボード名が表示されます。※検知されたマザーボードごとに表示。</li> <li>ビデオカード名が表示されます。</li> <li>TPMのバージョンが表示されます。</li> <li>メーカーが表示されます</li> <li>バージョンが表示されます</li> <li>日付が表示されます。</li> </ul>
ハードウェア BIOS	種別 CPU メモリ マザーボード ビデオカード TPM メーカー バージョン 日付	「デスクトップ」、「ノート PC」、「タブレット」、または「その他」が表示 されます。 CPU 名、クロック数(GHz 単位で小数点以下 2 桁まで表示)が表示されます。 メモリサイズが表示されます。小数点以下 2 桁まで表示。 マザーボード名が表示されます。※検知されたマザーボードごとに表示。 ビデオカード名が表示されます。 TPM のバージョンが表示されます。 メーカーが表示されます バージョンが表示されます 目付が表示されます。 ※「YYYY/mm/dd」形式。
ハードウェア BIOS	種別 CPU メモリ マザーボード ビデオカード TPM メーカー バージョン 日付	<ul> <li>「デスクトップ」、「ノート PC」、「タブレット」、または「その他」が表示されます。</li> <li>CPU 名、クロック数(GHz 単位で小数点以下 2 桁まで表示)が表示されます。</li> <li>メモリサイズが表示されます。小数点以下 2 桁まで表示。</li> <li>マザーボード名が表示されます。※検知されたマザーボードごとに表示。</li> <li>ビデオカード名が表示されます。</li> <li>エPM のバージョンが表示されます。</li> <li>メーカーが表示されます</li> <li>パージョンが表示されます</li> <li>日付が表示されます。</li> <li>※「YYYY/mm/dd」形式。</li> <li>※タイムゾーンに依らず取得した日付をそのまま表示。</li> </ul>
ハードウェア BIOS ドライブ	種別 CPU メモリ マザーボード ビデオカード TPM メーカー バージョン 日付	<ul> <li>「デスクトップ」、「ノート PC」、「タブレット」、または「その他」が表示されます。</li> <li>CPU 名、クロック数(GHz 単位で小数点以下 2 桁まで表示)が表示されます。</li> <li>メモリサイズが表示されます。小数点以下 2 桁まで表示。</li> <li>マザーボード名が表示されます。※検知されたマザーボードごとに表示。</li> <li>ビデオカード名が表示されます。</li> <li>エPM のバージョンが表示されます。</li> <li>メーカーが表示されます</li> <li>パージョンが表示されます</li> <li>日付が表示されます。</li> <li>※「YYYY/mm/dd」形式。</li> <li>※タイムゾーンに依らず取得した日付をそのまま表示。</li> <li>総容量が表示されます。</li> </ul>
ハードウェア BIOS ドライブ ※検知されたドラ	種別         CPU         メモリ         マザーボード         ビデオカード         TPM         メーカー         バージョン         日付         総容量	<ul> <li>「デスクトップ」、「ノート PC」、「タブレット」、または「その他」が表示 されます。</li> <li>CPU 名、クロック数(GHz 単位で小数点以下 2 桁まで表示)が表示されます。</li> <li>メモリサイズが表示されます。小数点以下 2 桁まで表示。</li> <li>マザーボード名が表示されます。※検知されたマザーボードごとに表示。</li> <li>ビデオカード名が表示されます。</li> <li>エPM のバージョンが表示されます。</li> <li>メーカーが表示されます</li> <li>バージョンが表示されます</li> <li>I日付が表示されます。</li> <li>※「YYYY/mm/dd」形式。</li> <li>※タイムゾーンに依らず取得した日付をそのまま表示。</li> <li>総容量が表示されます。</li> <li>※小数点以下 3 桁まで表示。</li> </ul>
ハードウェア BIOS ドライブ ※検知されたドラ イブごとにパネル	種別         CPU         メモリ         マザーボード         ビデオカード         TPM         メーカー         バージョン         日付         総容量	<ul> <li>「デスクトップ」、「ノート PC」、「タブレット」、または「その他」が表示 されます。</li> <li>CPU名、クロック数(GHz 単位で小数点以下 2 桁まで表示)が表示されます。</li> <li>メモリサイズが表示されます。小数点以下 2 桁まで表示。</li> <li>マザーボード名が表示されます。※検知されたマザーボードごとに表示。</li> <li>ビデオカード名が表示されます。</li> <li>TPMのバージョンが表示されます。</li> <li>メーカーが表示されます</li> <li>バージョンが表示されます</li> <li>パージョンが表示されます</li> <li>日付が表示されます。</li> <li>※「YYYY/mm/dd」形式。</li> <li>※タイムゾーンに依らず取得した日付をそのまま表示。</li> <li>総容量が表示されます。</li> <li>※小数点以下 3 桁まで表示。</li> </ul>
ハードウェア BIOS ドライブ ※検知されたドラ イブごとにパネル を表示。	種別         CPU         メモリ         マザーボード         ビデオカード         TPM         メーカー         バージョン         日付         総容量         ウキの号	<ul> <li>「デスクトップ」、「ノート PC」、「タブレット」、または「その他」が表示 されます。</li> <li>CPU名、クロック数(GHz 単位で小数点以下 2 桁まで表示)が表示されます。</li> <li>メモリサイズが表示されます。小数点以下 2 桁まで表示。</li> <li>マザーボード名が表示されます。※検知されたマザーボードごとに表示。</li> <li>ビデオカード名が表示されます。</li> <li>TPMのバージョンが表示されます。</li> <li>メーカーが表示されます</li> <li>バージョンが表示されます</li> <li>ドYYYYY/mm/dd」形式。</li> <li>※タイムゾーンに依らず取得した日付をそのまま表示。</li> <li>総容量が表示されます。</li> <li>※小数点以下 3 桁まで表示。</li> </ul>
ハードウェア BIOS ドライブ ※検知されたドラ イブごとにパネル を表示。 ※パネル名にドラ	種別         CPU         メモリ         マザーボード         ビデオカード         TPM         メーカー         バージョン         日付         総容量         空き容量	<ul> <li>「デスクトップ」、「ノート PC」、「タブレット」、または「その他」が表示 されます。</li> <li>CPU 名、クロック数(GHz 単位で小数点以下 2 桁まで表示)が表示されます。</li> <li>メモリサイズが表示されます。小数点以下 2 桁まで表示。</li> <li>マザーボード名が表示されます。※検知されたマザーボードごとに表示。</li> <li>ビデオカード名が表示されます。</li> <li>エPM のバージョンが表示されます。</li> <li>メーカーが表示されます</li> <li>パージョンが表示されます</li> <li>日付が表示されます。</li> <li>※「YYYY/mm/dd」形式。</li> <li>※タイムゾーンに依らず取得した日付をそのまま表示。</li> <li>総容量が表示されます。</li> <li>※小数点以下 3 桁まで表示。</li> </ul>
ハードウェア BIOS ドライブ ※検知されたドラ イブごとにパネル を表示。 ※パネル名にドラ イブ文字を表示。	種別         CPU         メモリ         マザーボード         ビデオカード         TPM         メーカー         バージョン         日付         総容量         空き容量	「デスクトップ」、「ノート PC」、「タブレット」、または「その他」が表示されます。         されます。         CPU名、クロック数(GHz単位で小数点以下2桁まで表示)が表示されます。         メモリサイズが表示されます。小数点以下2桁まで表示。         マザーボード名が表示されます。小数点以下2桁まで表示。         ビデオカード名が表示されます。         ビデオカード名が表示されます。         アPMのバージョンが表示されます。         メーカーが表示されます         バージョンが表示されます         バージョンが表示されます。         メーカーが表示されます。         ※「YYYY/mm/dd」形式。         ※タイムゾーンに依らず取得した日付をそのまま表示。         総容量が表示されます。         ※小数点以下3桁まで表示。
ハードウェア BIOS ドライブ ※検知されたドラ イブごとにパネル を表示。 ※パネル名にドラ イブ文字を表示。 ログオンユーザー	種別         CPU         メモリ         マザーボード         ビデオカード         TPM         メーカー         バージョン         日付         総容量         空き容量         ユーザー名	<ul> <li>「デスクトップ」、「ノート PC」、「タブレット」、または「その他」が表示 されます。</li> <li>CPU 名、クロック数(GHz 単位で小数点以下 2 桁まで表示)が表示されます。</li> <li>メモリサイズが表示されます。小数点以下 2 桁まで表示。</li> <li>マザーボード名が表示されます。※検知されたマザーボードごとに表示。</li> <li>ビデオカード名が表示されます。</li> <li>アPM のパージョンが表示されます。</li> <li>メーカーが表示されます</li> <li>バージョンが表示されます</li> <li>パージョンが表示されます</li> <li>ロ付が表示されます。</li> <li>※「YYYY/mm/dd」形式。</li> <li>※タイムゾーンに依らず取得した日付をそのまま表示。</li> <li>総容量が表示されます。</li> <li>※小数点以下 3 桁まで表示。</li> <li>ユーザー名が表示されます。</li> </ul>

ザーごとにパネル を表示。	既定の Web ブラウザー 名前	既定の Web ブラウザーの名称が表示されます。
	既定の Web ブラウザー バージョン	既定の Web ブラウザーのバージョンが表示されます。
	既定の電子メールプログ ラム 名前	既定の電子メールプログラムの名称が表示されます。
	既定の電子メールプログ ラム バージョン	既定の電子メールプログラムのバージョンが表示されます。
	通常使うプリンター 名 前	通常使うプリンターの名称が表示されます。
	通常使うプリンター ポ ート	通常使うプリンターのポートが表示されます。
リモートロック	状態	リモートロック状態が表示されます。「ロックされています」または「解除さ れています」を表示。

# 【資産管理対象機器の場合】

@	er	
😔 🕒 🔹 🛛 🖉 🖉 🖉	ang a statut 🗸 🔒 😽 🛇	K 🖁 Google 🖉 🗸
☆ お気に入り		
★ お気に入り ★ お気に入り ★ な気に入り ★ な気に入り ★ な気に入り ★ な気に入り ★ な気に入り ★ なうにんり	) ガ マッブ 機器 メニュー	管理者としてログイン中 ログアウト リスト表示 ♪
2012/10/31 15:48:40	2012/11/01 16:17:22 実性結果1 メーカー名 XXXXXXXXXX モデル名 XXXXXXXXXX 型番 XXXX 種別 ブリンター 1/201064918 1.2-31/12-415/2-	23 IF- (fal)

項番	対象	説明
1	機器情報	機器一覧より選択した機器情報が表示されます。

※デバイスマネジメントパック版では、本機能をご利用いただけません。

表示される内容は以下の通り。

※情報が取得できない場合は(Unknown)と表示されます。

パネル名	項目名	表示内容
	デバイス名	デバイス名が表示されます。
	IPアドレス	IP アドレスが表示されます。
· 本平	OS 名	OS 名が表示されます。
	最終検出日時	最終検出日時が表示されます。
	メーカー名	メーカー名が表示されます。
*5 +/+ 4: 田	モデル名	モデル名が表示されます。
沒推 <b>祏未</b>	型番	型番が表示されます。
	種別	機器の種別が表示されます。
	ᄪᄹᆿᆕᇖᅣ	用紙ユニット一覧が表示されます。
プリンター	用和ユニット	用紙ユニットがない場合は、「(なし)」と表示されます。
※プリンター拡張情報が	L+	トナー一覧が表示されます。
ある場合のみ表示されま	r) —	トナーがない場合は、「(なし)」と表示されます。
す。		カウンターが表示されます。
		データがない場合は、「(なし)」と表示されます。

	エラーが表示されます。
エラー	形式 :「エラー内容 (エラーコード)」
	エラーがない場合は、「(なし)」と表示されます。

機器にインストールされているアプリケーションの確認、アプリケーションメモへの追加が行えます。なお、iOS 機器にプリ インストールされているアプリケーションは、当画面で確認することができません。

【Android 機器の場合】

🖉 💶 - 機器 - Windows Internet Explorer				_	• ×
	ery 6,744	- 🔤 🕹 🕹	K 🖁 Google		<del>ب</del> م
🕎 お気に入り					
【企業名】				管理者としてログ	心中
トップ		フップ 機哭 メニュー		ログアウト	+
検索 機哭名					_
昇順:機器名				リスト表示	e>
		4		a 🖬 म	
Android 機器1 [09012345678] ^		AUGLOG (5243076]	AURIOUNSEADO		
2012/01/30 13:37:52					
▲ Android 機學2 [02012245672]	<b>&amp;</b> '	管理 🖵 機器 🗙 アプリ 👽 位置	🐻 バッケージ その他 ▼	操作	2
2012/01/30 14:10:12	×t	AccuWeather Clock	10.09.09.01	0 Byte 詳	新田 絵田
	E	Adobe Flash Player 10.1	10.1.92.8	8.3 MB 詳	
		AllShare	1.2.0	0 Byte 👔	
	Ð	Androidシステム	2.2	0 Byte 🟥	<u>絲田</u>
	E.	Androidライブ壁紙	2.2	0 Byte 🟥	<u>\$80</u>
		Apple	1.0	4.0 KB 詳	<u>編</u>
		Aurora	1.2.5	0 Byte 🟥	<u>綿田</u>
	E	Backup	2.0.0.84	1.5 MB 詳	<u>綿田</u>
	2	BadgeProvider	1.0	8.0 KB 詳	<u>\$80</u>
		Beach	1.1.0	44.0 KB 詳	<u>第日</u>
	2	Blue sea	1.2.5	0 Byte 🟥	<u>\$#</u>
	E.	BluetoothTest	1.0	0 Byte 🟥	<u>絲田</u>
	2	Bluetoothで印刷	1.0	0 Byte 🟥	<u>端田</u>
		BrcmBluetoothServices	1.0	0 Byte 🧾	細
	E.	Buddies now	1.0	0 Byte 註	<u>絲田</u>
		Camera Firmware	1.0	0 Byte 👔	細
	E.	ChocoEUKor	1.0	4.0 KB 詳	細
*		com.android.providers.applications	2.2	0 Byte	細
			/ 8 🕨 🖬		Ŧ

項番	対象	説明
1	[メモ]	アプリケーションメモに追加されます。
2	[詳細]	アプリケーションの詳細が確認できます。

## 2.3.4.1 アプリケーションメモに追加する (Android 機器)

アプリケーションメモとは、アプリケーション禁止機能の設定にて利用できる、入力補助の仕組みです。アプリケーション 禁止機能の[メモから追加]をクリックした際にアプリケーション一覧に表示されます。アプリケーションメモは管理サイトに ログインしているユーザー単位で保持します。機器単位ではありません。

※アプリケーション禁止に関しては以下を参照してください。

⇒アプリケーション禁止 223 ページ

1. 機器一覧よりアプリケーション確認対象とする機器をクリックします。

- 2. アプリタブをクリックします。
- 3. メモに追加したいアプリケーションのメモアイコンをクリックしてカラー表示にします。 ※カラー表示のメモアイコンをクリックするとグレー表示となり、アプリケーションメモから削除されます。

アプリケーション名やバージョン番号、インストール日時などが確認できます。

1. 機器一覧よりアプリケーション確認対象とする機器をクリックします。

- 2. アプリタブをクリックします。
- 3. 詳細を確認したいアプリケーションの[詳細]をクリックします。

#### 【iOS 機器の場合】

🖉 💶 🖛 - 機器 - Windows Internet Explorer				- • ×
	eyCheeks/200	🝷 🔒 👍 🗙 🛃 Goo	gle	+ م
🚖 お気に入り				
【企業名】			Ë	理者としてログイン中
トップ	マップ 機器 メ			ログアウト
検索:機器名				
昇順:機器名				リスト表示 🏕
Android 機器1 [09012345678] 💧	♪ iPad機器1 [aa:bb:cc:01:de	d:02] iPad (4.3)	5)	ゆ 同期
2012/01/30 13:37:52	V			
/▶ iPad機器1 [aa:bb:cc:01:dd:02]	2. 管理 □ 機器 w アプリ	<ul> <li>第 プロファイル</li> <li>子</li> </ul>	の他 🗸	操作 ▼
2012/01/30 14:10:12				
	アプリケーション名	バージョン	<u>表示されないアプリケ・</u>   メモリサイズ	
	IMDb	2.5	9.6 MB	詳細
	iBooks StockMap	2.0.0	51.8 MB 2.5 MB	51年9月 1917年1月 1917 1917 1917 1917 1917 1917 1917 19
				-
		<u>バシーボリシー</u> ゅ ヘルブゅ		

項番	対象	説明
1	[詳細]	アプリケーションの詳細が確認できます。

## 2.3.4.3 アプリケーションの詳細を確認する(iOS 機器)

アプリケーション名やアプリケーション ID、バージョンなどが確認できます。

1. 機器一覧よりアプリケーション確認対象とする機器をクリックします。

- 2. アプリタブをクリックします。
- 3. 詳細を確認したいアプリケーションの[詳細]をクリックします。

### 【Mac 機器の場合】



項番	対象	説明
1	[詳細]	アプリケーションの詳細が確認できます。

※デバイスマネジメントパック版では、本機能をご利用いただけません。

## 2.3.4.4 アプリケーションの詳細を確認する(Mac 機器)

アプリケーション名やアプリケーション ID、バージョンなどが確認できます。

- 1. 機器一覧よりアプリケーション確認対象とする機器をクリックします。
- 2. アプリタブをクリックします。
- 3. 詳細を確認したいアプリケーションの[詳細]をクリックします。

### 【Windows 機器の場合】

【企業者	8]		管理者としてログイ	ン中
	ップ フップ 終空 マー		ログアウト	
检查 撤职交				- 1
「(C-R: 102-2-10 見順· 継史之			リスト表示・	۲
レンジャンジャンジャンション Windows機器1 Windows 2012/05/29 09:24:55	▼ Windows機器1	The difference in the second s	ゆ 同期	
	& 管理 □ 機器 ■ × ァフリ ① 種別: 図 アブリケーション 図更 ②   A 表示	◎ セキュリティ   その他 ▼ 新ブログラム	操作 ▼	
	a all a le a			ิด
				.3/
	アブリケーション	バージョン アブ	リケーションサイズ 👔	<b>1</b>
	アブリケーション Adobe Flash Player 11 ActiveX	バージョン アブ 11.1.102.55	リケーションサイズ ( 詳新 6.0 MB (詳約	
	アプリケーション Adobe Flash Player 11 ActiveX Adobe Reader 9.1 - Japanese	バージョン アブ 11.1.102.55 9.1.0	リケーションサイズ   詳細 6.0 MB 詳細 256.7 MB 詳細	
	アブリケーション Adobe Flash Player 11 ActiveX Adobe Reader 9.1 - Japanese Apple Application Support	バージョン アブ 11.1.102.55 9.1.0 2.1.7	リケーションサイズ F詳紙 6.0 MB 詳絶 256.7 MB 詳絶 61.0 MB 詳絶	
	アブリケーション Adobe Flash Player 11 ActiveX Adobe Reader 9.1 - Japanese Apple Application Support Apple Mobile Device Support	バージョン アブ 11.1.10255 9.1.0 2.1.7 5.1.1.4	リケーションサイズ FFM 6.0 MB 詳細 256.7 MB 詳細 61.0 MB 詳細 24.4 MB 詳細	
	アブリケーション Adobe Flash Player 11 ActiveX Adobe Reader 9.1 - Japanese Apple Application Support Apple Mobile Device Support Apple Software Update	バージョン アブ 11.1.10255 9.1.0 2.1.7 5.1.1.4 2.1.1.116	リケーションサイズ FFM 6.0 MB 詳細 256.7 MB 詳細 61.0 MB 詳細 24.4 MB 詳細 2.2 MB 詳細	
	アプリケーション Adobe Flash Player 11 ActiveX Adobe Reader 9.1 - Japanese Apple Application Support Apple Mobile Device Support Apple Software Update Bonjour	バージョン アプ 11.1.10255 9.1.0 2.1.7 5.1.1.4 2.1.1.116 3.00.10	リケーションサイズ (詳細 6.0 MB 詳細 256.7 MB 詳細 61.0 MB 詳細 24.4 MB 詳細 2.2 MB 詳細 1.0 MB 詳細	
	アプリケーション Adobe Flash Player 11 ActiveX Adobe Reader 9.1 - Japanese Apple Application Support Apple Mobile Device Support Apple Software Update Bonjour iPhone 構成ユーティリティ	バージョン アプ 11.1.10255 9.1.0 2.1.7 5.1.1.4 2.1.1.116 3.0.0.10 3.5.0.289	リケーションサイズ (詳) 60 MB 詳論 256.7 MB 詳論 61.0 MB 詳論 24.4 MB 詳論 2.2 MB 詳論 1.0 MB 詳論 12.6 MB 詳論	
	アプリケーション Adobe Flash Player 11 ActiveX Adobe Reader 9.1 - Japanese Apple Application Support Apple Software Update Bonjour iPhone 構成ユーティリティ Java(TM) 6 Update 29	バージョン アブ 11.1.10255 9.1.0 2.1.7 5.1.1.4 2.1.1.116 3.0.0.10 3.5.0.289 6.0.290	リケーションサイズ Fill 60 MB 詳細 256.7 MB 詳細 61.0 MB 詳細 24.4 MB 詳細 2.2 MB 詳細 1.0 MB 詳細 12.6 MB 詳細 97.7 MB 詳細	
	アプリケーション Adobe Flash Player 11 ActiveX Adobe Reader 9.1 - Japanese Apple Application Support Apple Mobile Device Support Apple Software Update Bonjour iPhone 構成ユーティリティ Java(TM) 6 Update 29 Microsoft NET Framework 3.5.1 のセキュ グラム (Windows 7 SP1 x86 用) (KB26041	バージョン アブ 11.1.102.55 9.1.0 2.1.7 5.1.1.4 2.1.1.116 3.0.0.10 35.0.289 6.0.290 リティ更新ブロ 115)	リケーションサイズ 6.0 MB 詳細 256.7 MB 詳細 24.4 MB 詳細 2.2 MB 詳細 1.0 MB 詳細 12.6 MB 詳細 97.7 MB 詳細 詳細	
	アプリケーション Adobe Flash Player 11 ActiveX Adobe Reader 9.1 - Japanese Apple Application Support Apple Software Update Bonjour Phone 構成ユーティリティ Java(TM) 6 Update 29 Microsoft .NET Framework 3.5.1 のセキュ グラム (Windows 7 SP1 x86 用) (KB26041 Microsoft .NET Framework 3.5.1 のセキュ グラム (Windows 7 SP1 x86 用) (KB26563	バージョン アブ 11.1.102.55 9.1.0 2.1.7 5.1.1.4 2.1.1.116 30.0.10 35.0.289 6.0.290 リティ更新ブロ 155) リティ更新ブロ 156)	リケーションサイズ (詳細 60 MB 詳細 256.7 MB 詳細 610 MB 詳細 24.4 MB 詳細 2.2 MB 詳細 1.0 MB 詳細 12.6 MB 詳細 97.7 MB 詳細 詳細	
	アプリケーション Adobe Flash Player 11 ActiveX Adobe Reader 9.1 - Japanese Apple Application Support Apple Mobile Device Support Apple Software Update Bonjour Phone 構成ユーティリティ Java(TM) 6 Update 29 Microsoft NET Framework 35.1 のセキュ グラム (Windows 7 SP1 x86 用) (KB26041 Microsoft NET Framework 35.1 のセキュ グラム (Windows 7 SP1 x86 用) (KB27294)	バージョン アブ 11.1.102.55 9.1.0 2.1.7 5.1.1.4 2.1.1.116 3.00.10 3.5.0.289 6.0.290 リティ更新ブロ 155 リティ更新ブロ 152	リケーションサイズ ( )	
	アブリケーション Adobe Flash Player 11 ActiveX Adobe Reader 9.1 - Japanese Apple Application Support Apple Mobile Device Support Apple Software Update Bonjour Phone 構成ユーティリティ Java(TM) 6 Update 29 Microsoft NET Framework 3.5.1 のセキュ グラム (Windows 7 SP1 x86 用) (KB2704 Microsoft NET Framework 3.5.1 のセキュ グラム (Windows 7 SP1 x86 用) (KB2754 Microsoft NET Framework 3.5.1 のセキュ グラム (Windows 7 SP1 x86 用) (KB27364	パージョン         アブ           11.1.102.55         9.1.0           2.1.7         5.1.1.4           2.1.7         5.1.1.4           2.1.7         5.1.1.4           2.1.7         5.1.1.4           2.1.7         5.1.1.4           2.1.7         5.1.1.4           2.1.7         5.1.1.4           2.1.7         5.1.1.4           2.1.7         5.1.1.4           2.1.1.116         80.0.10           35.0.289         60.290           105.2         10.200           リティ更新ブロ         152           リティ更新ブロ         122	リケーションサイズ (詳細 60 MB 詳細 256.7 MB 詳細 610 MB 詳細 24.4 MB 詳細 2.2 MB 詳細 1.0 MB 詳細 12.6 MB 詳細 97.7 MB 詳細 詳細 詳細	

1	種別	[表示]をクリックした際に表示する内容を絞り込みます。
2	[表示]	クリックすると表示内容を更新します。
3	[詳細]	アプリケーションの詳細が確認できます。

※Windows Server 用の更新プログラムは、「アプリ」タブに表示されません。

※デバイスマネジメントパック版では、本機能をご利用いただけません。

## 2.3.4.5 アプリケーション一覧を更新する(Windows 機器)

アプリケーション一覧を更新します。

- 1. 機器一覧よりアプリケーション確認対象とする機器をクリックします。
- 2. アプリタブをクリックします。
- 3. 種別を指定します。
- 4. [表示]をクリックします。

## 2.3.4.6 アプリケーションの詳細を確認する(Windows 機器)

アプリケーション名やバージョン、インストール日などが確認できます。

- 1. 機器一覧よりアプリケーション確認対象とする機器をクリックします。
- 2. アプリタブをクリックします。
- 3. 詳細を確認したいアプリケーションの[詳細]をクリックします。

自動更新やファイアウォールなど、Windowsのセキュリティに関する機能の状態を表示します。状態の確認のみが可能であり、設定変更等はできません。

【注意事項】

◆Windows Server では、ウィルス対策ソフト、スパイウェア対策ソフト、ファイアウォールの状況は取得できません。

◆デバイスマネジメントパック版では、本機能をご利用いただけません。

@ - 機器 - Windows Internet Explorer		
	Google	• تر
(企業名)		管理者としてログイン中
トップ	マップ 機器 メニュー	ログアウト
検索: 機器名 昇順: 機器名		リスト表示 🖝
₽▼ Windows総咒1	Windows機器1 HISTOCICCC	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
Windows 2012/10/29 16:01:03	& 管理 □ 機器 ▼ アブリ ◎ セキュリティ ● リモート操	作 萼 設定 操作 ▼
Ū	Windows自動更新 更新ブログラムを自動的にインストールする (毎日 03:00)	
2	ファイア・フォール 名前 Windowsファイアウォール	状態   有効
3	<sup>- ノイルス対策フラト</sup> 名前   状態   定義ファイル   エンジンバージョン     ウイルスパスター2012 クラウ 有効 最新	>   パターンファイルバージョン
4	スパイウェア対策ソフト 名前 Windows Defender ウイルスパスター2012 ク <del>ラ</del> ウド	状態   定義ファイル 無効 最新 有効 最新
5	ス <mark>クリーンセーバー</mark> ログオンユーザー名 設定 パスワードロック Test 無効 有効	起動までの時間 300秒
6	ドライブ名         BitLocker状態         昭号化進捗         回復キー           C         有効         暗号化中(20%)         000000-0000-0000-0000-0000-0000-00000-0000	000-000000
	D 有効 暗号化されていません	

項番	対象	説明
1	Windows 自動更新	機器に設定されている Windows 自動更新の設定値を表示します。
2	ファイアウォール	機器に導入されているファイアウォールの状態を表示します。
3	ウイルス対策ソフト	機器に導入されているウイルス対策ソフトの状態を表示します。
		エンジンバージョンおよびパターンファイルバージョンの表示については、
		以下の製品にのみ対応しています。
		・ウイルスバスターコーポレートエディション8(日本語版)
		・ウイルスバスターコーポレートエディション 10(日本語版)
4	スパイウェア対策ソフト	機器に導入されているスパイウェア対策ソフトの状態を表示します。
5	スクリーンセーバー	機器に設定されているスクリーンセーバーの設定値を表示します。
6	ドライブ暗号化	各ドライブの暗号化(418 ページ)状況および回復キーを表示します。回復キー
		はパスワードを忘れた場合や、コンピューターの構成が変更された場合に用いる
		パスワードです。詳細については Microsoft にお問い合わせください。

管理サーバーが機器から最後に受信した位置情報の確認が行えます。

管理サーバーへの位置情報送信が一度も行われていない機器については、位置タブの表示自体が行われません。位置情報の 確認を行うには以下が前提条件となります。

- ・機器の設定で GPS およびネットワーク位置情報の取得が有効になっていること
- ・エージェントの設定で位置情報取得を許可していること
- ・管理サーバーと機器の通信が行える環境であること
- ・エージェントアプリが起動していること
- ・iOS の「設定」内の「一般」以下の[App のバックグラウンド更新]でエージェントのバックグラウンド更新が有効であること。また「プライバシー」以下の「位置情報サービス」で位置情報サービスへのアクセスが許可されていること。また「設定」以下の「KDDI Manager」の設定で、プッシュ通知が許可されていること。
- ・Andorid 機器の位置情報取得が有効に設定されていること。各機器の設定は、機器画面の「管理」タブの「エージェント」 パネルの「位置情報取得」から確認できます。

【注意事項】

- ◆本機能は Android、iOS 端末のみ有効です。
- ◆本製品から機器の GPS を強制的に ON にすることはできません。
- ◆端末の位置情報取得が許可されていない場合は、位置情報の最上部にエラーが表示されます。端末のエージェントの「位置情報取得」 を有効にする必要があります。

【参考ページ】

◇エージェントの設定に関して⇒Android エージェントユーザーマニュアル 位置情報取得の設定を行う



項番	対象	説明
1	[位置情報を更新]	クリックすると位置情報が更新されます。
		※iOS 端末の場合のみ表示されます。
		また、位置情報更新を行えるのは、下記条件にあてはまる場合のみです。
		・iOS 端末が iOS7 以降であること
		・iOS エージェントバージョンが 5.9.0 以降であること
2	位置	機器から最後に送信された位置情報が地図で表示されます。
3	[Google マップで表示]	新しいウィンドウで Google マップとして表示されます。
4	位置情報履歴件数	現在表示している位置情報の履歴の件数が表示されます。位置情報の履歴は最大
		100 件まで保持されます。
		「前へ]、[次へ]: ボタン部分押下で、位置情報履歴を切り替えることができます。

動作	iOS	Android
位置取得	・基地局変更時に OS 起動で実行	・管理サイトより GPS サービスの実行タイミングを
タイミング	注)但し iOS7 以降の場合は条件(*1)を満たしている	設定する
	こと	
	・メッセージ配信受信後に	
	メッセージ画面を表示した時	
	・エージェント起動時	
	・エージェント同期ボタン押下時	
	・管理サイトの位置情報更新ボタン押下時	
	注)iOS7 以降の端末のみ有効	
	但し、条件(*1)を満たしていること	
	・BackgroundFetch 機能(「用語集」462ページ参照)	
	による更新時	
	注)iOS7 以降の端末のみ有効	
	但し、条件(*1)を満たしていること	
サーバー送信	・基地局変更時+前回の送信時間から	・手動同期時
タイミング	およそ1分以上経過した場合	・自動同期時(管理者設定)メッセージ通知受信後
	注)但し、基地局変更で位置測位をしたタイミ	
	ングでは、OS 仕様の制約上、その時取得	
	した位置情報は送信できません。	
	・エージェント手動同期	
	・メッセージ通知受信後	
	・管理サイトの位置情報更新ボタン押下で位置情	
	報を取得した場合	
	・BackgroundFetch 機能(「用語集」462ページ参照)	
	による更新時に位置情報が取得された場合	

(\*1) 下記条件を満たしていること

- ・端末の最近使ったアプリー覧に本製品が登録されていること
- ・端末の設定内の「App のバックグラウンド更新」において、本製品が「有効」になっていること

※同期処理自体にかかる時間は、負荷状態や通信状態に依存します。

# 2.3.6.1 Google マップで位置情報を表示する

管理サイト上ではなく、Google マップ上で位置情報を確認することができます。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. 位置タブをクリックします。
- 3. [Google マップで表示]をクリックします。

本製品で提供しているウイルス対策ソフト「KDDI Smart Mobile Safety Manager AntiVirus」をご利用になる場合は、ご利用に なる機器に対してオプションパッケージの割り当てが必要となります。当画面にて割り当てを行ってください。「KDDI Smart Mobile Safety Manager AntiVirus」のご利用にはお申し込みが必要となります。なお、お申し込みをいただいていない 場合は、パッケージタブの表示自体が行われません。

【注意事項】

◆デバイスマネジメントパック版では、本機能をご利用いただけません。

	• م
🚖 お気に入り 🔢 📴 🖬 🖬 - 機器	
【企業名】	管理者としてログイン中
トップ マップ 機器 メニュー	ログアウト
検索:機器名	リスト表示 🛹
Android機器1 [09012345678] Android機器A	BC ゆ 同期
Android機器1 [09012345678]	
2012/01/30 13:37:52 2012/01/30 10:37:52 200000000000000000000000000000000000	その他 ▼ 操作 ▼
□ / Android機器2 [08012345678]	
2012/01/30 14:10:12 ライセンス	
121)DANGRO	
×	
	*

項番	対象	説明
1	オプションパッケージ	ウイルス対策ソフト「KDDI Smart Mobile Safety Manager AntiVirus」をご利用の場
		合は、「ウイルス対策※TRENDMICRO」と表示されます。
2	[編集]	オプションパッケージの割り当ておよび解除を行います。

## 2.3.7.1 機器にオプションパッケージの割り当ておよび解除を行う

オプションパッケージは指定した機器でのみ利用可能となります。なお、使用数が契約数に達している場合は、新たにオプ ションパッケージを割り当てることができません。使用数および契約数はトップ画面で確認できます。

※トップ画面に関しては以下を参照してください。

⇒トップタブ 15 ページ



- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. その他タブよりパッケージをクリックします。
- 3. [編集]をクリックします。
- オプションパッケージのチェックボックスをチェックして[保存]をクリックします。解除する場合はチェックボックスからチェックを外して[保存]をクリックします。

本製品で提供しているウイルス対策ソフト「KDDI Smart Mobile Safety Manager AntiVirus」の各種情報がご確認いただけます。 当画面では情報の確認のみが可能です。インストール/アンインストールや、設定の変更は行えません。

【注意事項】

- ◆[KDDI Smart Mobile Safety Manager AntiVirus]はオプションパッケージとしてご提供しております。
   お申し込みいただいている場合は、オプションパッケージの割り当てを行うことでご利用いただけます。
   ⇒機器にオプションパッケージの割り当ておよび解除を行う 53 ページ
- ◆機器にトレンドマイクロ社のセキュリティソフトがインストールされている場合は、事前にアンインストールが必要です。
- ◆上記以外のセキュリティソフトがインストールされている場合でも、事前にアンインストールいただくことを推奨しております。



項番	対象	説明
1	保護状態	ウイルス対策ソフトのインストール状態が表示されます。
		※保護状態の表示が管理サイトと端末で異なる場合があります。
		⇒よくある質問と回答 490 ページ
2	基本	ウイルス対策ソフトの詳細が表示されます。ウイルス対策ソフトをインストールしてい
		ない場合は表示されません。
		※当画面で表示するアプリケーションバージョンは常に 1.0 となります。ウイルス対策
		ソフトのバージョンアップ等による変更を確認したい場合は、アプリ(詳細)、または
		アプリケーションレポートのバージョン番号をご確認ください。
		⇒アプリケーションの詳細を確認する 46 ページ
		⇒アプリケーションレポートを確認する 163 ページ
3	ログ	ウイルス対策ソフトのログを確認できます。

インストールしているウイルス対策ソフトのログを確認します。確認できるログは、選択した機器のログのみとなります。 ⇒ログ 185ページ

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. その他タブよりウイルス対策ソフトをクリックします。
- 3. [ウイルス対策ソフトのログを確認]をクリックします。

※管理サイトと端末側で保護状態の表示内容が異なる場合があります。

これは保護状態に"保護されています"と表示する条件が管理サイトと端末側で異なるためです。

それぞれが保護されていると表示する条件は、以下のとおりです。

管理サイト	端末	
以下をすべて満たした場合。	以下をすべて満たした場合	
<ol> <li>ウイルス対策ソフトがインストールされている</li> <li>「ウイルス対策機能」が「有効」となっている</li> <li>「パターンファイル最終更新チェック日時」が 「状態取得日時」の2週間以内</li> <li>「スキャン最終実行日時」が、 「状態取得日時」の2週間以内</li> </ol>	<ol> <li>リアルタイムスキャンの設定状態が「有効」である</li> <li>自動アップデートの設定状態が「有効」である</li> <li>初回インストールの時に、手動検索を完了させる (途中でキャンセルしたり、失敗した場合は、「保護され ていません」とでますが、その後、1度でも手動検索を遂 行すれば、「保護されています」に変わる)</li> </ol>	

Android/iOS/Windows 機器に対し、クライアント証明書をインストールすることが可能です。

#### 【注意事項】

- ◆本機能は Android4.0 ~4.2、iOS7.0 以降、Windows は Vista 以降に対応しています。
- ◆デバイスマネジメントパック版では、Android、iOS 機器のみの対応となります。
- ◆当画面で設定を行う場合は事前に証明書の登録が必要となります。証明書の登録については以下を参照してください。
- ⇒クライアント証明書管理 176 ページ
- ⇒クライアント証明書一括アップロード 179ページ
- ◆証明書を機器にインストールするためには、PIN またはパスワードなどのスクリーンロック設定が必要です。 Android 機器でスクリー ンロック設定がされていない場合には、設定を要求するメッセージが表示されますので、設定をおこなってください。また、スクリー ンロック設定を無効にするには、証明書をアンインストールする必要があります。
- ◆各種設定は次回の同期時に機器へ反映されます。お急ぎの場合は手動で同期を行ってください。

🖉 🔐 - 機器 - Windows Internet Explorer	- • ×
	• م
🔆 お気に入り 💽 🗰 - 機器	
【企業名】	管理者としてログイン中
トップ マップ 機器 メニュー	ログアウト
検索:機器名	リスト表示 🛹
	ゆ 同期
2012/01/30 13:37:52	
- Android機器2 [08012345678] R 管理 回機器 R アプリ の位置 同パッケージ 子	-の他 ▼ 操作 ▼
2012/01/30 14:10:12	コリモート操作
クライアント証明書	ッ ー・ション 9 ウイルス対策ソフト
(クライアント証明書がありません) ①	クライアント証明書
クライアント証明書をアップロードする	- 
	- メッセージ
→ 編集 2	

項番	対象	説明
1	設定内容	現在の設定内容が表示されます。
2	[編集]	設定を作成します。既に設定がされている場合は、[編集]および[削除]が表示されま す。

## 2.3.9.1 クライアント証明書を新規作成する

クライアント証明書を新規作成します。

※クライアント証明書は事前に登録が必要です。下記ページを参照し、登録を行ってください。⇒クライアント証明書管理 176 ページ

⇒クライアント証明書一括アップロード 179 ページ

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. その他タブよりクライアント証明書をクリックします。
- 3. [編集]をクリックします。
- 4. 既存のクライアント証明書を選択します。
- 5. [保存]をクリックします。

#### 2.3.9.2 クライアント証明書を編集する

機器に設定されているクライアント証明書を編集します。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【クライアント証明書】

アップロード済みの証明書を指定します。

#### 【使用する証明書ストア】

Windows での注意:証明書のインストール先を「ユーザー」または「コンピューター」から選択します。 「ユーザー」が空欄である場合、機器のユーザーは証明書をインストールする際にインストール先の ユーザーを選択することが可能です。この設定は意図しないユーザーに証明書を付与してしまう原因 となりますので、充分に注意して設定してください。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. その他タブよりクライアント証明書をクリックします。
- 3. [編集]をクリックします。
- 4. 既存のクライアント証明書を選択します。
- 5. [保存]をクリックします。

#### 2.3.9.3 クライアント証明書を削除する

機器に設定されているクライアント証明書を削除します。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. その他タブよりクライアント証明書をクリックします。

3. [削除]をクリックします。

4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 2.3.10 設定

SDカードの利用を禁止する/カメラの利用を禁止する/リモートロックを行う/リモートワイプを行うなど、機器の動作を 制限することが可能です。これらを行うには、事前に制限内容を「設定セット」で指定しておき、この設定セットを機器に適 用することにより、機器の制限が実現されます。当画面では、機器に対して設定テンプレートまたは設定セットの適用およ び適用状態の確認を行うことができます。

【注意事項】

◆デバイスマネジメントパック版では、Android、iOS 機器のみの対応となります。

◆各設定セットにはデフォルトで「所属組織に従う」設定が指定されています。所属組織に設定テンプレートが割り当てられている場合、 設定テンプレートの設定が自動的に各端末に適用されます。

【参考ページ】

◇設定テンプレートおよび設定セットの作成について⇒メニュータブ 90 ページ

◇当画面では単一の機器を対象としています。複数の機器に一括設定を行う場合はこちら⇒一括機器設定 151 ページ

🍘 😳 👘 🖬 - 機器 - Windows Internet	t Explorer				
	ereilik (na harde) (dara da ba	- <u>-</u> <u>-</u>	😚 🗙 🖁 Google		<del>،</del> م
☆ お気に入り					
	【企業名】			管理者としてログ	イン中
	トップ マップ	- 機器 - メニュー			
<ul> <li>一 検索: 機器名</li> <li>昇順: 機器名</li> </ul>				リスト表示	*
		roid機器1[    ]	Android機器ABC	ゆ 同期	A D
Android機器1				<b>そ</b> の他 = +8//-	
2012/01/30 13:37:52					
│ □					
2012/01/30 14:10:12		テンプレートを選択)			
	2 🗸 適用				
	設定			ē	=
	3		4		
		<u>ジェント1個別官理</u> (所属	組織に従う設定なし)	編集	
		所属	組織に従う設定なし)	編集	
	<u>×</u> 72	<u>リケーション禁止</u> (所属	組織に従う設定なし)	編集	
	SD SD	<u>」ード</u> (所属	組織に従う設定なし)	▶ 編集	
	<del>ال</del> ال (1)	ž (所属	組織に従う設定なし)	▶ 編集	
	Blue	<u>tooth</u> (所属	組織に従う設定なし)	▶ 編集	
	<b>同</b> . スク	リーンロック (所属	組織に従う設定なし)	▶ 編集	
	DE UE	<u>トロック</u> (所属	組織に従う設定なし)	/ 編集	
		<u>ートワイブ</u> (所属	組織に従う設定なし)	▲ 編集	
		■■  <u>利用規約</u> @ プライバシーオ	<u>"Uv-</u> @  <u>^//</u> @		

項番	対象	説明
1	ポリシー	適用する設定テンプレートを選択します。
2	[適用]	選択中の設定テンプレートを適用します。
3	機能名	設定セットの適用が可能な機能名が表示されます。
4	適用中設定セット名	各機能に対してに対して適用中の設定セット名が表示されます。
5	[編集]	各機能に対して設定セットを適用します。

#### 2.3.10.1 設定セット作成画面を開く

設定セット作成画面を開きます。メニュータブから各種機能名をクリックした時と同様の動作です。

※メニュータブの詳細は以下を参照してください。 ⇒メニュータブ 90 ページ

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. その他タブより設定をクリックします。
- 3. 機能名をクリックします。

#### 2.3.10.2 設定セット編集画面を開く

対象とした設定セットの編集画面を開きます。メニュータブから各種機能名をクリックした時と同様の動作です。

※メニュータブの詳細は以下を参照してください。

⇒メニュータブ 90 ページ

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。

- 2. その他タブより設定をクリックします。
- 3. 適用中設定セット名をクリックします。

# 2.3.10.3 単一の機器に設定テンプレートを適用する

設定テンプレートを適用します。

※リモートワイプは、設定セットを選択し「適用」をクリックすることで、次回同期時(手動同期含む)に機器の初期化を行い ます。ご利用には細心の注意を払ってください。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. その他タブより設定をクリックします。
- 3. 適用する設定テンプレートを選択します。
- 4. [適用]をクリックします。

#### 2.3.10.4 単一の機器に設定セットを適用する

設定セットを適用します。

※当画面では単一の機器を対象としています。複数の機器に一括設定を行う場合は以下を参照してください。

⇒-括機器設定 151 ページ

※本製品のご利用を解約いただいても、機器に対して行った設定はそのまま保持されるのでご注意ください。解約の際は事

前に各種設定セットに「設定なし」を適用してください。

※既に何らかの設定セットが選択されている状態から「設定なし」に変更した場合、機器の持っている設定値はその時点の値のままとなり、初期値に戻すなど、設定値を変更する事は行っておりません。また、「カメラ禁止」や「アプリケーション禁止」など、機器の持っている設定項目ではなく、エージェントで制御されている機能は、「設定なし」を選択する事で、作用しなくなります。各種設定がどちらのタイプに分類されるかは以下を参照してください。

⇒「(設定なし)」とした場合の各種設定の挙動 482 ページ

※リモートワイプは、設定セットを選択し「保存」をクリックすることで、次回同期時(手動同期含む)に機器の初期化を行い ます。ご利用には細心の注意を払ってください。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. その他タブより設定をクリックします。
- 3. 対象とする機能名をクリックします。
- 4. [編集]をクリックします。
- 5. 適用する設定セットを選択して[保存]をクリックします。※1
- 6. 本設定内容は次回の同期時に機器に反映されます。ただちに反映したい場合は、手動で同期を行ってくだ さい。

※1:機器が所属する組織の設定セットを適用させたい場合は、デフォルトの「(所属組織に従う)」が選択されていることを確認してください。所属組織に設定が指定されていない場合は「(所属組織に従う設定なし)」が表示されます。「(所属組織に従う)」以外が選択されている場合、組織の設定セットは適用されず、機器に設定されている設定セットが適用されます。組織への設定セット適用方法については、「組織単位で機器設定を行う」100ページを参照してください。

機器に対してメッセージを配信することができます。当機能を利用することにより、機器の所有者に対して、メールを送信 する間隔で要件を伝えることができます。当画面では機器に設定されているメッセージの配信予定および、配信済みのメッ セージを確認することができます。

【注意事項】

◆iOS で本機能を利用する場合、端末側に iOS エージェントのインストールが必要です。

【参考ページ】

◇配信メッセージの新規作成および詳細について⇒メッセージ通知 165 ページ

🍘 💴 📲 - 機器 - Windows Internet Explorer		
	- 🔒 😚 🗙 Google	• م
🚖 お気に入り		
【企業名】		管理者としてログイン中
トップ	マップ 機器 メニュー	ログアウト
検索: 機器名   昇順: 機器名		リスト表示 😝
<ul> <li>• • • • • • • • • • • • • • • • • • •</li></ul>		
📄 🦯 Android機器1 [09012345678] ^	Android機器1 [09012345678] Android機器ABC	ゆ 同期
2012/01/30 13:37:52	$\checkmark$	
Android 機器2 [08012345678]	& 管理 🛛 只 機器 🗙 アブリ 🔷 位置 🕞 バッケージ	その他 👻 操作 👻
2012/01/30 14:10:12		
$\cup$	1018されるメッセージ タイトル スケジュール	
	<u>メッセージ1</u> 毎月29日 <u>メッセージ2</u> 毎週日曜日	
0	メッセージボックス	🖏 設定
l l	2012/02/27 15:52:16 メッセージ2	🛽 メッセージ
	メッセージ2です。 2012/02/27 14:53:49	
	2012/02/27 14:51:36 	
	メッセージ1です。	
-	┃━━━━━━━┃ <u>利用規約</u> ┏┃ <u>ブライバシーポリシー</u> ┏┃ <u>ヘルブ</u> ┏	<b>*</b>

①  配信されるメッセー 配信されるメッセージの一覧が表示されます。	
ジ タイトル/スケジュール/次回配信予定を確認できます	- o
② メッセージボックス 過去に配信したメッセージの一覧が表示されます。	

# 2.3.11.1 メッセージ編集画面を開く

メッセージ編集画面を開きます。メニュータブからメッセージ通知をクリックした時と同様の動作です。

ただし、メッセージ編集画面が開かれた時点で、クリックしたメッセージが選択された状態となります。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. その他タブよりメッセージをクリックします。
- 3. 対象とするメッセージのタイトルをクリックします。

機器の登録時に設定された Wi-Fi 設定情報および、Exchange 設定情報を確認することができます。デバイスマネジメントパック版のみの機能となります。当画面では設定情報の確認のみが可能です。



項番	対象	説明
1	Wi-Fi 設定	登録されている Wi-Fi 設定を表示します。設定は固定で 2 つ表示します。 当画面で表示する内容は、設定セットで提供している Wi-Fi(276 ページ)とは関 係ありません。
2	Exchange 設定	登録されている Exchange 設定を表示します。設定は固定で2つ表示します。 当画面で表示する内容は、機器画面で提供している Exchange 設定(78ページ) および、Apple Configuratorの Exchange ActiveSync 設定とは関係ありません。な お、Exchange 設定は認証待ち機器または iOS 機器の場合のみ表示されます。

# 2.3.12.1 個別キッティング画面を開く

個別キッティング画面を開きます。

機器一覧より対象とする機器をクリックします。
 認証待ち機器の場合は、個別キッティングタブをクリックします。
 認証済み機器の場合は、その他タブより個別キッティングをクリックします。

機器にインストールされているプロファイル情報の確認が行えます。

#### 【注意事項】

◆デバイスマネジメントパック版では、Mac 機器のプロファイル情報の確認は行えません。



項番	対象	説明
1	構成プロファイル	インストールされている構成プロファイルが表示されます。本製品からインストー ルしたプロファイルは[管理]列にチェックマークが表示されます。
		※OS の仕様により、チェックマークが表示されるタイミングは、 プロファイルが一覧に表示されるタイミングより若干遅れます。
2	プロビジョニング	インストールされているプロビジョニングプロファイルが表示されます。
	プロファイル	※Mac 機器のプロビジョニングプロファイルは表示されません。
		※iOS8.0 以降の端末では、プロビジョニングプロファイルは Apple Configurator か
		らは削除できません。
3	証明書	インストールされている証明書が表示されます。

## 2.3.13.1 構成プロファイルおよびプロビジョニングプロファイルの詳細を確認する

識別子や暗号化の有無を確認することが可能です。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. プロファイルタブをクリックします。
- 3. 対象とするプロファイルの[詳細]をクリックします。

管理サイト上から、機器に対してリモート操作を行うことができます。実行可能な操作は OS により異なります。

【注意事項】

- ◆各種操作が機器に反映されるまでの時間は、サーバーの負荷状態や通信状態に依存します。
- 【参考ページ】

◇当画面では単一の機器を対象としています。複数の機器に一括操作を行う場合はこちら⇒一括機器設定 151 ページ

【Android 機器の場合】



※Android のリモート操作画面は、機器にインストールされているエージェントのバージョンが 5.7.0.5(1.8.7)以上の場合のみ

表示されます。

項番	対象	説明
1	リモートロック	リモートロックのロックメッセージ入力欄および実行ボタンが表示されます。
2	ロック解除	リモートロックを解除します。
3	リモートワイプ	機器の初期化を行います。
4	スクリーンロックパス	Android 標準の画面ロック機能のパスワードを設定します。
	ワード設定	

## 2.3.14.1 リモートロックを行う(Android 機器)

本製品独自のロック画面を表示します。合わせて端末のリモートロック画面に表示させるメッセージおよび鳴動の有無を設 定可能です。

※設定セットを利用することでも実現可能です。設定セットと当画面からの指示が競合した場合は後者が優先されます。 ⇒リモートロックの設定セットを新規作成する 244 ページ

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。

- 2. その他タブよりリモート操作をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、リモートロックの[実行]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【ロックメッセージ】

端末のリモートロック設定時に端末に表示させるメッセージを設定します。

#### 【ロック時の警告音】

リモートロックした端末から警告音を鳴らすことが可能です。なお、警告音には端末で設定されている通知音を利用しており、鳴動時は最大音量となります。鳴動を止めるには、管理サイトより鳴動しないの設定を行うか、端末側でロック解除を行う必要があります。本機能は Android4.0 以降に対応しています。

鳴動する:リモートロックした端末を鳴動させます。リモートロック画面が表示されている間は鳴動が続きます。 なお、イヤホン利用時の動作は機種によって異なります。また、ハードウェアスイッチによりサイレントモ ードになっている端末は鳴動しませんのでご注意ください。

鳴動しない:リモートロックした端末を鳴動させません。

【解除コードによるロック解除】

許可する: Zone Management で適用されたリモートロックを解除コードで解除することが可能です。

許可しない: Zone Management で適用されたリモートロックは解除コードで解除できません。

※「解除コードを許可しない」は、対象機器の Android エージェントバージョンが 7.3.100.0 以降の場合のみに有効です。

#### 2.3.14.2 ロック解除を行う(Android 機器)

リモートロックを解除します。設定セットを利用して行ったリモートロック(243ページ)や、エージェント共通管理による リモートロック(203ページ)も解除可能です。

※設定セットを利用することでも実現可能です。設定セットと当画面からの指示が競合した場合は後者が優先されます。 ⇒リモートロックの設定セットを新規作成する 244 ページ

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. その他タブよりリモート操作をクリックします。
- 3. ロック解除の[実行]をクリックします。

4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 2.3.14.3 リモートワイプを行う(Android 機器)

機器の初期化を行います。ご利用には細心の注意を払ってください。

※設定セットを利用することでも実現可能です。設定セットと当画面からの指示が競合した場合は後者が優先されます。 ⇒リモートワイプの設定セットを新規作成する 248 ページ

※リモートワイプは、「実行」をクリックし、確認画面で「OK」をクリックすることで、次回同期時(手動同期含む)に機器 の初期化を行います。ご利用には細心の注意を払ってください。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. その他タブよりリモート操作をクリックします。
- リモートワイプの注意事項をお読みいただき、同意を示すチェックボックスをチェックします。
   同意いただけない場合は、[実行]をクリックすることができません。
- 4. 端末に挿入されている SD カードを初期化対象に含める場合は SD カード初期化チェックボックスを チェックします。
- 5. リモートワイプの[実行]をクリックします。
- 6. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 2.3.14.4 スクリーンロックパスワード変更設定を行う(Android 機器)

Android標準の画面ロック機能のパスワードを設定します。新規パスワードを入力せずに実行した場合はロック機能自体の解除となります。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. その他タブよりリモート操作をクリックします。
- 3. 新規パスワードを入力します。
- 4. スクリーンロックパスワード設定の[実行]をクリックします。

### 2.3.14.5 リモート操作の入力値(Android 機器)

リモート操作(Android 機器)では下記入力ルールで設定を行います。

操作名	項目名	ルール
リモートロック		200 文字以内で入力してください。
	【ロックメッセージ】	制御文字の入力はできません。
		※空白類(タブ、改行等)は入力できます。
【ロック		下記より選択。
	【ロック時の警告音】	・鳴動する
		・鳴動しない

リモートワイプ	【SD カードを初期化 する】	チェックを入れる。入れない。
	【同意する】	チェックを入れる。入れない。
スクリーンロックパス	【新担パフロード】	16 文字以内で入力してください。
ワード変更	【新焼ハスリート】	半角英数字、記号のみ入力できます。
	【新規パスワード(再入	16 文字以内で入力してください。
	力)】	半角英数字、記号のみ入力できます。

# 【iOS 機器の場合】



※iOS に対しては、機器が長時間オフラインになっているなど、リモート操作を指示出来ない状態が一定時間続くと、リモート操作指示が実行されずに消滅してしまう場合があります。(無効になる期間は Apple 社のポリシーにより公開されていません)

項番	対象	説明
1	リモートロック	リモートロックの実行ボタンが表示されます。
2	リモートワイプ	機器の初期化を行います。
3	機器の管理領域のデー	機器の管理領域のデータのみ削除されます。
	タを削除	
4	パスコード削除	パスコードを削除します。

# 2.3.14.6 リモートロックを行う(iOS 機器)

OS標準のロック画面を表示します。ロックから復帰する際にパスコードの入力を求められるかどうかは、機器の設定に依存 します。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。

- 2. その他タブよりリモート操作をクリックします。
- 3. リモートロックの[実行]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

※iPhone/iPad 端末にパスコードが設定されていない場合、デフォルトのロック解除画面のみが表示されます。このため、

「ロックメッセージ」「電話番号」で設定された連絡情報をユーザーが確認することはできません。リモートロックを行う前

に、「機器」画面の「機器」タブ(33ページ)の「スクリーンロック」項目の「パスコード保護」が有効になっていることを必ず確認してください。

## 2.3.14.7 リモートワイプを行う(iOS 機器)

機器の初期化を行います。ご利用には細心の注意を払ってください。

※リモートワイプは、「実行」をクリックし、確認画面で「OK」をクリックすることで、次回同期時(手動同期含む)に機器 の初期化を行います。ご利用には細心の注意を払ってください。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. その他タブよりリモート操作をクリックします。
- リモートワイプの注意事項をお読みいただき、同意を示すチェックボックスをチェックします。
   同意いただけない場合は、[実行]をクリックすることができません。
- 4. リモートワイプの[実行]をクリックします。
- 5. 確認画面で[OK]をクリックします。

#### 2.3.14.8 機器の管理領域のデータを削除する(iOS 機器)

機器の管理領域のデータのみ削除されます。この操作により、本製品からインストールされた削除防止が適用されていない プロファイル(「構成プロファイル」305ページ参照)および、管理対象アプリ(「アプリケーション配信」350ページ参照)が削除 されます。実行後は機器が本製品の管理外となり、操作を取り消すことはできません。ご利用には細心の注意を払ってくだ さい。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. その他タブよりリモート操作をクリックします。
- リモートワイプの注意事項をお読みいただき、同意を示すチェックボックスをチェックします。
   同意いただけない場合は、[実行]をクリックすることができません。
- 4. リモートワイプ(管理領域)の[実行]をクリックします。
- 5. 確認画面で[OK]をクリックします。

#### 2.3.14.9 パスコード削除を行う(iOS 機器)

iOS 標準のロック画面から復帰する際にパスコードが設定されている場合、これを削除します。当機能を利用すると、機器のパスコードロック設定がオフに変更されます。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. その他タブよりリモート操作をクリックします。
- パスコード削除の注意事項をお読みいただき、同意を示すチェックボックスをチェックします。
   同意いただけない場合は、[実行]をクリックすることができません。
- 4. パスコード削除の[実行]をクリックします。
- 5. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 2.3.14.10 リモート操作の入力値(iOS 機器)

リモート操作(iOS 機器)では下記入力ルールで設定を行います。

操作名	項目名	ルール	
リモートロック		200 文字以内で入力してください。	
	【ロックメッセージ】	制御文字の入力はできません。	
		※空白類(タブ、改行等)は入力できます。	
	【電話番号】	20 文字以内で入力してください。	
		半角数字、「-」、「+」、「*」、「,」のみ入力できます。	
		※ロックスクリーンに表示する電話番号です。	
リモートワイプ	【同意する】	チェックを入れる。入れない。	
リモートワイプ(管理	【日音する】		
領域)	【旧息りる】	- テェックを入れる。 入れはない。 	
パスコード削除	【同意する】	チェックを入れる。入れない。	
# 【Mac 機器の場合】



※Mac OS でのリモートワイプでは、ワイプ後の再起動後にユーザーからのパスコードの入力が必要です。パスコードの設 定については 360 ページ Mac OS の「エージェント共通管理」を参照してください。

※デバイスマネジメントパック版では、本機能をご利用いただけません。

項番	対象	説明
1	リモートロック	リモートロックの実行ボタンが表示されます。
2	リモートワイプ	機器の初期化を行います。

# 2.3.14.11 リモートロックを行う(Mac 機器)

ロック画面を表示します。解除コードの入力後に Mac 本体のログイン画面に移行します。ログイン画面でパスコードの入力 を求められるかどうかは、機器の設定に依存します。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. リモート操作タブをクリックします。
- 3. リモートロックの[実行]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 2.3.14.12 リモートワイプを行う(Mac 機器)

機器の初期化を行います。ご利用には細心の注意を払ってください。初期化後は Mac 機器の画面指示に従って、初期設定を

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. リモート操作タブをクリックします。
- リモートワイプの注意事項をお読みいただき、同意を示すチェックボックスをチェックします。
   同意いただけない場合は、[実行]をクリックすることができません。
- 4. リモートワイプの[実行]をクリックします。
- 5. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 2.3.14.13 リモート操作の入力値(Mac 機器)

リモート操作(Mac 機器)では下記入力ルールで設定を行います。

操作名	項目名	ルール
リモートワイプ	【同意する】	チェックを入れる。入れない。

### 【Windows 機器の場合】

※バージョン7.2.100.0 以前のWindows エージェントではリモートロックを行うことはできません。以前のバージョンでは
 Windows 標準のロック画面のみが表示され、管理サイトの「機器」画面の「リモートロック」欄に対応していません(リモー
 トロック状態が正しく表示されません)。

※デバイスマネジメントパック版では、本機能をご利用いただけません。

② ■ ■ ■ - 機器 - Windows Internet Explorer	×
🚱 🔾 💌 📓 🕹 🕹 🕹 🖓 🕹 🖓 Google	<del>ب</del> م
☆ お気に入り     ・ 機器     ・・      ・     ・     ・      ・     ・       ・      ・      ・        ・       ・       ・	
(企業名)     管理       トップ     マップ       検索・総空ク	着としてログイン中 ログアウト
12×10.0623-10 昇順:機器名 Windows機器1	リスト表示 🖝
■ Windows 2012/10/29 16:01:03 & 管理 □ 機器 X アブリ ◎ セキュリティ ■リモート操作 ◎ 設定	操作 ▼
	✔ 実行
ロック解除	✔ 実行
ー 	

項番	対象	説明
1	リモートロック	リモートロックの実行ボタンが表示されます。
2	ロック解除	ロック画面を解除します。
3	リモートワイプ	Windows 機器のリモートワイプ(初期化)を行います。

# 2.3.14.14 リモートロックを行う(Windows 機器)

ロック画面を表示します。ロックから復帰する際にパスワードの入力を求められるかどうかは、機器の設定に依存します。

1.	機器一覧より対象とする機器をクリックします。
2.	リモート操作をクリックします。
З.	ロック画面に表示するロックメッセージを入力します。
4.	リモートロックの[実行]をクリックします。
5.	確認画面で[OK]をクリックします。

# 2.3.14.15 ロック解除(Windows 機器)

ロック画面を解除します。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. リモート操作をクリックします。
- 3. ロック解除の[実行]をクリックします。

※ロック解除が反映されるまで時間がかかる場合があります。

# 2.3.14.16 リモートワイプを行う(Windows 機器)

Windows 機器のリモートワイプ(初期化)を行います。Windows 機器に対してリモートワイプを行うには、2 つの方法があります。

項番	対象	説明
1	BitLocker	暗号化(418 ページ)済みドライブの回復キー以外の暗号化キーを削除することで、 リモートワイプに相当する機能を提供します。回復キーを入力しないと、ドライブの データにはアクセスすることができません。ご利用には細心の注意を払ってください。 復元手段に関しては Windows の BitLocker 機能のヘルプをご参照ください。 ※暗号化(418 ページ)が有効化されている Windows7 以降の機器にのみ対応してい ます。
2	データ削除	ファイルの削除とドライブのフォーマットによりリモートワイプを行います。データ 削除が実行されるため、O Sが起動しなくなります。があります。ご利用には細心の 注意を払ってください。

※データ削除によるリモートワイプ後も、復元技術により第三者にデータが閲覧されてしまう可能性があります。

※TPM 対応端末の暗号化キーを削除した場合、回復キーを入力しても端末が起動しなくなる恐れがあります。

※ドライブのフォーマットは、ドライブ文字・ボリュームラベルを持つドライブが対象となります。キャッシュ用途のドライブや、メー

カーが設置したリカバリーディスク領域もドライブ文字・ボリュームラベルが割り当てられている場合は削除される可能性があります。

この場合、フォーマット後も PC 機器が再利用できなくなるおそれがありますので、ご注意ください。

※アプリケーションの実行中にリモートワイプ(データ削除)が発生した場合、実行中のアプリケーションにより開かれているファイルや アプリケーションの実行ファイルが削除されずに残ってしまう可能性があります。また、これらのファイルやフォルダーが含まれるフ ォルダー構造も削除されない可能性があります。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. その他タブよりリモート操作をクリックします。
- 3. 「BitLocker」か「データ削除」のいずれかを選択します。
- リモートワイプの注意事項をお読みいただき、同意を示すチェックボックスをチェックします。
   同意いただけない場合は、[実行]をクリックすることができません。
- 5. リモートワイプの[実行]をクリックします。
- 6. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 2.3.14.17 リモート操作の入力値(Windows 機器)

リモート操作(Windows 機器)では下記入力ルールで設定を行います。

操作名	項目名	ルール
リモートロック		200 文字以内で入力してください。
	【ロックメッセージ】	制御文字の入力はできません。
		※空白類(タブ、改行等)は入力できます。
リモートワイプ		下記より選択。
		• BitLocker
		・データ削除

Microsoft Exchange をご利用されるお客様向けに、Exchange ActiveSync の設定画面をご提供しております。当画面で行う 設定は、Apple Configurator の[Exchange ActiveSync]で行う設定と同様です。単一の機器に Exchange 設定を行う場合はどち らの方法もご利用いただけますが、複数の機器に一括して Exchange 設定を行う場合は後者の方法に限定されます。

【注意事項】

- ◆Apple Configurator の詳細については Apple 社にお問い合わせください。
- ◆Microsoft Exchange および、Exchange ActiveSync の詳細については Microsoft 社にお問い合わせください。
- ◆当画面で設定を行う場合は事前に証明書の登録が必要となります。証明書の登録については以下を参照してください。
  - ⇒証明書管理 175 ページ
  - ⇒証明書一括アップロード 179 ページ
- ◆各種設定は次回の同期時に機器へ反映されます。お急ぎの場合は手動で同期を行ってください。

後部 - 機器 - Windows Internet Explorer	- • ×
G () ▼         Image: Second sec	• م
☆ お気に入り - 機器	
【企業名】 管理	緒としてログイン中
トップ マップ 機器 メニュー	ログアウト
検索: 機器名    昇順: 機器名	リスト表示 😝
▶ iPad機器1 [aa:bb:cc:01:dd:02] iPad (4.3.5)	ゆ 同期
Android機器1 [09012345678] ^ 🗸	
2012/01/30 14:15:38 2012/01/30 14:15:38 20 空マブリー 藤 ブロファイル 一子の他 🔹	操作▼
□ □ □ iPad機器1 [aa:bb:cc:01:dd:02]	
2012/01/30 14:22:39	
(設定なし)	
▶ 新規作成 2	
v	

項番	対象	説明
1	設定内容	現在の設定内容が表示されます。
2	[新規作成]	設定を新規作成します。既に設定がされている場合は、[編集]および[削除]が表示さ れます。

# 2.3.15.1 Exchange ActiveSync 設定を新規作成する

Exchange ActiveSync 設定を新規作成します。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. その他タブより Exchange 設定をクリックします。
- 3. [新規作成]をクリックします。
- 4. 各種設定値を入力します。
- 5. [保存]をクリックします。

※設定値に入力する内容については、Exchangeの管理者へお問い合わせください。

### 2.3.15.2 Exchange ActiveSync 設定を編集する

機器に設定されている Exchange ActiveSync 設定を編集します。入力項目については新規作成時と同様です。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. その他タブより Exchange 設定をクリックします。
- 3. [編集]をクリックします。
- 4. 各種設定値を入力します。
- 5. [保存]をクリックします。

# 2.3.15.3 Exchange ActiveSync 設定を削除する

機器に設定されている Exchange ActiveSync 設定を削除します。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. その他タブより Exchange 設定をクリックします。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 2.3.16 VPN 設定(iOS 機器のみ)

VPN をご利用されるお客様向けに設定画面をご提供しております。当画面で行う設定は、Apple Configuratorの[VPN]で行う 設定とほぼ同様(\*1)ですが、接続タイプは L2TP/PPTP/IPSec (Cisco) / Cisco AnyConnect / Juniper SSL (Junos Pulse) / カ スタム SSL のみ対応となります。

(\*1) 接続タイプ: IPSec(Cisco)を設定する際の「オンデマンド VPN を有効にする」には対応していません。

【注意事項】

- ◆Apple Configurator の詳細については Apple 社にお問い合わせください。
- ◆接続タイプ「カスタム SSL」では、機器へのプロファイルのインストールが失敗します。
- ◆当画面で設定を行う場合は事前に証明書の登録が必要となります。証明書の登録については以下を参照してください。
   ⇒クライアント証明書管理 176 ページ
  - ⇒クライアント証明書一括アップロード 179 ページ
- ◆各種設定は次回の同期時に機器へ反映されます。お急ぎの場合は手動で同期を行ってください。

🝘 🔐 - 機器 - Windows Internet Explorer	- • ×
GO         ▼         Image: Second se	<del>ب</del> م
🔆 お気に入り 🖉 - 機器	
【企業名】	管理者としてログイン中
トップ マップ 機器 メニュー	ログアウト
検索:機器名	リスト表示 🛹
	A
│	ゆ 同期
2012/01/30 14:15:38	
iPad機器1 [aa:bb:cc:01:dd:02]	操作 🔻
2012/01/30 14:22:39	
▲ 新規作成	
-	
	-

項番	対象	前的
1	VPN 設定情報	選択した機器に対する VPN 設定が表示されます。

# 2.3.16.1 VPN 設定を新規作成する

VPN 設定を新規作成します。

1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。

2. その他タブより VPN 設定をクリックします。

3. [新規作成]をクリックします。

- 4. 各種設定値を入力します。
- 5. [保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【VPN ホスト】

VPN ホストを指定します。

【接続タイプ】

接続タイプを指定します。L2TP/PPTP/IPSec (Cisco)/ Cisco AnyConnect / Juniper SSL (Junos Pulse) / カスタム SSL から選択します。以降の入力項目は接続タイプごとに異なります。

#### 【詳細設定】

設定項目に応じ、以下の詳細設定を行います。

設定項目		説明
	ユーザー認証方法	以下から選択します。
		・パスワード
		•RSA SecurID
		所属ユーザーの情報を利用するか指定します。
	ユーザー情報	メールアドレス、ユーザーID など管理サイトのユーザー画面(122 ページ)の一部の情
		報を利用できます。
	ユーザーアカウント	ユーザーアカウントを入力します。
	ユーザーパスワード	ユーザー認証方法がパスワードの場合のみ入力が必要です。
		ユーザーパスワードを入力します。
	共有シークレット	共有シークレットを入力します。
	接続設定	すべてのネットワークトラフィックを VPN 経由で送信する場合はチェックします。
	プロキシ設定 プロキシサーバー	以下から選択します。
		・なし
		・手動
		・自動
	ホスト及びプロキシ	ノロイン設たバナ判の場合ののヘカが必安です。ノロインリーハー小人F及びノロ     +シュー・バーポート モロナス カレナナ
	サーバーポート番号	インリーハーハート街方を八川しまり。 

	_	
	プロキシ接続ユーザ 	プロキシ設定が手動の場合のみ入力が必要です。プロキシ接続ユーザー名を入力し 
	一名	ます。
	プロキシ接続	プロキシ設定が手動の場合のみ入力が必要です。プロキシ接続パスワードを入力し
	パスワード	ます。
	プロキシ設定取得	プロキシ設定が自動の場合のみ入力が必要です。プロキシ設定取得 URL を入力しま
	URL	す。
		以下から選択します。
	ユーザー認証方法	・パスワード
		•RSA SecurID
		所属ユーザーの情報を利用するか指定します。
	ユーザー情報	メールアドレス、ユーザーID など管理サイトのユーザー画面(122 ページ)の一部の情
		報を利用できます。
	ユーザーアカウント	ユーザーアカウントを入力します。
		ユーザー認証方法がパスワードの場合のみ入力が必要です。
	ユーザーパスワード 	   ユーザーパスワードを入力します。
		していたので、「「「」」の「「」」、「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「
		  ・なし
	暗号化レベル	│
		•最大(128bit)
PPTP		
		以下から選択します。
	プロキシ設定	• なし
		· 手動
		· 自動
	 プロキシサーバー	
	ホスト及びプロキシ	プロキシ設定が手動の場合のみ入力が必要です。プロキシサーバーホスト及びプロ
	サーバーポート番号	キシサーバーポート番号を入力します。
	プロキシ接続	
	ユーザー名	
	プロキシ接続	
	パスワード	
		」 プロキシ設定が自動の場合のみ入力が必要です。プロキシ設定取得 URL を入力しま
	ユーザーアカウント	ン コーザーアカウントを入力します。
		「「「「」」、「」、「」、「」、」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「
	っ ぜ 悟報	
IPSec (Cisco)	ューザーパフロード	
	コンピュ … 夕詞証	以下から選択します。
	コンピュータ認証	以下から選択します。 •証明書

		コンピューター認証が証明書の場合のみ入力が必要です。	
	固有名証明書	クライアント証明書管理(176 ページ)またはクライアント証明書一括アップロード(179	
		ページ)で登録した証明書から選択します。	
		(Per app VPN 使用時のエイリアスとして「機器に設定されているクライアント証明書」	
		を指定できます)	
		コンピューター認証が証明書の場合のみ設定が必要です。	
	証明書設定	選択した固有証明書がパスワードで保護されている場合はチェックします。	
	₩ <b></b> 2 <b>/</b> 7	コンピューター認証が共有シークレット/グループ名の場合のみ入力が必要です。	
	クルーノ名	グループ名を入力します。	
		コンピューター認証が共有シークレット/グループ名の場合のみ入力が必要です。	
	共有シークレット	共有シークレットを入力します。	
		コンピューター認証が共有シークレット/グループ名の場合のみ設定が必要です。	
	=╗=┰=Ⴠ┷	以下から選択します。複数指定可能です。	
	認証設定	・ハイブリッド認証を使用する	
		・パスワードの入力を要求する	
		以下から選択します。	
	プロナン訳中	・なし	
	ノロキジ設定	・手動	
		•自動	
	プロキシサーバー	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	
	ホスト及びプロキシ	フロインが十動の場合のみ入力が必要です。フロインサーバーホスト及びフロイン	
	サーバーポート番号	ッーハーハード曲方を八刀します。	
	プロキシ接続ユーザ	プロキシが手動の場合のみ入力が必要です。プロキシ接続ユーザー名を入力しま	
	一名	す。	
	プロキシ接続パスワ ード	プロキシが手動の場合のみ入力が必要です。プロキシ接続パスワードを入力します。	
	プロキシ設定取得	プロキシ設定が自動の場合のみ入力が必要です。プロキシ設定取得 URL を入力しま	
	URL	す。	
		以下から選択します。	
		・パスワード	
	ユーサー認証方法	• 証明書	
		・パスワード+証明書	
	ユーザー情報	所属ユーザーの情報を利用するか指定します。	
		ユーザーアカウントを入力します。Per app VPN 使用時のエイリアスとしてユ	
Cisco AnyConnect	ユーサーアカワント 	ーザーID、メールアドレスも記入可能です。	
	ユーザーパスワード	ユーザーパスワードを入力します。	
		コンピューター認証が共有シークレット/グループ名の場合のみ入力が必要で	
	シルーノ名	す。グループ名を入力します。	
	コンピュータ認証	以下から選択します。	
		・パスワード	
		• 証明書	

		以下から選択します。
	プロキシ設定	・なし
		<ul> <li>・手動</li> </ul>
		・自動
	プロキシサーバーホ	
	ストおよびプロキシ	クロインが手動の場合ののヘガが必要です。 クロインサーバーホスト のよび クロインサーバーポート 天日 たいしょす
	サーバーポート番号	ロインリーハート世方を入力します。
	プロキシ接続ユーザ	プロキシが手動の場合のみ入力が必要です。プロキシ接続ユーザー名を入力し
	一名	ます。
	プロキシ接続パスワ	プロキシが手動の場合のみ入力が必要です。プロキシ接続パスワードを入力し
	<b>-</b> ド	ます。
	プロキシ設定取得	プロキシ設定が自動の場合のみ入力が必要です。プロキシ設定取得 URL を入力
	URL	します。
	備考	AppStore ID などの備考を入力。
		以下から選択します。
	っ	・パスワード
	ユーリー認証ガム	・証明書
		・パスワード+証明書
	ユーザー情報	所属ユーザーの情報を利用するか指定します。
	ューザーマカウント	ユーザーアカウントを入力します。Per app VPN 使用時のエイリアスとしてユ
		ーザーID、メールアドレスも記入可能です。
	ユーザーパスワード	ユーザーパスワードを入力します。
	役割	Juniper SSL で設定した役割を入力します。
	保護領域	保護を入力します。
Juniper SSL (Junos Pulse)		以下から選択します。
	プロキシ設定	・なし
		・手動
		・自動
	プロキシサーバーホ	プロキシが手動の場合のみ入力が必要です。プロキシサーバーホストおとびプ
	ストおよびプロキシ	
	サーバーポート番号	
	プロキシ接続ユーザ	プロキシが手動の場合のみ入力が必要です。プロキシ接続ユーザー名を入力し
	一名	ます。
	プロキシ接続パスワ	プロキシが手動の場合のみ入力が必要です。プロキシ接続パスワードを入力し
	- K	ます。
	プロキシ設定取得	プロキシ設定が自動の場合のみ入力が必要です。プロキシ設定取得 URL を入力
	URL	します。
	備考	AppStore ID などの備考を入力。
		以下から選択します。
カスタム SSL	ユーザー認証方法	・パスワード
		・証明書

	ユーザー情報	所属ユーザーの情報を利用するか指定します。
	ユーザーアカウント	ユーザーアカウントを入力します。Per app VPN 使用時のエイリアスとしてユ
		ーザーID、メールアドレスも記入可能です。
	ユーザーパスワード	ユーザーパスワードを入力します。
	識別子	識別子を入力します。
	カスタムデータ	キーと値の組み合わせで入力します。
		以下から選択します。
	プロナン訳中	・なし
	ノロキシ設定	<ul> <li>・手動</li> </ul>
		・ 自動
	プロキシサーバーホ	   コロキンが毛動の提合のなるもが必要です。コロキンサーバーキストなどがプ
	ストおよびプロキシ	
	サーバーポート番号	ロインリーハート世号を入力します。
	プロキシ接続ユーザ	プロキシが手動の場合のみ入力が必要です。プロキシ接続ユーザー名を入力し
	一名	ます。
	プロキシ接続パスワ	プロキシが手動の場合のみ入力が必要です。プロキシ接続パスワードを入力し
	- <b>ド</b>	ます。
	プロキシ設定取得	プロキシ設定が自動の場合のみ入力が必要です。プロキシ設定取得 URL を入力
	URL	します。
	備考	AppStore ID などの備考を入力。

# 2.3.16.2 VPN 設定を編集する

機器に設定されている VPN 設定を編集します。入力項目については新規作成時と同様です。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. その他タブより VPN 設定をクリックします。
- 3. [編集]をクリックします。
- 4. 各種設定値を入力します。
- 5. [保存]をクリックします。

# 2.3.16.3 VPN 設定を削除する

機器に設定されている VPN 設定を削除します。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. その他タブより VPN 設定をクリックします。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

VPN 設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール		
	入力必須です。		
項目名         ルール           [VPN ホスト]         入か必須です。 255 文字以内マ入力してください。 半角英数学、記号のみ入力できます。           [接続タイプ]         ・255 文字以内マ入力してください。 半角英数学、記号のみ入力できます。           [ユーザーの記五方法]         ・121P ・PPTP ・IPSec (Cisco)           [ユーザーの記五方法]         ・バスワード ・RSA SecurID           [ユーザーアカウント]         ど55 文字以内マ入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。           [ユーザーパスワード]         255 文字以内マ入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。           [ユーザーパスワード]         255 文字以内マ入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。           [エーザーパスワード]         255 文字以内マ入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。           [オーナ・パスワード]         255 文字以内マ入力してください。 半角支数字、記号のみ入力できます。           [ブロキシ投定]         金でのネットワークトラフィ ックをVPN接続組也ご返信す ろ           ブロキシ投空/マーパーボート ろ         デビックを入れる。入れない。           ブロキシ設定で手物を選択した場合、入力必須です。 プロキシサーバーー:         255 文字以内マ入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。           【プロキシ接続ユーザー名]         255 文字以内マ入力してください。 半角支数字、記号のみ入力できます。           [プロキシ投続/ペスワード]         255 文字以内マ入力してください。 半角支数字、記号のみ入力できます。           [プロキシ投続/ペスワード]         255 文字以内マ入力してください。 半角支数字、記号のみ入力できます。           [プロキシ投影/ペロー         255 文字以内マ入力してください。 半角支数字、記号のみ入力できます。           [プロキシ投影/WIRL]           255 文字以内マ入力してください。 半角支数字、記号のみ入力できます。           255 文字以内マ入力してください。 半角支数字、記号のみ入力できます。			
	半角英数字、記号のみ入力できます。		
	下記より選択		
	• L2TP		
【接続ダイノ】	• РРТР		
	IPSec (Cisco)		
	下記より選択		
【ユーザー認証方法】	・パスワード		
	RSA SecurID		
	255 文字以内で入力してください。		
	半角英数字、記号のみ入力できます。		
	255 文字以内で入力してください。		
【ユーザーパスワード】       255 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。         【共有シークレット】       255 文字以内で入力してください。 半角英数字、記号のみ入力できます。         【技続設定】       全てのネットワークトラフィ ックを VPN 接続経由で送信す	半角英数字、記号のみ入力できます。		
半角英数字、記号のみ入力できます。       255 文字以内で入力してください。	255 文字以内で入力してください。		
【共有シークレット】	レール 入力必須です。 55 文字以内で入力してください。 半角美数字、記号のみ入力できます。 下記より選択 ・ L2TP ・ PPTP ・ IPSec (Clsco) 下記より選択 ・ パスワード ・ RSA SecurID 55 文字以内で入力してください。 半角美数字、記号のみ入力できます。 55 文字以内で入力してください。 半角美数字、記号のみ入力できます。 55 文字以内で入力してください。 半角美数字、記号のみ入力できます。 55 文字以内で入力してください。 半角美数字、記号のみ入力できます。 55 文字以内で入力してください。 半角美数字、記号のみ入力できます。 55 文字以内で入力してください。 半角数字、記号のみ入力できます。 ・ なし ・ 手動 ・ 自動 プロキン設定で手動を選択した場合、入力必須です。 プロキン設定で手動を選択した場合、入力必須です。 プロキン設定で手動を選択した場合、入力必須です。 プロキン設定で手動を選択した場合、人力必須です。 プロキン設定で手動を選択した場合、人力必須です。 パート番号: 半角数字、記号のみ入力できます。 55 文字以内で入力してください。 半角美数字、記号のみ入力できます。 55 文字以内で入力してください。 55 文字以内で入力してください。 55 文字以内で入力してください。 半角美数字、記号のみ入力できます。 55 文字以内で入力してください。 半角美数字、記号のみ入力できます。 55 文字以内で入力してください。 半角美数字、記号のみ入力できます。 55 文字以内で入力してください。 半角美数字、記号のみ入力できます。 55 文字以内で入力してください。 半角美数字、記号のみ入力できます。 55 文字以内で入力してください。 半角美数字、記号のみ入力できます。 55 文字以内で入力してください。 半角美数字、記号のみ入力できます。		
	全てのネットワークトラフィ		
【接続設定】	ックを VPN 接続経由で送信す チェックを入れる。入れない。		
	る		
	下記より選択		
	・なし		
【プロキシ設定】	<ul> <li>・手動</li> </ul>		
	・自動		
	プロキシサーバー:		
【プロキシサーバーホスト	255 文字以内で入力してください。		
及びプロキシサーバーポート	半角英数字、記号のみ入力できます。		
番号】	ポート番号:		
	半角数字のみ入力できます。		
	0 以上 65535 以下を指定してください。		
	255 文字以内で入力してください。		
【ブロキシ接続ユーザー名】 	半角英数字、記号のみ入力できます。		
	255 文字以内で入力してください。		
【フロキン接続ハスリート】	半角英数字、記号のみ入力できます。		
	255 文字以内で入力してください。		
【フロキン設定取得 URL】	半角英数字、記号のみ入力できます。		
【暗号化レベル】	下記より選択		

	・なし		
	・自動		
	・最大 (128bit)		
	下記より選択		
【コンピュータ認証】	<ul> <li>・証明書</li> </ul>		
	・共有シークレット/グループ名		
【田右夕証明書】	コンピューター認証で証明書を選択した場合、必ず選択してください。		
【四有石証明音】	プルダウンメニューから登録済みの証明書を選択します。		
【証明書設定】	ユーザーPIN を含む	チェックを入れる。入れない。	
【ガリープタ】	255 文字以内で入力してください。		
	半角英数字、記号のみ入力できます。		
	下記より選択(複数選択可)		
【認証設定】	・ハイブリッド認証を使用する		
	・パスワードの入力を要求する		

# 2.3.17 個別構成プロファイル(iOS 機器のみ)

構成プロファイルとは、Apple 社が提供している Apple Configurator 上で作成することができるプロファイルで、 iPhone/iPad に対する制御や設定を行うことができます。本製品では、Apple Configurator 上で構成プロファイルを作成し、 管理サイトにアップロードしていただき、iPhone/iPad にインストールしていただくことで、iPhone/iPad の制御や設定を行 います。個別構成プロファイルは多数の機器に適用することを想定してアップロード上限数は設けておりませんが、単一の 機器を対象とした操作しか行えません。多数の機器に共通する設定は構成プロファイルを利用してください。

【注意事項】

◆Apple Configurator および構成プロファイルの詳細については Apple 社にお問い合わせください。

【参考ページ】

◇当画面では単一の機器を対象としています。複数の機器に一括操作を行う場合は以下を参照してください。

⇒構成プロファイル 305ページ

⇒構成プロファイルアップロード 310ページ

⇒-括機器設定 151 ページ

🖉 💶 - 機器 - Windows Internet Explorer	
	Google 🔎 🔻
☆ お気に入り     ろう - 機器	
【企業名】	管理者としてログイン中
トップ マップ 機器 メニュー	ログアウト
検索:機器名   昇順:機器名	リスト表示 😝
<ul> <li>א מ</li> </ul>	A
- 📄 🥎 Android機器1 [09012345678] 🔺 💭 iPad機器1 [aa:bb:cc:01:dd:02] iPad (	4.3.5) ゆ 同期
2012/01/30 14:15:38	
iPad機器1 [aa:bb:cc:01:dd:02] 🛛 🔉 管理 🖵 機器 🗶 アプリ 式 プロファイル	その他 ▼ 操作 ▼
(設定なし)	
▲ 新規作成	
	20

項番	対象	説明
1	個別構成プロファイル	個別構成プロファイルの適用状況が表示されます。
	適用状況	「(設定なし)」、「1 個のペイロード」など。
2	[新規作成]	個別構成プロファイルを新規作成します。既に個別構成プロファイルが適用されて
		いる場合は、[編集]、[削除]、[ダウンロード]が表示されます。

### 2.3.17.1 個別構成プロファイルを新規作成する

Apple Configurator で作成した構成プロファイルを管理サイトにアップロードして機器に適用します。事前に適用する構成プロファイルをご用意ください。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. その他タブより個別構成プロファイルをクリックします。
- 3. [新規作成]をクリックします。
- 4. [参照]をクリックします。
- 5. Apple Configurator で作成した構成プロファイルを選択して[開く]をクリックします。
- 6. [保存]をクリックします。

※Apple Configurator および構成プロファイルの詳細については Apple 社にお問い合わせください。

### 2.3.17.2 個別構成プロファイルを編集する

適用済みの構成プロファイルを新たな構成プロファイルで上書きします。事前に適用する構成プロファイルをご用意ください。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. その他タブより個別構成プロファイルをクリックします。
- 3. [編集]をクリックします。
- 4. [参照]をクリックします。
- 5. Apple Configurator で作成した構成プロファイルを選択して[開く]をクリックします。
- 6. [保存]をクリックします。

### 2.3.17.3 個別構成プロファイルを削除する

適用済みの構成プロファイルを削除します。

- 1. 機器一覧より対象とする機器をクリックします。
- 2. その他タブより個別構成プロファイルをクリックします。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

機器タブでは、主に単一の機器に対する設定や確認を行いましたが、メニュータブでは、複数の機器に対して一括設定を行ったり、複数のユーザーや機器を CSV ファイルからまとめてインポートするなど、より管理的な機能を提供しています。また、機器に対する各種制限を行うには設定セットの作成が必要である旨を、機器タブの章で記載しましたが、設定セットの 作成を行うための機能もメニュータブにて提供しております。

【参考ページ】

◇メニュータブで実現できることや、その操作方法について⇒メニュー設定項目 91 ページ



項番	対象	説明
1	機能名	機能名をクリックすると、機能名に応じた画面が表示されます。

# 3 メニュー設定項目

本章では、メニュータブで行うことができる機能操作について記載します。トップタブ以外の画面はすべてメニュータブか ら表示することが可能です。メニュータブが提供する機能の大部分は、機器に適用する設定セットの作成となります。また、 ユーザーや機器に対する管理作業やログの確認など、管理者向けの機能をご利用いただけます。

※設定セット作成の際、特定の機能に対して有効/無効、または許可/禁止を指定する場合があります。これらは該当機能の設定 を有効/無効、または許可/禁止に変更するものです。端末側の設定変更を許可/禁止するものではありません。

例) Wi-Fi の設定セットを新規作成する…277 ページ

-----

有効:端末のWi-Fi状態を有効にします。

無効:端末のWi-Fi状態を無効にします。

変更しない:端末のWi-Fi状態を変更しません。

-----

上記の例で無効を指定した場合は端末のWi-Fi設定を無効に変更するという意味です。端末操作によるWi-Fi設定の変更を禁止 するものではありません。なお、有効/無効を指定した際、すでに端末の設定が指定の状態となっている場合は何も行いません。

3.1	組織	95
3.2	組織図	96
3.2.2	組織	97
3.2.3	組織インポート (新規)	101
3.2.4	組織インポート (変更)	103
3.2.5	組織エクスポート	105
3.3	Zone Management	107
3.4	ゾーン	108
3.4.2	ポリシー	113
3.4.3	ゾーンポリシー構成	117
3.5	ユーザー	121
3.5.1	ユーザー	122
3.5.2	ユーザーカスタム項目	131
3.5.3	ユーザーインポート (新規)	137
3.5.4	ユーザーインポート (変更)	139
3.5.5	ユーザーエクスポート	141
3.6	機器	143
3.6.1	マップ	144
3.6.2	機器	144
3.6.3	機器カスタム項目	145
3.6.4	一括機器設定	151
3.6.5	機器インポート (新規)	154
3.6.6	機器インポート (変更)	156
3.6.7	機器レポート (エクスポート)	158
3.6.8	管理外機器エクスポート	160
3.6.9	アプリケーションレポート	162
3.6.10	メッセージ通知	165
3.6.11	ネットワーク	171

3.7	証明書管理	175
3.7.1	クライアント証明書管理	176
3.7.2	クライアント証明書一括アップロード	179
3.7.3	CA 証明書管理	181
3.8	管理	184
3.8.1	ログ	185
3.8.2	通知設定	188
3.8.3	ポータル表示設定	193
3.8.4	認証制御設定	196
3.9	設定	198
3.9.1	個人設定	199
3.10	Android	202
3.10.1	設定テンプレート	203
3.10.2	エージェント共通管理	207
3.10.3	エージェント個別管理	211
3.10.4	設定バックアップ	214
3.10.5	位置情報管理	216
3.10.6	App Manager	219
3.11	Android - 使用制限	221
3.11.1	アプリケーション禁止	223
3.11.2	SD カード	228
3.11.3	カメラ	232
3.11.4	Bluetooth	235
3.11.5	スクリーンロック	238
3.11.6	リモートロック	243
3.11.7	リモートワイプ	247
3.11.8	Wi-Fi フィルタリング	250
3.11.9	発信先制限	253
3.11.10	) アプリケーション検知	257
3.11.11	Secure Shield	261
3.12	Android - ウイルス対策ソフト	266
3.12.1	ウイルス対策機能	267
3.13	Android - セットアップ	271
3.13.1	アプリケーション配信	272
3.13.2	Wi-Fi	276
3.13.3	連絡先	280
3.13.4	暗号化	285

3.14	Android/iOS – ブラウザー	.288
3.14.1	Web フィルタリング	.289
3.14.2	Web 閲覧履歴	.293
3.14.3	お気に入り	.296
3.15	iOS	.299
3.15.1	設定テンプレート	.300
3.15.2	エージェント共通管理	.303
3.15.3	構成プロファイル	.305
3.15.4	構成プロファイルアップロード	.310
3.15.5	ローミング設定	.330
3.16	iOS - アプリケーション	.333
3.16.1	VPP ライセンス	.334
3.16.2	VPP 設定テンプレート	.340
3.16.3	管理対象アプリポリシー	.343
3.16.4	オリジナルアプリ登録	.346
3.16.5	アプリケーション配信	.350
3.16.6	アプリケーション検知	.355
3.17	Mac OS	.359
3.17.1	エージェント共通管理	.360
3.18	iOS/Mac OS	.362
3.18.1	Apple Push 証明書登録	.363
3.18.2	Device Enrollment Program(DEP)	.377
3.19	Windows	.378
3.19.1	設定テンプレート	.379
3.19.2	エージェント共通管理	.382
3.19.3	エージェント個別管理	.387
3.19.4	システム設定・診断	.390
3.19.5	システムセキュリティ	.393
3.19.6	MS Office ライセンス管理	.397
3.20	Windows- 使用制限	.401
3.20.1	アプリケーション禁止	.402
3.20.2	USB	.406
3.20.3	CD/DVD/ブルーレイ	.411
3.20.4	Wi-Fi フィルタリング	.414
3.21	Windows - セットアップ	.417
3.21.1	暗号化	.418
3.21.2	プロキシ	.421
3.22	Windows MS-MDM	.425
3.22.1	Web フィルタリング(MS-MDM)	.426

# 3.1 組織

組織に関する情報の確認、追加、削除、編集行うことができます。 設定項目および、可能な操作は以下のとおりです。

設定項目名	可能な操作
<u>組織図</u>	<u>・組織図を表示する</u>
<u>組織</u>	<ul> <li>・組織を新規作成する</li> <li>・組織を編集する</li> <li>・組織を削除する</li> <li>・組織をまとめて削除する</li> <li>・組織単位で機器設定を行う</li> </ul>
<u>組織インポート (新規)</u>	<u>・新規組織をインポートする</u>
<u>組織インポート (変更)</u>	<u>・変更組織をインポートする</u>
<u>組織エクスポート</u>	<u>・組織をエクスポートする</u>

# 3.2 組織図

作成済みの組織(97ページ)をツリー状の組織図で表示します。組織構造を視覚的に確認したい場合にご利用ください。また、各組織アイコンをクリックすると、新しいウィンドウで組織画面が表示されます。

【注意事項】

◆デバイスマネジメントパック版では、バージョン 5.8.0 以降でのみ組織図をご利用いただけます。



項番	対象	説明
1	組織図	作成済みの組織をツリー状に表示します。[+]をクリックすると直下の組織を表示
		します。[-]をクリックすると表示されている直下の組織を非表示にします。
2	[全てを展開する]	クリックすると全ての組織を表示します。
		組織図中の全ての[+]をクリックした場合と同様の動きとなります。
3	[全てを閉じる]	クリックすると最上位の組織のみを表示します。
		組織図中の全ての[-]をクリックした場合と同様の動きとなります。

# 3.2.1.1 組織図を表示する

組織図を表示します。

1.	メニュー	タブ	をク	IJ	ック	します。	
----	------	----	----	----	----	------	--

2. [組織図]をクリックします。

機器(21 ページ)やユーザー(121 ページ)を所属させるための組織を作成します。組織を用いることで以下の操作が可能 となります。

・組織単位で機器設定を行う

設定テンプレートおよび設定セットの適用が組織単位で可能となります。設定テンプレートを組織に適用 することで、配下の機器全てに設定を適用することが可能です。組織単位での機器設定については、 100ページ「組織単位で機器設定を行う」を参照してください。

・ユーザーに特定の組織に関するアクセス権限を追加付与する
 ユーザーカスタム項目と組織を併用することで、組織別のアクセス権を追加付与することが可能です。例えば、ユーザー種別「閲覧者」のユーザーに対して特定の組織の編集権限を追加するが可能です。詳細は
 ユーザーカスタム項目(131ページ)を参照してください。

なお、機器やユーザーを組織に所属させる操作は当画面では行いません。それぞれの新規作成画面または編集画面にて 行ってください。

#### 【注意事項】

※デバイスマネジメントパック版では、バージョン 5.8.0 以降でのみ組織図をご利用いただけます。

		+ م
🚖 お気に入り 🛛 🚽 - 組織		
【企業名】		管理者としてログイン中
	マップ   機器   メニュー   ) 組織	ログアウト
	支社-A 本社 >	
支社一人本社	管理 Android設定 iOS設定 Windows設定 ユーザー設定	6 操作 -
□ <u>支社</u> -B 本社		
□ <b>2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2</b>	上位組織 本社	
□ <b>2</b> 営業部 > 支社-B	権限を引き継ぐ	
□		
※務部	利用状况	
→ 支社-B	権限を共有する機器:1 (A)	
□ 2 1課 >> 営業部	分類         グループ         権限         引き継ぎ           追加権限         本社(管理者)         管理者         本社	<del>ē</del>
□ 2課 >> 営業部	追加確限 支社-A(管理者) 管理者	
□ 1課 → 総務部 →		
I ← 1/2 > ►1	利用規約で  ブライバシーボリシーで  ヘルブで	

項番	対象	説明
1	[新規作成]	クリックすると組織入力欄が表示されます。詳細は「組織を新規作成する」98 ペー ジを参照してください。
2	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・全てにチェックを入れる:全てのチェックボックスにチェックが入ります。 ・全てのチェックをはずす:全てのチェックボックスからチェックを外します。 ・一括削除:チェックの入った組織を削除します。詳細は「組織をまとめて削除 する」99ページを参照してください。
3	組織一覧	登録されている組織が一覧で表示されます。
4	組織情報	組織一覧より選択した組織の詳細が表示されます。 (A)をクリックすると機器一覧を表示します。
5	機器設定タブ	<ul> <li>組織単位での機器設定を行うタブです。各タブの概要は以下のとおりです。</li> <li>【Android 設定】</li> <li>Android 機器に対して組織単位での機器設定を行います。</li> <li>【iOS 設定】</li> <li>iOS 機器に対して組織単位での機器設定を行います。</li> <li>【Windows 設定】</li> <li>Windows 機器に対して組織単位での機器設定を行います。</li> <li>【ユーザー設定】</li> <li>企業に対する VPP ライセンスの配布状態を確認・編集します。本画面で割り当てたライセンスは、「VPP ライセンス」の「アプリケーション」タブで、「未割当数」としてカウントされます。この状態では実際にはライセンスは付与されていません。詳細は 337 ページをご覧ください。</li> <li>※VPP トークンがアップロードされていない場合、本画面には「(VPP ライセンスがありません)」のメッセージのみ表示されます。</li> </ul>
6	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・削除:組織を削除します。詳細は「組織を削除する」99 ページを参照してください。
7	[編集]	登録されている組織を編集することができます。詳細は「組織を編集する」99 ペー ジを参照してください。

# 3.2.2.1 組織画面を表示する

組織画面を表示します。

# 1. メニュータブをクリックします。

2. [組織]をクリックします。

### 3.2.2.2 組織を新規作成する

組織を作成します。作成した組織は、機器およびユーザーの作成および編集時に入力項目として表示されます。

1. 組織画面より[新規作成] 🛨 をクリックします。

2. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【組織名】

組織名を入力します。

【上位組織】

作成する組織を組織図(96ページ)のどこに配置するかを指定します。指定した組織の直下に紐づくことになります。

最上位の組織とする場合は「(なし)」を指定します。また、上位組織を「(なし)」以外に指定した際は、合わせて権限を引き 継ぐかどうかを指定します。ここで指す権限とはユーザーカスタム項目(131ページ)を用いてユーザーに付与する追加 権限を意味します。権限を引き継いだ場合は上位の組織に対して所有する追加権限をそのまま行使することが可能です。 96ページの組織図を例にあげます。"支社-A"を作成する際に権限を引き継ぐとした場合、"本社"に対して追加権限 [管理者]を持つユーザーは"支社-A"に対しても追加権限[管理者]を持つことになります。権限を引き継がない場合は "本社"に対して追加権限[管理者]を持つユーザーでも"支社-A"に関しては追加権限を持ちません。

### 3.2.2.3 組織を編集する

作成済みの組織を編集します。入力項目に関しては、組織を新規作成する場合と同様です。

- 1. 組織一覧より対象とする組織をクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。編集をキャンセルする場合は[取消]をクリックします。

#### 3.2.2.4 組織を削除する

作成済みの組織を削除します。

- 1. 組織一覧より対象とする組織をクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 3.2.2.5 組織をまとめて削除する

登録済みの組織を複数指定して削除します。削除したい組織が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 組織一覧より対象とする組織のチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

組織単位で設定テンプレートおよび設定セットの適用を行います。

※この設定を組織配下の機器へ反映するには、配下の機器の設定画面上の反映したい設定セットにおいてデフォルトの「(所 属組織に従う)」が選択されている必要があります。つまり、新しく適用された設定テンプレートの内容が適用されるのは、 組織の配下の全機器の設定の内、「(所属組織に従う)」が指定されている設定のみです。機器の設定画面についての詳細は、 「単一の機器に設定セットを適用する」61 ページを参照してください。

【設定テンプレートの適用】

1. 組織一覧より対象とする組織をクリックします。

- 2. 目的の機器設定タブをクリックします。
- 3. プルダウンメニューから適用する設定テンプレートを選択します。
- 4. [適用]をクリックします。

【設定セットの適用】

1. 組織一覧より対象とする組織をクリックします。

- 2. 目的の機器設定タブをクリックします。
- 3. [編集]をクリックします。
- 4. プルダウンメニューから適用する設定セットを選択します。
- 5. [保存]をクリックします。編集をキャンセルする場合は[取消]をクリックします。

※上位組織が設定されていない場合に「所属組織に従う」を選択した場合、「設定なし」を選択した場合と同じ動きとなります。

※「上位から継承」を選択した場合、一括機器設定(151 ページ)による設定変更が反映されません。この場合、機器ごとの設 定(61 ページ)を用いて設定変更を行ってください。

### 3.2.2.7 組織の入力値

組織では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール		
	入力必須です。		
40 绘 夕	同一上位組織内での重複はできません。		
和和社	制御文字は入力できません。		
	30 文字以内で入力してください。		
	プルダウンメニューから登録済みの組織を選択します。		
L/土 4日 4年	"(なし)"以外を選択した場合は【権限を引き継ぐ】の入力が可能となります。		
上112 柏田神( 	※本設定を変更した場合、ユーザーのアクセス範囲および機器の設定が変更される可能性があります。		
	【権限を引き継ぐ】 権限を引き継ぐ場合はチェックボックスをチェックします。		

ダウンロードした CSV ファイルに組織情報を入力しインポートすることで、複数のデータをまとめて登録することができます。

#### 【注意事項】

※インポートできるファイルサイズは 10MB までです。

	<ul> <li>□ ×</li> <li>☆</li> <li> <sup>*</sup> ☆</li> <li> <sup>*</sup> <sup>*</sup> <sup>*</sup> <sup>*</sup></li> <li> <sup>*</sup> <sup>*</sup> <sup>*</sup></li> <li> <sup>*</sup> <sup>*</sup> <sup>*</sup></li> <li> <sup>*</sup> <sup>*</sup></li> <li></li></ul>
1. CSVファイルを準備します 「ダウンロード」ボタンをクリックしてCSVファイルをダウンロードします。 ダウンロードユナロマイルの内容を編集して保存してください。 ダウンロード ±	^
2. CSVファイルをアップロードします 編集したCSVファイルを指定して「アップロード」ボタンをクリックしてください。 アップロード完了後、インボートの確認画面に移動します。 ※上位組織から順に入力してください。	2
<u>利用規約</u> @ プ <u>ライバシーポリシー</u> @  <u>ヘルプ</u> @	~

項番	対象	
~ =		
1	[ダウンロード]	クリックすると項目名のみが記載された CSV ファイルのテンプレートをダウンロ
		ードできます。
2	[参照]	インポートする CSV ファイルを指定します。指定したファイル名が左側に表示さ
		れます。
3	[アップロード]	指定された CSV ファイルをアップロードします。

# 3.2.3.1 組織インポート(新規)画面を表示する

組織インポート(新規)画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [組織インポート(新規)]をクリックします。

### 3.2.3.2新規組織をインポートする

CSV ファイルから組織の新規登録をまとめて行います。

- 1. 組織インポート(新規)画面を表示します。
- 2. [ダウンロード]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。
- 3. ダウンロードした CSV ファイルを Excel やメモ帳で開き、組織情報を入力してください。入力が終 了したら保存してファイルを閉じてください。
- 4. [参照]をクリックして、保存した CSV ファイルを選択してください。
- 5. [アップロード]をクリックしてください。アップロードが終了したら自動的にインポート確認画面が 表示されます。
- インポート内容に誤りがある場合は、備考欄にエラー内容が表示されます。CSV ファイルを修正し、
   再度アップロードしてください。
- 7. [インポート実行]をクリックします。インポート内容に誤りがある場合は[インポート実行]は表示されません。

※CSV ファイルの1行目には項目名が表示されています。組織情報の入力は2行目から行ってください。

※CSV ファイルの詳細な入力方法に関しては下記を参照してください。

⇒インポートデータ入力方法 457 ページ

登録済みの組織情報を一度 CSV ファイルに出力し、編集後インポートすることで、登録データをまとめて変更することができます。

#### 【注意事項】

※インポートできるファイルサイズは 10MB までです。

トップ マップ 機器 メニュー > 組織インボート(変更) 1. CSVファイルを準備します	
「ダウンロード」ボタンをクリックしてCSVファイルをダウンロードします。 ダウンロードI たファイルの内容を編集して保存してください。 ダウンロード ± ①	
2. CSVファイルをアップロードします	
編集したCSVファイルを指定して「アップロード」ボタンをクリックしてください。 アップロード完了後、インボートの確認画面に移動します。	2 参照
	~

項番	対象	説明
1	[ダウンロード]	クリックすると作成済みの全組織情報が記載された CSV ファイルをダウンロード
		できます。
2	[参照]	インポートする CSV ファイルを指定します。指定したファイル名が左側に表示さ
		れます。
3	[アップロード]	指定された CSV ファイルをアップロードします。

### 3.2.4.1 組織インポート(変更)画面を表示する

組織インポート(変更)画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [組織インポート(変更)]をクリックします。

### 3.2.4.2変更組織をインポートする

CSV ファイルから組織の編集をまとめて行います。

1. 組織インポート(変更)画面を表示します。

- 2. [ダウンロード]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。
- 3. ダウンロードした CSV ファイルを Excel やメモ帳で開き、組織情報を入力してください。入力が終 了したら保存してファイルを閉じてください。
- 4. [参照]をクリックして、保存した CSV ファイルを選択してください。
- 5. [アップロード]をクリックしてください。アップロードが終了したら自動的にインポート確認画面が 表示されます。
- インポート内容に誤りがある場合は、備考欄にエラー内容が表示されます。CSV ファイルを修正し、
   再度アップロードしてください。
- 7. [インポート実行]をクリックします。インポート内容に誤りがある場合は[インポート実行]は表示されません。

※変更に用いる CSV ファイルには登録済みの組織情報が表示されています。行の追加や削除は行わず、 修正のみ行ってください。列の追加や削除に関しても同様です。

※CSV ファイルの詳細な入力方法に関しては下記を参照してください。

⇒インポートデータ入力方法 457 ページ

登録済みの組織を CSV ファイルに出力することができます。

#### 【注意事項】

※ダウンロードされる CSV ファイルは、変更組織をインポートする際にダウンロードする CSV ファイルと同じものです。



項番	対象	説明
1	[ダウンロード]	クリックすると作成済みの全組織情報が記載された CSV ファイルをダウンロード できます。

# 3.2.5.1 組織エクスポート画面を表示する

組織エクスポート画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [組織エクスポート]をクリックします。

### 3.2.5.2 組織をエクスポートする

作成済みの全組織情報が記載された CSV ファイルをダウンロードします。エクスポート時の文字コードは日本語環境では SHIFT-JIS(cp932)、その他の環境では UTF-8 となります。 1. 組織エクスポート画面を表示します。

2. [ダウンロード]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。ダウンロードした CSV ファイルは Excel やメモ帳で開けます。

Zone Management に関する情報の確認、追加、削除、編集行うことができます。

設定項目および、可能な操作は以下のとおりです。

設定項目名	可能な操作
<u>ゾーン</u>	<ul> <li><u>ゾーンを新規作成する</u></li> <li><u>ゾーンを編集する</u></li> <li><u>ゾーンを削除する</u></li> <li><u>ゾーンをまとめて削除する</u></li> </ul>
<u>ポリシー</u>	<ul> <li>・ポリシーを新規作成する</li> <li>・ポリシーを編集する</li> <li>・ポリシーを削除する</li> <li>・ポリシーをまとめて削除する</li> <li>・ポリシー単位で機器設定を行う</li> </ul>
<u>ゾーンポリシー構成</u>	<ul> <li>・ ゾーンポリシー構成の設定セットを新規作成する</li> <li>・ ゾーンポリシー構成の設定セットを編集する</li> <li>・ ゾーンポリシー構成の設定セットを複製する</li> <li>・ ゾーンポリシー構成の設定セットを削除する</li> <li>・ ゾーンポリシー構成の設定セットをまとめて削除する</li> </ul>

# 3.4 ゾーン

Zone Management を利用することで、特定のネットワーク・位置・時間帯に該当する機器に対して、設定セットを適用す ることが可能です。接続先のネットワーク・位置情報・時間帯の組み合わせを「ゾーン」として定義することで、条件に一致 する機器に対して複数の設定セットを適用することが可能です。まず、「ゾーン」でネットワークを指定し、次に「ポリシー」 で設定セットを指定します。その後、その2 つをゾーンポリシー構成で組み合わせます。作成したゾーンポリシー構成は、 ー括機器設定および、機器ごとの設定にて適用してください。

本章では、「ゾーン」についての説明を行ないます。

【参考ページ】

◇「ポリシー」について⇒ポリシー 113ページ
 ◇「ゾーンポリシー構成」について⇒ゾーンポリシー構成 117ページ
 ◇一括機器設定について⇒一括して複数の機器に設定セットを適用する 152ページ
 ◇機器ごとの設定について⇒単一の機器に設定セットを適用する 61ページ

e - ジーン - Windows Internet Explorer		
	n Line Contraction of the Line of a 🖌 🔒 😚 🗙 🖓 Google	• م
🚖 お気に入り		
【企業名】	管理者とし	てログイン中
	ブ マップ 機器 メニュー > ゾーン	ブアウト
	/ シン設定	
ロ ジーン設定		
	管理	操作 ▼
	1 V-12	
	ゾーン設定	
	2 マックワーク 図 設定を有効にする	
	SSID MACアドレス ステルス	
	Wireless1 00:11:4A:00:01:00 × × (+ボタンで追加: 50件まで) +	
	位置情報	<b>1</b>
3	③ 2 設定を有効にする	
	※ <u>10直情報度主</u> 理で設定される別位間隔でツーン判定を打います。 ※端末の位置情報の無線ネットワークとGPSが無効の場合、測位を行わず、ゾーン不明となります。 ※Androidのみ対応	
	35.6808     139.7669     10.0     東京駅       (+ ギウ: 恋追加: 10(#まの)	
	スケジュール	<b>א</b>
	● 設定を有効にする	
	ゾーン判定に使用するタイムゾーン: ((JTC+09:00) 大阪、札幌、東京	
	<ul> <li>              び 設定を有効に 9 る             ゾーン判定に使用するタイムゾーン:</li></ul>	

項番	対象	説明
1	ゾーン名	お好きな名前を入力します。
(2)	ネットワーク	ゾーンに設定するアクセスボイントの SSID と MAC アドレスを登録します。 
-----	--------	---
		・ 改進で行物にする   ネットロータに トスジーン 笠田さちかにします。「乳白さちかにまる」 チョッタギッタスは
		イツトワークによるソーン官理を有効にします。   設定を有効にする] ナエックホックスは   設定編集画面でのみ有効です
		* 3510 : 3510 を入力しまり。   - ステルス、FCC ID ステルスたちかとしたさいとロークの担合けてもいたざいたスたナン。
		• ステルス:ESS-ID ステルスを有効としに不ットワークの場合はチェックホックスをオン   に   ます
		・MAC アドレス・アクセスポイントの MAC アドレスを入力します。
		※[追加] + をクリックすると、入力欄が追加されます。
		※[削除] 😿 をクリックすると、入力欄が削除されます。
		※1 ゾーンに対して、登録できる SSID は 50 件です。
		※ステルス機能を利用したアクセスポイントを登録する場合、端末側にネットワークプロフ
		ァイルを登録し、「自動的に接続する」を有効にする必要があります。
3	位置情報	ゾーンに設定する位置情報を登録します。
		・設定を有効にする
		位置情報による Zone Management を有効にします。「設定を有効にする」チェックボック
		スは設定編集画面でのみ有効です。
		│ · 緯度
		│・経度
		• 半径
		·備考
		ゾーンに該当するエリアの緯度と経度、またゾーンの広さを半径で指定します。経度と緯度
		に指定された位置情報を中心に、指定された長さの半径で円を形成します。この円の中身が
		「「ゾーン内」となります。
		例:緯度が 90°、経度が 120.0°半径が 500m で指定された場合、緯度 90°経度 120.0°
		を中心とした半径 500m の円で囲まれた領域がソーン内となります。
		※[追加] + たクリックオスト 入力欄が追加されます
		※[迫加]   センリンフィると、八刀懶が迫加されます。  ※[削除]     たクリックオスと 入力燘が削除されます
Â	スケジュール	バーンに設定するスケジュールを登録します
Ð		・設定を有効にする
		特定の日時による Zone Management を有効にします。「設定を有効にする」チェックボッ
		「内たい日本」には、している、Managonian、と日本にしている。 With としていている」 アエックパック
		●開始時刻
		• 終了時刻
		↓ ゾーンに該当する曜日と時刻を指定します。開始時刻は 00:00~23:59、終了時刻は 00:00
		~35:59 が指定可能です。終日に設定する場合は、00:00~24:00 を指定します。
		※[追加] 🄛 をクリックすると、入力欄が追加されます。
		※[削除] 🔣 をクリックすると、入力欄が削除されます。
		※1 ゾーンに対して、登録できるスケジュールは 10 件です。

※単一のゾーンに対して複数の SSID を設定した場合、いずれかの SSID が検知された場合に「ゾーン内」となります。また 複数の位置情報とスケジュール設定も、いずれかの設定が満たされた場合に「ゾーン内」となります。

SSID と位置情報、SSID とスケジュールなど異なる設定を複数組み合わせる場合は、全ての設定を満たされた場合に「ゾーン内」となります。

複数組み合わせた場合

場所:SSID1、SSID2、SSID3

時間:月曜 17:00~18:00、土曜 16:00~17:30

□上記のゾーン設定では SSID が「SSID1」「SSID2」「SSID3」のいずれかに一致し、かつ日時が「月曜 17:00~18:00」「土曜 16:00~17:30」のいずれかに一致した場合に「ゾーン内」となります。 ゾーン画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [ゾーン]をクリックします。

## 3.4.1.2 ゾーンを新規作成する

ゾーンを作成します。

1. ゾーン画面を表示します。

2. [新規作成] + をクリックします。

3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【ゾーン名】

ゾーンの名称を指定します。

【ネットワーク】

ゾーンに設定するネットワークの SSID、MAC アドレスの設定を行います。

設定を有効にする:特定の日時による Zone Management を有効にします。

SSID: SSID 名を入力します。

ステルス: ESS-ID ステルスを有効としたネットワークの場合はチェックボックスをオンにします。

MAC アドレス:アクセスポイントの MAC アドレスを入力します。

※1 ゾーンに対して、登録できる SSID は 50 件です。

【位置情報】

ゾーンに設定する位置の緯度と経度、エリアの範囲を指定します。最大 10 件まで登録可能です。

設定を有効にする:位置情報による Zone Management を有効にします。

緯度・経度・半径:ゾーンに該当するエリアの緯度と経度、またゾーンの広さを半径で指定します。

備考:備考情報を入力します。

※端末の位置情報の無線ネットワークと GPS が無効な場合、または管理サイトの時刻と端末時刻の間に大幅な差がある 場合は、測位を行わず「ゾーン不明」となります。「ゾーン不明」と判定された端末に特定のポリシーを適用することが 可能です。詳細は「ゾーンポリシー構成」(117 ページ)を参照してください。

※エージェントの位置情報取得が「許可しない」の場合、位置情報を取得しません。

※Android のみ対応。位置情報の測位間隔については、「位置情報管理」216ページをご参照ください。

### 【スケジュール】

ゾーンに設定するスケジュールを登録します。最大 10 件まで登録可能です。

設定を有効にする:特定の日時による Zone Management を有効にします。

ゾーン判定に使用するタイムゾーン:判定に使用するタイムゾーンをプルダウンメニューから選択します。 曜日・時刻:ゾーンに該当する曜日と時刻を指定します。

## 3.4.1.3 ゾーンを編集する

作成済みのゾーンを編集します。入力項目に関しては、ゾーンを新規作成する場合と同様です。

- 1. ゾーン一覧より対象とするゾーンをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

### 3.4.1.4 ゾーンを削除する

作成済みのゾーンを削除します。

- 1. ゾーン一覧より対象とするゾーンをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 3.4.1.5 ゾーンをまとめて削除する

作成済みのゾーンを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. ゾーン一覧より対象とするゾーンのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

ゾーンの設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール			
	入力必須です。			
	設定内で重複はできま	せん。		
【ゾーン名】	制御文字は入力できませ	せん。		
	30 文字以内で入力して	ください。		
	[S]から始めることはで	[S]から始めることはできません。		
	ネットワークは 50 件以下にしてください。			
	SSID と MAC アドレスは重複しないものを入力してください。			
	設定を有効にする	チェックボックスをオンにして設定を有効にします。		
		入力必須です。		
	SSID	32 文字以内で入力してください。		
【ネットワーク】		半角英数字、「-」、「_」、「@」のみで入力してください。		
	MAC アドレス	「XX:XX:XX:XX:XX:XX」(X は大文字の16 進数)という形式		
		で入力してください。		
		チェックボックスをオンにしてESS-IDステルスを有効に		
		します。		
	位置情報は10件以下にしてください。			
	設定を有効にする	チェックボックスをオンにして設定を有効にします。		
【//- 栗桂邦】	・緯度	-90から90の値で入力してください。		
	・経度	-180から180の値で入力してください。		
	・半径	1から20037500の値で入力してください。		
	・備考	30文字以内で入力してください。		
	スケジュールは10件以	下にしてください。		
	設定を有効にする	チェックボックスをオンにして設定を有効にします。		
	・ゾーン判定に使用す	判定に使用するタイムゾーンをプルダウンメニューから選		
	るタイムゾーン	択します。		
	・曜日	スケジュール設定を有効にする曜日のチェックボックスを		
		オンにします。		
	・開始時刻	00:00~23:59の間で指定します。		
	・終了時刻	00:00~35:59の間で指定します。		

Zone Management におけるポリシー画面では、ゾーン(108 ページ)に適用するポリシー(設定セットの束)を指定します。

【注意事項】

- ◆デバイスマネジメントパック版では Android 機器のみご利用いただけます。
- ◆リモートロックのポリシーは現在 Android のみ対応しています。
- 【参考ページ】

◇Zone Management について⇒ゾーン 108 ページ

<b>е солен на</b> -жу	シー - Windows Internet Explorer		
	de recorde admissiones	- 🚽 🖓 K 🖓 Google	<del>،</del> م
☆ お気に入り	・ ポリシー		
	【企業名】		管理者としてログイン中
	トップ	マップ 機器 メニュー ・ ポリシー	ログアウト
+ •			
	リシー1	管理 Android 設定 Windows 設定 2	操作 ▼
		管理 - 編集中	
		ポリシー名 <u>(1)</u> ポリシー1	
		✔ 保存 5 取消	
			-

項番	対象	説明
1	ポリシー名	お好きな名前を入力します。
2	機能タブ	【Android 設定】Android 機器に対してポリシー単位での機器設定を行います。
		【Windows 設定】Windows 機器に対してポリシー単位での機器設定を行います。

### 3.4.2.1 ポリシー画面を表示する

ポリシー画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [ポリシー]をクリックします。

### 3.4.2.2 ポリシーを新規作成する

ポリシーを作成します。

- 1. ポリシー画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【テンプレート名】

ポリシーの名称を指定します。

【設定】

ポリシーにおける設定セットの使用設定を行います。

適用する設定セットを選択します。設定変更の必要がない機能に対しては初期値である「(設定なし)」の ままで結構です。

※ デフォルトの「所属組織に従う」を選択した場合、上位組織の設定が継承されます。

※ 上位組織が設定されていない場合に「所属組織に従う」を選択した場合、「設定なし」を選択した場合と同じ動きとなり ます。

※「機器の設定に従う」を選択した場合、ゾーンポリシー以外で設定されている設定が継承されます。

### 3.4.2.3 ポリシーを編集する

作成済みのポリシーを編集します。入力項目に関しては、ポリシーを新規作成する場合と同様です。

- 1. ポリシーー覧より対象とするポリシーをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

### 3.4.2.4 ポリシーを削除する

作成済みのポリシーを削除します。

- 1. ポリシーー覧より対象とするポリシーをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 3.4.2.5ポリシーをまとめて削除する

作成済みのポリシーを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

1. ポリシーー覧より対象とするポリシーのチェックボックスにチェックを入れます。

- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 3.4.2.6 ポリシー単位で機器設定を行う

ポリシー単位で設定セットの適用を行います。指定したポリシーに属する全ての機器に適用されます。

- 1. ポリシーー覧より対象とするポリシーをクリックします。
- 2. 目的の機器設定タブをクリックします。
- 3. [編集]をクリックします。
- 4. プルダウンメニューから適用する設定セットを選択します。
- 5. [保存]をクリックします。編集をキャンセルする場合は[取消]をクリックします。

※ デフォルトの「所属組織に従う」を選択した場合、上位組織の設定が継承されます。

※ 上位組織が設定されていない場合に「所属組織に従う」を選択した場合、「設定なし」を選択した場合と同じ動きとなりま す。

※「機器の設定に従う」を選択した場合、ゾーンポリシー以外で設定されている設定が継承されます。

### 3.4.2.7 ポリシーの入力値

ポリシーの設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【テンプレート名】	入力必須です。
	設定内で重複はできません。

制御文字は入力できません。
30 文字以内で入力してください。
[S]から始めることはできません。

Zone Management におけるゾーンポリシー構成画面では、ゾーン(108 ページ)とポリシー(113 ページ)を組み合わせ、ネット ワーク単位での設定セットの割り当てを実現します。

作成したゾーンポリシー構成は、一括機器設定および、機器ごとの設定にて適用してください。

### 【注意事項】

◆デバイスマネジメントパック版では Android 機器のみご利用いただけます。

```
【参考ページ】
```

◇Zone Management について⇒ゾーン 108 ページ

◇一括機器設定について⇒一括して複数の機器に設定セットを適用する 152ページ

◇機器ごとの設定について⇒単一の機器に設定セットを適用する 61 ページ

② このままま トロー・ゾーンポリシー構成 - Window	vs Internet Explorer		
	sign que l'anne	Hannel al Let Letter 🛨 🛔 🐓 🗙 🚷 Google	<del>،</del> م
合 お気に入り	∜リシー構成		
	企業名】	管理	者としてログイン中
	トップ 📗	マップ   機器   メニュー   >   ゾーンボリシー構成	ログアウト
	Ľ	ゾーンポリシー構成	
ロ ひん ジーンポリシー構成		Ê	操作 ▼
	設定	- 編集中	
		宅名 ーンボリシー	
	·ソ- 個	-ンポリシー構成 続度   ゾーン   ポリシー	] []]
	2	1 ゾーン設定 ・ ポリシー1	×
	(; **)	にれ以上追加できません) 2007年ンでもれい場合、機器の設定に従います。	
	機器	るの設定によりゾーン判定ができない場合、ゾーン不明となります。	
	3	ン不明時  機器の設定に従う	
	0	直前の設定に従う	
	C	ポリシーを設定する	
		()選択してください)	
	<b>4</b>	ーン変更通知 ユーザーにゾーン変更を通知する	
	$\sim$	✔ 保存 取消	
	Contraction In	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	ゾーンポリシ	「ゾーンに設定するゾーン優先度、ゾーン、ゾーンポリシーを登録します。
	一構成	・ゾーン優先度:ゾーン優先度を入力します。
		・ゾーン:ゾーンを選択します。
		※ゾーンについての詳細は、108 ページを参照してください。
		・ポリシー:ゾーンポリシーを選択します。
		※ポリシーについての詳細は、113 ページを参照してください。
		※[追加] 🚹 をクリックすると、入力欄が追加されます。
		※[削除] 🕺 をクリックすると、入力欄が削除されます。
		※1 ゾーンポリシー構成に対して、登録できるゾーンは 10 件です。

3	ゾーン不明時	│ ゾーン不明と判定された場合に適用される設定を選択します。「機器の設定に従う」、「直
		前の設定に従う」、「ポリシーの設定する」から選択できます。「ポリシーを設定する」を
		選択する場合は、不明時に適用するポリシーを選択できます。
		│ │※コンピューターの Wi-Fi スイッチが切られている場合、Wi-Fi が機器設定により OFF に
		□ 設定されている場合、サーバー時刻と端末の時刻が著しく異なる場合、無線ネットワーク
		または GPS が OFF の場合には、端末は「ゾーン判定不可」を検知して、ゾーン不明とい
		うステータスを管理サイトに送信します。
4	ゾーン変更通	端末のゾーンが変更された際に、端末上に通知を表示します。
	知	※Android 端末では通知領域、Windows 機器ではステータスバー上のバルーンに通知が表
		示されます。
		※スケジュールと位置情報によるゾーン設定によっては、大量の通知が発生する可能性が
		ございます。過度な情報通知により、ユーザーの利便性を下げてしまう可能性があるので
		慎重に設定してください。

### 3.4.3.1 ゾーンポリシー構成画面を表示する

ゾーンポリシー構成画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [ゾーンポリシー構成]をクリックします。

## 3.4.3.2 ゾーンポリシー構成の設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. ゾーンポリシー構成画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【ゾーンポリシー構成】

作成したゾーンとポリシーを紐付け、さらにゾーンに関して優先度の設定を行います。 最大 10 件のゾーンとポリシーの組み合わせをゾーンポリシー構成に追加することが可能です。

ゾーン:機能ごとに適用するゾーンセットを選択します。 ポリシー:機能ごとに適用するゾーンポリシーを選択します。

【ゾーン不明時】

ゾーン不明と判定された場合に適用するポリシーを選択します。

【ゾーン変更通知】

このオプションが有効な場合は、端末のゾーンが変更された際に、端末上の通知領域に通知を表示します。

## 3.4.3.3 ゾーンポリシー構成の設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、ゾーンポリシー構成の設定セットを新規作成する場合と同様で す。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

### 3.4.3.4 ゾーンポリシー構成の設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

### 3.4.3.5 ゾーンポリシー構成の設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.4.3.6 ゾーンポリシー構成の設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 3.4.3.7 ゾーンポリシー構成の設定セット入力値

ゾーンポリシー構成の設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【扒中夕】	入力必須です。
	設定内で重複はできません。

		制御文字は入力できません。
		30 文字以内で入力してください。
		[S]から始めることはできません。
	ゾーン	作成したゾーンより選択します。
		※ゾーンを重複することは出来ません。
【ゾーンポリシー構成】※	ゾーン不明時	作成したポリシーより選択します。
	ポリシー	作成したゾーンポリシーより選択します。
	ゾーン変更通知	オプション:チェックを入れる。入れない。

※ゾーンポリシー構成で作成するゾーンとポリシーの組み合わせは 10 件以下にしてください。

ユーザーに関する情報の確認、追加、削除、編集行うことができます。 設定項目および、可能な操作は以下のとおりです。

設定項目名	可能な操作
<u>ユーザー</u>	<u>ユーザーを新規作成する</u> <u>ユーザーを編集する</u> <u>ユーザーを削除する</u> <u>ユーザーをまとめて削除する</u> <u>ユーザーを編集する</u> <u>VPP を編集する</u>
<u>ユーザーカスタム項目</u>	<ul> <li>ユーザーカスタム項目(分類)を新規作成する</li> <li>ユーザーカスタム項目(分類)を編集する</li> <li>ユーザーカスタム項目(分類)を削除する</li> <li>ユーザーカスタム項目(分類)をまとめて削除する</li> <li>ユーザーカスタム項目(自由入力)を新規作成する</li> <li>ユーザーカスタム項目(自由入力)を編集する</li> <li>ユーザーカスタム項目(自由入力)を削除する</li> <li>ユーザーカスタム項目(自由入力)を削除する</li> <li>ユーザーカスタム項目(自由入力)を削除する</li> </ul>
<u>ユーザーインポート (新規)</u>	<u>新規ユーザーをインポートする</u>
<u>ユーザーインポート (変更)</u>	<u>変更ユーザーをインポートする</u>
<u>ユーザーエクスポート</u>	<u>ユーザーをエクスポートする</u>

ユーザーの確認、新規作成、削除、編集行うことができます。作成したユーザーは、機器の管理情報として利用することが できます。また、管理サイトのログインに利用するユーザーも当画面で作成可能です。またユーザーオプションパッケージ や VPP ライセンスの設定を行うことも可能です。以下の画面は、特定のユーザーを一覧から選択すると表示されます。

【注意事項】

◆利用中のユーザーアカウントのユーザー種別は、現在の権限より下位の権限に変更することはできますが、現在の権限より上位の権限 に変更することはできません。例えば、ユーザー種別「管理者」権限をもつ管理者 A が、誤ってユーザー種別を「操作者」に変更して しまうと、変更後は管理者 A 自身で、ユーザー種別を「管理者」に戻すことはできません。変更の際には十分ご注意ください。
◆デバイスマネジメントパック版では、ユーザーオプションパッケージはご利用いただけません。



項番	対象	説明
1	検索/並び替え	(A)には検索対象項目、(B)には並び替えの対象項目が表示されます。検索する場合は、検
		索するキーワードを(C)に入力し、[検索] 🔎 をクリックします。検索後、全てのユーザ
		一を再表示するにはブラウザーを再読み込み、または(C)を空欄にし、再度[検索] 🎴 をク
		リックします。
2	[新規作成]	クリックするとユーザー情報欄に入力欄が表示されます。ユーザー新規作成方法は「ユー
		ザーを新規作成する  123 ページを参照してください。

3	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・全てにチェックを入れる:全てのチェックボックスにチェックが入ります。
		・全てのチェックをはずす:全てのチェックボックスからチェックを外します。
		・検索対象:検索対象をユーザー名、フリガナ、ユーザーID、メールアドレス、ユーザー
		種別、組織、登録したユーザーカスタム項目のいずれかに変更することができます。
		・並び替え 昇順:ユーザーー覧をユーザー名、ユーザーID、メールアドレスのいずれか
		で昇順に並び替えます。
		・並び替え 降順:ユーザーー覧をユーザー名、ユーザーID、メールアドレスのいずれか
		で降順に並び替えます。
		・一括削除:チェックの入ったユーザーを削除します。詳細は「ユーザーをまとめて削除
		する」125 ページを参照してください。
4	ユーザー一覧	登録されているユーザー一覧が表示されます。
		(D):ユーザー名
		│(E):検索対象のユーザー情報(検索対象がユーザー名の場合はユーザー種別が表示されま
		す。)
		│(F):並び替え対象のユーザー情報(並び替え対象がユーザー名の場合はメールアドレスが
		表示されます。
5	ユーザー情報	ユーザーー覧より選択したユーザー情報が表示されます。
6	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		│・削除:ユーザーを削除します。詳細は「ユーザーを削除する」 125 ページを参照してくだ
		さい。
$\overline{\mathcal{O}}$	[編集]	登録されているユーザー情報を編集することができます。詳細は「ユーザーを編集する」
	_	124 ページを参照してください。

# 3.5.1.1 ユーザー画面を表示する

ユーザー画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [ユーザー]をクリックします。

### 3.5.1.2 ユーザーを新規作成する

ユーザーを作成します。作成したユーザーは、機器の管理情報として利用することができます。また、管理サイトのログインに利用するユーザーも当画面で作成可能です。

※デバイスマネジメントパック版では、ご利用いただけません。

ユーザー画面より[新規作成] • をクリックします。
 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【名前】

ユーザー名を入力します。

【フリガナ】

フリガナを入力します。半角カタカナで入力しても全角カタカナに、全角空白は半角空白に変換されます。

【ユーザーID】

ユーザーID を入力します。

### 【メールアドレス】

メールアドレスを入力します。

【ユーザー種別】

ユーザーに付与する権限を指定します。ユーザー種別ごとに可能な操作が異なります。

管理者:管理サイト上の全ての操作が可能です。

操作:ロック・ワイプの操作およびロック・ワイプ設定内容の閲覧以外、管理サイト上の全ての操作が可能です。

- 閲覧者:管理サイトの閲覧のみ可能です。新規作成、編集、削除等の変更操作は行えません。
- ロック・ワイプ:ロック・ワイプの操作およびロック・ワイプ設定内容の閲覧、機器情報の閲覧(位置情報を含む)、機器の管理情報の編集のみ可能です。ロック・ワイプ以外の機能に関する情報の閲覧および編集は行えません。

ログイン:トップ(15ページ)の閲覧と個人設定(199ページ)の閲覧、編集のみが可能です。

主にユーザーカスタム項目(131ページ)を用いて追加権限を付与する場合に指定します。 一般:管理サイトへのログイン自体が行えません。

### 【組織】

組織を選択します。登録済みの組織から選択します。

#### 【ユーザーカスタム項目】

ユーザーカスタム項目を選択します。ユーザーカスタム項目を登録していない場合は表示されません。

【機器認証制限】

ユーザーが認証できる機器数の上限を設定します。「制限なし」「制限あり」「認証禁止」から選択します。「制限あり」 を選択した場合は、機器数を入力します。最大機器数は0から 50,000の間の数値で指定してください。

※デバイスマネジメントパック版ではご利用いただけません。

【パスワード】

パスワードを入力します。入力を省略するとランダムなパスワードが設定されます。 管理者ユーザーとして利用するには「ユーザーを編集する」124 ページでパスワードを再設定してください。

【パスワード(再入力)】

確認のため、パスワードを再入力します。

### 3.5.1.3 ユーザーを編集する

作成済みのユーザーを編集します。入力項目に関しては、ユーザーを新規作成する場合と同様です。ただし、ログイン中ユ ーザーのユーザー種別は変更できません。

※デバイスマネジメントパック版では、組織とユーザーカスタム項目のみ編集が可能です。

- 1. ユーザーー覧より対象とするユーザーをクリックします。
- 2. 管理情報またはパスワードの[編集]をクリックします。

3. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。編集をキャンセルする場合は[取消]をクリックします。

### 3.5.1.4 ユーザーを削除する

作成済みのユーザーを削除します。ただし、ログイン中ユーザーは削除できません。

※デバイスマネジメントパック版では、ご利用いただけません。

- 1. ユーザーー覧より対象とするユーザーをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

3.5.1.5 ユーザーをまとめて削除する

登録済みのユーザーを複数指定して削除します。ただし、ログイン中ユーザーは削除できません。削除したいユーザーが多 数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

※デバイスマネジメントパック版では、ご利用いただけません。

- ユーザーー覧より対象とするユーザーのチェックボックスにチェックを入れます。ログイン中のユーザーの削除は行えないため、チェックボックスはありません。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

ユーザーの各種管理情報の確認と編集を行います。



項番	対象	説明
1	検索/並び替え	(A)には検索対象項目、(B)には並び替えの対象項目が表示されます。検索する場合は、検
		索するキーワードを(C)に入力し、[検索] 🔎 をクリックします。検索後、全てのユーザ
		ーを再表示するにはブラウザーを再読み込み、または(C)を空欄にし、再度[検索] 🎴 をク
		リックします。
2	[新規作成]	クリックするとユーザー情報欄に入力欄が表示されます。ユーザー新規作成方法は「ユー
		ザーを新規作成する」123 ページを参照してください。
3	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・全てにチェックを入れる:全てのチェックボックスにチェックが入ります。
		・全てのチェックをはずす:全てのチェックボックスからチェックを外します。
		・検索対象:検索対象をユーザー名、フリガナ、ユーザーID、メールアドレス、ユーザー
		種別、組織、登録したユーザーカスタム項目のいずれかに変更することができます。
		・並び替え 昇順:ユーザーー覧をユーザー名、ユーザーID、メールアドレスのいずれか
		で昇順に並び替えます。
		・並び替え 降順:ユーザーー覧をユーザー名、ユーザーID、メールアドレスのいずれか
		で降順に並び替えます。
		・一括削除:チェックの入ったユーザーを削除します。詳細は「ユーザーをまとめて削除
		する」125 ページを参照してください。
4	ユーザーー覧	登録されているユーザー一覧が表示されます。
		(D):ユーザー名
		(E):検索対象のユーザー情報(検索対象がユーザー名の場合はユーザー種別が表示されま
		す。)
		│(F):並び替え対象のユーザー情報(並び替え対象がユーザー名の場合はメールアドレスが
		表示されます。
5	ユーザー情報	ユーザーー覧より選択したユーザー情報が表示されます。

6	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		▶・削除:ユーザーを削除します。詳細は「ユーザーを削除する」125 ページを参照してくだ
		さい。
$\overline{\mathcal{O}}$	[編集]	登録されているユーザー情報を編集することができます。詳細は「ユーザーを編集する」
		124 ページを参照してください。

### 3.5.1.7 ユーザーを編集する

作成済みのユーザーを編集します。入力項目に関しては、ユーザーを新規作成する場合と同様です。ただし、ログイン中ユ ーザーのユーザー種別は変更できません。

- 1. ユーザーー覧より対象とするユーザーをクリックします。
- 2. 管理情報またはパスワードの[編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。編集をキャンセルする場合は[取消]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

### 【名前】

ユーザー名を入力します。

【フリガナ】

フリガナを入力します。半角カタカナで入力しても全角カタカナに、全角空白は半角空白に変換されます。

【ユーザーID】

ユーザーID を入力します。

【メールアドレス】

メールアドレスを入力します。

【ユーザー種別】

ユーザーに付与する権限を指定します。ユーザー種別ごとに可能な操作が異なります。

管理者:管理サイト上の全ての操作が可能です。

- 操作:ロック・ワイプの操作およびロック・ワイプ設定内容の閲覧以外、管理サイト上の全ての操作が可能です。
- 閲覧者:管理サイトの閲覧のみ可能です。新規作成、編集、削除等の変更操作は行えません。
- ロック・ワイプ:ロック・ワイプの操作およびロック・ワイプ設定内容の閲覧、機器情報の閲覧(位置情報を含む)、機器の管理情報の編集のみ可能です。ロック・ワイプ以外の機能に関する情報の閲覧および編集は行えません。
- ログイン:トップ(15ページ)の閲覧と個人設定(199ページ)の閲覧、編集のみが可能です。

一般:管理サイトへのログイン自体が行えません。

主にユーザーカスタム項目(131ページ)を用いて追加権限を付与する場合に指定します。

組織を選択します。登録済みの組織から選択します。

【ユーザーカスタム項目】

ユーザーカスタム項目を選択します。ユーザーカスタム項目を登録していない場合は表示されません。

【機器認証制限】

ユーザーが認証できる機器数の上限を設定します。「制限なし」「制限あり」「認証禁止」から選択します。「制限あり」 を選択した場合は、機器数を入力します。最大機器数は0から 50,000の間の数値で指定してください。

※デバイスマネジメントパック版ではご利用いただけません。

【パスワード】

パスワードを入力します。入力を省略するとランダムなパスワードが設定されます。 管理者ユーザーとして利用するには「ユーザーを編集する」124 ページでパスワードを再設定してください。

【パスワード(再入力)】

確認のため、パスワードを再入力します。

ユーザーに対する VPP ライセンスの配布状況を確認・管理します。企業に対する VPP ライセンスの配布状態を確認・編集し ます。本画面で割り当てたライセンスは、「VPP ライセンス」の「アプリケーション」タブで、「未割当数」としてカウン トされます。この状態では実際にはライセンスは付与されていません。詳細は 337 ページをご覧ください。

e - ユーザー - Windows Internet Explorer			
	- 🔒 😽 🗙 🖓 Google	• م	
☆ お気に入り			
【企業名】	管理者	としてログイン中	
	マッブ    機器    メニュー  >  ユーザー		
検※: ユーリー名 昇順: ユーザー名 	名 管理者 admin@example.com		
名 管理者 admin@example.com	▲ 管理 WPP 操作 、		
1	テンプレート		
	(i適用するテンプレートを選択) ✓ 適用		
	VPP - 編集中		
2	VPP管理配布登録 VPPライセンス VPP_TOKEN		
3	参加战镇 自動送信	]	
	VPPアプリライセンス付与           アプリケーション名           (+ボタンで追加)		
	✔ 保存 い 取消		
		Ŧ	

項番	対象	説明
1	テンプレート	適用するテンプレートを選択。
2	VPP管理配布登録	VPP ライセンス:VPP アカウントを選択します。
3	参加依頼	VPP アプリケーションを配布するには、ユーザーの参加が必要です。この機能は VPP への参加を求める確認画面をユーザーの端末に表示します。このオプションでは、参加 依頼の送信方法を選択します。 ・自動送信 ・手動送信
4	VPP アプリライセ ンス付与	ライセンスの付与情報を確認・編集します。

### 3.5.1.1 VPP を編集する

ユーザーの VPP の付与状況を編集します。本画面で新たに追加または削除された VPP ライセンスは「仮当て」または「仮削 除」の状態となります。実際にライセンスを付与・削除するには、「VPP ライセンス」の「アプリケーション」タブから操 作を必要があります。詳細は 337 ページをご覧ください。

1. ユーザーー覧より対象とするユーザーをクリックします。

2. VPP アプリライセンス付与の[編集]をクリックします。

3. ※[削除] 👿 をクリックするとグループ入力欄が削除されます。

4. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。編集をキャンセルする場合は[取消]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【VPP 管理配布登録 VPP ライセンス】

VPP ライセンスを選択します。

【参加依頼】

いずれかを選択。

自動送信

手動送信

【参加依頼を送付するデバイス】

参加依頼を送付するデバイスをプルダウンメニューから選択します。

# 3.5.2 ユーザーカスタム項目

ユーザーカスタム項目には、作成したグループより選択する「分類」と、入力欄が表示され自由に入力できる「自由入力」があり ます。ユーザーカスタム項目を用いることで以下の操作が可能となります。作成したユーザーカスタム項目はユーザー(122 ページ)に割り当てて使用します。

### ・ユーザーカスタム項目で一括機器設定を行う

一括機器設定(151ページ)を行う際に設定対象をユーザーカスタム項目で指定可能となります。

#### ・ユーザーに追加権限を付与する

ユーザー種別(124 ページ)で付与した権限の他に、追加で権限を付与することが可能です。権限は追加のみ可能であり 削除はできません。例えば、ユーザー種別「閲覧者」のユーザーに対して編集権限を追加することは可能ですが、ユーザー 種別「管理者」のユーザーから編集権限をはく奪することはできません。「自由入力」には社員番号などを登録することがで きます。ユーザー情報の入力欄として追加されるため、ユーザーごとに追加で情報を登録することができます。

## 【分類】

😑 💶 - ユーザーカスタム項目 - Windows Internet Explorer				
	Concionation (Concionation)		+ م	
🚖 お気に入り				
【企業名】			管理者としてログイン中	
トップ	5 マップ 機器	メニュー > ユーザーカスタム項目	ログアウト	
	所属事業部			
			ß	
④ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	<u> </u>		操作 ▼	
	管理情報			
	分類名			
	グループ			
	グループ名 営業部	本種 <b>F</b> 尼 賞 IFC全		
	システム部	植眼前除		
	総務部	植眼前		
	🖌 編集			
	l			
ver	.3.2.1   •••••• •••   <u>利用規約</u> d	₽│ <u>プライバシーポリシー</u> @│ <u>へルプ</u> @		

項番	対象	説明
1	自由入力	クリックすると自由入力画面が表示されます。表示される画面の詳細は次ページを
2	[新規作成]	ショーンマンション (1997)  ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・
3	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・全てにチェックを入れる:全てのチェックボックスにチェックが入ります。 ・全てのチェックをはずす:全てのチェックボックスからチェックをはずします。 ・一括削除:チェックの入ったユーザーカスタム項目を削除します。詳細は「ユーザ ーカスタム項目をまとめて削除する」134ページを参照してください。

4	ューザーカスタム 項目一覧	登録されているユーザーカスタム項目名一覧が表示されます。
5	ユーザーカスタム	ユーザーカスタム項目一覧より選択したユーザーカスタム項目情報が表示されま
	項目情報	す。
6	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・削除:ユーザーカスタム項目を削除します。詳細は「ユーザーカスタム項目を削除
		する」134 ページを参照してください。
$\overline{\mathcal{I}}$	[編集]	登録されているユーザーカスタム項目情報を編集することができます。詳細は「ユー
		ザーカスタム項目を編集する」 134 ページを参照してください。

# 【自由入力】

🔗 CARDENT 🖶 - ユーザーカスタム項目 - Windows Internet	t Explorer	- • ×
	🝷 🔒 👉 🗙 Google	• م
🚖 お気に入り		
(企業名) トップ	マップ 機器 メニュー > ユーザーカスタム項目	管理者としてログイン中 ログアウト
	社員ID	6
▲ 社員ID	<b>殿</b> 管理	操作 ▼
	管理情報 項目名 社員ID	
	9桁の社員ID。 / 編集 <b>⑦</b>	
		J
	2.1	

項番	対象	説明
1	分類	クリックするとユーザー分類画面が表示されます。表示される画面の詳細は上記の 【分類】を参照してください。
2	[新規作成]	クリックすると自由入力欄が表示されます。自由入力新規作成方法は「自由入力を新 規作成する」135 ページを参照してください。
3	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・全てにチェックを入れる:全てのチェックボックスにチェックが入ります。 ・全てのチェックをはずす:全てのチェックボックスからチェックを外します。 ・一括削除:チェックの入った自由入力を削除します。詳細は「自由入力をまとめて 削除する」136ページを参照してください。
4	自由入力一覧	登録されている自由入力一覧が表示されます。
5	自由入力情報	自由入力一覧より選択した自由入力の詳細が表示されます。
6	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・削除:自由入力を削除します。詳細は「自由入力を削除する」136 ページを参照し てください。
7	[編集]	登録されている自由入力を編集することができます。詳細は「自由入力を編集する」 135 ページを参照してください。

ユーザーカスタム項目画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [ユーザーカスタム項目]をクリックします。

# 3.5.2.2 ユーザーカスタム項目(分類)を新規作成する

ユーザーカスタム項目を作成します。作成したユーザーカスタム項目はユーザーの作成および編集時に入力項目として表示 されます。

1. ユーザーカスタム項目画面より[新規作成] + をクリックします。

2. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

※グループ入力欄を増やすためには[追加] ・ をクリックします。 ※[削除] × をクリックするとグループ入力欄が削除されます。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【分類】タブ

【分類名】

分類名を入力します。

例)所属事業部

【グループ】

グループ名の入力および追加権限の指定を行います。

<sup>🛨</sup> をクリックすることで、最大 300 件まで入力行が追加されます。 🔀 をクリックすると入力行を削除します。

設定項目	説	明			
<i>ド</i> ョ ゚ <i>ヮ</i>	グループ名を入力します。				
シルーノ石	例)営業部、システム部、総務部				
	٦·	ーザーに追加権限を付与す	「る場合に指定します。ユーザー種別(124 ページ)で付与された権限では行えない操		
	作	を可能にすることができま	す。権限を追加する必要がない場合は指定する必要はありません。追加する権限は		
	「紙	l織(97 ページ)」「ユーザー	所有の機器」ごとに指定します。		
			組織(97 ページ)に対して追加する権限を指定します。例えばユーザー種別「閲覧		
			者」のユーザーに、営業部に対してのみ「管理者」権限を付与することが可能です。		
		<b>冬日 冬</b> 林	権限は「管理者」「操作」「閲覧者」「ロック・ワイプ」のいずれかを指定します。各権限		
権限		和且不可	の詳細はユーザー種別(124 ページ)と同様です。 💶 をクリックすることで、作成済		
			みの組織の数まで入力行が追加されます。 🗙 をクリックすると入力行を削除しま		
			す。		
		ユーザー所有の機器	ユーザー所有の機器に対して追加する権限を指定します。例えばユーザー種別「閲		
			覧者」のユーザーに、自身が所有する機器に対してのみ「管理者」権限を付与するこ		
			とが可能です。権限は「管理者」「操作」「閲覧者」「ロック・ワイプ」「なし」のいずれかを		
			指定します。「なし」を選択した場合はユーザー所有の機器に対して権限の追加を行		

		いません。その他の権限の詳細はユーザー種別(124 ページ)と同様です。
	アプリ	アプリに対して追加する権限を指定します。
		(現状、表示される情報はありません)

※デバイスマネジメントパック版では、バージョン 5.8.0 以降でのみ権限をご利用いただけます。

【自由入力】タブ

【管理情報】

項目名と説明を記入します。

	項目名	項目名を 30 文字以内で入力してください。
管理情報		例)社員 ID、生年月日など
	説明	項目の説明を 100 文字以内で入力してください。

### 3.5.2.3 ユーザーカスタム項目(分類)を編集する

作成済みのユーザーカスタム項目を編集します。入力項目に関しては、ユーザーカスタム項目を新規作成する場合と同様で す。

1. ユーザーカスタム項目一覧より対象とするユーザーカスタム項目をクリックします。

2. [編集]をクリックします。

3. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。編集をキャンセルする場合は[取消]をクリックします。

### 3.5.2.4 ユーザーカスタム項目(分類)を削除する

作成済みのユーザーカスタム項目を削除します。

- 1. ユーザーカスタム項目一覧より対象とするユーザーカスタム項目をクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 3.5.2.5 ユーザーカスタム項目(分類)をまとめて削除する

登録済みのユーザーカスタム項目を複数指定して削除します。削除したいユーザーカスタム項目が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. ユーザーカスタム項目一覧より対象とするユーザーカスタム項目のチェックボックスにチェックを入れ ます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

ユーザーカスタム項目では下記入力ルールで設定を行います。

大項目名	小項目名	ルール
	【分類名】	重複はできません。
		制御文字は入力できません。
管理情報		30 文字以内で入力してください。
	【説明】	制御文字は入力できません。
		ルール : 100 文字以内で入力してください。

### 3.5.2.7 ユーザーカスタム項目(自由入力)を表示する

自由入力画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [ユーザーカスタム項目]をクリックします。
- 3. 自由入力タブをクリックします。

### 3.5.2.8 ユーザーカスタム項目(自由入力)を新規作成する

自由入力を作成します。作成した自由入力は、ユーザーの作成および編集時に入力項目として表示されます。

- 1. 自由入力画面より[新規作成] 🚺 をクリックします。
- 2. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【項目名】

項目名を入力します。 例)備考

【説明】

説明を入力します。

例)紛失している付属品など、気になる事項があれば入力してください。

### 3.5.2.9 ユーザーカスタム項目(自由入力)を編集する

作成済みの自由入力を編集します。入力項目に関しては、自由入力を新規作成する場合と同様です。

- 1. 自由入力一覧より対象とする自由入力をクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。編集をキャンセルする場合は[取消]をクリックします。

# 3.5.2.10 ユーザーカスタム項目(自由入力)を削除する

作成済みの自由入力を削除します。

- 1. 自由入力一覧より対象とする自由入力をクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.5.2.11 ユーザーカスタム項目(自由入力)をまとめて削除する

登録済みの自由入力を複数指定して削除します。削除したい自由入力が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

1. 自由入力一覧より対象とする自由入力のチェックボックスにチェックを入れます。

- 2. [その他の操作] をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.5.2.12 ユーザーカスタム項目(自由入力)の入力値

ユーザーカスタム項目では下記入力ルールで設定を行います。

大項目名	小項目名	ルール
	【項目名】	入力必須です。
		重複はできません。
答理样招		制御文字は入力できません。
官理情報		30 文字以内で入力してください。
	【説明】	制御文字は入力できません。
		ルール : 100 文字以内で入力してください。

ダウンロードした CSV ファイルにユーザー情報を入力しインポートすることで、複数のデータをまとめて登録することがで きます。

【注意事項】

◆デバイスマネジメントパック版では、本機能をご利用いただけません。

◆インポートできるファイルサイズは 10MB までです。



項番	対象	説明
1	[ダウンロード]	クリックすると項目名のみが記載された CSV ファイルのテンプレートをダウンロ ードできます。
2	[参照]	インポートする CSV ファイルを指定します。指定したファイル名が左側に表示されます。
3	[アップロード]	指定された CSV ファイルをアップロードします。

## 3.5.3.1 ユーザーインポート(新規)画面を表示する

ユーザーインポート(新規)画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [ユーザーインポート(新規)]をクリックします。

### 3.5.3.2 新規ユーザーをインポートする

CSV ファイルからユーザーの新規登録をまとめて行います。

1. ユーザーインポート(新規)画面を表示します。

- 2. [ダウンロード]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。
- ダウンロードした CSV ファイルを Excel やメモ帳で開き、ユーザー情報を入力してください。入力が終 了したら保存してファイルを閉じてください。
- 4. [参照]をクリックして、保存した CSV ファイルを選択してください。
- 5. [アップロード]をクリックしてください。アップロードが終了したら自動的にインポート確認画面が表示 されます。
- 6. インポート内容に誤りがある場合は、備考欄にエラー内容が表示されます。CSV ファイルを修正し、再 度アップロードしてください。
- 7. [インポート実行]をクリックします。インポート内容に誤りがある場合は[インポート実行]は表示されません。

※CSV ファイルの1行目には項目名が表示されています。ユーザー情報の入力は2行目から行ってください。

※CSV ファイル内の[G]から始まる項目はユーザーカスタム項目です。

ユーザーカスタム項目を登録していない場合は表示されません。

⇒ユーザーカスタム項目を新規作成する 133 ページ

※CSV ファイルの詳細な入力方法に関しては下記を参照してください。

⇒インポートデータ入力方法 457 ページ

登録済みのユーザー情報を一度 CSV ファイルに出力し、編集後インポートすることで、登録データをまとめて変更することができます。

【注意事項】

◆デバイスマネジメントパック版では、本機能をご利用いただけません。

◆インポートできるファイルサイズは 10MB までです。



項番	対象	説明
1	[ダウンロード]	クリックすると作成済みの全ユーザー情報が記載された CSV ファイルをダウンロ ードできます。
2	[参照]	インポートする CSV ファイルを指定します。指定したファイル名が左側に表示されます。
3	[アップロード]	指定された CSV ファイルをアップロードします。

### 3.5.4.1 ユーザーインポート(変更)画面を表示する

ユーザーインポート(変更)画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [ユーザーインポート(変更)]をクリックします。

### 3.5.4.2変更ユーザーをインポートする

CSV ファイルからユーザーの編集をまとめて行います。

1. ユーザーインポート(変更)画面を表示します。

- 2. [ダウンロード]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。
- ダウンロードした CSV ファイルを Excel やメモ帳で開き、ユーザー情報を入力してください。入力が終 了したら保存してファイルを閉じてください。
- 4. [参照]をクリックして、保存した CSV ファイルを選択してください。
- 5. [アップロード]をクリックしてください。アップロードが終了したら自動的にインポート確認画面が表示 されます。
- 6. インポート内容に誤りがある場合は、備考欄にエラー内容が表示されます。CSV ファイルを修正し、再 度アップロードしてください。
- 7. [インポート実行]をクリックします。インポート内容に誤りがある場合は[インポート実行]は表示されません。
- ※変更に用いる CSV ファイルには登録済みのユーザー情報が表示されています。行の追加や削除は行わず、 修正のみ行ってください。列の追加や削除に関しても同様です。

※CSV ファイル内の[G]から始まる項目はユーザーカスタム項目です。

ユーザーカスタム項目を登録していない場合は表示されません。

⇒ユーザーカスタム項目 131 ページ

※CSV ファイルの詳細な入力方法に関しては下記を参照してください。 ⇒インポートデータ入力方法 457 ページ 登録済みのユーザーを CSV ファイルに出力することができます。

【注意事項】

◆ダウンロードされる CSV ファイルは、変更ユーザーをインポートする際にダウンロードする CSV ファイルと同じものです。

	- • ×
	+ م
☆ お気に入り - ユーザーエクスポート	
【企業名】	管理者としてログイン中
トップ マップ 機器 メニュー > ユーザーエクスボート	ログアウト
CSVファイルのダウンロード	
「ダウンロード」ボタンをクリックしてCSVファイルをダウンロードします。	
抽出条件 VPPアカウント: (選択なし) ▼ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
ダウンロード 🛨 ②	
● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	-

項番	対象	説明
1	抽出条件	抽出する VPP アカウントを選択します。
2	[ダウンロード]	クリックすると作成済みの全ユーザー情報が記載された CSV ファイルをダウンロ ードできます。

## 3.5.5.1 ユーザーエクスポート画面を表示する

ユーザーエクスポート画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [ユーザーエクスポート]をクリックします。

### 3.5.5.2 ユーザーをエクスポートする

作成済みの全ユーザー情報が記載された CSV ファイルをダウンロードします。エクスポート時の文字コードは日本語環境では SHIFT-JIS(cp932)、その他の環境では UTF-8 となります。

1. ユーザーエクスポート画面を表示します。

- 2. 必要な場合は抽出する VPP アカウントを選択します。
- 3. [ダウンロード]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。 ダウンロードし
  - た CSV ファイルは Excel やメモ帳で開けます。

# 3.6 機器

機器に関する情報の確認、追加、削除、編集行うことができます。 また、機器に対する一括設定、一括操作を行うことも可能です。 設定項目および、可能な操作は以下のとおりです。

設定項目名	可能な操作
マップ	・ <u>ネットワークマップを表示する</u>
<u>機器</u>	<ul> <li>機器画面を表示する</li> </ul>
<u>機器カスタム項目</u>	<ul> <li>機器分類を新規作成する</li> <li>機器分類を編集する</li> <li>機器分類を削除する</li> <li>機器分類をまとめて削除する</li> <li>自由入力を新規作成する</li> <li>自由入力を編集する</li> <li>自由入力を割除する</li> <li>自由入力をまとめて削除する</li> </ul>
一括機器設定	・ <u>一括して複数の機器に設定セットを適用する</u> ・ <u>一括して複数の機器にリモート操作を行う</u>
機器インポート(新規)	<ul> <li>新規機器をインポートする</li> </ul>
	・ <u>変更機器をインポートする</u>
<u>機器レポート(エクスポート)</u>	・ <u>機器の一覧を確認する</u> ・ <u>機器の一覧をエクスポートする</u>
<u>アプリケーションレポート</u>	・ <u>アプリケーションの一覧を確認する</u> ・ <u>アプリケーションの一覧をエクスポートする</u>
<u>メッセージ通知</u>	<ul> <li>・通知メッセージを新規作成する</li> <li>・通知メッセージを編集する</li> <li>・通知メッセージの配信先を設定する</li> <li>・通知メッセージをただちに配信する</li> <li>・通知メッセージをスケジュール配信する</li> <li>・通知メッセージの配信履歴を確認する</li> <li>・通知メッセージを削除する</li> <li>・通知メッセージをまとめて削除する</li> </ul>
<u>クライアント証明書管理</u>	<ul> <li>・証明書をアップロードする</li> <li>・証明書を再アップロードする</li> <li>・証明書を削除する</li> <li>・証明書をまとめて削除する</li> </ul>
<u>クライアント証明書一括アップ</u> <u>ロード</u>	<u>・証明書を一括アップロードする</u>
<u>ネットワーク</u>	・ <u>ネットワークを新規作成する</u> ・ <u>ネットワークを編集する</u> ・ <u>ネットワークを削除する</u> ・ <u>ネットワークをまとめて削除する</u>

# 3.6.1 マップ

ネットワークマップを表示します。

ページリンクでマップをクリックした際と同様の画面を表示します。画面の詳細は以下を参照してください。 ⇒マップタブ 18 ページ

## 3.6.1.1 ネットワークマップを表示する

ネットワークマップを表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [マップ]をクリックします。

## 3.6.2 機器

機器画面を表示します。

ページリンクで機器をクリックした際と同様の画面を表示します。画面の詳細は以下を参照してください。 ⇒機器タブ 21 ページ

### 3.6.2.1 機器画面を表示する

機器画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [機器]をクリックします。
機器カスタム項目には、作成したグループより選択する「分類」と、入力欄が表示され自由に入力できる「自由入力」がありま す。「分類」には部署名や役職名などを登録することができます。ここで分類を作成し、機器を所属させることで、機器の設 定(アプリケーション禁止、発信先制限等)を1台ずつ行わなくても、一括で設定することができます。設定を行った時点でそ の分類に所属している機器の機器に設定が反映されます。

「自由入力」には資産番号などを登録することができます。機器情報の入力欄として追加されるため、機器ごとに追加で情報 を登録することができます。また、「機器から入力可」にチェックを入れると、機器から直接機器情報(「分類」、「自由入力」) を登録することが可能です。

【参考ページ】

◇分類ごとの一括での設定方法⇒一括機器設定 151 ページ

【機器分類】

	Explorer	- • ×
🚱 🕞 💌 🛃 hitigan ( bio babward) aptres sa ja 'n gyra	undel, anesis husines, incore his 1941 🔻 🔒 👍 😽 🗙 🛃 Google	• م
🚖 お気に入り		
【企業名】		管理者としてログイン中
<u> し トップ </u>	⑤ マップ 機器 メニュー ・ 機器カスタム項目	ログアウト
分類 自由入力 2 + ▼ 3	分類1	
④ 分類1 グルーブ1, グルーブ2, グルーブ3	<b>凤</b> 管理	6 操作 ▼
■ ② 分類2 グループ4, グループ5, グループ6	管理情報	
■ ② 分類3 グルーブ7, グルーブ8, グルーブ9	分類1 グループ グループ名 グループ1 グループ2 グループ3	
	#3553 機器から入力可 / 編集 ⑦	J
x ( 1/1 ) )		*
	<u>利用規約</u> @  <u>プライバシーボリシー</u> @  <u>ヘルブ</u> @	

項番	対象	説明
1	自由入力	クリックすると自由入力画面が表示されます。表示される画面の詳細は次ページ
		を参照してください。
2	[新規作成]	クリックすると機器分類入力欄が表示されます。機器分類新規作成方法は「機器分
		類を新規作成する」147 ページを参照してください。
3	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・全てにチェックを入れる:全てのチェックボックスにチェックが入ります。
		・全てのチェックをはずす:全てのチェックボックスからチェックを外します。
		<ul> <li>・一括削除:チェックの入った機器分類を削除します。詳細は「機器分類をまと</li> </ul>
		めて削除する」149 ページを参照してください。
4	機器分類一覧	登録されている機器分類一覧が表示されます。
5	機器分類情報	機器分類一覧より選択した機器分類の詳細が表示されます。

6	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・削除∶機器分類を削除します。詳細は「機器分類を削除する」148 ページを参照
		してください。
$\bigcirc$	[編集]	│登録されている機器分類を編集することができます。詳細は「機器分類を編集す
		る」148 ページを参照してください。

## 【自由入力】

	Explorer	- • ×
🚱 🕞 💌 🛃 hiligan ( bin bahwali apiter an ju felger	under Landar under Statistica 👻 🔒 👍 🗙 Google	• م
🚖 お気に入り		
【企業名】		管理者としてログイン中
<u> </u>	⑤マップ 機器 メニュー > 機器カスタム項目	ログアウト
→ 分類 自由入力	自由入力1	
<ul> <li>自由入力1</li> <li>自由入力1です</li> </ul>	<b>刷</b> 管理	6 操作 🔻
■ ② 自由入力2 自由入力2です。	管理情報	
□ □ 自由入力3	項1名 自由入力1	
自由人力3です。		
	機器から入力可	
K K 1/1 > F		-

項番	対象	説明
1	分類	クリックすると機器分類画面が表示されます。表示される画面の詳細は前ページ
		を参照してください。
2	[新規作成]	クリックすると自由入力欄が表示されます。自由入力新規作成方法は「自由入力を
		新規作成する」148 ページを参照してください。
3	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・全てにチェックを入れる:全てのチェックボックスにチェックが入ります。
		・全てのチェックをはずす:全てのチェックボックスからチェックを外します。
		・ 一括削除:チェックの入った自由入力を削除します。詳細は「自由入力をまとめ
		て削除する」149 ページを参照してください。
4	自由入力一覧	登録されている自由入力一覧が表示されます。
5	自由入力情報	自由入力一覧より選択した自由入力の詳細が表示されます。
6	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・削除:自由入力を削除します。詳細は「自由入力を削除する」149 ページを参照
		してください。
$\overline{\mathcal{O}}$	[編集]	登録されている自由入力を編集することができます。詳細は「自由入力を編集す
		る」148 ページを参照してください。

## 3.6.3.1 機器分類画面を表示する

機器分類画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [機器カスタム項目]をクリックします。
- 3. 分類タブをクリックします。

### 3.6.3.2 自由入力画面を表示する

自由入力画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [機器カスタム項目]をクリックします。
- 3. 自由入力タブをクリックします。

## 3.6.3.3 機器分類を新規作成する

機器分類を作成します。作成した機器分類は、機器の作成および編集時に入力項目として表示されます。

- 1. 機器分類画面より[新規作成] + をクリックします。
- 2. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

※グループ入力欄を増やすためには[追加]
 をクリックします。
 ※[削除]
 をクリックするとグループ入力欄が削除されます。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【項目名】

項目名を入力します。

例)購入年度

【グループ】

グループ名を入力します。 **・** をクリックすることで、最大 300 件まで入力行が追加されます。 × クリックすると行を削除します。

例)2010、2011、2012

## 3.6.3.4 自由入力を新規作成する

自由入力を作成します。作成した自由入力は、機器の作成および編集時に入力項目として表示されます。

1. 自由入力画面より[新規作成] 🛨 クリックします。

2. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【項目名】

項目名を入力します。

例)備考

#### 【説明】

説明を入力します。

例)紛失している付属品など、気になる事項があれば入力してください。

### 3.6.3.5機器分類を編集する

作成済みの機器分類を編集します。入力項目に関しては、機器分類を新規作成する場合と同様です。

- 1. 機器分類一覧より対象とする機器分類をクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。編集をキャンセルする場合は[取消]をクリックします。

### 3.6.3.6 自由入力を編集する

作成済みの自由入力を編集します。入力項目に関しては、自由入力を新規作成する場合と同様です。

- 1. 自由入力一覧より対象とする自由入力をクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。編集をキャンセルする場合は[取消]をクリックします。

#### 3.6.3.7機器分類を削除する

作成済みの機器分類を削除します。

- 1. 機器分類一覧より対象とする機器分類をクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.6.3.8 自由入力を削除する

作成済みの自由入力を削除します。

- 1. 自由入力一覧より対象とする自由入力をクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.6.3.9機器分類をまとめて削除する

登録済みの機器分類を複数指定して削除します。削除したい機器分類が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

1. 機器分類一覧より対象とする機器分類のチェックボックスにチェックを入れます。

- 2. [その他の操作] をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.6.3.10 自由入力をまとめて削除する

登録済みの自由入力を複数指定して削除します。削除したい自由入力が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 自由入力一覧より対象とする自由入力のチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.6.3.11 機器カスタム項目の設定セット入力値

機器カスタム項目では下記入力ルールで設定を行います。

カスタム項目	項目名	ルール
	【項目名】	入力必須です。
		重複はできません。
		制御文字は入力できません。
操品公理		30 文字以内で入力してください。
(城奋)7 與 自由入力	【グループ】	入力必須です。
		分類内で重複はできません。
		制御文字は入力できません。
		30 文字以内で入力してください。
	【項目名】	入力必須です。
		重複はできません。

		制御文字は入力できません。
		30 文字以内で入力してください。
	<b>/=×=0</b>	制御文字は入力できません。
		100 文字以内で入力してください。

# 3.6.4 一括機器設定

SDカードの利用を禁止する/カメラの利用を禁止する/リモートロックを行う/リモートワイプを行うなど、機器の動作を 制限することが可能です。これらを行うには、事前に制限内容を「設定セット」で指定しておき、この設定セットを機器に適 用することにより、機器の制限が実現されます。当画面では、複数の機器に対して設定セットの一括適用を行うことができ ます。

【注意事項】

◆機器の指定はグループ単位で行います。機器分類およびユーザーカスタム項目を利用することで、効果的に一括機器設定をご利用いただけます。分類を登録していない場合は、全ての機器を対象とした設定のみ可能です。

⇒機器分類を新規作成する 147 ページ

⇒ユーザーカスタム項目を新規作成する 133ページ

◆「一括変更」をクリック後に、機器への同期が行われます。反映されるまでの時間は、サーバーや機器の通信状態に依存するため、お 急ぎの場合は、機器ごとに設定をし、同期を行ってください。

⇒単一の機器に設定セットを適用する 61ページ



項番	対象	説明
1	グループー覧	ー括機器設定の適用対象として、選択可能なグループが表示されます。ユーザーカ スタム項目および機器分類を登録していない場合は、[全ての機器]のみが表示され ます。
		適用対象とするグループをクリックしてください。
2	選択グループ名	ー括機器設定の適用対象として選択中のグループ名および、グループに所属してい る機器数が表示されます。一括設定の適用前に対象に間違いがないことを、ご確認 ください。

3	機能タブ	ー括機器設定が可能な機能をまとめているタブです。一度の操作で適用できるのは いずれか1つのタブのみです。各タブの概要は以下のとおりです。 【Android 設定】 Android 機器に対して一括機器設定が可能な機能をまとめています。 【iOS 設定】 iOS 機器に対して一括機器設定が可能な機能をまとめています。
		【Windows 設定】 Windows 機器に対して一括機器設定が可能な機能をまとめています。 【その他】 ・Android リモート操作 Android 機器に対するリモートロック/ロック解除/リモートワイプ/スクリー ンロックパスワード設定をまとめています。
		<ul> <li>iOS リモート操作</li> <li>iOS 機器に対するリモートロック/リモートワイプ/リモートワイプ(管理領域)</li></ul>
		・Windows リモート操作 Windows 機器に対するリモートロック/ロック解除/リモートワイプ (BitLocker/データ削除)をまとめています。
4	機能名	ー括機器設定が可能な機能名が表示されます。機能名をクリックすると設定セット 作成画面が表示されます(メニュータブから各種機能名をクリックした時と同様の 動作です)。
5	設定セット名	適用可能な設定セットが表示されます。 機能ごとに適用したい設定セットを指定してください。

## 3.6.4.1 一括機器設定画面を表示する

一括機器設定画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [一括機器設定]をクリックします。

## 3.6.4.2 一括して複数の機器に設定セットを適用する

一括して複数の機器に設定セットを適用します。

※リモートワイプは、設定セットを選択し「一括変更」をクリック後、確認画面で「OK」をクリックすることで、次回の同期時(手動同期含む)に対象機器が初期化されます。ご利用には細心の注意を払ってください。

- 1. グループー覧より対象とするグループをクリックします。
- 2. 機能タブから目的のタブをクリックします。Android 機器に対する一括設定を行う場合は[Android 設定] をクリックします。iOS 機器に対する一括設定を行う場合は[iOS 設定]をクリックします。Windows 機器 に対する一括設定を行う場合は[Windows 設定]をクリックします。
- 機能ごとに適用する設定セットを選択します。設定変更の必要がない機能に対しては初期値である「(変 更後の設定を選択)」のままで結構です。
- 4. [一括変更]をクリックします。
- 5. 確認画面で[OK]をクリックします。

※設定セットの作成手順については以下を参照してください。

⇒メニュータブ 90 ページ

※当画面では複数の機器に対する一括設定を行います。単一の機器に設定を行う場合は以下を参照してください。 ⇒単一の機器に設定セットを適用する 61 ページ

※本製品のご利用を解約いただいても、機器に対して行った設定はそのまま保持されるのでご注意ください。解約の際は事前に各種設定セットに「設定なし」を適用してください。

※既に何らかの設定セットが選択されている状態から「設定なし」に変更した場合、機器の持っている設定値はその時点の値 のままとなり、初期値に戻すなど、設定値を変更する事は行っておりません。また、「カメラ禁止」や「アプリケーション禁 止」など、機器の持っている設定項目ではなく、エージェントで制御されている機能は、「設定なし」を選択する事で、作用し なくなります。各種設定がどちらのタイプに分類されるかは以下を参照してください。

⇒「(設定なし)」とした場合の各種設定の挙動 482 ページ

#### 3.6.4.3 一括して複数の機器にリモート操作を行う(Android 機器/iOS 機器/Mac OS 機器)

一括して複数の機器にリモート操作を行います。設定セットは不要です。

※リモートワイプは、設定セットを選択し「実行」をクリック後、確認画面で「OK」をクリックすることで、次回の同期時(手動同期含む)に対象機器が初期化されます。ご利用には細心の注意を払ってください。

- 1. グループー覧より対象とするグループをクリックします。
- 2. 機能タブから[Android リモート操作]または[iOS リモート操作]をクリックします。
- 3. 目的の操作に対する[実行]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

※実行可能なリモート操作については以下を参照してください。

⇒リモートロックを行う(Android 機器) 67 ページ ⇒ロック解除を行う(Android 機器) 67 ページ ⇒リモートワイプを行う(Android 機器) 68 ページ ⇒スクリーンロックパスワード設定を行う(Android 機器) 68 ページ ⇒リモートロックを行う(iOS 機器) 70 ページ ⇒リモートワイプを行う(iOS 機器) 71 ページ ⇒機器の管理領域のデータを削除する(iOS 機器)71 ページ ⇒パスコード削除を行う(iOS 機器) 71 ページ ⇒リモートロックを行う(Mac 機器) 73 ページ ⇒リモートワイプを行う(Mac 機器) 73 ページ ⇒リモートワイプを行う(Mac 機器) 75 ページ ⇒リモートロックを行う(Windows 機器) 76 ページ ⇒リモートワイプを行う(Windows 機器) 76 ページ ダウンロードした CSV ファイルに機器情報を入力しインポートすることで、複数のデータをまとめて登録することができます。

#### 【注意事項】

- ◆デバイスマネジメントパック版では、本機能をご利用いただけません。
- ◆インポートできるファイルサイズは 10MB までです。
- ◆インポート内容は、次回同期時に反映されます。
- ◆VPNの「ユーザーパスワード」にアステリスク(\*)のみで構成された文字列を指定することはできません。

🖉 💶 - 機器インポート (新規) - Windows Internet Explorer	- ē ×
	• م
☆ お気に入り - 機器インボート (新規)	
	管理者としてログイン中
トップ マップ 機器 メニュー → 機器インボート(新規)	ログアウト
1. CSVファイルを準備します	
「ダウンロード」ボタンをクリックしてCSVファイルをダウンロードします。 ダウンロードしたファイルの内容を編集して保存してください。	
2. CSVファイルをアップロードします	
編集したOSVファイルを指定して「アッブロード」ボタンをクリックしてください。 アップロード完了後、インボートの確認画面に移動します。	
アップロード * 3	<u>参照</u>
	-

項番	対象	説明
1	[ダウンロード]	クリックすると項目名のみが記載された CSV ファイルのテンプレートをダウンロ ードできます。
2	[参照]	インポートする CSV ファイルを指定します。指定したファイル名が左側に表示されます。
3	[アップロード]	指定された CSV ファイルをアップロードします。

### 3.6.5.1 機器インポート(新規)画面を表示する

機器インポート(新規)画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [機器インポート(新規)]をクリックします。

### 3.6.5.2 新規機器をインポートする

CSV ファイルから機器の新規登録をまとめて行います。

1. 機器インポート(新規)画面を表示します。

- 2. [ダウンロード]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。
- 3. ダウンロードした CSV ファイルを Excel やメモ帳で開き、機器情報を入力してください。入力が終 了したら保存してファイルを閉じてください。
- 4. [参照]をクリックして、保存した CSV ファイルを選択してください。
- 5. [アップロード]をクリックしてください。アップロードが終了したら自動的にインポート確認画面が 表示されます。
- インポート内容に誤りがある場合は、備考欄にエラー内容が表示されます。CSV ファイルを修正し、
   再度アップロードしてください。
- 7. [インポート実行]をクリックします。インポート内容に誤りがある場合は[インポート実行]は表示されません。

※CSV ファイルの1行目には項目名が表示されています。機器情報の入力は2行目から行ってください。

※CSV ファイル内の[G]から始まる項目は機器分類です。

機器分類を登録していない場合は表示されません。

⇒機器分類を新規作成する 147 ページ

※CSV ファイル内の[C]から始まる項目は自由入力です。

自由入力を登録していない場合は表示されません。

⇒自由入力を新規作成する 148 ページ

※CSV ファイルの詳細な入力方法に関しては下記を参照してください。 ⇒インポートデータ入力方法 457 ページ

# 3.6.6 機器インポート (変更)

登録済みの機器情報を一度 CSV ファイルに出力し、編集後インポートすることで、登録データをまとめて変更することができます。

【注意事項】

- ◆デバイスマネジメントパック版では、本機能をご利用いただけません。
- ◆インポートできるファイルサイズは 10MB までです。
- ◆インポート内容は、次回同期時に反映されます。



項番	対象	説明
1	[ダウンロード]	クリックすると作成済みの全機器情報が記載された CSV ファイルをダウンロード できます。
2	[参照]	インポートする CSV ファイルを指定します。指定したファイル名が左側に表示されます。
3	[アップロード]	指定された CSV ファイルをアップロードします。

### 3.6.6.1 機器インポート(変更)画面を表示する

機器インポート(変更)画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [機器インポート(変更)]をクリックします。

### 3.6.6.2変更機器をインポートする

CSV ファイルから機器の編集をまとめて行います。

1. 機器インポート(変更)画面を表示します。

- 2. [ダウンロード]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。
- 3. ダウンロードした CSV ファイルを Excel やメモ帳で開き、機器情報を入力してください。入力が終 了したら保存してファイルを閉じてください。
- 4. [参照]をクリックして、保存した CSV ファイルを選択してください。
- 5. [アップロード]をクリックしてください。アップロードが終了したら自動的にインポート確認画面が 表示されます。
- インポート内容に誤りがある場合は、備考欄にエラー内容が表示されます。CSV ファイルを修正し、
   再度アップロードしてください。
- 7. [インポート実行]をクリックします。インポート内容に誤りがある場合は[インポート実行]は表示されません。
- ※変更に用いる CSV ファイルには登録済みの機器情報が表示されています。行の追加や削除は行わず、 修正のみ行ってください。列の追加や削除に関しても同様です。

※CSV ファイル内の[G]から始まる項目は機器分類です。

機器分類を登録していない場合は表示されません。

⇒機器分類を新規作成する 147 ページ

※CSV ファイル内の[C]から始まる項目は自由入力です。 自由入力を登録していない場合は表示されません。 ⇒自由入力を新規作成する 148 ページ

※CSV ファイルの詳細な入力方法に関しては下記を参照してください。 ⇒インポートデータ入力方法 457 ページ 管理情報や、機器情報、設定状況を一覧で確認することができます。作成した機器レポートは機器インポート時に使用したり、CSV ファイルに出力することができます。

e	② ■ - 機器レポート - Windows Internet Explorer		
$\Theta$	🕞 🔻 🔝 🖬 🖉 Google 🖉 🗸		
∰ a	お気に入り - 機器レポート		
	【企業名】 管理者としてログイン中		
112	トップ マップ 機器 メニュー > 機器レボート ログアウト		
1	レポートに含める項目		
	☞管理 ☞ 位置 ☞ 機器検出		
	● クイルスA1ネットワーク 回転視対象 図 バッテリー 図 ストレージ 図 ロック 図 ローミング 図 暗号化 図 Jailbreak		
	iOS: ■ その他の情報 ■ 設定 ■ Exchange設定 ■ VPN設定 ■ DEP ■ クライアント証明書		
	Mac OS: 🕑 機器 🗹 ネットワーク 🖉 ストレージ 🗷 暗号化		
	図 機器 図 ネットワーク 図 ブリンター 図 ハードウェア 図 BIOS 図 ストレージ 図 ログオンユーザー 図 ロック Windows: の セキュリニック 図 ジェマ ク ジェマ 小 ジョョナ		
	● ビキュリティ ● 設定 ● ワリイアンド証明書		
2	□ 機器インボートで使用可能な形式にする		
	□ ライゼノス認証待ちの機器を含める		
3	レボート作成 選択した項目で機器レポートを作成します。		

項番	対象	説明
1	レポートに含める 項目	レポートに出力する項目を指定します。
2	オプション	レポート出力に関するオプションを指定します。 ※デバイスマネジメントパック版では、オプション「機器インポートで使用可能な 形式にする」が表示されません。
3	[レポート作成]	レポートの作成を開始します。

## 3.6.7.1 機器レポート(エクスポート)画面を表示する

機器レポート(エクスポート)画面を表示します。

## 1. メニュータブをクリックします。

2. [機器レポート(エクスポート)]をクリックします。

## 3.6.7.2 機器レポートを確認する

機器レポートを確認します。

- 1. [機器レポート(エクスポート)]画面を表示します。
- 2. レポートに含める項目および、オプションを指定します。

3. [レポート作成]をクリックします。レポートの作成が終了すると、自動的にレポートが表示されます。

※ご契約内容により、チェック項目が異なります。

※「Jailbreak」は iOS エージェントがインストールされていない場合は表示されません。

※「機器インポートで使用可能な形式にする」にチェックを入れた場合、作成したレポートを CSV ファイルに 出力し、機器インポートで使用することができます。

※デバイスマネジメントパック版では、オプション「機器インポートで使用可能な形式にする」が表示されません。

※レポート作成に時間がかかる場合があります。

※レポートに表示される項目はチェックされた項目や機器カスタム項目により異なります。

## 3.6.7.3 機器レポートをエクスポートする

機器レポートをエクスポートします。エクスポート時の文字コードは日本語環境では SHIFT-JIS(cp932)、その他の環境では UTF-8 となります。

- 1. 機器レポートを作成します。
- 2. レポート画面に表示されている[CSV ダウンロード]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存 してください。

管理外機器の一覧をエクスポートすることができます。管理外機器の詳細については機器の種類(19ページ)を参照してください。

【注意事項】

◆デバイスマネジメントパック版では、本機能をご利用いただけません。

Colored Ini -	管理外機器エクスポート - Windows Internet	Explorer			
© • •	adde i series e depende de series i se	rs, hu, hep-th	• ≞ 4 ×	Google	<del>،</del> م
🎡 お気に入り	- 管理外機器エクスポート				
	【企業名】				管理者としてログイン中
	トップ	マップ    機器	×=1-  )	管理外機器エクスボート	ログアウト
1) オブション □除外機器	を全める				
	-k" ±				
					-
			<u>ゅープライバシーポリシー</u> で	- Michie	

項番	対象	説明
1	オプション	除外機器をエクスポート結果に含める場合は有効にします。除外機器の詳細につい ては、機器の種類(19ページ)を参照してください。
2	[ダウンロード]	管理外機器のエクスポートを開始します。

## 3.6.8.1 管理外機器エクスポート画面を表示する

管理外機器エクスポート画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [管理外機器エクスポート]をクリックします。

## 3.6.8.2 管理外機器をエクスポートする

管理外機器をエクスポートします。エクスポート時の文字コードは日本語環境では SHIFT-JIS(cp932)、その他の環境では UTF-8 となります。 1. [管理外機器エクスポート]画面を表示します。

2. 除外機器をエクスポート結果に含める場合はオプションを有効にします。

3. [ダウンロード]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。

# 3.6.9 アプリケーションレポート

機器にインストールされているアプリケーションを一覧で確認することができます。作成したアプリケーションレポートは、 CSV ファイルに出力することができます。また、アプリケーション検知を設定している場合、「インストール推奨アプリケ ーション」に設定されているが、まだインストールされていないアプリケーションや、「インストール非推奨アプリケーショ ン」に設定されているが、インストールされているアプリケーションの一覧を見ることができます。また「アプリケーション 名」「パッケージ名」を対象に検索を行うことで、脆弱性が明らかになったアプリなどのインストール数を確認することが可 能です。

②	
	+ م
☆ お気に入り	
【企業名】	管理者としてログイン中
トップ マップ 機器 メニュー > アブリケーションレボート	ログアウト
① <sup>对家</sup> 機器名 ▼	-
2 □ 検知結果 □ 管理 □ 機器	
3 抽出条件	
IOS: ビアフリケーション(官理対象) ビアフリケーション(官理対象外)	
Windows: ▼アプリケーション	
製品群: (すべての製品) ▼	
製品名: (すべての製品) ▼	
バージョン: (すべてのバージョン) <b>▼</b>	
ライセノス形態: (すべてのライセノス形態) ・	
ライゼノス認証: (すべてのライセンス認証)状態) ▼	
◎ 更新プログラム	
④ しポート作成 選択した項目でアプリケーションレポートを作成します。	
※レポート作成後、CSVダウンロードが可能です。	
利用規約の ブライバシーボリシーの ヘルプの	•

項番	対象	説明
1	対象	対象機器を指定します。対象は機器名/アプリケーション名/パッケージ名/機器
		分類/ユーザーカスタム項目から指定できます。
2	レポートに含める 項目	レポートに出力する項目を指定します。
3	抽出条件	レポートに出力する抽出条件を指定します。
4	[レポート作成]	レポートの作成を開始します。

## 3.6.9.1 アプリケーションレポート画面を表示する

アプリケーションレポート画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [アプリケーションレポート]をクリックします。

### 3.6.9.2 アプリケーションレポートを確認する

アプリケーションの一覧を確認します。

- 1. [アプリケーションレポート]画面を表示します。
- 対象機器を指定します。機器名/アプリケーション名/パッケージ名/機器分類/ユーザーカスタム項目 から指定できます。
- 3. レポートに含める項目を指定します。
- 4. 抽出条件を指定します。
- 5. [レポート作成]をクリックします。レポートの作成が終了すると、自動的にレポートが表示されます。

※アプリケーション検知結果を出力したい場合は、「レポートに含める項目」の「検知結果」にチェックを入れてください。

※レポート作成に時間がかかる場合があります。

※レポートに表示される項目はチェックされた項目により異なります。

### 3.6.9.3 アプリケーションレポートをエクスポートする

アプリケーションレポートをエクスポートします。エクスポート時の文字コードは日本語環境では SHIFT-JIS(cp932)、その 他の環境では UTF-8 となります。

- 1. アプリケーションレポートを作成します。
- 2. レポート画面に表示されている[CSV ダウンロード]をクリックし

て、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。

#### ※レポート件数詳細:

[レポートに含める項目]で[検知結果]を含めた場合は以下に示す表示内容の切り替えが行えます。

「全〇件」:

リンクをクリックすると、レポート対象機器にインストールされている全アプリを表示します。

「推奨〇件」:

アプリケーション検知で「推奨アプリケーション」に設定されているアプリケーションが表示されます。検知結果に「推奨」と表示されます。 既にインストール済みのアプリケーションだけでなく、「推奨アプリケーション」に設定されているが、まだインストールされていないア プリケーションも表示され、「バージョン番号」に「未インストール」と表示されます。 「非推奨〇件」:

アプリケーション検知で「非推奨アプリケーション」に設定されているアプリケーションで機器にインストールされているアプリケーションが表示されます。検知結果に「非推奨」と表示されます。

機器に対して任意のメッセージを配信することができます。

【注意事項】

◆iOS で本機能を利用する場合、端末側に iOS エージェントのインストールが必要です。



고프	出告	=== nn
<b>項</b> 番	対家	
1	[新規作成]	クリックするとメッセージ情報欄に入力欄が表示されます。メッセージ新規作成方
		法は「通知メッセージを新規作成する」 166 ページを参照してください。
2	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・全てにチェックを入れる:全てのチェックボックスにチェックが入ります。
		・全てのチェックをはずす:全てのチェックボックスからチェックを外します。
		・一括削除:チェックの入ったメッセージを削除します。詳細は「通知メッセージを
		まとめて削除する」169 ページを参照してください。
3	メッセージー覧	登録されているメッセージー覧が表示されます。
4	メッセージ情報	メッセージー覧より選択したメッセージ情報が表示されます。
5	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・削除:メッセージを削除します。詳細は「通知メッセージを削除する」169 ページ
		を参照してください。
6	[編集]	登録されているメッセージ情報を編集することができます。詳細は「通知メッセージ
		を編集する」166 ページを参照してください。



メッセージ通知画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [メッセージ通知]をクリックします。

## 3.6.10.2 通知メッセージを新規作成する

通知メッセージを作成します。

1. メッセージ通知画面より[新規作成] 🛨 をクリックします。

2. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

※通知メッセージは作成しただけでは機器に配信されません。配信先の設定を行ってください。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【タイトル】

タイトルを入力します。メールの件名に該当します。

【内容】

内容を入力します。メールの本文に該当します。

【オプション】

オプションを有効にする場合はチェックボックスにチェックをします。オプションを有効にすると、内容に URL が含まれている場合、機器で表示した際に URL 部分がハイパーリンクとして表示されます。

## 3.6.10.3 通知メッセージを編集する

作成済みの通知メッセージを編集します。入力項目に関しては、通知メッセージを新規作成する場合と同様です。

1. メッセージー覧より対象とする通知メッセージをクリックします。

2. [編集]をクリックします。

3. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

### 3.6.10.4 通知メッセージの配信先を設定する



通知メッセージの配信先を設定します。

- 1. メッセージー覧より対象とする通知メッセージをクリックします。
- 2. [配信先]をクリックします。
- 3. [編集]をクリックします。
- 4. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【一括で指定】

全ての機器を配信先として指定します。「一括で指定」がチェックされている間は、他の指定は行えません。 他の指定を行う場合は、「一括で指定」からチェックを外してください。

### 【機器のグループを指定】

配信先を機器分類のグループで指定します。「機器を指定」との併用が可能です。

- をクリックすることで、入力行が追加されます。
- 🔀 をクリックすることで、入力行が削除されます。
- ▶▼ をクリックすることで、指定可能なグループ名が「機器分類名:グループ名」の形式で表示されます。

#### 【機器を指定】

配信先を機器名で指定します。「機器のグループを指定」との併用が可能です。

- をクリックすることで、入力行が追加されます。
- 🔀 をクリックすることで、入力行が削除されます。
- ▶ をクリックすることで、指定可能な機器名が表示されます。

※デバイスマネジメントパック版では、メッセージ通知の契約をされていない機器を指定することはできません。

## 3.6.10.5 通知メッセージをただちに配信する

作成済みの通知メッセージをただちに配信します。

1. メッセージー覧より対象とする通知メッセージをクリックします。

2. [配信]をクリックします。

※通知メッセージが機器に届くまでの時間は、サーバーや機器の通信状態に依存します。





通知メッセージの配信スケジュールを設定します。

- 1. メッセージー覧より対象とする通知メッセージをクリックします。
- 2. [スケジュール]をクリックします。
- 3. [編集]をクリックします。
- 4. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

※通知メッセージの配信には、配信先の設定も必要です。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【スケジュール】

配信スケジュールを指定します。以下のいずれか1つを指定してください。

- なし:配信を行いません。
- 毎月:毎月指定した日付に配信します。29日以降を設定した場合、その日付が存在しない月は月末配信 となります。
- 毎週:毎週指定した曜日に配信します。複数の曜日が指定可能です。

#### 【配信時刻】

スケジュールにて、「毎月」および「毎週」を指定した場合に合わせて指定します。

日安となる配信時刻を入力してください。(目安であり厳密な配信時刻ではありません)

※通知メッセージが機器に届くまでの時間は、サーバーや機器の通信状態に依存します。

#### 3.6.10.7 通知メッセージの配信履歴を確認する

通知メッセージの配信履歴を確認します。配信日時ごとに、対象機器数/未受信数/未読数/既読数が確認可能です。

1. メッセージー覧より対象とする通知メッセージをクリックします。

2. [配信履歴]をクリックします。

※対象機器数/未受信数/未読数/既読数が0件でないとき、数値をクリックすることで該当する機器の一覧 が表示されます。

## 3.6.10.8 通知メッセージを削除する



作成済みの通知メッセージを削除します。

- 1. メッセージー覧より対象とする通知メッセージをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.6.10.9 通知メッセージをまとめて削除する

作成済みの通知メッセージを複数指定して削除します。削除したい通知メッセージが多数ある場合でも、一度の操作で削除 可能です。

1. メッセージー覧より対象とする通知メッセージのチェックボックスにチェックを入れます。

- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.6.10.10 メッセージ通知の設定セット入力値

メッセージ通知では下記入力ルールで設定を行います。

大項目名	小項目名	ルール	
		入力必須です。	
	【タイトル】	重複はできません	0
		30 文字以内で入力	<b>」してください。</b>
	【内容】	250 文字以内で入	カしてください。特殊文字は入力できません。
		空白類(タブ、改行	<b>「等)は入力できます。</b>
	【オプション】	オプション:チェッ	クを入れる。入れない。
	【一括で指定】	オプション:チェッ	クを入れる。入れない。
	【機器のグループを指定】	登録済みグループ	をプルダウンメニューからグループを選択しま
副后生乳中		す。	
的后无改足		設定内で重複はで	きません。
	【機器を指定】	登録済み機器をプ	ルダウンメニューから機器を選択します。
		設定内で重複はで	きません。
	【スケジュール】	万部で三路古	「毎月」を選択時入力必須です。
		下記より選択	半角数字のみ入力できます。
ᇃᇨᇗᆂᆈᇌᅌ		- なし - 毎日	1 以上 31 以下で入力してください。
		- 毋月	「毎週」を選択時、下記より選択
		日,月,火,水,木,金,土	
	【配信時刻】	選択時入力必須です。	

	半角数字のみ入力できます。
	0 以上 23 以下で入力してください。

マップで検出されたネットワークに対して管理外機器の検出に関する設定を行うことができます。検出前に登録しておくこ とも可能です。以下の画面は、特定のネットワークを一覧から選択すると表示されます。

【注意事項】

◆デバイスマネジメントパック版では、本機能をご利用いただけません。



項番	対象	説明
1	検索/並び替え	(A)には検索対象項目、(B)には並び替えの対象項目が表示されます。検索する場合 は、検索するキーワードを(C)に入力し、[検索] の をクリックします。検索後、全 てのネットワーク情報を再表示するにはブラウザーを再読み込み、または(C)を空欄 にし、再度[検索] のをクリックします。
2	[新規作成]	クリックすると入力欄が表示されます。ネットワーク管理新規作成方法は「ネットワークを新規作成する」172 ページを参照してください。

3	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・全てにチェックを入れる:全てのネットワーク管理のチェックボックスにチェッ
		クが入ります。
		・全てのチェックをはずす:全てのネットワーク管理のチェックボックスからチェ
		ックをはずします。
		・検索対象 : 検索対象をネットワーク名、グローバル IP アドレス、ローカルネット
		ワーク、備考のいずれかに変更することができます。
		・並び替え 昇順:ネットワーク一覧をネットワーク名、グローバル IP アドレス、
		グローバル IP アドレス検出日時のいずれかで昇順に並び替えます。
		・並び替え 降順:ネットワーク一覧をネットワーク名、グローバル IP アドレス、
		グローバル IP アドレス検出日時のいずれかで降順に並び替えます。
		・一括削除 : チェックの入ったネットワークを削除します。 詳細は「ネットワークを
		まとめて削除する」173 ページを参照してください。
4	ネットワーク一覧	登録されているネットワーク名一覧が表示されます。
(5)	ネットワーク情報	ネットワークー覧より選択したネットワーク情報が表示されます。
6		クリックすると以下のメニューが表示されます。
	[操作]	・削除:ネットワークを削除します。詳細は「ネットワークを削除する」173 ページ
		を参照してください。
$\overline{\mathcal{O}}$	ネットワーク名	お好きな名前を入力します。
8		<ul> <li>・有効:管理外機器を検出し、マップに表示します。</li> </ul>
		<ul> <li>・無効:管理外機器の検出はせず、マップにも表示しません。</li> </ul>
	管理外機器の検出	※管理外機器:機器内に認証済みエージェントがない機器
		※「有効」に設定してもネットワーク内に Windows エージェントが入っている機器
		がない場合、管理外機器の検出を行うことはできません。
9		・有効:管理外機器をマップ上で赤く表示します。
	管理外機器のアラ	<ul> <li>・無効:管理外機器をマップ上で赤く表示することはなく、その他の機器と同様の</li> </ul>
	- <b>F</b>	表示となります。
		※管理外機器:機器内に認証済みエージェントがない機器
(10)	備考	備考があれば入力します。
1	「編隹]	登録されているネットワーク情報を編集することができます。詳細は「ネットワーク
		を編集する」173 ページを参照してください。
(12)	グローバル IP ア	グローバル IP アドレスが表示されます
	ドレス	
13	グローバル IP ア	   グローバル IP アドレスの検出日時が表示されます
-	ドレス検出日時	
14)	ローカルネットワ	ー デフォルトゲートウェイの MAC アドレスを入力します。
	ーク	

## 3.6.11.1 ネットワーク画面を表示する

ネットワーク画面を表示します。

## 1. メニュータブをクリックします。

2. [ネットワーク]をクリックします。

# 3.6.11.2 ネットワークを新規作成する

ネットワークを作成します。

1. ネットワーク画面より[新規作成]をクリックします。

2. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【ネットワーク名】

ネットワーク名を入力します。

【管理外機器の検出】

管理外機器検出の有効/無効を設定します。「有効」に設定してもネットワーク内に Windows エージェントが入っている 機器がない場合、管理外機器の検出を行うことはできません。

有効:管理外機器を検出し、マップに表示します。

無効:管理外機器の検出はせず、マップにも表示しません。

【管理外機器のアラート】

管理外機器アラートの有効/無効を設定します。

有効:管理外機器をマップ上で赤く表示します。

無効:管理外機器をマップ上で赤く表示することはなく、その他の機器と同様の表示となります。

#### 【備考】

備考を入力します。

## 3.6.11.3 ネットワークを編集する

作成済みのネットワークを編集します。入力項目に関しては、ネットワークを新規作成する場合の項目に加え、デフォルト ゲートウェイの MAC アドレスが追加されます。

- 1. ネットワークー覧より対象とするネットワークをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

【デフォルトゲートウェイの MAC アドレス】

デフォルトゲートウェイの MAC アドレスを入力します。300 件まで入力可能です。

## 3.6.11.4 ネットワークを削除する

作成済みのネットワークを削除します。

- 1. ネットワークー覧より対象とするネットワークをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

#### 3.6.11.5 ネットワークをまとめて削除する

作成済みのネットワークを複数指定して削除します。削除したいネットワークが多数ある場合でも、一度の操作で削除可能 です。

- 1. ネットワークー覧より対象とするネットワークのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 3.6.11.6 ネットワークの入力値

ネットワークでは下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【ネットワーク名】	1 文字~30 文字で入力してください。
【管理外機器の検出】	下記から選択
	・有効
	・無効
【管理外機器のアラート】	下記から選択
	・有効
	・無効
【備考】	255 文字以内で入力してください。制御文字は入力できません。
【デフォルトゲートウェイの MAC アドレス】	重複はできません。
	「XX:XX:XX:XX:XX:XX」(X は大文字の 16 進数)という形式で入力してくだ
	さい。

# 3.7 証明書管理

クライアント証明書、CA 証明書の管理を行います。

設定項目名	可能な操作
<u>クライアント証明書管理</u>	クライアント証明書をアップロードする クライアント証明書を再アップロードする クライアント証明書を削除する クライアント証明書をまとめて削除する
<u>クライアント証明書一括アップ</u> <u>ロード</u>	<u>クライアント証明書を一括アップロードする</u>
CA 証明書管理	<u>CA 証明書をアップロードする</u> <u>CA 証明書を再アップロードする</u> <u>CA 証明書を削除する</u> <u>CA 証明書をまとめて削除する</u>

# 3.7.1 クライアント証明書管理

クライアント証明書をアップロードする画面です。証明書を1ファイルずつアップロードすることができます。当画面でア ップロードした証明書は、78ページ「Exchange 設定(iOS 機器のみ)」や80ページ「VPN 設定(iOS 機器のみ)」で選択可能 項目として表示されます。以下の画面は、特定のクライアント証明書を一覧から選択すると表示されます。アップロードし た証明書は「機器」画面の「その他」タブの「クライアント証明書」画面から指定可能です。



項番	対象	説明
1	検索/並び替え	(A)には検索対象項目、(B)には並び替えの対象項目が表示されます。検索する場合は、検
		索するキーワードを(C)に入力し、[検索] 🔎 をクリックします。検索後、全ての証明書
		を再表示するにはブラウザーを再読み込み、または(C)を空欄にし、再度[検索] 🝺 をクリ
		ックします。
2	[新規作成]	クリックすると証明書情報欄に入力欄が表示されます。証明書新規作成方法は 177 ページ
		「クライアント証明書をアップロードする」を参照してください。
3	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・全てにチェックを入れる:全てのチェックボックスにチェックが入ります。
		・全てのチェックをはずす:全てのチェックボックスからチェックを外します。
		│・検索対象:検索対象をファイル名、発行先(証明書情報)のいずれかに変更することがで
		きます。
		│・並び替え 昇順:ユーザーー覧をファイル名、発行先(証明書情報)、有効期間の開始、有
		効期間の終了のいずれかで昇順に並び替えます。
		・並び替え 降順:ファイル名、発行先(証明書情報)、有効期間の開始、有効期間の終了の
		いずれかで降順に並び替えます。
		▶・一括削除:チェックの入った証明書を削除します。詳細は「クライアント証明書をまと」
		めて削除する」178 ページを参照してください。

4	証明書一覧	登録されている証明書――覧が表示されます。 (D):証明書ファイル名
		(E):発行先(証明書情報) (F):有効期間
5	証明書情報	証明書一覧より選択した証明書情報が表示されます。
6	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・削除:証明書を削除します。詳細は「クライアント証明書を削除する」178ページを参照
1	[編集]	ひててたとい。    登録されている証明書情報を編集することができます。詳細は「クライアント証明書を再   アップロードする」177 ページを参照してください。

## 3.7.1.1 クライアント証明書管理画面を表示する

クライアント証明書管理画面を表示します。

メニュータブをクリックします。
 [クライアント証明書管理]をクリックします。

## 3.7.1.2 クライアント証明書をアップロードする

クライアント証明書をアップロードします。

1. クライアント証明書管理画面を表示します。

- 2. [新規作成] 🛨 をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【証明書ファイル】

アップロードする証明書を指定します。[参照]をクリックして、アップロードする証明書を選択してください。

なお、アップロードには PKCS #12 形式の証明書を指定してください

【証明書を保護するパスワード】

パスワードで保護されている証明書アップロードする場合は、設定されているパスワードを入力します。

パスワード未設定の場合は入力不要です。

## 3.7.1.3 クライアント証明書を再アップロードする

アップロード済みの証明書ファイルを差し替えます。入力項目に関しては、証明書をアップロードする場合と同様です。

1. 証明書一覧より対象とする証明書をクリックしま

す。

- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

## 3.7.1.4 クライアント証明書を削除する

アップロード済みのクライアント証明書を削除します。

- 1. 証明書一覧より対象とする証明書をクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.7.1.5 クライアント証明書をまとめて削除する

アップロード済みの証明書を複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

1. 証明書一覧より対象とする証明書のチェックボックスにチェックを入れます。

- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.7.1.6 クライアント証明書管理の入力値

クライアント証明書管理では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【証明書を保護するパスワード】	半角英数字のみ入力できます。
	255 文字以内で入力してください。
	制御文字は入力できません。

クライアント証明書をアップロードする画面です。複数の証明書をzipファイルにまとめてアップロードすることができます。 当画面でアップロードした証明書は、78 ページ「Exchange 設定(iOS 機器のみ)」、80 ページ「VPN 設定(iOS 機器のみ)」で 選択可能項目として表示されます。

② La	_ • ×
G Google → H 4 X Google	<del>،</del> ۵
· うえに入り	
(企業名) トップ マップ 機器 メニュー ・ クライアント証明書	管理者としてログイン中 一括ア・・・ ログアウト
■バスワード付きの証明書を一括アップロードする。	
証明書ファイルを一括アップロードします。	
PKCS #12形式の証明書をzipアーカイブ化したファイルを指定して「アップロード」ボタンをクリックしてください。	①
ZIPアーカイブのバスワード	
アップロード ・ ②	
	-
利用規約の ブライバシーボリシニの ヘルブの	

項番	対象	説明
1	[参照]	インポートする証明書を指定します。指定したファイル名が左側に表示されます。
2	[アップロード]	指定された証明書をアップロードします。

## 3.7.2.1 クライアント証明書一括アップロード画面を表示する

クライアント証明書一括アップロード画面を表示します。

1.メニュータブをクリックします。 2.[クライアント証明書ー括アップロード]をクリックします。

## 3.7.2.2 クライアント証明書を一括アップロードする

zip ファイルにまとめた複数の証明書をアップロードします。

1. 証明書一括アップロード画面を表示します。

- アップロード対象の zip ファイルにパスワードで保護された証明書を含む場合は[パスワード付きの証明 書を一括アップロードする]をチェックしてください。また、以降の手順3~手順7は同項目をチェック した場合のみ行ってください。未チェックの場合は、手順6に進んでください。
- 3. [ダウンロード]をクリックして、任意の場所に証明書パスワード入力用 CSV ファイルを保存してください。
- 4. ダウンロードした CSV ファイルを Excel やメモ帳で開き、証明書に設定されているパスワードを入力し てください。パスワード未設定の証明書に対しては入力不要です。終了したら保存してファイルを閉じて ください。拡張子は csv であることが必須です。
- 5. [参照]をクリックして、保存した CSV ファイルを選択してください。
- 6. [参照]をクリックして、アップロードする zip ファイルを選択してください。
- パスワードで保護された zip ファイルを選択した場合は、設定されているパスワードを[ZIP アーカイブの パスワード]に入力してください。
- 8. [アップロード]をクリックしてください。
- zip ファイルに含まれる証明書の一覧が表示されます。表示内容に問題がないことを確認してください。 アップロード済みの同名証明書を上書きする場合は「同じファイル名の証明書がすでに存在した場合は上 書き保存する」をチェックしてください。
- 10. [アップロードを実行]をクリックします。

※事前にアップロード対象とする証明書ファイルを zip ファイルとしてまとめておいてください。

※zip ファイルに含める証明書は PKCS #12 形式の証明書としてください。

#### 3.7.2.3 クライアント証明書一括アップロードの入力値

クライアント証明書一括アップロードでは下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【ZIP アーカイブのパスワード】	半角英数字のみ入力できます。
	255 文字以内で入力してください。
	制御文字は入力できません。
# 3.7.3 CA 証明書管理

CA 証明書をアップロードする画面です。以下の画面は、特定の CA 証明書を一覧から選択すると表示されます。

【注意事項】

◆証明書をAndroid 機器にインストールするためには、PIN またはパスワードなどのスクリーンロック設定が必要です。機器でスクリー ンロック設定がされていない場合には、設定を要求するメッセージが表示されますので、設定をおこなってください。また、スクリー ンロック設定を無効にするには、証明書をアンインストールする必要があります。

GO-	a debat de la c		• ٩
🚖 お気に入り	- 7		
【企業名】			管理者としてログイン中
אין <u>א</u> ר איז	ブ 📗 マッブ 📗 機	器 メニュー 、 CA証明書管理	ログアウト
	設定		_
	設定		_
	設定名 [S]DER	Ο	
	ファイル名 serverca <u>.</u> der	2	
	アップロード日時 2015/01/2719:26	3	
	発行先(証明書情報) CA	4	
	発行者(調理月書 情報) CA	5	
	有効期限(証明書情報) 2013/07/03から2016/07/	102まで有効 6	
		規約両   ブライバシーボリシー 両   ヘルプロ	

項番	対象	説明
1	設定名	CA 証明書管理の設定名が表示します。
2	ファイル名	CA 証明書のファイル名が表示します。
3	アップロード日時	CA 証明書ファイルのアップロード日時を表示します。
4	発行先(証明書情報)	CA 証明書の発行先。
5	発行者(証明書情報)	CA 証明書の発行者。
6	有効期限(証明書情 報)	CA 証明書の有効期限。

## 3.7.3.1 CA 証明書画面を表示する

CA 証明書画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2.[CA 証明書]をクリックします。

CA 証明書をアップロードします。

- 1. CA 証明書画面を表示します。
- 2. [新規作成] 🛨 をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

### 【設定名】

CA 証明書の名称を指定します。

【証明書ファイル】

アップロードする証明書を指定します。[参照]をクリックして、アップロードする証明書を選択してください。

なお、アップロードには PEM または DER 形式の証明書を指定してください

### 3.7.3.3 CA 証明書を再アップロードする

アップロード済みの証明書ファイルを差し替えます。入力項目に関しては、証明書をアップロードする場合と同様です。

- 証明書一覧より対象とする証明書をクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

## 3.7.3.4 CA 証明書を削除する

アップロード済みの CA 証明書を削除します。

- 証明書一覧より対象とする証明書をクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させま す。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 3.7.3.5 CA 証明書をまとめて削除する

アップロード済みの証明書を複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 証明書一覧より対象とする証明書のチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 3.7.3.6 CA 証明書管理の入力値

CA 証明書管理では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【扒白友】	255 文字以内で入力してください。
【設定石】	制御文字は入力できません。

ログの確認を行います。また、ログメール通知、ポータル表示、認証制御に関する設定を行います。 設定項目および、可能な操作は以下のとおりです。

設定項目名	可能な操作
<u>ログ</u>	・ <u>ログを確認する</u> ・ <u>ログの絞り込み表示を行う</u> ・ <u>ログをダウンロードする</u>
<u>通知設定</u>	<ul> <li>ログメール通知を新規作成する</li> <li>ログメール通知を編集する</li> <li>ログメール通知を削除する</li> <li>無通信検知を新規作成する</li> <li>無通信検知を編集する</li> <li>無通信検知を削除する</li> </ul>
<u>ポータル表示設定</u>	・ <u>ポータル表示設定を編集する</u>
認証制御設定	<ul> <li>認証制御設定を編集する</li> </ul>

ログの確認および、ダウンロードを行うことができます。当画面では直近一年間のログを確認できます。 機器に対する設定や操作が正常に行われたかどうかを確認する場合は、当画面から確認してください。ログの機器ログから指 定の機器を検索することで設定バックアップを行った際の機器の復元コードを確認することが可能です。

【注意事項】

◆[機器]タブから確認するログは、当画面で確認できるログから特定の機器に関するログのみを抽出したものとなります。

【参考ページ】

◇出力されるログの詳細について⇒ログ一覧 435ページ

e	e - ログ - Windows Internet Explorer			
G	•	Mar Collector Contents	<pre>s()/second/inter()/s</pre>	- 🔒 😚 🗙 🖓 Google 🛛 🔎 👻
\$	お気に入り	2 OKTAN HI - DØ		
		[íi	業名】	管理者としてログイン中
			トップ マップ	● 総咒 メニュー > ログ ログアウト
പ	HE PUL IT			
	↑里方小: ⊻ #1000 ▽%	\$23 官理ログ ≥ 120 機都	コンショー オンショー	/:□ == 通知対象のみ
	期间:[先	注日时 •	איט	
	検索:			
	▶ 検索	々 CSVダウンロード	±	
2	▲別 道: - 8	知   発生日時	│ 受信日時 2014/01/16 14/14/00	
	×1× 8	2014/01/16 14:14:38	2014/01/16 14:14:38	ユーサー Administrator」がログアンドしました。
	41×	2014/01/16 14:1352	2014/01/16 14:1352	ユーサー Administrator」がロジオンしました。 企業[se_poot」のフーザー「管理者」が組建[s=_の」な亦更」ました
	*b* 8	2014/01/16 10:26:20	2014/01/16 10:26:20	正来「3FR001」のユーゲー「皆理者」が組織「test2」を支ひよした。 企業「SP_ROTIのフーザー「管理者」が組織「test2」を支ひよした。
	8	2014/01/16 10:26:20	2014/01/16 10:26:20	
		2014/01/18 10:2008	2014/01/10 10:2008	の操作者がユーザー「管理者 管理者 (12345) を
	40+	2014/01/15 17:43:10	2014/01/15 17:43:10	登録しました。
	<i>R</i> .	2014/01/15 17:42:41	2014/01/15 17:42:41	機器「ニューニーニー」の操作者が初期登録画面を開きました。
		2014/01/15 17:42:40	2014/01/15 17:4258	機器「 」のエージェントがエージェント個別管理の設定を 行いました。
	2	2014/01/15 17:42:37	2014/01/15 17:42:37	機器「」」、「」」のエージェントを認証しました。
	<b>A</b> .	2014/01/15 16:29:10	2014/01/15 16:29:10	機器「Phone [ ]」の操作者がポータルホーム画面を開きました。
	<b>&amp;</b> .	2014/01/15 16:28:21	2014/01/15 16:28:21	機器[Phane] ]」の操作者がユーザー「管理者 管理者 (12345)」を作成して登録しました。
	<b>A</b> .	2014/01/15 16:27:25	2014/01/15 16:27:25	機器「Phone ]」の操作者が初期登録画面を開きました。
	2	2014/01/15 16:27:19	2014/01/15 16:27:19	機器「Phone [ ]」を認証しました。
	<b>A.</b>	2014/01/15 16:21:21	2014/01/15 16:21:21	企業「SP-ROOT」のユーザー「管理者」がIOS用の証明書を登録しました。
	<b>&amp;</b> .	2014/01/15 11:2058	2014/01/15 11:2058	ユーザー「Administrator」がログインしました。
	<b>A.</b>	2014/01/06 16:51 56	2014/01/06 16:51 56	ユーザー「Administrator」がログインしました。
	<b>A</b> .	2013/12/05 18:19:43	2013/12/05 18:19:43	ユーザー「Administrator」がログインしました。
			an 434 (00000)	■■  <u>利用規約</u> @  <u>ブライバシーボリシー</u> @  <u>ヘルブ</u> @

項番	対象	前明
1	検索機能	検索機能を利用し、表示するログを絞り込むことができます。検索したい日時の種類([発生日 時](*1)もしくは[受信日時] (*2))を選択し、日時、検索キーワードを入力し[検索]をクリックしま す。期間のみ入力されている場合は、指定した期間のログが全て表示されます。検索キーワー ドのみ入力されている場合は、そのキーワードを含むログが全て表示されます。再度全てのロ グを表示するにはブラウザーを再読み込み、または期間、検索入力欄を空欄にし[検索]をクリ ックします。 機器:機器名が表示されます。(特定の機器のログを表示している場合のみ表示されます。特定 の機器のログの確認方法は「機器のログを確認する」32ページを参照してください。) 種別:管理ログ、機器ログ、通知対象のみを選択することができます。 期間:(日時種類):[発生日時](*1)もしくは[受信日時](*2)を選択します。 (日時)は手入力することもできますが(入力例:2011/05/16 01:00)、入力欄をクリックす ると表示されるカレンダー画面でも指定することができます。 検索:検索したいキーワードを入力します。 CSV ダウンロード:ログの CSV ダウンロードを行います。詳細は「ログをダウンロードする」 187ページを参照してください。
		発生日時: 管理ログの場合、該当アクションが発生し、サーバーで受信した日時。 機器ログ(Android、iOS の一部、Mac、Windows)の場合、該当アクションが発生した際の端末 の日時。Apple MDM ログ(P449 ページ)については、該当アクションが発生し、サーバーで受 信した日時。 (*2) 受信日時:該当アクションが発生し、サーバーで受信した日時。
2	ログ	<ul> <li>管理サイトの操作ログや、機器の動作ログが表示されます。</li> <li>【種別】</li> <li>③:管理サイト操作ログ</li> <li>:エージェントの動作ログ</li> <li>【通知】</li> <li>:メール通知済みの場合に表示されます。</li> <li>:メール未通知の場合に表示されます。</li> <li>※メール通知対象外の場合は何も表示されません。</li> </ul>

## 3.8.1.1 ログ画面を表示する

ログ画面を表示します。

# 1. メニュータブをクリックします。

2. [ログ]をクリックします。

## 3.8.1.2 ログの絞り込み表示を行う

表示するログを絞り込みます。

- 1. ログ画面を表示します。
- 2. 絞り込み条件を指定して、[検索]をクリックします。

※絞り込み条件の詳細は以下のとおりです。

### 【種別】

種別を指定します。以下のいずれか1つ、または両方を指定してください。

管理ログ:管理サイトで行われた操作に関するログを表示します。

機器ログ:機器で行われた操作および、機器の挙動に関するログを表示します。管理サイトの操作により、 機器で行われた挙動も該当します。

【オプション】

通知対象のみ:チェックするとログメール通知の対象となっているログのみを表示します。

【期間】

検索対象の日時の種類を指定します。「発生日時」もしくは、「受信日時」を指定してください。

種類を指定後、日時を指定し、絞り込みます。From~Toの形式で指定可能です。Fromのみ、Toのみの指定も可能です。

入力欄をクリックするとカレンダーが表示されます。手入力も可能です。

#### 【検索】

概要で絞り込みます。入力した文字列が概要に含まれるログを表示します。

※ログメール通知に関しては、以下を参照してください。

⇒ログメール通知を新規作成する 189 ページ

## 3.8.1.3 ログをダウンロードする

表示されているログを CSV ファイルとしてダウンロードします。

1. ログを表示します。

2. [CSV ダウンロード]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。

※最大 100,000 件のログがダウンロード可能です。

※件数によってはダウンロードに時間がかかる場合があります。

一部のログはメールで通知することが可能です。当画面ではメール通知に関する設定を行います。また、通知可能なログの1つである無通信検知に関する設定を行います。

	X
🚱 🔾 🔻 🔝 🖛 la la constante en la constante	ρ <del>-</del>
😭 お気に入り 🔄 🔤 - 通知設定	
【企業名】	管理者としてログイン中
トップ マップ 機器 メニュー ・ 通知設定	
<ul> <li>①</li> <li>□ クメール通知タイミング 随時 メール通知対象ログ リモートロック リモートロック リモートロック ワモートロック マークイブ Apple Push証明書有効期限 DEPサーバートークン有効期限 スクリーンロック解除失敗時のリモートロック メール送信先 管理者 機器のユーザー メール送信先(カスタム)</li> <li>○ 編集</li> <li>※ 前除</li> </ul>	0日間

項番	対象	説明
1	ログメール通知	ログのメール通知に関する設定が表示されます。
2	無通信検知	無通信検知に関する設定が表示されます。

## 3.8.2.1 通知設定画面を表示する

通知設定画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [通知設定]をクリックします。

ログメール通知を行うための設定を新規に作成します。

- 1. 通知設定画面を表示します。
- 2. ログメール通知の[新規作成]をクリックします。
- 3. 通知条件を指定して、[保存]をクリックします。

※通知条件の詳細は以下のとおりです。

【メール通知タイミング】

メール通知のタイミングを指定します。以下のいずれか1つを指定してください。

随時:10分ごとにメール通知を行います。

1日1回:午前3時にメール通知を行います。

一時停止:メール通知を行いません。

【メール通知対象ログ】

通知対象とするログを指定します。複数指定が可能です。下記に記載がないログについては、メール通知が 行えません。

リモートロック:リモートロックに関するログ。

リモートワイプ:リモートワイプに関するログ。

スクリーンロック設定のパスワード変更:スクリーンロック設定のパスワード変更に関するログ。

無通信検知:無通信検知に関するログ。

root 化状態検知: root 化状態検知に関するログ。

Jailbreak 状態検知: Jailbreak 状態検知に関するログ。

管理外検知:管理外検知に関するログ。

ウイルス対策ソフト:ウイルス対策ソフトに関するログ。

スパイウェア対策ソフト:スパイウェア対策ソフトに関するログ。

アプリケーション検知:アプリケーション検知に関するログ。

機器検出:機器検出に関するログ。

Apple Push 証明書有効期限: Apple Push 証明書の有効期間が一定の日数以内となった際に出力するログ。デフォルトで 有効に指定されています。通知タイミングは、60日前、30日前、14日前、7日前~有効期限前日まで毎日。

Windows のファイアウォール診断:Windows のファイアウォール診断に関するログ。

Windows の Guest アカウント診断: Windows の Guest アカウント診断に関するログ。

Windows の自動アップデート診断: Windows の自動アップデート診断に関するログ。

Windows のスクリーンセーバー診断:Windows のスクリーンセーバー診断に関するログ。

ドライブ空き容量診断:ドライブ空き容量診断に関するログ。

CPU 温度診断: CPU 温度診断に関するログ。

ハードディスク異常診断:ハードディスク異常診断に関するログ。

位置情報設定の変更:位置取得設定変更に関するログ。

※「Jailbreak 状態検知」は iOS エージェントがインストールされていない場合は表示されません。

- ※「管理外検知」とは、プロファイルをアンインストールした iOS 機器を検知する機能です。検知した場合はログに出力され ます。
  - また、機器画面に表示している通信日時に「管理外」の文字が付与され、赤字となります。

検知対象は「プロファイルをアンインストールしたか?」で判断しているため、

リモートワイプなど、アンインストール以外の方法でプロファイルを削除しても検知対象となりません。

【メール送信先】

メール通知の送信先を指定します。複数指定が可能です。

管理者:ユーザー種別が管理者として登録されているユーザーのメールアドレスに送信します。 機器のユーザー:機器に登録されているユーザーのメールアドレスに送信します。

【メール送信先(カスタム)】

自由にメールアドレスを指定できます。「メール送信先」との併用が可能です。

👎 をクリックすることで、最大 30 件まで入力行が追加されます。

🔀 をクリックすることで、入力行が削除されます。

【言語】

通知されるメールは、"ログ内容"と"その他の文言"(件名やフッターなど)の組み合わせで構成されています。 当項目では、"その他の文言"に用いる言語を指定できます。

## 3.8.2.3 ログメール通知を編集する

作成済みのログメール通知を編集します。入力項目に関しては、ログメール通知を新規作成する場合と同様です。

- 1. 通知設定画面を表示します。
- 2. ログメール通知の[編集]をクリックします。
- 3. 通知条件を指定して、[保存]をクリックします。

### 3.8.2.4 ログメール通知を削除する

作成済みのログメール通知を削除します。

- 1. 通知設定画面を表示します。
- 2. ログメール通知の[削除]をクリックします。
- 3. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 3.8.2.5 無通信検知を新規作成する

無通信検知を行うための設定を新規に作成します。無通信検知とは、指定した間隔で管理サーバーと通信が行われていない 機器を検知する機能です。検知した場合はログに出力されます。また、機器画面に表示している通信日時が赤字となります。 検知対象は「指定した間隔で管理サーバーと通信が行われているか?」で判断しているため、機器の通信状態が良好でも管理 サーバーと通信を行っていなければ検知対象となります。また、一般的なメールやインターネットの利用も管理サーバーと 通信を行っていることにはなりません。

- 1. 通知設定画面を表示します。
- 2. 無通信検知の[新規作成]をクリックします。
- 3. 検知条件を指定して、[保存]をクリックします。

※検知条件の詳細は以下のとおりです。

【無通信検知】

無通信と判断する間隔を指定します。以下のいずれか1つを指定してください。

指定時間通信がない機器を検知:時間を合わせて指定します。 指定日数通信がない機器を検知:日数を合わせて指定します。 なにもしない:無通信検知を行いません。

### 3.8.2.6 無通信検知を編集する

作成済みの無通信検知を編集します。入力項目に関しては、無通信検知を新規作成する場合と同様です。

- 1. 通知設定画面を表示します。
- 2. 無通信検知の[編集]をクリックします。
- 3. 検知条件を指定して、[保存]をクリックします。

### 3.8.2.7 無通信検知を削除する

作成済みの無通信検知を削除します。

- 1. 通知設定画面を表示します。
- 2. 無通信検知の[削除]をクリックします。
- 3. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.8.2.8 通知設定入力値

通知設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール		
	下記より選択 ・随時 ・1 日 1 回		
【メール通知			
タイミング】			
	・一時停止		
	下記より選択		
	・リモートロック	・Windows のファイアウォール診断	
	・リモートワイプ	・Windows の Guest アカウント診断	
	・スクリーンロック設定のパスワ	ード変更 ・Windows の自動アップデート診断	
	・無通信検知	・Windows のスクリーンセーバー診断	
「」」、 予 一	・root 化状態検知	・ドライブ空き容量診断	
	・Jailbreak 状態検知	・CPU 温度診断	
対象ログ】	・管理外検知	・ハードディスク異常診断	
	・ウイルス対策ソフト	・位置情報設定の変更	
	・スパイウェア対策ソフト		
	・アプリケーション検知		
	・機器検出		
	・Apple Push 証明書有効期限		
	下記より選択		
【メール送信先】	・管理者		
	・機器のユーザー		
【1 11、半层开		255 文字以内で入力してください。	
	メールアドレス	半角英数字・記号のみ入力できます。	
		@の前後にそれぞれ1文字以上入力してください。	
	下記より選択 ・指定時間通信がない機器を検知・	「指定時間通信がない機器を検知」を選択時入力必須です。	
		半角数字のみ入力できます。1 以上 23 以下で入力してください。	
┃【無通信検知】 ┃		「指定日数通信がない機器を検知」を選択時入力必須です。	
	・	半角数字のみ入力できます。1 以上 365 以下で入力してください。	

ポータルメニュー(機器から直接、ユーザーや機器カスタム項目の選択等を行うための機能)の表示/非表示の設定を行うこと ができます。OS(Android / iOS / Mac OS / Windows) ごとに表示設定を行い、設定を保存した時点で企業管理下にあるすべ ての機器に対して設定を適用します。機器単位での設定は行えません。

【注意事項】

◆設定が機器に反映されるまでの時間は、サーバーや機器の通信状態に依存します。



項番	対象	説明
1	Android ポータル	Android ポータルの設定が表示されます。
2	iOS ポータル	iOS ポータルの設定が表示されます。
3	Mac ポータル	Mac ポータルの設定が表示されます。 ※ポータル設定を「表示」から「非表示」に変更した場合、Mac 端末の Dock に追加された ポータルのアイコンは削除されません。 ※MDM 構成プロファイルを削除した場合にもポータルは削除されないので、ユーザーが手 動で Dock から削除する必要があります。
4	Windows ポータル	Windows ポータルの設定が表示されます。

## 3.8.3.1 ポータル表示設定画面を表示する

ポータル表示設定画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
  - 2. [ポータル表示設定]をクリックします。

## 3.8.3.2 ポータル表示設定を編集する

ポータル表示設定を編集します。

- 1. ポータル表示設定画面を表示します。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【Android ポータル】

Android ポータルの表示/非表示を指定します。

表示:Android ポータルを表示します。

非表示: Android ポータルを表示しません。

【iOS ポータル】

iOS ポータルの表示/非表示を指定します。

表示:iOS ポータルを表示します。

非表示: iOS ポータルを表示しません。

【Mac OS ポータル】

Mac OS ポータルの表示/非表示を指定します。

※ポータル設定を「表示」から「非表示」に変更した場合 Mac にインストールされた Mac OS のポータルは手動で削除 する必要があります。

【Windows ポータル】

Windows ポータルの表示/非表示を指定します。

表示:Windows ポータルを表示します。

非表示:Windows ポータルを表示しません。

## 3.8.3.3 ポータル表示設定の入力値

ポータル表示設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
	下記より選択
【Android ポータル】	・表示
	・ 非表示

【iOS ポータル】	下記より選択
	·表示
	・非表示
	下記より選択
【Mac OS ポータル】	·表示
	・非表示
	下記より選択
【Windows ポータル】	<ul> <li>表示</li> </ul>
	・非表示

# 3.8.4 認証制御設定

エージェントのライセンス認証を行う際、事前に認証待ち機器としての登録が必要かどうかを設定します。本機能を用いる ことにより、管理者が許可した端末以外はエージェントのライセンス認証が行えないように制限を設けることが可能です。設 定を保存した時点で有効となります。OS ごとの設定は行えません。

【注意事項】

- ◆デバイスマネジメントパック版では、本機能をご利用いただけません。
- ◆設定が機器に反映されるまでの時間は、サーバーや機器の通信状態に依存します。

【参考ページ】

◇機器の事前登録については以下を参照してください。

⇒機器を新規作成する(28ページ)



項番	対象	説明
1	認証制御設定	認証制御設定が表示されます。

## 3.8.4.1 認証制御設定画面を表示する

認証制御設定画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [認証制御設定]をクリックします。

## 3.8.4.2 認証制御設定を編集する

認証制御設定を編集します。

- 1. 認証制御設定画面を表示します。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

### 【認証制御】

ライセンス認証制限の有無を指定します。

全ての機器を認証する:全ての機器でライセンス認証が行えます。認証待ち機器としての事前登録は不要です。 管理者が登録した機器のみを認証する:認証待ち機器として事前登録されている機器でのみライセンス認証が行えます。

### 3.8.4.3 認証制御設定の入力値

認証制御設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
	下記より選択
【認証制御】	・全ての機器を認証する
	・管理者が登録した機器のみを認証する

管理サイトにログイン中のユーザー自身が保持する項目の、確認および編集を行います。

設定項目および、可能な操作は以下のとおりです。

設定項目名	可能な操作
個人設定	・ <u>表示言語を変更する</u> ・ <u>パスワードを変更する</u> ・ <u>アプリケーションメモを削除する</u>

# 3.9.1 個人設定

当画面では管理サイトの環境設定を行います。ここで行う設定は、設定変更を行ったユーザー自身にのみ有効であり、別のユ ーザーでログインした際には反映されません。ユーザー種別が閲覧者のユーザーでも設定変更が可能です。

e La			
Correction of the second seco	•		
☆ お気に入り			
【企業名】 管理者としてログイン中			
トップ マップ 機器 メニュー > 個人設定 ログアウト			
名 管理者 [1001] admin@example.com			
環境 パスワード アブリケーションメモ			
言語     現在のパスワード     Android       日本語     ******     5/4			
▼			

項番	対象	前明
1	環境	表示言語に関する設定が表示されます。
2	パスワード	パスワードに関する設定が表示されます。
3	アプリケーションメモ	アプリケーションメモに関する設定が表示されます。

## 3.9.1.1 個人設定画面を表示する

個人設定画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [個人設定]をクリックします。

### 3.9.1.2 表示言語を変更する

管理サイトの表示言語を変更します。

- 1. 個人設定画面を表示します。
- 2. 環境の[編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【言語】

言語を指定してください。

### 3.9.1.3パスワードを変更する

管理サイトヘログインするためのパスワードを変更します。

※デバイスマネジメントパック版では、ご利用いただけません。

1. 個人設定画面を表示します。

2. パスワードの[編集]をクリックします。

3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【現在のパスワード】

現在のパスワードを入力してください。

【新規パスワード】

変更後のパスワードを入力してください。

【新規パスワード(再入力)】

変更後のパスワードを再入力してください。

### 3.9.1.4 アプリケーションメモを削除する

アプリケーションメモを削除します。アプリケーションメモとは、アプリケーション禁止機能の設定にて利用できる、入力 補助の仕組みです。アプリケーション禁止機能の[メモから追加]をクリックした際にアプリケーション一覧に表示されます。

- 1. 個人設定画面を表示します。
- 2. アプリケーションメモの[クリア]をクリックしま
  - す。
- 3. 確認画面で[OK]をクリックします。

※アプリケーションメモの追加に関しては、以下を参照してください。 ⇒アプリケーションメモに追加する 45 ページ

# 3.9.1.5 個人設定入力値

個人設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
	下記より選択
	・(ブラウザーの設定を使用する)
【===1	・日本語
	• English
	・簡体中文
	・繁體中文
	入力必須です。
【現在のパスワード】	4 文字以上、20 文字以下にしてください。
	半角英数字のみ入力できます。
	入力必須です。
【新規パスワード】	4 文字以上、20 文字以下にしてください。
	半角英数字のみ入力できます。
【新規パスワード(再入力)】	【新規パスワード】と同じ値を入力してください。

# 3.10 Android

本製品が Android 機器に対して独自に提供している機能の設定および、設定セットを作成します。「エージェント共通管理」、 「設定バックアップ」、「App Manager」に関しては、設定を保存した時点で、すべての Android 機器に対して適用されます。 設定セットの作成ではありません。「設定テンプレート」、「エージェント個別管理」、「位置情報管理」に関しては、設定 セットの作成となります。作成した設定セットは一括機器設定および、機器ごとの設定にて適用してください。設定項目お よび、作成可能な設定セットは以下のとおりです。

設定項目名	可能な操作
<u>設定テンプレート</u>	<u>設定テンプレートを新規作成する</u> <u>設定テンプレートを編集する</u> <u>設定テンプレートをもとに各種デフォルト設定セットを変更する</u> <u>設定テンプレートを削除する</u> <u>設定テンプレートのデフォルト設定セットを指定する</u> <u>設定テンプレートのデフォルト設定セットをなしにする</u>
<u>エージェント共通管理</u>	<u>エージェント共通管理を編集する</u>
<u>エージェント個別管理</u>	<u>エージェント個別管理の設定セットを新規作成する</u> <u>エージェント個別管理の設定セットを編集する</u> <u>エージェント個別管理の設定セットを複製する</u> <u>エージェント個別管理の設定セットを削除する</u> <u>エージェント個別管理の設定セットをまとめて削除する</u>
<u>設定バックアップ</u>	<u>設定バックアップを編集する</u>
位置情報管理	<u>位置情報管理の設定セットを新規作成する</u> <u>位置情報管理の設定セットを編集する</u> <u>位置情報管理の設定セットを複製する</u> <u>位置情報管理の設定セットを削除する</u> <u>位置情報管理の設定セットをまとめて削除する</u>
App Manager	<u>App Manager 表示設定を編集する</u>

設定テンプレートは複数の設定セットを1つにまとめたものです。設定テンプレートを適用すると含まれるすべての設定セットが適用されるため、機能ごとに設定セットを指定する必要はありません。頻繁に利用する設定セットを設定テンプレートとしてまとめておくことで、操作負荷を軽減させることができます。作成した設定テンプレートは、組織ごとまたは機器 ごとの設定にて適用してください。

【注意事項】

- ◆設定テンプレートを一括して複数の機器に適用することはできません。
- ◆設定が機器に反映されるまでの時間は、サーバーや機器の通信状態に依存します。

②     ③     ③     □	plorer		- • •
	and a state of the state of	🖿 🖷 😚 🗙 🚷 Google	ب م
☆ お気に入り			
【企業名】			管理者としてログイン中
トップ	マップ 機器 3	メニュー > 設定テンプレート	ログアウト
	設定テンプレート1		<b>(4</b> )
□ ● 設定テンブレート1	設定		⑤ 操作 -
□ ● 設定テンブレート2	設定		
	テンプレート名 設定テンプレート1		
	設定 エージェント個別管理	(変更しない)	
		(変更しない)	
	図 アプリケーション禁止	(変更しない)	
	SDD-F	(変更しない)	
		test	
	Bluetooth	(変更しない)	
	<u> 同 .スクリーンロック </u>	(変更しない)	
		(赤声に だけい)	7
	▶ 編集 6		
		<u>1ハンニホリンニ</u> @1 <u>へルフ</u> @	

項番	対象	説明
1	[新規作成]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・クリックすると新規作成画面が表示されます。新規作成方法は「設定テ
		ンプレートを新規作成する」204 ページを参照してください。
2	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・全てにチェックを入れる : 全ての設定テンプレートのチェックボックス
		にチェックが入ります。
		・全てのチェックをはずす : 全ての設定テンプレートのチェックボックス
		からチェックをはずします。
		・一括削除 : チェックの入った設定テンプレートを削除します。 詳細は「設
		定テンプレートをまとめて削除する」205 ページを参照してください。
3	設定テンプレート一覧	登録されている設定テンプレート一覧が表示されます。
4	設定テンプレート情報	選択した機能により画面が切り替わります。設定テンプレートー覧より選
		択した設定テンプレート情報が表示されます。

5	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・デフォルト:設定テンプレートで設定されている設定セットをデフォル
		トにします。詳細は、「設定テンプレートをもとに各種デフォルト設定セ
		ットを変更する」205 ページを参照してください。
		・削除:設定テンプレートを削除します。詳細は「設定テンプレートを削
		除する」205 ページを参照してください。
6	[編集]	登録されている設定テンプレート情報を編集することができます。詳細は
		「設定テンプレートを編集する」204 ページを参照してください。

## 3.10.1.1 設定テンプレート画面を表示する

設定テンプレート画面を表示します。

### 1. メニュータブをクリックします。

2. [設定テンプレート]をクリックします。

## 3.10.1.2 設定テンプレートを新規作成する

設定テンプレートを作成します。

- 1. 設定テンプレート画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックして新規作成メニューを表示させます。
- 3. [新規作成]をクリックします。
- 4. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【ポリシー名】

設定テンプレートの名称を指定します。

### 【設定】

設定テンプレートに含める設定セットを指定します。なお、含めた設定セットに対する編集および削除は、 設定テンプレートにも自動的に反映されます。

## 3.10.1.3 設定テンプレートを編集する

作成済みの設定テンプレートを編集します。入力項目に関しては、設定テンプレートを新規作成する場合と同様です。

- 1. 設定テンプレートー覧より対象とする設定テンプレートをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

### 3.10.1.4 設定テンプレートをもとに各種デフォルト設定セットを変更する

設定テンプレートに含まれている設定セットを、各種デフォルト設定セットにします。

1. 設定テンプレート一覧より対象とする設定テンプレートをクリックします。

2. 確認画面で[OK]をクリックします。

※"(設定なし)"としている設定セットについてはデフォルト設定セットの変更を行いません。

※既にライセンス認証されている機器には適用されません。

デフォルト設定セットの指定後にライセンス認証される機器のみに適用されます。

### 3.10.1.5 設定テンプレートを削除する

作成済みの設定テンプレートを削除します。

- 1. 設定テンプレートー覧より対象とする設定テンプレートをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 3.10.1.6 設定テンプレートをまとめて削除する

作成済みの設定テンプレートを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能で す。

1. 設定テンプレートー覧より対象とする設定テンプレートのチェックボックスにチェックを入れます。

- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 3.10.1.7 設定テンプレートのデフォルト設定セットを指定する

デフォルトの設定テンプレートを指定します。デフォルト設定テンプレートは、機器がライセンス認証されたときに自動的 に適用されます。機器に自動適用する設定を指定してください。

1. 設定テンプレート一覧より対象とする設定テンプレートの[デフォルトに設定する]をクリックします。

※デフォルトに設定可能な設定テンプレートは1つのみです。

※既にライセンス認証されている機器には適用されません。

デフォルト設定テンプレートの指定後にライセンス認証される機器のみに適用されます。

※デフィルトに設定した設定テンプレートは、一覧の上部に移動します。

## 3.10.1.8 設定テンプレートのデフォルト設定セットをなしにする

デフォルト設定テンプレートを未設定の状態に戻します。

1. 設定テンプレートー覧の上部にある[その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。

- 2. [(所属組織に従う)をデフォルトにする]をクリックします。
- 3. 確認画面で[OK]をクリックします。

※既に適用された設定テンプレートを取り消す機能ではありません。

## 3.10.1.9 設定テンプレートの入力値

設定テンプレートでは下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【テンプレート名】	1 文字~30 文字で入力してください。
【設定】	作成済みの設定セットより選択

機器にインストールされている、全ての Android エージェントに対して共通するルール設定を行うことができます。設定を 保存した時点で、すべての Android 機器に対して適用されます。

【注意事項】

◆設定が機器に反映されるまでの時間は、サーバーや機器の通信状態に依存します。

・エージェント共通管理 - Windows Internet Explorer	
🚱 🔾 🗢 🛃 hann in balance in ingenerated metric metric and a set of the 🗸 🖓 🛠 🕅 Google	+ م
☆ お気に入り - エージェント共通管理	
【企業名】	管理者としてログイン中
トップ マップ 機器 メニュー ・ エージェント共通管理	ログアウト
エージェント共通管理	<u>^</u>
2 管理サーバーと通信できなかった場合 なにもしない	
3 ロックメッセージ (プリレ)	
4 リモートロックの解除コード	
5 端末でのエージェント停止・ライセンス解除・アンインストールの制限 制限なし	
Fortic 状態検知 検知する	
/ 編集	
	+
利用規約のトプライバシーボリシーのトヘルプの	

百釆	<b>社</b> 免	11111111111111111111111111111111111111
項田	刘家	
1	管理サーバーとの通信間隔	管理サーバーと端末の通信間隔を指定分数、指定時間、指定日数で入力し、
		設定することができます。初期設定では 30 分に設定されています。
2	管理サーバーと通信できなか	管理サーバーと端末の最後の通信から一定時間が経過した場合に、
	った場合	Android 端末をロックすることができます。
		ロックするまでの時間を指定分数、指定時間、指定日数後で設定できるた
		め、端末を紛失した場合などに第三者のアクセスを制限することが可能と
		なります。
3	ロックメッセージ	ロック中の Android 端末の画面にお好きなメッセージを表示させることが
		できます。(最大文字数は 200 文字です)
		初期設定ではメッセージは登録されていません。
		※メッセージ表示時、入力されたメッセージの前後にある空白は削除され
		ます。
4	リモートロックの解除コード	リモートロックの解除コードを設定することができます。
		・なし:リモートロックの解除は管理サイトからのみ行うことができます。
		・解除コードの入力:Android 端末に解除コードを入力することでリモー
		トロックを解除することができます。
		※管理サイトからもリモートロックを解除することができます。初期設定
		ではランダムな8文字のパスワードが設定されています。

5	端末でのエージェント停止・	Android 端末でライセンスを解除する場合や、エージェントをアンインス
	ライセンス解除・アンインス	トールする場合に、パスワードを要するか設定することができます。
	トールの制限	・制限なし:パスワードを入力せずにライセンス解除やアンインストール
		することができます。
		・パスワードの入力:ライセンス解除やアンインストールする際にパスワ
		ードの入力が必要となります。初期設定ではランダムな8文字のパスワー
		ドが設定されています。
6	root 化状態検知	検知しない:Android 端末の root 化状態の検知を行いません。
		検知する: Android 端末に root 化するアプリケーションがインストールさ
		れている場合検知を行います。

## 3.10.2.1 エージェント共通管理画面を表示する

エージェント共通管理画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [エージェント共通管理]をクリックします。

## 3.10.2.2 エージェント共通管理を編集する

エージェント共通管理を編集します。

- 1. エージェント共通管理画面を表示します。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【管理サーバーとの通信間隔】

機器が管理サーバーと定期的に同期する間隔を指定します。

分数指定:指定した分数間隔で同期を行います。分数を合わせて指定します。

時間指定:指定した時間間隔で同期を行います。時間を合わせて指定します。

日数指定:指定した日数間隔で同期を行います。日数を合わせて指定します。

【管理サーバーと通信できなかった場合】

管理サーバーと機器が同期できなかった場合に機器にリモートロックを行うことが可能です。リモートロックを行う までの猶予時間を指定してください。

なにもしない:リモートロックを行いません。

指定分数後にロック:指定分数経過後に機器をリモートロックします。分数を合わせて指定します。 指定時間後にロック:指定時間経過後に機器をリモートロックします。時間を合わせて指定します。 指定日数後にロック:指定日数経過後に機器をリモートロックします。日数を合わせて指定します。

【ロックメッセージ】

リモートロックした機器の画面にメッセージを表示することができます。表示するメッセージを入力してください。

【リモートロックの解除コード】

機器側でのリモートロック解除方法を指定してください。

- 管理サイトでリモートロック解除操作を行ったのちに、機器と管理サーバーが同期を行う必要があります。
- 解除コードの入力:解除コードを指定します。機器側で解除コードを入力することで、リモートロックを解除できま す。

【端末でのエージェント停止・ライセンス解除・アンインストールの制限】

機器側でエージェント停止・ライセンス解除・アンインストールを行う際の制限を指定します。

制限なし:制限を設けません。

解除コードの入力:パスワードを指定します。機器側でエージェント停止・ライセンス解除・アンインストールを 行う際、パスワードが要求されます。

【root 化状態検知】

root 化状態検知を行うかどうかを指定します。root 状態検知とは、root 化された Android 機器を検知する機能です。 検知した場合はログに出力されます。また、機器画面の機器タブにて確認することが可能です。

検知しない: root 化状態検知を行いません。

検知する: root 化状態検知を行います。

### 3.10.2.3 エージェント共通管理の入力値

エージェント共通管理では下記入力ルールで設定を行います。

大項目名	小項目名	ルール
		分数指定を選択時は入力必須です。
		半角数字のみ入力できます。
	下記より選択 ・分数指定 ・時間指定	10 以上 59 以下で入力してください。
		時間指定を選択時は入力必須です。
		半角数字のみ入力できます。
進信间際】		1 以上 23 以下で入力してください。
	・口奴拍疋	日数指定を選択時は入力必須です。
		半角数字のみ入力できます。
		1 以上 365 以下で入力してください。
		分数指定を選択時は入力必須です。
	<ul> <li>下記より選択</li> <li>・なにもしない</li> <li>・指定分数後にロック</li> <li>・指定時間後にロック</li> <li>・指定日数後にロック</li> </ul>	半角数字のみ入力できます。
		10 以上 59 以下で入力してください。
【管理サーバーと		時間指定を選択時は入力必須です。
通信できなかった場合】		半角数字のみ入力できます。
		1 以上 23 以下で入力してください。
		日数指定を選択時は入力必須です。
		半角数字のみ入力できます。

		1 以上 365 以下で入力してください。	
	200 文字以内で入力してください。制御文字の入力はできません。		
[1997,92-9]	※空白類(タブ、改行等)は入力できます		
「リエートロックの紹吟っ	下記より選択	解除コードの入力を選択時は入力必須です。	
	・なし	4 文字以上 20 文字以内で入力してください。	
	・解除コードの入力	半角英数字のみ入力できます。	
【端末でのエージェント停	下記より選択	解除コードの入力を選択時は入力必須です。	
止・ライセンス解除・アン	・制限なし	4 文字以上 20 文字以内で入力してください。	
インストールの制限】	・解除コードの入力	半角英数字のみ入力できます。	
	下記より選択		
【root 化状態検知】	・検知しない		
	・検知する		

# 3.10.3 エージェント個別管理

Android エージェントに対する Push 通知利用に関する設定セットを作成します。当設定セットを用いることで、Push 通知の 利用可否を制御することが可能です。作成した設定セットは一括機器設定および、機器ごとの設定にて適用してください。

【注意事項】

◆エージェント個別管理が未設定の場合は、Push 通知を「利用する」に設定した場合と同様の扱いとなります。

【参考ページ】

◇一括機器設定について⇒一括して複数の機器に設定セットを適用する 152 ページ

◇機器ごとの設定について⇒単一の機器に設定セットを適用する 61 ページ

	- • ×
	• م
☆ お気に入り	
【企業名】	管理者としてログイン中
トップ マップ 機器 メニュー > エージェント個別管理	ログアウト
	Â.
設定	5 操作 ▼
W-F時利用しない 設定	
利用しない 設定名 利用	
Pushi通知 利用する	
/ 編集 ⑥	
	-

項番	対象	説明
1	[新規作成]	クリックすると設定入力欄が表示されます。設定セット新規作成方法は「エージェント個別管理の設定セットを新規作成する」212ページを参照してください。
2	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・全てにチェックを入れる:全ての設定セットのチェックボックスにチェックが入り ます。 ・全てのチェックをはずす:全ての設定セットのチェックボックスからチェックをは ずします。 ・一括削除:チェックの入った設定セットを削除します。詳細は「エージェント個別 管理の設定セットをまとめて削除する」213ページを参照してください。
3	設定セット一覧	登録されている設定セット一覧が表示されます。
4	設定セット情報	設定セット一覧より選択した設定セット情報が表示されます。
5	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・複製:設定セットを複製します。詳細は「エージェント個別管理の設定セットを複 製する」213 ページを参照してください。 ・削除:設定セットを削除します。詳細は「エージェント個別管理の設定セットを削 除する」213 ページを参照してください。

6	[編集]

## 3.10.3.1 エージェント個別管理画面を表示する

エージェント個別管理画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [エージェント個別管理]をクリックします。

## 3.10.3.2 エージェント個別管理の設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. エージェント個別管理画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【Push 通知】

Push 通知の利用可否を指定します。

利用する:Push 通知を利用します。

端末が Wi-Fi 接続時は利用しない: Push 通知を利用します。ただし、Wi-Fi 接続時は利用しません。 利用しない: Push 通知を利用しません。

### 3.10.3.3 エージェント個別管理の設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、エージェント個別管理の設定セットを新規作成する場合と同様 です。

- 1. 設定セットー覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

## 3.10.3.4 エージェント個別管理の設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

### 3.10.3.5 エージェント個別管理の設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 3.10.3.6 エージェント個別管理の設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能で す。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.10.3.7 エージェント個別管理の設定セット入力値

エージェント個別管理では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。
	下記より選択
	・利用する
[Pusn 通知]	・端末が Wi-Fi 接続時は利用しない
	・利用しない

# 3.10.4 設定バックアップ

Android 端末の設定内容を自動でバックアップするように設定することができます。

バックアップする内容は、「システム設定」・「セキュリティ設定」・「Wi-Fi 設定」・「Wi-Fi ネットワーク」・「連絡先」・「お気に 入り」です。設定を保存した時点で、すべての Android 機器に対して適用されます。

【注意事項】

- ◆バックアップは管理サーバー上に保存します。
- ◆保存されるバックアップは直近3世代となります。
- ◆取得したバックアップは、バックアップを取得した端末以外にも復元可能です。

ただし、すべてのバックアップ内容が復元可能とは限りません。復元可能な内容は端末に依存します。

- ◆設定が機器に反映されるまでの時間は、サーバーや機器の通信状態に依存します。
- ◆復元コードはバックアップ時に端末へ表示、または管理サーバーのログ上に保存されます。
- ◆復元用の復元コードは、バックアップ時の端末より確認、また、ログから機器ログのバックアップに関するログを確認することで復元
- コードを確認することが可能です。ログからの確認方法については ログ 435 ページを参照してください。

② コート 設定バックアップ - Windows Internet Explorer	×
	+ م
☆ お気に入り - 設定バックアップ	
【企業名】	管理者としてログイン中
トップ マップ 機器 メニュー > 設定バックアップ	ログアウト
設定バックアップ	
1 自動バックアップ 毎週月曜日	
	-
<u>                                    </u>	

項番	対象	説明
1	自動バックアップ	現在のバックアップ設定が表示されます。
2	[編集]	登録されているバックアップ情報を編集することができます。詳細は「設 定バックアップを編集する」215 ページを参照してください。



設定バックアップ画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [設定バックアップ]をクリックします。

## 3.10.4.2 設定バックアップを編集する

設定バックアップを編集します。

- 1. 設定バックアップ画面を表示します。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【自動バックアップ】

自動バックアップの実行スケジュールを指定します。

無効:自動バックアップを行いません。

- 毎月:毎月指定した日付に自動バックアップを行います。日付を合わせて指定します。 29 日以降を設定した場合、その日付が存在しない月のバックアップは翌月1日に行われます。
- 毎週:毎週指定した曜日に自動バックアップを行います。曜日を合わせて指定します。複数指定が可能です。 対象とする曜日をチェックしてください。

### 3.10.4.3 設定バックアップの入力値

設定バックアップでは下記入力ルールで設定を行います。

大項目名	小項目名	ルール
	下記より選択	「毎月」を選択時、下記入力
【白釉バックマップ】	・無効	1~31 の範囲で入力してください。
【日動ハックアッフ】	・毎月	「毎週」を選択時、下記より選択
	・毎週	日,月,火,水,木,金,土

Android 端末の位置情報取得方法を設定することができます。当設定セットを用いることで、位置情報取得時の測位を制御することが可能です。作成した設定セットは一括機器設定および、機器ごとの設定にて適用してください。

【参考ページ】

◇一括機器設定について⇒一括して複数の機器に設定セットを適用する 152 ページ

◇機器ごとの設定について⇒単一の機器に設定セットを適用する 61 ページ



項番	対象	説明
1	[新規作成]	クリックすると設定入力欄が表示されます。設定セット新規作成方法は「位置情報管 理の設定セットを新規作成する」217 ページを参照してください。
2	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・全てにチェックを入れる:全てのチェックボックスにチェックが入ります。 ・全てのチェックをはずす:全てのチェックボックスからチェックをはずします。 ・一括削除:チェックの入った位置情報管理設定を削除します。詳細は「位置情報管 理の設定セットをまとめて削除する」218ページを参照してください。
3	設定セット一覧	登録されている設定セット一覧が表示されます。
4	設定セット情報	設定セット一覧より選択した位置情報管理設定情報が表示されます。
5	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・複製:位置情報管理設定を複製します。詳細は「位置情報管理の設定セットを複製 する」218 ページを参照してください。 ・削除:位置情報管理設定を削除します。詳細は「位置情報管理の設定セットを削除 する」218 ページを参照してください。
6	設定名	お好きな名前を入力します。
$\overline{(7)}$	エージェントに	エージェントによる位置情報の測位タイミングを設定します。
------------------	---------	---
U.	よる測位	<ul> <li>・測位しない:位置情報の測位を行いません。</li> </ul>
		・エージェント起動時のみ測位する:エージェントの起動時のみ測位を行います。
		・定期的に測位する:測位するタイミングを分数指定、時間指定、日数指定から選択
		できます。
		※端末の位置情報の無線ネットワークと GPS が無効の場合、測位を行いません。
		※エージェントの位置情報取得が「許可しない」の場合、位置情報を取得しません。
		│※この設定値は、機器で位置情報を測位する周期で使用します。管理サーバーへ位置
		情報を同期する設定値は、エージェント共通管理の「管理サーバーとの通信間隔」で
		設定できます。
(8)	[編集]	登録されている位置情報管理設定情報を編集することができます。詳細は「位置情報
•		管理の設定セットを編集する」217 ページを参照してください。

## 3.10.5.1 位置情報管理画面を表示する

位置情報管理画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [位置情報管理]をクリックします。

## 3.10.5.2 位置情報管理の設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. 位置情報管理画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【エージェントによる測位】

位置情報の測位タイミングを指定します。本機能で測位タイミングを指定しても、端末の位置情報の無線ネットワークと GPS が無効の場合は測位を行いません。また、エージェントの位置情報取得が「許可しない」の場合、位置情報を取得 しません。

測位しない:測位を行いません。

エージェント起動時のみ測位する:エージェントの起動時のみ測位を行います。

定期的に測位する:指定した間隔で定期的に測位を行います。分数/時間/日数を合わせて指定します。

### 3.10.5.3 位置情報管理の設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、位置情報管理の設定セットを新規作成する場合と同様です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

#### 3.10.5.4 位置情報管理の設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

#### 3.10.5.5 位置情報管理の設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.10.5.6 位置情報管理の設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

#### 3.10.5.7 位置情報管理の設定セット入力値

位置情報管理では下記入力ルールで設定を行います。

大項目名	小項目名	ルール
		「定期的に測位する」を選択した場合、下記より選択
		分数指定、時間指定、日数指定
	下記より選択	「分数指定」を選択時、下記より入力
【位罢桂起答理】	・測位しない	10 以上、59 以下の範囲で入力してください。
【江道捐報官理】	・エージェント起動時のみ測位する	「時間指定」を選択時、下記より入力
	・定期的に測位する	1 以上、23 以下の範囲で入力してください。
		「日数指定」を選択時、下記より入力
		1 以上、365 以下の範囲で入力してください。

# 3.10.6 App Manager

App Manager とは、MDM 関連アプリのインストールおよびアップデートをセキュアに実現するための導入支援機能です。 App Manager を使用したインストールおよびアップデートは、アプリケーション禁止(223 ページ)や Web フィルタリング (289 ページ)など、本製品で提供しているセキュリティ機能に制限されません。このため、これらのセキュリティ機能を維 持したまま MDM 関連アプリの導入を行うことができます。App Manager 自体は Android エージェントの機能です。本設定 では Android エージェント側で、App Manager を有効にするかどうかを設定します。設定を保存した時点で、すべての Android 機器に対して適用されます。

【注意事項】

- ◆アプリケーション禁止(223ページ)の「アプリケーションインストール制限」で"禁止"に設定している場合は、App Manager を使用 したインストールおよびアップデートも禁止の対象となります。App Manager からインストールおよびアップデートを行う場合は、一 時的に「アプリケーションインストール制限」を"許可"に設定していただく必要がございます。
- ◆設定が機器に反映されるまでの時間は、サーバーや機器の通信状態に依存します。
- ◆App Manager 自体の詳細については、別紙「Android エージェント ユーザーマニュアル」を参照してください。
- ◆MDM 関連アプリとは以下を指します。

KDDI Smart Mobile Safety Manager エージェント、+browser Safety Manager、KDDI Smart Mobile Safety Manager AntiVirus

🤗 - App Manager - Windows Internet Explorer	- • ×
	• م
☆ お気に入り - App Manager	
【企業名】	管理者としてログイン中
トップ マップ 機器 メニュー > App Manager	ログアウト
O App Manager	
表示	
※「表示」の場合、端末にインストールの通知を行います。	
✔ 保存 ち 取消	

項番	対象	説明
1	App Manager 表示	表示:エージェントのメニューに App Manager を表示します。 非表示:エージェントのメニューに App Manager を表示しません。 ※「表示」の場合、端末にインストール可能なアプリケーションが表示されます。 ※「表示」の場合、端末にインストールの通知を行います。

## 3.10.6.1 App Manager 表示設定画面を表示する

App Manager 表示設定画面を表示します。

## 1. メニュータブをクリックします。

2. [App Manager]をクリックします。

## 3.10.6.2 App Manager 表示設定を編集する

App Manager 表示設定を編集します。

- 1. App Manager 表示設定画面を表示します。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【表示】

App Manager の表示/非表示を指定します。

表示:エージェントのメニューに App Manager を表示します。 非表示:エージェントのメニューに App Manager を表示しません。

## 3.10.6.3 App Manager 表示設定の入力値

App Manager 表示設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
	下記より選択
【表示】	・表示
	・非表示

Android機器に対する設定セットを作成します。機器に制限を設けることを目的とした設定セットを作成いただけます。作成 した設定セットは一括機器設定および、機器ごとの設定にて適用してください。 作成可能な設定セットは以下のとおりです。

設定項目名	可能な操作
<u>アプリケーション禁止</u>	<ul> <li>アプリケーション禁止の設定セットを新規作成する</li> <li>アプリケーション禁止の設定セットを編集する</li> <li>アプリケーション禁止の設定セットを複製する</li> <li>アプリケーション禁止の設定セットを削除する</li> <li>アプリケーション禁止の設定セットをまとめて削除する</li> </ul>
<u>SD カード</u>	<ul> <li>SD カードの設定セットを新規作成する</li> <li>SD カードの設定セットを編集する</li> <li>SD カードの設定セットを複製する</li> <li>SD カードの設定セットを削除する</li> <li>SD カードの設定セットをまとめて削除する</li> </ul>
<u>カメラ</u>	<ul> <li>カメラの設定セットを新規作成する</li> <li>カメラの設定セットを編集する</li> <li>カメラの設定セットを複製する</li> <li>カメラの設定セットを削除する</li> <li>カメラの設定セットをまとめて削除する</li> </ul>
<u>Bluetooth</u>	<ul> <li>Bluetoothの設定セットを新規作成する</li> <li>Bluetoothの設定セットを編集する</li> <li>Bluetoothの設定セットを複製する</li> <li>Bluetoothの設定セットを削除する</li> <li>Bluetoothの設定セットをまとめて削除する</li> </ul>
<u>スクリーンロック</u>	<ul> <li>・<u>スクリーンロックの設定セットを新規作成する</u></li> <li>・<u>スクリーンロックの設定セットを編集する</u></li> <li>・<u>スクリーンロックの設定セットを複製する</u></li> <li>・<u>スクリーンロックの設定セットを削除する</u></li> <li>・<u>スクリーンロックの設定セットをまとめて削除する</u></li> </ul>
<u>リモートロック</u>	<ul> <li>・<u>リモートロックの設定セットを新規作成する</u></li> <li>・<u>リモートロックの設定セットを編集する</u></li> <li>・<u>リモートロックの設定セットを複製する</u></li> <li>・<u>リモートロックの設定セットを削除する</u></li> <li>・<u>リモートロックの設定セットをまとめて削除する</u></li> </ul>

<u>リモートワイプ</u>	<ul> <li>リモートワイプの設定セットを新規作成する</li> <li>リモートワイプの設定セットを編集する</li> <li>リモートワイプの設定セットを複製する</li> <li>リモートワイプの設定セットを削除する</li> <li>リモートワイプの設定セットをまとめて削除する</li> </ul>
<u>Wi-Fi フィルタリング</u>	<ul> <li>Wi-Fi フィルタリングの設定セットを新規作成する</li> <li>Wi-Fi フィルタリングの設定セットを編集する</li> <li>Wi-Fi フィルタリングの設定セットを複製する</li> <li>Wi-Fi フィルタリングの設定セットを削除する</li> <li>Wi-Fi フィルタリングの設定セットをまとめて削除する</li> </ul>
<u>Web フィルタリング</u>	<ul> <li>Web フィルタリングの設定セットを新規作成する</li> <li>Web フィルタリングの設定セットを編集する</li> <li>Web フィルタリングの設定セットを複製する</li> <li>Web フィルタリングの設定セットを削除する</li> <li>Web フィルタリングの設定セットをまとめて削除する</li> </ul>
<u>Web 閲覧履歴</u>	<ul> <li>Web 閲覧履歴の設定セットを新規作成する</li> <li>Web 閲覧履歴の設定セットを編集する</li> <li>Web 閲覧履歴の設定セットを複製する</li> <li>Web 閲覧履歴の設定セットを削除する</li> <li>Web 閲覧履歴の設定セットをまとめて削除する</li> </ul>
<u> 発信先制限</u>	<ul> <li>・発信先制限の設定セットを新規作成する</li> <li>・発信先制限の設定セットを編集する</li> <li>・発信先制限の設定セットを複製する</li> <li>・発信先制限の設定セットを削除する</li> <li>・発信先制限の設定セットをまとめて削除する</li> <li>・発信先をインポートする</li> <li>・発信先をエクスポートする</li> </ul>
<u>アプリケーション検知</u>	<ul> <li>アプリケーション検知の設定セットを新規作成する</li> <li>アプリケーション検知の設定セットを編集する</li> <li>アプリケーション検知の設定セットを複製する</li> <li>アプリケーション検知の設定セットを削除する</li> <li>アプリケーション検知の設定セットをまとめて削除する</li> </ul>
Secure Shield	<ul> <li>Secure Shield の設定セットを新規作成する</li> <li>Secure Shield の設定セットを編集する</li> <li>Secure Shield の設定セットを複製する</li> <li>Secure Shield の設定セットを削除する</li> <li>Secure Shield の設定セットをまとめて削除する</li> </ul>

# 3.11.1 アプリケーション禁止

Android エージェントに対するアプリケーション禁止ルールに関する設定セットを作成します。当設定セットを用いることで、 指定したアプリケーションの起動を禁止する/全アプリケーションのインストールを禁止する/ユーザーによる機器の設定 変更を禁止する/指定した画面の表示を禁止することが可能です。作成した設定セットは一括機器設定および、機器ごとの設 定にて適用してください。なお、禁止されているアプリケーションを起動しようとした場合、禁止対象である旨のメッセージ が表示され、アプリケーションの起動が行えません。

【参考ページ】

◇一括機器設定について⇒一括して複数の機器に設定セットを適用する 152 ページ◇機器ごとの設定について⇒単一の機器に設定セットを適用する 61 ページ



項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。

2	アプリケーション禁止	禁止方式を選択します。
		・許可するアプリケーションを指定する(指定されていないアプリケーションは禁
		止):指定されたアプリケーションのみ使用できます。
		・禁止するアプリケーションを指定する(指定されていないアプリケーションは許
		可):指定されたアプリケーションのみ使用できません。
		・アプリケーション名:アプリケーション名を入力します。(アプリケーション名
		はお好きなものを入力してください。)機器が登録されている場合、入力された文
		字に対して機器に登録されている全てのアプリケーションの中から関連するアプ
		リケーションが表示されます。
		・パッケージ名:アプリケーションのパッケージ名を入力します。(パッケージ名
		は機器のアプリケーション詳細情報画面で参照してください。詳細情報画面の表
		示方法は「アプリケーションの詳細を確認する」48 ページを参照してください。)
		※アプリケーションを 31 個以上登録した場合、ご使用の端末によってはアプリケ
		ーション禁止まで時間がかかる場合がございます。
		※[追加] 🚹 をクリックすると、入力欄が追加されます。
		※[削除] 👿 をクリックすると、入力欄が削除されます。
3	[メモから追加]	機器画面の[アプリ]タブのメモ欄をクリックしたアプリケーション名とそのパッ
		ケージ名が「アプリケーション一覧」に表示されます。
		※機器画面[アプリ]タブの詳細は「アプリケーションの詳細を確認する」48 ページ
		を参照してください。
4	アプリケーションイン	アプリケーションのインストールを許可:アプリケーションのインストールを許
	ストール制限	「可します。
		アプリケーションのインストールを禁止:アプリケーションのインストールを禁
		止します。
-		※機器の USB デバッグを OFF にした状態でご利用ください。
(5)	設定画面の禁止	選択した設定画面の表示を禁止します。(Android 2.2、Android 2.3 のみ)
-		※Android3.x 以降で画面禁止を行いたい場合は、Secure Shield をご利用ください。
6	画面の禁止(カスタム)	・画面名:画面名を入力します。(画面名はお好きなものを入力してください。)
	一覧	・パッケージ名:アプリケーションのパッケージ名を入力します。
		・アクティビティ:禁止する画面のアクティビティ名を入力します。
		・モデル:禁止対象となる端末を制限したい場合、モデル名を入力します。
		※[追加] 🚺 をクリックすると、人力欄が追加されます。
		※[削除] 🔣 をクリックすると、人力欄が削除されます。

## 3.11.1.1 アプリケーション禁止画面を表示する

アプリケーション禁止画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。	
2.[アプリケーション禁止]をクリックします。	

# 3.11.1.2 アプリケーション禁止の設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

# 1. アプリケーション禁止画面を表示します。

- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

## 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

#### 【アプリケーション禁止】

アプリケーションの起動禁止設定を行います。リスト形式およびリストに含めるアプリケーションを指定します。

リスト形式を下記より選択します。

許可するアプリケーションを指定する(指定されていないアプリケーションは禁止): ホワイトリスト形式です。指定されていないアプリケーションは起動禁止となります。 禁止するアプリケーションを指定する(指定されていないアプリケーションは許可):

ブラックリスト形式です。指定されたアプリケーションは起動禁止となります。

ただし、バックグラウンドで動作するアプリケーションは禁止できません。

リストに含めるアプリケーション情報を入力します。

アプリケーション名:アプリケーション名を入力します。

アプリケーション名は端末のアプリケーション情報から確認することが可能です。 パッケージ名:パッケージ名を入力します。

パッケージ名は端末のアプリケーション情報から確認することが可能です。

メモから追加:機器のアプリケーション情報から取得したメモ情報を添付します。

ボタン:設定するアプリケーションタグを追加します。複数のアプリケーションを登録することが可能です。

【アプリケーションインストール制限】

アプリケーションのインストールおよびアップデートに対する許可/禁止を指定します。

アプリケーションのインストールを許可:全てのアプリケーションのインストールおよびアップデートを許可します。 アプリケーションのインストールを禁止:全てのアプリケーションのインストールおよびアップデートを禁止します。 ただし、許可するアプリケーションとして Google Play が指定されている場合は、禁止できません。

【設定画面の禁止】

特定の設定画面の使用を禁止します。本機能は Android 2.2,2.3 のみ対応しています。

Wi-Fi 設定:チェックを入れることで Wi-Fi 設定画面の表示を禁止します。

VPN 設定:チェックを入れることで VPN 設定画面の表示を禁止します。

APN 設定:チェックを入れることで APN 設定画面の表示を禁止します。

デバイス管理者機能:チェックを入れることでデバイス管理者機能設定画面の表示を禁止します。

開発:チェックを入れることで開発画面の表示を禁止します。

アプリケーション管理:チェックを入れることでアプリケーション管理画面の表示を禁止します。

【画面の禁止(カスタム)一覧】

画面のアクティビティを設定し、個別の画面表記設定を行います。

画面名:画面の画面名を入力します。

パッケージ名:パッケージ名を入力します。

アクティビティ:画面のアクティビティを設定します。

モデル:画面のモデル名を設定します。

+ボタン:設定する画面名タグを追加します。複数の画面を設定するときに利用します。

#### 3.11.1.3 アプリケーション禁止の設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、アプリケーション禁止の設定セットを新規作成する場合と同様 です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

### 3.11.1.4 アプリケーション禁止の設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

#### 3.11.1.5 アプリケーション禁止の設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

#### 3.11.1.6 アプリケーション禁止の設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 3.11.1.7 アプリケーション禁止の設定セット入力値

アプリケーション禁止では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール	
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。	
【アプリケーション禁止】	 下記から選択	
	・許可するアプリケーシ	ョンを指定する (指定されていないアプリケーションは禁止)
	・禁止するアプリケーシ	ョンを指定する (指定されていないアプリケーションは許可)
	アプリケーション名	60 文字以内で入力してください。制御文字は入力できません。
		255 文字以内で入力してください。半角英数字、「.」、「_」、「\$」のみ
	ハッゲージ名	で入力してください。
【アプリケーション	下記から選択	-
インストール制限】	・アプリケーションのイ	ンストールを許可
	・アプリケーションのインストールを禁止	
【設定画面の禁止】	Wi-Fi 設定	チェックを入れる、チェックを入れない
	VPN 設定	チェックを入れる、チェックを入れない
	APN 設定	チェックを入れる、チェックを入れない
	デバイス管理者機能	チェックを入れる、チェックを入れない
	開発	チェックを入れる、チェックを入れない
	アプリケーション管理	チェックを入れる、チェックを入れない
【画面の禁止(カスタム)	画面名	60 文字以内で入力してください。制御文字は入力できません。
一覧】		255 文字以内で入力してください。半角英数字、「.」、「_」、「\$」のみ
	バッケージ名 	で入力してください。
	アクティビティ	255 文字以内で入力してください。
		半角英数字、「.」、「_」、「\$」のみで入力してください。
	<b>エニ</b> ル	255 文字以内で入力してください。
		制御文字は入力できません。

機器の SD カードをアンマウントし、SD カードの利用を禁止する機能です。端末通常利用時/パソコン接続時それぞれで許可 /禁止を設定することが可能です。SD カード設定で「許可」に設定していても、アプリケーション禁止で許可するアプリケー ションに登録していない場合は使用できなくなります。

② ■ - SDカード - Windows Internet Explorer	
	ματική ματική τη χρητική τη χρητική τη χρητική τη
😭 お気に入り	
【企業名】	管理者としてログイン中
トップ	マップ 機器 メニュー > SDカード ログアウト
00	新規作成
A	iA/2
	88.0C
	設定-編集中
1	設定名
2	◎許可 ◎禁止
3	Android 42以降でSDカードを制限する場合
	▲ Android 42以降では、以下の方法でSDカードの利用を制限することが可能
	टर्म.
	Android 42の場合:
	SD/Jートハのテーズをが規則します。 Android 4.3/4.4の場合(※エージェントバージョン7.0以降):
	SDカード挿入時にロック画面を表示します。 ※一部のAnderseid 42 の辞書において、SD カードのロイブに対応しておりま
	す。 す。
	詳細は、「対応端末表」を参照してください。
	上記内容をご確認の上、下記「Android42以降も制限する」にチェックを入れて
4	□ Android42以降も制限する
	PC接続時 ※Android 2xのみ対応 ●許可 ●禁止

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	通常時	機器をパソコンに接続していない時の SD カードの使用制限を選択することができます。 ・許可 : SD カードが使用できます。 ・禁止 : SD カードが使用できなくなります。
3	Android 4.2 以降で SD カード を制限す る場合	<ul> <li>SD カードをワイプすることができます。Android 4.2 のみ対応しています。</li> <li>SD カードに保存されているデータは全て削除されますのでご注意ください。</li> <li>Android4.2 以降も制限する: SD カードをワイプします。</li> <li>※一部の Android 4.3 の端末において、SD カードのワイプに対応しております。</li> <li>対象の端末は「対応端末表」を参照してください。</li> <li>Android4.3, 4.4 の端末で本設定を行うと、SD カード挿入が検知されたタイミングで専用のロック画面が表示され、SD カードの利用を規制します。</li> <li>※一部の Android 4.3 の端末では専用のロック画面は表示されず、端末の SD カードがワイプされます。対象の端末は「対応端末表」を参照してください。</li> <li>※SD カードへの利用規制は、Android 端末に SD カードが挿入され、マウントされるタイミングで行われます。端末に SD カードが挿入されている(既にマウントされた状態)で Android エージェントのアップデートを行った場合、SD カードは既にマウントされ、検知されているため、規制対象とはなりません。アップデート後に SD カードを再度挿入することで、SD カードをロックすることが可能となります。</li> <li>※Android 4.3, 4.4 の端末において、[通常時]の[禁止]にチェックされていることと、[Android4.2</li> </ul>
		以降も制限する]にチェックを行うことで専用のロック画面が表示されます。
4	PC 接続時	機器をパソコンに接続している時の SD カードの使用制限を選択することができます。 ・許可: SD カードが使用できます。 ・禁止: SD カードが使用できなくなります。

## 3.11.2.1 SD カード画面を表示する

SD カード画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [SD カード]をクリックします。

## 3.11.2.2 SD カードの設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. SD カード画面を表示します。
- 2. [新規作成] 🛨 をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

## 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

## 【通常時】

端末の通常利用時の SD カード使用設定を行います。

許可:チェックを入れることで通常利用時 SD カードを利用許可設定します。

禁止:チェックを入れることで通常利用時 SD カードを利用禁止設定します。

#### 【Android 4.2 以降で SD カードを制限する場合】

本設定は【通常時】のオプションとなり、禁止を指定した場合のみ有効となります。Android 4.2 以降では【通常時】で禁止を指定しても SD カードの利用を禁止することができません。当項目にチェックを入れることで代わりに SD カードをワイプすることが可能です。SD カードに保存されているデータは全て削除されますのでご注意ください。本設定は Android 4.2 以降のみ対応しています。

Android4.2 以降も制限する:チェックを入れることで SD カードをワイプします。

#### 【PC 接続時】

端末の PC 接続時の SD カード使用設定を行います。本設定は Android 2.X のみ対応しています。なお、前述の (Android 4.2 以降の場合) は (通常時) のオプションであり、 (PC 接続時) の動作については関与しません。

許可:チェックを入れることで PC 接続時 SD カードを利用許可設定します。

禁止:チェックを入れることで PC 接続時 SD カードを利用禁止設定します。

# 3.11.2.3 SD カードの設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、SD カードの設定セットを新規作成する場合と同様です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

#### 3.11.2.4 SD カードの設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

#### 3.11.2.5 SD カードの設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。

4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 3.11.2.6 SD カードの設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.11.2.7 SD カードの設定セット入力値

SD カードの設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。
【通常時】	下記から選択
	・許可
	・禁止
【Android 4.2 以降で SD カードを制限す	有効にする場合はチェックする
る場合】	
【PC 接続時】	下記から選択
	・許可
	・禁止

# 3.11.3 カメラ

機器のカメラ起動を禁止する機能です。カメラ起動が禁止された場合には、機器上で禁止された旨のポップアップメッセージを表示します。本機能でカメラの利用を禁止した場合、カメラを利用するアプリケーションは起動できません。ただし、 OS が Android4.0 以降の場合はカメラ機能のみを禁止するものとし、アプリケーション自体の起動は可能としています。

【注意事項】

◆Android4.0 以降ではアプリケーションがカメラの利用を試みたタイミングで禁止メッセージを表示します。その後、アプリケーション が継続して利用できるかどうかは各アプリケーションの仕様に依存します。

Contras en -	カメラ - Windows Internet Explorer		- • ×
<b>O</b> • •	Petge to come age as group of	🕶 🗐 🖓 Google	+ م
🏠 お気に入り	8 ORDer HI - カメラ		
	【企業名】	管理者	としてログイン中
Real Property lies	トップ	┃ マップ ┃ 機器 ┃ メニュー > カメラ	ログアウト
	<u>م</u>	<b>⑥</b> 新規作成	~
		設定	
		設定-編集中	
	1	設定名	
	2	<sup>カメラ</sup> ◎許可 ◎禁止	
		✔ 保存	
	Ŧ		-
	1	@@@##@# # 利用規約@ ブライバシーボリシー@ ヘルブ@	

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	カメラ	<ul> <li>・許可:カメラ機能を使用することができます。</li> <li>・禁止:カメラ機能を使用することはできません。</li> </ul>

#### 3.11.3.1 カメラ画面を表示する

カメラ画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [カメラ]をクリックします。

### 3.11.3.2 カメラの設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1.カメラ画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【カメラ】

端末のカメラ使用設定を行います。

許可:チェックを入れることで通常利用時カメラを利用許可設定します。

禁止:チェックを入れることで通常利用時カメラを利用禁止設定します。

#### 3.11.3.3 カメラの設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、カメラの設定セットを新規作成する場合と同様です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。

3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

#### 3.11.3.4 カメラの設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

## 3.11.3.5 カメラの設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.11.3.6 カメラの設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セットー覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 3.11.3.7 カメラの設定セット入力値

カメラの設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール	
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。	
【カメラ】	 下記から選択	
	• 許可	
	·禁止	

# 3.11.4 Bluetooth

機器の Bluetooth 機能の有効/無効を設定する機能です。

Colored Hit -	Bluetooth - Windows Internet Explorer		×
0.	Maximum and approximation		<del>ب</del> 0
🏫 お気に入り	Bluetooth		
	【企業名】	管理者としてログイン	Þ
	トップ	│ マップ │ 機器 │ メニュー → Bluetooth │	
• •	^	新規作成	
		設定	
		設定 - 編集中	
	1	設定名	
	2	Bluetooth機能	
		<ul> <li>● 気史しは「</li> <li>● 有効にする</li> </ul>	
		◎ 無効にする	
		✔ 保存	
	~		-
	101		

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	Bluetooth 機能	・変更しない:各機器によって設定されている設定を変更しません。 ・有効にする:Bluetooth を有効にします。 ・無効にする:Bluetooth を無効にします。

#### 3.11.4.1 Bluetooth 画面を表示する

Bluetooth 画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [Bluetooth]をクリックします。

### 3.11.4.2 Bluetooth の設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. Bluetooth 画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【Bluetooth 機能】

端末の Bluetooth 機能の有効/無効設定を行います。

変更しない:チェックを入れることで現在の Bluetooth 設定状態を保持します。 有効にする:チェックを入れることで通常利用時 Bluetooth を有効設定します。 無効にする:チェックを入れることで通常利用時 Bluetooth を無効設定します。

#### 3.11.4.3 Bluetooth の設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、Bluetoothの設定セットを新規作成する場合と同様です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

#### 3.11.4.4 Bluetooth の設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。

以降は新規作成の場合と同様です。

## 3.11.4.5 Bluetooth の設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.11.4.6 Bluetooth の設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.11.4.7 Bluetooth の設定セット入力値

Bluetooth の設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。
【Bluetooth 機能】	下記から選択
	・変更しない
	・有効にする
	・無効にする

Android 標準の画面ロック機能のパスワードポリシーを変更する機能です。

画面内で「※」が付いた機能は OS が Android3.0 以降の場合のみ利用できます。

#### 【注意事項】

- ◆スクリーンロックは、Android 標準のロック画面設定を行う機能です。
- ◆Android L で画面の固定(ScreenPinning)が有効な場合、スクリーンロックを適用しても ScreenPinning 画面が表示されます。
- ◆Android L ではスクリーンロック中にユーザ切り替えが可能です。
- ◆スクリーンロックのパスワードが空に設定されている場合、Version 5.1 未満の Android L 端末では不要なパスワード入力画面が表示されてしまいます(本来、パスワードが空の場合は該当画面は表示されません)。



項番	対象	説明
1	非対応端末について	クリックすると非対応の Android 端末名が表示されます。
2	設定名	お好きな名前を入力します。
3	パスワードポリシー	・端末の設定を変更しない:現在の設定を変更しません。
		<ul> <li>・制限なし:パスワードの入力を不要に設定します。</li> </ul>
		・以下の制限を設定する:解除方法、文字数、オプションを選択し、パスワード
		ポリシーを設定します。
		※パスワードポリシー制限方法に「パターン」を選択することはできません。
4	パスワードの再利用※	パスワードの有効期限が切れた場合、同じパスワードを再度利用できるか設定し
		ます。
		端末の設定を変更しない:現在の設定を変更しません。
		制限なし:パスワードの再利用回数を制限しません。
		冉利用を禁止〇回前のパスワードまで:指定した回数以降新たなパスワードを利
		用するよう設定します。
		※本機能は Android3.x 以降に対応しています。
(5)	パスワードの有効期限	パスワードの有効期限を設定します。
	*	・靖末の設定を変更しない:現在の設定を変更しません。
		・有効期限なし:有効期限を設定しません。
		・日剱を指定〇日:有勿期限日剱を設定しまり。 ※本機能はAndraidのいい際に対応しています。
	白動ロックナズの吐服	※ 本 懱 能 は Android 3.X 以 降 に 刈 心 し し い ま 9 。 
6	目期ロックまでの時间	・「「「「「」」」である。「「「」」」では「「」」」では、「「」」」」では、「「」」」」では、「「」」」」」」」」」」
		- 30 秒、1 方、2 方、3 方、5 方、10 方、30 方:ロックされるまでの時间を設定 まま
		●しまり。 ●時間を指定○公・白動ロックまでの時間を設定します
	ロック紹吟生取時の記	「「「「」」ではたした。「「」」では、「」」、」、」、」、」、」、、」、」、
U	ロック解除天敗時の設	ログク解除に大敗した場合の動作を設定しより。 ・ 「「「」」 ・ に大敗した場合の動作を設定しより。
		- していたいに、「「「」」」、「」」、「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、
		していたので、「、、「、、」、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
		・リモートロック/ワイプを行わない:ロック解除失敗時に何も行いません。

## 3.11.5.1 スクリーンロック画面を表示する

スクリーンロック画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [スクリーンロック]をクリックします。

## 3.11.5.2 スクリーンロックの設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

## 1. スクリーンロック画面を表示します。

- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【パスワードポリシー】

端末のパスワードポリシーの設定を行います。

端末の設定を変更しない:チェックを入れることで現在のパスワードポリシー設定状態を保持します。

制限なし:チェックを入れることでパスワードポリシーの制限をなしに設定します。

以下の制限を設定する:チェックを入れることでパスワードポリシーの制限の設定をします。パスワードの解除方法、 ポリシーを設定します。

解除方法:制限を実施する方法を選択します。

文字数:パスワードポリシーを指定文字数以上で設定させるように制限します。

オプション:パスワード設定が指定された制限を満たしていない場合再設定を強制させるように設定します。

【パスワードの再利用】

パスワードの再設定時以前使用したパスワードの使用制限を設定します。本機能は Android 3.x 以降に対応しています。

端末の設定を変更しない:チェックを入れることで現在のパスワードポリシー設定状態を保持します。

制限なし:チェックを入れることでパスワードの再利用の制限をなしに設定します。

再利用を禁止:チェックを入れることでパスワードの再利用の制限を有効に設定します。指定の回数まで再利用制限を かけることが可能です。

【パスワードの有効期限】

利用しているパスワードの有効期限を設定します。本機能は Android 3.x 以降に対応しています。

端末の設定を変更しない:チェックを入れることで現在のパスワードポリシー設定状態を保持します。

有効期限なし:チェックを入れることでパスワードの有効期限をなしに設定します。

日数を指定:チェックを入れることでパスワードの再利用の制限を有効に設定します。指定の回数まで再利用制限を かけることが可能です。

【自動ロックまでの時間】

端末の自動ロックが行われる時間を設定します。

端末の設定を変更しない:チェックを入れることで現在のパスワードポリシー設定状態を保持します。 30 秒 /1 分 /2 分 /3 分 /5 分 /10 分 /30 分:チェックを入れることで指定の時間自動ロックを有効に設定します。 時間を指定:チェックを入れることで自動録までの時間を指定時間に設定します。指定の時間に自動ロックを かけることが可能です。

【ロック解除失敗時の設定】

端末のスクリーンロック解除失敗時に行われる動作を設定します。

端末の設定を変更しない:チェックを入れることで現在の設定を保持します。

- 〇回失敗でリモートロック:チェックを入れることでスクリーンロック解除に指定回数失敗したら自動的にリモートロ ックするように設定します。失敗回数を合わせて指定します。
- 〇回失敗でワイプ:チェックを入れることでスクリーンロック解除に指定回数失敗したら自動的にワイプするように設定します。失敗回数を合わせて指定します。

リモートロック/ワイプを行わない:チェックを入れることでスクリーンロック解除に失敗しても現在状態を保持しま す。

※「〇回失敗でリモートロック」「〇回失敗でワイプ」は適用対象機器を十分にご確認の上、ご利用ください。

※「〇回失敗でリモートロック」は、機器にインストールされているエージェントが対応バージョンの場合のみ利用可能で す。(Android エージェント バージョン 5.7.0.4 以降)。

エージェントが未対応の場合は、「端末の設定を変更しない」と同様の動作となります。

#### 3.11.5.3 スクリーンロックの設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、スクリーンロックの設定セットを新規作成する場合と同様で す。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

#### 3.11.5.4 スクリーンロックの設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

#### 3.11.5.5 スクリーンロックの設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.11.5.6 スクリーンロックの設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セットー覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。

4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 3.11.5.7 スクリーンロックの設定セット入力値

スクリーンロックの設定では下記入力ルールで設定を行います。

大項目名	小項目名	ルール	
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。		
		「以下の制限を設定する」を選択時は下記から選択	
	下記から選択	解除方法:PIN またはパスワード/パスワード/数字を含む	
【パフロードギリシー】	・端末の設定を変更しない	パスワード	
「ハメリートホリシー」	・制限なし	文字数:選択時は入力必須です。半角数字のみ入力できま	
	・以下の制限を設定する	す。4 以上 16 以下で入力してください	
		オプション:チェックを入れる。入れない。	
	下記から選択		
	・端末の設定を変更しない	「再利用を禁止」を選択時は入力必須です。半角数字の	
【ハスリートの再利用】	・制限なし	み入力できます。1 以上 10 以下で入力してください。	
	・再利用を禁止		
	下記から選択		
	・端末の設定を変更しない	「日剱を指定」を選択時は入刀必須です。	
【ハスリートの有効期限】	・有効期限なし		
	・日数を指定		
	下記から選択		
	・端末の設定を変更しない		
	・30 秒		
	・1 分		
【白乳コートナイの叶眼】	・2 分	「時間を指定」を選択時は入刀必須です。	
【目動ロックまでの時間】	・ <b>3</b> 分		
	・5 分	1 以上 30 以下で入力してくたさい。	
	・10 分		
	・30分		
	・時間を指定		
		「〇回失敗でリモートロック」「〇回失敗でワイプ」を	
		選択時は失敗回数を合わせて入力します。(必須)	
	下記から選択	半角数字のみ入力できます。	
	・端末の設定を変更しない	2 以上 50 以下で入力してください。	
「ロック切除た敗吐の乳ウ】	・〇回失敗でリモートロック		
【ロック解除失敗時の設定】	・〇回失敗でワイプ	「〇回失敗でリモートロック」選択時はロックメッセー	
	・リモートロック/ワイプを行わ	ジを任意で入力します。	
	ない	200 文字以内で入力してください。	
		制御文字の入力はできません。	
		※空白類(タブ、改行等)は入力できます。	

管理サイト上から、管理している機器をロックすることができます。機器ごとに1台ずつ行うこともできますし、分類ごと に行うこともできます。リモートロックをかけると、本製品独自のロック画面を機器に表示し、第三者による機器の利用を 防ぐことができます。

【注意事項】

- ◆リモートロックは本製品独自のロック画面を機器に表示し、第三者による機器の利用を防ぐ機能です。
- ◆Android L で画面の固定(ScreenPinning)が有効な場合、リモートロックを適用しても ScreenPinning 画面が表示されます。
- ◆Android L ではリモートロック中にユーザ切り替えが可能です。

C リー・リモートロック - Windows Internet Exp	lorer	
OO • Real contraction from	🗸 🔒 🤄 🖓 🗙 🖓 Google	• م
🚖 お気に入り		
【企業名】		管理者としてログイン中
トップ	┃ マップ ┃ 機器 ┃ メニュー   > リモートロック	
	設定	操作 ▼
	設定	
	設定名 ロック	
1	リモートロック ロックする	
	ロックメッセージ (だよし)	
	ロック時の警告音 鳴動しない	
2	/ 編集	
ver 5	■ ■ ■ ■ ■ ■ <u>利用規約</u> @  <u>ブライバシーポリシー</u> @  <u>ヘルブ</u> @	*

項番	対象	説明
1	設定	現在の設定が表示されます。
2	[編集]	登録されている設定セットを編集することができます。詳細は「リモート ロックの設定セットを編集する」245 ページを参照してください。

#### 3.11.6.1 リモートロック画面を表示する

リモートロック画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [リモートロック]をクリックします。

#### 3.11.6.2 リモートロックの設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. リモートロック画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【リモートロック】

端末のリモートロック設定を行います。

ロックする:チェックを入れることで端末のリモートロック設定を有効設定します。 ロックしない:チェックを入れることで端末のリモートロック設定を無効/解除設定します。

【ロックメッセージ】

端末のリモートロック設定時に端末に表示させるメッセージを設定します。

【ロック時の警告音】

リモートロックした端末から警告音を鳴らすことが可能です。なお、警告音には端末で設定されている通知音を利用しており、鳴動時は最大音量となります。鳴動を止めるには、管理サイトより鳴動しないの設定を行うか、端末側でロック解除を行う必要があります。また、鳴動は電源が切れるまでなり続けますのでご注意ください。本機能はAndroid4.0以降に対応しています。

鳴動する:リモートロックした端末を鳴動させます。リモートロック画面が表示されている間は鳴動が続きます。なお、 イヤホン利用時の動作は機種によって異なります。また、ハードウェアスイッチによりサイレントモードに なっている端末は鳴動しませんのでご注意ください。

鳴動しない:リモートロックした端末を鳴動させません。

## 3.11.6.3 リモートロックの設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、リモートロックの設定セットを新規作成する場合と同様です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

## 3.11.6.4 リモートロックの設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

## 3.11.6.5 リモートロックの設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.11.6.6 リモートロックの設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 3.11.6.7 リモートロックの設定セット入力値

リモートロックの設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名 ルール	
【設定名】     1 文字~30 文字で入力してください。	
	下記から選択
【リモートロック】	・ロックする
	・ロックしない

【ロックメッセージ】	200 文字以内で入力してください。	
	制御文字の入力はできません。	
	※空白類(タブ、改行等)は入力できます。	
	下記から選択	
【ロック時の警告音】	・鳴動する	
	・鳴動しない	

管理サイト上から、管理している機器をワイプすることができます。機器ごとに1台ずつ行うこともできますし、分類ごと に行うこともできます。リモートワイプを行った場合、端末を初期化(工場出荷時の状態に戻す)します。

C PPT - リモートロック - Windows Internet Explorer		
OO • Mark on a more had been	🗘 🖓 🖓 Google	• م
😭 お気に入り		
【企業名】		管理者としてログイン中
トップ	マップ   機器   メニュー   リモートロック	ログアウト
	0 設定を作成しました。	
	P17	
	設定	操作 ▼
2	設定 設定名 ワイブ 端末初期化 オブション (プレ)	
	<u> </u>	

項番	対象	説明
1	設定	現在の設定が表示されます。
2	[編集]	登録されている設定セットを編集することができます。詳細は「リモート ワイプの設定セットを編集する」248 ページを参照してください。

## 3.11.7.1 リモートワイプ画面を表示する

リモートワイプ画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [リモートワイプ]をクリックします。

#### 3.11.7.2 リモートワイプの設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. リモートワイプ画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【端末初期化】

端末のリモートワイプ設定を行います。機種によっては、内部データのワイプを行うために「SD カードを初期化する」 オプションにチェックを入れる必要があります。

初期化する:チェックを入れることで端末を初期化する設定とします。 初期化しない:チェックを入れることで端末を初期化しない設定とします。

【オプション】

チェックを入れることで端末の初期化時に SD カードも初期化を行います。

#### 3.11.7.3 リモートワイプの設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、リモートロックの設定セットを新規作成する場合と同様です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

#### 3.11.7.4 リモートワイプの設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セットー覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

3.11.7.5 リモートワイプの設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.11.7.6 リモートワイプの設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 3.11.7.7 リモートワイプの設定セット入力値

リモートワイプの設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール		
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。		
	下記から選択		
【端末初期化】	<ul> <li>初期化する</li> </ul>		
	・初期化しない		
【オプション】	SD カードを初期化する	オプション:チェックを入れる。入れない。	

特定の無線 LAN アクセスポイントのみ接続を許可する機能です。指定された SSID 以外への Wi-Fi 接続は禁止されます。

【注意事項】

◆本製品のご利用を解約いただいても、機器に対して行った設定はそのまま保持されるのでご注意ください。解約の際は事前に各種設定 セットに「設定なし」を適用してください。

Wi-Fiフィルタリング - Windows Internet Explorer	
	• م
☆ お気に入り - Wi-Fiフィルタリング	
【企業名】 トップ マップ 機器 メニュー 、Wi-Fiフィルタリング	管理者としてログイン中 ログアウト
◆ ▼ 新規作成	Â
設定	
設定 - 編集中 1 設定名	
2 以下のSSDのみ計可する SSD (+ボタンで追加: 300件まで) +	
✔ 保存	
	~

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	以下の SSID のみ許可する	登録した SSID のみ使用することができます。 ※[追加] ・ をクリックすると、入力欄が追加されます。 ※[削除] ・ をクリックすると、入力欄が削除されます。 ※SSID を 31 個以上登録した場合、ご使用の端末によっては Wi-Fi フィルタリ ングに時間がかかる場合がございます。

## 3.11.8.1 Wi-Fi フィルタリング画面を表示する

Wi-Fi フィルタリング画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [Wi-Fi フィルタリング]をクリックします。

オプション

設定セットを作成します。

- 1. Wi-Fi フィルタリング画面を表示します。
- 2. [新規作成] をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【以下の SSID のみ許可する】

端末で接続可能な Wi-Fiの SSID を設定します。(ホワイトリスト形式)

+ボタン:設定する SSID を追加します。複数の SSID を登録することが可能です。

#### 3.11.8.3 Wi-Fi フィルタリングの設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、Wi-Fi フィルタリングの設定セットを新規作成する場合と同様で す。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

### 3.11.8.4 Wi-Fi フィルタリングの設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

#### 3.11.8.5 Wi-Fi フィルタリングの設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。



3.11.8.6 Wi-Fi フィルタリングの設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.11.8.7 Wi-Fi フィルタリングの設定セット入力値

Wi-Fi フィルタリングの設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール	
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。	
	SSID	入力必須です。
【いての らいりのむか可する】		設定内で重複はできません。
		32 文字以内で入力してください。
		半角英数字、「-」、「_」、「@」のみで入力してください。
機器からの電話発信を制限する機能です。許可する発信先の指定、もしくは、禁止する発信先の指定のいずれかを行うことが できます。発信先制限設定セット登録後、発信先リストのインポートやエクスポートも可能です。

	制限 - Windows Internet Explorer	
© - 2	i dan bitan di aptimum ju biganambel, menta Bandaren, indu ju rensing 🔻 🔒 🧤 🗙 🖓 Google	<del>ب</del> م
🚖 お気に入り	- 発信先制限	
	【企業名】	てログイン中
	トップ マップ 機器 メニュー > 発信先制限	グアウト
	新規作成	
	設定	
	設定 - 編集中	- 11
	<ul> <li>② 発信先制限         <ul> <li>③ 許可する発信先を指定する(下記で指定されていない発信先は禁止)</li> <li>○ 禁止する発信先を指定する(下記で指定されていない発信先は許可)</li> <li>※緊急通報用電話番号への発信は基本的に端末の仕様により制限することはできません。</li> </ul> </li> </ul>	ŧ
	<ul> <li>第信先</li> <li>電話番号</li> <li>(+ボタンで追加: 300件まで)</li> <li>※電話番号をCSVノアイルからイノホート9 る場合は、一度保存してくたさい。</li> </ul>	
	✓ 保存	-
	▼ < 1/0 → ▶ → ver.4.4.0   利用規約ロ プライバシーボリシーの ヘルプロ	-

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	発信先制限	<ul> <li>・許可する発信先を指定する(下記で指定されていない発信先は禁止):許可する発信先の指定を行います。</li> <li>・禁止する発信先を指定する(下記で指定されていない発信先は許可):禁止する発信先の指定を行います。</li> <li>※緊急通報用電話番号への発信は基本的に端末の仕様により制限することはできません。</li> </ul>
3	発信先	・電話番号:許可または禁止する電話番号を入力します。 ※[追加] • をクリックすると、入力欄が追加されます。 ※[削除] × をクリックすると、入力欄が削除されます。

# 3.11.9.1 発信先制限画面を表示する

発信先制限画面を表示します。

# 1. メニュータブをクリックします。

2. [発信先制限]をクリックします。

## 3.11.9.2 発信先制限の設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. 発信先制限画面を表示します。
- 2. [新規作成] 🚺 をクリックします。

3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

#### 【発信先制限】

発信先制限の条件を下記より選択します。

緊急通報用電話番号への発信は基本的に端末の仕様により制限することはできません。

許可する発信先を指定する(下記で指定されていない発信先は禁止):ホワイトリスト形式 禁止する発信先を指定する(下記で指定されていない発信先は許可):ブラックリスト方式

【発信先】

指定する発信先の電話番号情報を入力します。

+ボタン:設定する電話番号情報を追加します。複数の電話番号を登録することが可能です。

#### 3.11.9.3 発信先制限の設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、発信先制限の設定セットを新規作成する場合と同様です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

#### 3.11.9.4 発信先制限の設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

## 3.11.9.5 発信先制限の設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.11.9.6 発信先制限の設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

#### 3.11.9.7 発信先をインポートする

CSV ファイルから許可、または禁止する発信先の登録をまとめて行います。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [発信先一覧を CSV ファイルからインポート]をクリックします。
- 3. [ダウンロード]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。
- 4. ダウンロードした CSV ファイルを Excel やメモ帳で開き、発信先情報を入力してください。入力が終 了したら保存してファイルを閉じてください。
- 5. [参照]をクリックして、保存した CSV ファイルを選択してください。
- [アップロード]をクリックしてください。アップロードが終了したら自動的にインポート確認画面が表示されます。
- 7. インポート内容に誤りがある場合は、備考欄にエラー内容が表示されます。CSV ファイルを修正し、 再度アップロードしてください。
- 8. [インポート実行]をクリックします。インポート内容に誤りがある場合は[インポート実行]は表示され ません。

※インポート対象とする設定セットを事前に作成しておく必要があります。

※CSV ファイルの1行目には項目名が表示されています。発信先の入力は2行目から行ってください。

#### 3.11.9.8 発信先をエクスポートする

許可、または禁止として登録されている発信先を CSV ファイルとしてダウンロードします。エクスポート時の文字コードは 日本語環境では SHIFT-JIS(cp932)、その他の環境では UTF-8 となります。

- 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [発信先一覧を CSV ファイルでエクスポート]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。

※エクスポート対象とする設定セットを事前に作成しておく必要があります。

## 3.11.9.9 発信先制限の設定セット入力値

発信先制限の設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。
	下記から選択
【発信先制限】	・許可する発信先を指定する(下記で指定されていない発信先は禁止)
	・禁止する発信先を指定する(下記で指定されていない発信先は許可)
	設定内で重複はできません。
【発信先】	半角数字、「-」、「+」、「*」、「#」、「,」のみ入力できます。
	20 文字以内で入力してください。

機器のアプリケーション一覧を取得し、指定した条件と一致するアプリケーションを検知し、ログ表示する機能です。機器 に指定するアプリケーションがインストールされていないことを確認する(インストール推奨アプリケーション)、もしくは、 指定するアプリケーションがインストールされていることを確認する(インストール非推奨アプリケーション)ことができま す。アプリケーションの検知は、機器ごとに1日1回ランダムなタイミングで実行します。

【注意事項】

◆本機能は、設定セット適用前にインストールしたアプリケーションにも有効です。

Contract of the second secon	>検知 - Windows Internet Explorer	×
GO- Hark on a contract for the	Google	<del>ب</del> م
☆ お気に入り     ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- アブ	
【企業名】 	管理者としてロダイン・ マップ 機器 メニュー ・ アブリケーション検知 ログアウト	₽
* *	新規作成	
	載定 	
	設定 - 編集中	
1	設定名	
2	インストール推奨アプリケーション アプリケーション名 バッケージ名 バージョン条件 全て ↓ ★ (+ボタンで追加: 50件まで) ↓	
3	インストール非推奨アプリケーション         アプリケーション名       バッケージ名         ノーション名       バッケージ名         (+ボタッアで追加: 50件まで)	
	✔ 保存	
Ţ		
		Ŧ

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	インストール推奨アプリケーション	<ul> <li>・アプリケーション名:アプリケーション名を入力します。(アプリケーション名はお好きなものを入力してください。)</li> <li>・パッケージ名:アプリケーションのパッケージ名を入力します。(パッケージ名は機器のアプリケーションン詳細情報画面で参照してください。)</li> <li>詳細情報画面の表示方法は「アプリケーションの詳細を確認する」48 ページを参照してください。)</li> <li>・バージョン条件:バージョン条件を設定します。</li> <li>※[追加]</li> <li>をクリックすると、入力欄が追加されます。</li> <li>※[削除]</li> <li>をクリックすると、入力欄が削除されます。</li> <li>※[削除]</li> <li>※ をクリックすると、入力欄が削除されます。</li> <li>※入力例≫</li> <li>ABC アプリのバージョン2.0 以上を推奨アプリケーションにする場合</li> <li>アプリケーション名: ABC アプリ</li> <li>パッケージ名: com.xxxx.xxxx</li> <li>バージョン条件: ≧2.0</li> </ul>

3	インストール非推奨アプリケー	・アプリケーション名:アプリケーション名を入力します。(アプリケー
	ション	ション名はお好きなものを入力してください。)
		・パッケージ名:アプリケーションのパッケージ名を入力します。(パッ
		ケージ名は機器のアプリケーション詳細情報画面で参照してください。
		詳細情報画面の表示方法は「アプリケーションの詳細を確認する」48 ペー
		ジを参照してください。)
		・バージョン条件:バージョン条件を設定します。
		※[追加] 🛨 をクリックすると、入力欄が追加されます。
		※[削除] 👿 をクリックすると、入力欄が削除されます。
		≪入力例≫
		ABC アプリのバージョン 2.0 未満を非推奨アプリケーションにする場合
		アプリケーション名:ABC アプリ
		パッケージ名:com.xxxx.xxxx
		バージョン条件:<2.0

#### 3.11.10.1 アプリケーション検知画面を表示する

アプリケーション検知画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [アプリケーション検知]をクリックします。

## 3.11.10.2 アプリケーション検知の設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. アプリケーション検知画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【インストール推奨アプリケーション】

端末ヘインストールを推奨するアプリケーション情報を設定します。

アプリケーション名:アプリケーション名を入力します。アプリケーション名は端末のアプリケーション情報から 確認することが可能です。

パッケージ名:パッケージ名を入力します。

パッケージ名は端末のアプリケーション情報から確認することが可能です。

バージョン条件:指定するバージョン条件、バージョン情報を設定します。

+ボタン:設定する推奨アプリケーション情報を追加します。複数のアプリケーションを登録することが可能です。

【インストール非推奨アプリケーション】

端末ヘインストールを推奨しないアプリケーション情報を設定します。

アプリケーション名:アプリケーション名を入力します。アプリケーション名は端末のアプリケーション情報から確認する ことが可能です。

パッケージ名:パッケージ名を入力します。

パッケージ名は端末のアプリケーション情報から確認することが可能です。

バージョン条件:指定するバージョン条件、バージョン情報を設定します。

+ボタン:設定する推奨しないアプリケーション情報を追加します。

複数のアプリケーションを登録することが可能です。

#### 3.11.10.3 アプリケーション検知の設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、アプリケーション検知の設定セットを新規作成する場合と同様 です。

1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。

- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

### 3.11.10.4 アプリケーション検知の設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

### 3.11.10.5 アプリケーション検知の設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

#### 3.11.10.6 アプリケーション検知の設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 3.11.10.7 アプリケーション検知の設定セット入力値

大項目名	小項目名	ルール
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。	
【インストール推奨	マプリケーションタ	入力必須です。60 文字以内で入力してください。
アプリケーション】		制御文字は入力できません。
		入力必須です。
	パッケージ名	255 文字以内で入力してください。
		半角英数字、「.」、「_」、「\$」のみ入力できます。
		入力必須です。
	バージョン条件	半角数字、「.」、「-」のみ入力できます。
		0 以上 2147483647 以下で入力してください。
【インストール非推奨		入力必須です。
アプリケーション】	アプリケーション名	60 文字以内で入力してください。
		制御文字は入力できません。
		入力必須です。
	パッケージ名	255 文字以内で入力してください。
		半角英数字、「.」、「_」、「\$」のみ入力できます。
	バージョン条件	下記より選択
		すべて, ≧, >, ≦, <, =
		入力必須です。半角数字、「.」、「-」のみ入力できます。
		0 以上 2147483647 以下で入力してください。

アプリケーション検知の設定では下記入力ルールで設定を行います。

# 3.11.11 Secure Shield

Secure Shield に関する設定セットを作成します。Secure Shield とは、端末の設定アプリに制限を設ける機能です。当設定 セットを用いることで、端末使用者の設定可能範囲を制限することができます。作成した設定セットは一括機器設定および、 機器ごとの設定にて適用してください。エージェント側での機能名は+Setting Safety Manager となります。+Setting Safety Manager の使用方法については、別紙「Android エージェント ユーザーマニュアル」を参照してください。

【注意事項】

◆Android 3.0 以降のみ対応。対応機種限定。対応機種については、別紙「+Setting Safety Manager 動作状況」を参照してください。

【参考ページ】

◇一括機器設定について⇒ー括して複数の機器に設定セットを適用する 152 ページ

◇機器ごとの設定について⇒単一の機器に設定セットを適用する 61 ページ

<ul> <li>Ø - Secure Shield - Windows Internet Exp</li> <li>Ø ○ ▼</li> </ul>	lorer	X Google
☆ お気に入り - Secure Shield		
【企業名】		管理者としてログイン中
トップ	マップ 機器 メニュー ?	Secure Shield ログアウト
•••	新規作成	※Android 3.0以降のみ対応
	設定	
0	設定 - 編集中 設定名	
2	」 Secure Shield ◎ 有効 ◎ 無効	E
3	ダ 正項目 <u>全てチェックを入れる 全てチェックを外</u> ※Androidのバージョンや機種によってはお	す 利用できない機能があります。
	無線とネットワーク Wi-Fi データ使用	■ Bluetooth ■ その他のネットワーク設定
	<sup>編木</sup> □ 音 □ ストレージ □ アブリ	<ul> <li>□ ディスプレイ</li> <li>□ 電池</li> </ul>
	ューザー設定 <ul> <li>アカウントと同期</li> <li>セキュリティ</li> <li>バックアップとリセット</li> </ul>	<ul> <li>□ 位置情報サービス</li> <li>□ 言語と入力</li> </ul>
	システム 回日付と時刻 回開発者向けオプション 地路によりフロタイニュー	<ul> <li>□ ユーザー補助</li> <li>□ 端末情報</li> </ul>
	***ts:+*?/ア/回行メニュー   ドコモサービス    WiMAX    PC(こ接続	<ul> <li>□ホーム選択</li> <li>□モバイルネットワーク</li> </ul>
	✔ 保存	

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	Secure Shield	・有効:端末使用者の設定画面の使用を制限したい場合に選択します。端末既存の設定画面を非表示にし、設定は、Secure Shield のみから行うようにします。
		例)端末使用者に Wi-Fi 設定を変更させたくない場合
		→「有効」を選択し、③「Secure Shield 禁止項目」の無線とネットワークの「Wi-Fi」   にチェックを入れます。
		端末使用者は、端末既存の設定画面を開くことはできず、Secure Shield 上では
		「WFFI」項白が非な小となるため、WFFIの設定を変更することはできょせん。
		・無効:端末上に Secure Shield は表示されません。
3	Secure Shield	Secure Shield 上で非表示にする項目を選択します。
	禁止項目	<ul> <li>・全てチェックを入れる:項目全てにチェックを入れます。</li> </ul>
		・全てチェックを外す:項目全てからチェックを外します。
		<ul> <li>・各機能のチェックボックス:非表示にする機能にチェックを入れます。チェッ</li> </ul>
		クを入れた機能が、Secure Shield 上で非表示になります。
		各機能の詳細については、【Secure Shield 禁止項目】262 ページを参照してくだ
		さい。
		※Android のバージョンや機種によっては利用できない機能があります。

## 3.11.11.1 Secure Shield 画面を表示する

Secure Shield 画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [Secure Shield]をクリックします。

# 3.11.11.2 Secure Shield の設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. Secure Shield 画面を表示します。
- 2. [新規作成] 🛨 をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

[Secure Shield]

Secure Shield の有効/無効を指定します。

有効:端末標準の設定画面を非表示にします。設定は Secure Shield からしか行えません。

無効: Secure Shield を使用しません。

【Secure Shield 禁止項目】

Secure Shield 上で非表示にする項目を選択します。【Secure Shield】と併用することで、端末使用者の設定可能範囲 を制限することが可能です。

※端末によっては未対応の項目があります。詳細は、別紙「+Setting Safety Manager 動作状況」を参照してください。

無線とネットワーク

Wi-Fi: Wi-Fiの ON/OFF の切り替えを行います。
 Bluetooth: Bluetoothの ON/OFF の切り替えを行います。
 データ使用:端末のデータ通信量の確認や、データの制限設定等を行います。
 その他:機内モード、VPN 設定等、その他のネットワークの設定を行います。

#### 端末

音:着信音やマナーモードの設定を行います。

ディスプレイ:ディスプレイの明るさやロック画面の表示設定等を行います。

ストレージ:本体メモリや microSD メモリカードの空き容量などを確認できます。また、microSD メモリカードの マウント/マウント解除やデータ消去をすることもできます。

電池:電池残量を確認したり、電池を使用しているアプリを確認できます。

アプリ:アプリの管理を行います。

ユーザー設定

アカウントと同期:アカウントの追加や設定の変更を行います。 位置情報サービス:位置情報サービスや GPS 機能等の ON/OFF の切り替えを行います。 セキュリティ:画面ロックの認証設定や、パスワードの設定等を行います。 言語と入力:表示言語や文字入力について設定します。

バックアップとリセット:端末のバックアップについて設定したり、端末の初期化を行うことができます。

システム

日付と時刻:日付と時刻の表示形式やタイムゾーンを設定します。

ユーザー補助:ユーザー補助サービスの設定を行います。

開発者向けオプション:端末の開発者向け機能です。

端末情報:端末のバージョン情報の確認やソフトウェアの更新等を行います。

#### 機種(キャリア)固有メニュー

ドコモサービス:ドコモが固有で設定しているサービスの設定を行います。

ホーム選択:ホームアプリの切り替えを行います。

WiMAX: WiMAX の設定を行います。

モバイルネットワーク:データローミングやエリア設定等を行います。

PCに接続: USBで PCに接続する際の接続タイプの設定を行います。

※該当の機種(キャリア)でない場合、Secure Shield 上には表示されません。

## 3.11.11.3 Secure Shield の設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、Secure Shieldの設定セットを新規作成する場合と同様です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

### 3.11.11.4 Secure Shield の設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

#### 3.11.11.5 Secure Shield の設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

#### 3.11.11.6 Secure Shield の設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 3.11.11.7 Secure Shield の設定セット入力値

Secure Shield では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール	
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。	
[Secure Shield]	下記から選択	
	・有効	
	・無効	
【Secure Shield 禁止項目】	無線とネットワーク	下記から選択

		• Wi-Fi
		Bluetooth
		・データ使用
		・その他
		下記から選択
		·音
	1m -+	・ディスプレイ
	<b>尓木</b>	・ストレージ
		• 電池
		・アプリ
		下記から選択
		・アカウントと同期
	ユーザー設定	・位置情報サービス
		・セキュリティ
		・言語と入力
		・バックアップとリセット
		下記から選択
		・日付と時刻
	システム	・ユーザー補助
		・開発者向けオプション
		・端末情報
		 下記から選択
		・ドコモサービス
	機種(キャリア)	・ホーム選択
	固有メニュー	• WIMAX
		・モバイルネットワーク
		・PC に接続

Android 機器に対する設定セットを作成します。本製品で提供しているオプションパッケージ「KDDI Smart Mobile Safety Manager AntiVirus」の動作設定を目的とした設定セットを作成いただけます。作成した設定セットは一括機器設定および、 機器ごとの設定にて適用してください。

作成可能な設定セットは以下のとおりです。

設定項目名	可能な操作
<u>ウイルス対策機能</u>	<ul> <li>ウイルス対策機能の設定セットを新規作成する</li> <li>ウイルス対策機能の設定セットを編集する</li> <li>ウイルス対策機能の設定セットを複製する</li> <li>ウイルス対策機能の設定セットを削除する</li> <li>ウイルス対策機能の設定セットをまとめて削除する</li> </ul>

「KDDI Smart Mobile Safety Manager AntiVirus」の有効/無効設定、スキャン対象およびスキャンスケジュールの指定、パタ ーンファイルアップデートスケジュールに関する指定、アンインストールに関する設定が行えます。

【注意事項】

◆機器にトレンドマイクロ社のセキュリティソフトがインストールされている場合は、事前にアンインストールが必要です。

◆上記以外のセキュリティソフトがインストールされている場合でも、事前にアンインストールいただくことを推奨しております。



項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	設定値	ウイルス対策機能に対する各種設定を行います。

## 3.12.1.1 ウイルス対策機能画面を表示する



ウイルス対策機能画面を表示します。

#### 1. メニュータブをクリックします。

2. [アプリケーション検知]をクリックします。

### 3.12.1.2 ウイルス対策機能の設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. ウイルス対策機能画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※設定内容によっては保護状態の表示が管理サイトと端末で異なる場合があります。

⇒よくある質問と回答 490 ページ

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【ウイルス対策機能】

ウイルス対策機能の有効/無効設定を行います。 有効:ウイルス対策機能を有効に設定します。

無効: ウイルス対策機能を無効に設定します。

【スキャン対象】

端末のスキャン設定対象を設定します。

全てのファイル:端末内部のすべてのファイルをスキャン対象に設定します。 apk ファイルのみ:端末内部の apk ファイルのみスキャン対象に設定します。

【リアルタイムスキャン】

端末のリアルタイムスキャン設定を有効/無効設定を行います。 有効:端末のリアルタイムスキャンを有効に設定します。 無効:端末のリアルタイムスキャンを無効に設定します。

【スケジュールスキャン】

端末のスキャン設定のスケジュールを設定します。 毎週:毎週の指定曜日にスキャンを設定します。 毎日:毎日スキャンを行うことを設定します。





スケジュールスキャンの実行時刻を設定します。指定の時間を設定します。

【パターンファイルアップデート】

ウイルス対策ソフトのパターンファイルアップデート日時を設定します。 なし:パターンファイルアップデートスケジュールをなしに設定します。 毎月:パターンファイルアップデートスケジュールを毎月に設定します。 毎週:パターンファイルアップデートスケジュールを毎週に設定します。 毎日:パターンファイルアップデートスケジュールを毎日に設定します。

【アップデートオプション】

チェックを入れることでパターンファイルアップデート後に自動的にスキャンを行う設定を行います。

【アンインストール保護】

ウイルス対策ソフトのアンインストール保護を有効/向こう設定を行います。 パスワードの入力:指定パスワードを指定することで指定パスワードでのみアンインストールを有効に設定します。 保護しない:アンインストール可能の状態に設定します。

#### 3.12.1.3 ウイルス対策機能の設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、ウイルス対策機能の設定セットを新規作成する場合と同様です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

#### 3.12.1.4 ウイルス対策機能の設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

#### 3.12.1.5 ウイルス対策機能の設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。

# 3.12.1.6 ウイルス対策機能の設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.12.1.7 ウイルス対策機能の設定セット入力値

ウイルス対策機能の設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール			
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。			
【ウイルス対策機能】	下記より選択 ・有効 ・無効			
【スキャン対象】	下記より選択 ・全てのファイル ・apk ファイルのみ			
【リアルタイムスキャン】	下記より選択 ・有効 ・無効			
【スケジュールスキャン】	下記より選択 ・毎週 ・毎日	「毎週」を選択時、下記より選択 日,月,火,水,木,金,土		
【スケジュールスキャン実行時刻】	選択時入力必須です。 半角数字のみ入力できます。 0 以上 23 以下で入力してください。			
【パターンファイルアップデート】	下記より選択 ・なし ・毎月 ・毎週 ・毎日			
【アップデートオプション】	チェックを入れる。入れない。			
【アンインストール保護】	下記より選択 ・パスワードの入力 ・保護しない	「パスワードの入力」選択時 選択時入力必須です。 半角数字のみ入力できます。 パスワードは4文字以上、20文字以内		

Android機器に対する設定セットを作成します。機器の利便性を向上させることを目的とした設定セットを作成いただけます。 作成した設定セットは一括機器設定および、機器ごとの設定にて適用してください。 作成可能な設定セットは以下のとおりです。

設定項目名	可能な操作
<u>アプリケーション配信</u>	<ul> <li>アプリケーション配信の設定セットを新規作成する</li> <li>アプリケーション配信の設定セットを編集する</li> <li>アプリケーション配信の設定セットを複製する</li> <li>アプリケーション配信の設定セットを削除する</li> <li>アプリケーション配信の設定セットをまとめて削除する</li> </ul>
<u>Wi-Fi</u>	<ul> <li><u>Wi-Fiの設定セットを新規作成する</u></li> <li><u>Wi-Fiの設定セットを編集する</u></li> <li><u>Wi-Fiの設定セットを複製する</u></li> <li><u>Wi-Fiの設定セットを削除する</u></li> <li><u>Wi-Fiの設定セットをまとめて削除する</u></li> </ul>
<u>お気に入り</u>	<ul> <li>         ・ <u>お気に入りの設定セットを新規作成する</u>         ・ <u>お気に入りの設定セットを編集する</u>         ・ <u>お気に入りの設定セットを複製する</u>         ・ <u>お気に入りの設定セットを削除する</u>         ・ <u>お気に入りの設定セットをまとめて削除する</u>         ・         ・         ・</li></ul>
<u>連絡先</u>	<ul> <li> <u>連絡先の設定セットを新規作成する</u> </li> <li> <u>設定セットに連絡先一覧を登録する</u> </li> <li> <u>連絡先の設定セットを編集する</u> </li> <li> <u>連絡先の設定セットを複製する</u> </li> <li> <u>連絡先の設定セットを削除する</u> </li> <li> <u>連絡先の設定セットをまとめて削除する</u> </li> <li> <u>連絡先一覧をインポートする</u> </li> <li> <u>連絡先一覧をエクスポートする</u> </li> </ul>
<u>暗号化</u>	<ul> <li> <u>暗号化の設定セットを新規作成する</u> </li> <li> <u>暗号化の設定セットを編集する</u> </li> <li> <u>暗号化の設定セットを複製する</u> </li> <li> <u>暗号化の設定セットを削除する</u> </li> <li> <u>暗号化の設定セットをまとめて削除する</u> </li> </ul>

# 3.13.1 アプリケーション配信

指定したアプリケーションのダウンロード案内を機器に通知することができます。

Web フィルタリング機能を設定している場合はアプリケーション配信用の URL を「Web フィルタリング」で許可する URL に 登録する必要があります。アプリケーション禁止機能を設定している場合は OS 標準のブラウザーを「アプリケーション禁 止」で許可するアプリケーションに登録する必要があります。

【注意事項】

- ◆アプリケーション削除機能はありません。
- ◆Google Play からのアプリケーションをインストールするためには Google アカウントの登録が必要です。
- ◆アプリケーション配信で通知したアプリケーションが機器にインストールされていない場合は、同期の都度、通知が行われます。このため、アプリケーション配信の指定が間違っている場合(実在しない URL を指定した場合など)は通知され続けることになります。通知を取り消したい場合は、アプリケーション配信設定を削除してください。

【参考ページ】

◇Web フィルタリングについて⇒Web フィルタリング 289 ページ

◇アプリケーション禁止について⇒アプリケーション禁止 223 ページ

Correction -	- アプリケーション配信 - Windows Internet Explorer		
0 - L	Hips://ichinellaples.acje/cyccode/rende/heriters	ingeneration and 👻 🔒 😚 🗙 🖓 Google	<i>р</i> <del>т</del>
🏫 お気に入り	- アプリケーション配信		
	【企業名】	管理者としてログイ:	シ中
	トップ マップ 7	幾器 メニュー > アブリケーション配信 ログアウト	-
	新規作成		<u> </u>
	設定		- 11
	設定 – 編集中		
	① 設定名		
	2 アブリケーション一覧 アブリケーション名	バッケージ名 パージョン番号	
		□ ポップアップ ×	
	(+ボタンで追加: 30	0件まで) 💽	
	✔ 保存		
	-		
	1.50		÷

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。

2	アプリケーション一覧	・アプリケーション名:配信するアプリケーション名を入力します。(入力したア
0		プリケーション名は機器にダウンロード案内を通知する際に表示されます。アプ
		リケーション名はお好きなものを入力してください。)
		・パッケージ名:配信するアプリケーションのパッケージ名を入力します。
		・バージョン番号:配信するアプリケーションのバージョンを入力します。
		・URL:アプリケーションをダウンロードする URL を入力します。
		・ポップアップ:アプリケーション配信の際にポップアップを表示します。
		※[追加] 💶 をクリックすると、入力欄が追加されます。
		※ 削除   👿 をクリックすると、入力欄が削除されます。

#### 3.13.1.1 アプリケーション配信画面を表示する

アプリケーション配信画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [アプリケーション配信]をクリックします。

# 3.13.1.2 アプリケーション配信の設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

1. アプリケーション配信画面を表示します。

- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【アプリケーション一覧】

端末へ配信するアプリケーション情報を設定します。

アプリケーション名:アプリケーション名を入力します。

アプリケーション名は端末のアプリケーション情報から確認することが可能です。

パッケージ名:パッケージ名を入力します。

パッケージ名は端末のアプリケーション情報から確認することが可能です。

バージョン番号: 指定するバージョン番号、バージョン情報を設定します。

URL:アプリケーションの公開先 URL 情報を設定します。

ポップアップ:アプリケーション配信時ポップアップ表示を行う設定をします。

+ボタン:設定するアプリケーション情報を追加します。複数のアプリケーションを登録することが可能です。

※Google Play で公開されているアプリケーションの URL を確認する場合は、ブラウザーからアクセスしてください。 Google Play からアクセスした場合は URL が表示されません。

# 3.13.1.3 アプリケーション配信の設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、アプリケーション配信の設定セットを新規作成する場合と同様 です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

### 3.13.1.4 アプリケーション配信の設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

## 3.13.1.5 アプリケーション配信の設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.13.1.6 アプリケーション配信の設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 3.13.1.7 アプリケーション配信の設定セット入力値

アプリケーション配信の設定では下記入力ルールで設定を行います。

大項目名	小項目名	ルール
【設定名】	1 文字~30 文字で入力して	てください。
		入力必須です。
【アプリケーション一覧】	アプリケーション名	60 文字以内で入力してください。
		制御文字は入力できません。

	パッケージ名	入力必須です。
		設定内で重複はできません。
		255 文字以内で入力してください。半角英数字、「.」、「_」、「\$」
		のみ入力できます。
	バージョン番号	入力必須です。
		半角数字のみ入力できます。
		1 以上 2147483647 以下で入力してください。
	URL	入力必須です。
		200 文字以内で入力してください。
		半角英数字、記号のみで入力してください。
		先頭は「http://」か「」https://」にしてください。
	ポップアップ	オプション:チェックを入れる。入れない。

機器の Wi-Fi 設定の有効/無効や、Wi-Fi 接続時のスリープ設定、Wi-Fi の接続先ネットワークの設定を行う機能です。

Wi-Fi - Windows Internet Explorer				
수 お気に入り • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				
【企業名】     管理者としてログイン中       トップ     マップ     機器     メニュー >     Wi-Fi     ログアウト				
◆ ▼				
設定				
設定 - 編集中 1 設定名				
② Wi-Fi ◎有効 ◎無効 ◎変更しない				
<ul> <li>③ WI-Fi2リーブ設定         <ul> <li>●画面バックライト消灯時にスリーブ</li> <li>●電源接続時はスリーブにしない</li> <li>●スリーブにしない</li> <li>●変更しない</li> </ul> </li> </ul>				
✓保存				

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	Wi-Fi	・有効:Wi-Fiでネットワークに接続することができます。
		・無効:Wi-Fiでネットワークへの接続はできません。
		●・変更しない:各機器によって設定されている設定を変更しません。
3	Wi-Fi スリープ設定	・画面バックライト消灯時にスリープ: 画面バックライトが消灯されたときにスリ
		一プ状態になります。
		・電源接続時はスリープにしない:充電中などの電源接続時はスリープ状態になりま
		せん。
		・スリープにしない:スリープ状態になりません。
		<ul> <li>・変更しない:各機器によって設定されている設定を変更しません。</li> </ul>
4	ネットワーク一覧	登録した SSID のうち最初につながったアクセスポイントと接続します。登録した
		SSID の接続に全て失敗した場合は、以前接続していた SSID に接続されます。
		・SSID:SSID を入力します。
		・セキュリティ:設定なし、WEP、WPA/WPA2-PSK のいずれかを選択します。
		・パスワード:SSID のパスワードを入力します。
		・Hidden : HiddenSSID を使用している場合はチェックを入れます。
		※[追加] 🛨 をクリックすると、入力欄が追加されます。
		※[削除] 👿 をクリックすると、入力欄が削除されます。
		—

#### 3.13.2.1 Wi-Fi 画面を表示する



Wi-Fi 画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [Wi-Fi]をクリックします。

### 3.13.2.2 Wi-Fi の設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. Wi-Fi 画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【Wi-Fi】

端末の Wi-Fi 設定機能の有効/無効を設定します。

有効:端末のWi-Fi状態を有効にします。

無効:端末の Wi-Fi 状態を無効にします。

変更しない:端末のWi-Fi状態を変更しません。

【Wi-Fi スリープ設定】

端末の Wi-Fi スリープの設定を行います。

画面バックライト消灯時にスリープ:端末のWi-Fiスリープ時、画面バックライト消灯時にスリープ設定を行います。 電源接続時はスリープしない:端末のWi-Fiスリープ時、電源接続時はスリープしないように設定を行います。 スリープにしない:端末のWi-Fiスリープ時、スリープを行わない設定を行います。 変更しない:端末のWi-Fiスリープ時の設定を変更しません。

【ネットワーク一覧】

端末へ設定する Wi-Fi 情報の設定を行います。

端末へ設定する Wi-Fi の情報を登録します。

SSID: 端末へ配布する Wi-Fi 設定の SSID を登録します。

セキュリティ:端末へ配布する Wi-Fi 設定のセキュリティ方式を登録します。

パスワード:端末へ配布する Wi-Fi 設定のセキュリティパスワードを登録します。



Hidden:端末へ配布する Wi-Fi 設定の Hidden SSID の場合、チェックをします。

+ボタン:設定するアプリケーション情報を追加します。複数のアプリケーションを登録することが可能です。

## 3.13.2.3 Wi-Fi の設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、Wi-Fiの設定セットを新規作成する場合と同様です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

## 3.13.2.4 Wi-Fi の設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

#### 3.13.2.5 Wi-Fi の設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.13.2.6 Wi-Fiの設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

#### 3.13.2.7 Wi-Fi の設定セット入力値

Wi-Fiの設定では下記入力ルールで設定を行います。

大項目名	小項目名	ルール
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。	
【Wi-Fi】	 下記より選択	

	· 有効		オプション	
	・無効			
	・変更しない			
	下記より選択			
	・画面バックライト消灯時にスリープ			
【Wi-Fi スリープ設定】	・電源接続時はスリープにしない			
	・スリープにしない			
	・変更しない	・変更しない		
		入力必須です。		
	SSID	32 文字以内で入力してください。		
		半角英数記号で入力してください。		
		以下の3つから選択できます。		
	4+-1-/	・なし		
	セキュリティ	• WEP		
		• WPA/WPA2-PSK		
		セキュリティの設定によって入力文字数が変わりま	す。	
【ネットワーク一覧】		◆「なし」の場合		
		空です。		
		◆「WEP」の場合		
	パスワード	ASCII 文字: 5 文字もしくは 13 文字		
		16 進数: 10 文字もしくは 26 文字		
		◆「WPA/WPA2-PSK」の場合		
		ASCII 文字: 8 文字以上 63 文字以下		
		16 進数: 64 文字		
	Hidden	オプション:チェックを入れる。入れない。		

機器の電話帳に、連絡先を追加する機能です。

【注意事項】

◆機器に適用した連絡先の変更や削除を行うことはできません。



項番	対象	説明
1	[新規作成]	クリックすると連絡先リスト入力欄が表示されます。連絡先リスト新規作成方法
		は「連絡先の設定セットを新規作成する」281 ページを参照してください。
2	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・全てにチェックを入れる:全ての連絡先リストのチェックボックスにチェック
		が入ります。
		・全てのチェックをはずす:全ての連絡先リストのチェックボックスからチェッ
		クをはずします。
		<ul> <li>・一括削除:チェックの入った連絡先リストを削除します。詳細は「連絡先の設定</li> </ul>
		セットをまとめて削除する」282 ページを参照してください。
3	連絡先リスト一覧	登録されている連絡先リストー覧が表示されます。
4	非対応端末について	クリックすると非対応の Android 端末名が表示されます。
5	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・複製:連絡先リストを複製します。詳細は「連絡先の設定セットを複製する」282
		ページを参照してください。
		・削除:連絡先リストを削除します。詳細は「連絡先の設定セットを削除する」282
		ページを参照してください。
6	設定	設定名(連絡先リスト名)が表示されます。変更する場合は[編集]をクリックします。
$\bigcirc$	インポート・エクスポ	・連絡先一覧を CSV ファイルからインポート:
	- F	連絡先を CSV で編集しインポートすることで、まとめて連絡先を編集すること
		ができます。
		・連絡先一覧を CSV ファイルでエクスポート:
		既に登録されている連絡先を CSV ファイルに出力することができます。

⑧ 連絡先一覧

## 3.13.3.1 連絡先画面を表示する

連絡先画面を表示します。

## 1. メニュータブをクリックします。

2. [連絡先]をクリックします。

#### 3.13.3.2 連絡先の設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。本手順で指定できる項目は設定名のみです。具体的な連絡先の入力は、事項を参照してください。

1. 連絡先画面を表示します。

- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【設定名】

設定セットの名称を指定します。

#### 3.13.3.3 設定セットに連絡先一覧を登録する

作成済みの設定セットに連絡先一覧を登録します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. 連絡先一覧の + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、 🔽 をクリックします。

※登録済み連絡先の をクリックすると編集できます。
 ※登録済み連絡先の をクリックすると削除できます。
 ※連絡先は 1,000 件まで登録可能です。

※登録対象とする設定セットを事前に作成しておく必要があります。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【姓】

端末へ設定する連絡先の姓を設定します。

【名】

端末へ設定する連絡先の名を設定します。

#### 【姓(フリガナ)】

端末へ設定する連絡先の姓(フリガナ)を設定します。

#### 【名 (フリガナ)】

端末へ設定する連絡先の名(フリガナ)を設定します。

#### 【電話番号】

端末へ設定する連絡先の電話番号を設定します。

【メールアドレス】

端末へ設定する連絡先メールアドレスを設定します。

#### 3.13.3.4 連絡先の設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、連絡先の設定セットを新規作成する場合と同様です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

#### 3.13.3.5 連絡先の設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

### 3.13.3.6 連絡先の設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

#### 3.13.3.7 連絡先の設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

#### 3.13.3.8 連絡先一覧をインポートする

CSV ファイルから連絡先の登録をまとめて行います。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [連絡先一覧を CSV ファイルからインポート]をクリックします。
- 3. [ダウンロード]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。
- 4. ダウンロードした CSV ファイルを Excel やメモ帳で開き、発信先情報を入力してください。入力が 終了したら保存してファイルを閉じてください。
- 5. [参照]をクリックして、保存した CSV ファイルを選択してください。
- [アップロード]をクリックしてください。アップロードが終了したら自動的にインポート確認画面が 表示されます。
- 7. インポート内容に誤りがある場合は、備考欄にエラー内容が表示されます。CSV ファイルを修正し、 再度アップロードしてください。
- 8. [インポート実行]をクリックします。インポート内容に誤りがある場合は[インポート実行]は表示されません。

※インポート対象とする設定セットを事前に作成しておく必要があります。

※CSV ファイルの1行目には項目名が表示されています。連絡先の入力は2行目から行ってください。

※インポートできるファイルサイズは 10MB までです。

#### 3.13.3.9 連絡先一覧をエクスポートする

登録されている連絡先を CSV ファイルとしてダウンロードします。エクスポート時の文字コードは日本語環境では SHIFT-JIS(cp932)、その他の環境では UTF-8 となります。

- 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [連絡先一覧を CSV ファイルでエクスポート]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。

※エクスポート対象とする設定セットを事前に作成しておく必要があります。

#### 3.13.3.10 連絡先の設定セット入力値

連絡先の設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール	
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。	
[ ++ ]		15 文字以内で入力してください。
		制御文字は入力できません。
[2]		15 文字以内で入力してください。
		制御文字は入力できません。
	姓、名、姓(フリガナ)、名(フ リガナ)のうち、1 つ以上は入 力必須です。	15 文字以内で入力してください。
		制御文字は入力できません。
		全角カタカナ、半角カタカナ、半角空白のみ入力
		できます。
		15 文字以内で入力してください。
		制御文字は入力できません。
		全角カタカナ、半角カタカナ、半角空白のみ入力
		できます。
【雪託来日】	20 文字以内で入力してください。	
	半角数字、「-」、「+」、「*」、「#」、「,」のみ入力できます。	
【メールアドレス】	半角英数字・記号のみ入力できます。	
	@の前後にそれぞれ1文字以上入力してください。	

機器に標準搭載されている暗号化設定を促す機能です。暗号化設定が有効になるまで、暗号化設定を促すポップアップメッ セージを表示します。

【注意事項】

◆メーカー独自の暗号化設定は非対象です。

◆Android3.0 以降のみ対応です。

e marter - 暗号化 - Windows Internet Explorer		
🚱 🖓 👻 https://billetini.getine.org//bille		
☆ お気に入り		
【企業名】 管理者としてログイン中		
+ ▼		
<b>ふ</b> 設定		
設定-編集中		
1 設定名		
2) 暗号化設定 ※Android3.0以降のみ対応		
<ul> <li>○ 暗号化設定を促す</li> <li>○ たびさりょうい</li> </ul>		
• ALEBUAL		
✓ 保存		

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	暗号化設定	・暗号化設定を促す:暗号化設定を促すことができます。 ・なにもしない:暗号化設定の変更を行いません。

# 3.13.4.1 暗号化画面を表示する

暗号化画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [暗号化]をクリックします。

# 3.13.4.2 暗号化の設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. 暗号化画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【暗号化設定】

暗号化設定を促す:端末の暗号化設定を有効化します。

なにもしない:端末の暗号化設定を変更しません。

※Android 3.0 以降のみ対応

#### 3.13.4.3 暗号化の設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、暗号化の設定セットを新規作成する場合と同様です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

#### 3.13.4.4 暗号化の設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

#### 3.13.4.5 暗号化の設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

#### 3.13.4.6 暗号化の設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。

- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.13.4.7 暗号化の設定セット入力値

暗号化の設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。
	下記より選択
【暗号化設定】	・暗号化設定を促す
	・なにもしない

ブラウザーの設定および、設定セットの作成を行います。作成した設定セットは一括機器設定および、機器ごとの設定にて 適用してください。設定項目および、作成可能な設定セットは以下のとおりです。

【注意事項】

- ◆iOS 端末の管理サイトへの通信のタイミングにより、iOS のブラウザーに対する設定セットの反映まで最大 30 分ほどの時間が必要な場合があります。
- ◆端末に、+browser Safety Manager をインストールする前に、必ずエージェント認証を行ってください。エージェントが認証されてい ない場合、+browser Safety Manager をインストールしても Web フィルタリング、Web 閲覧履歴、お気に入りなどのブラウザー関連機 能を使用することはできません。
- ◆「Web フィルタリング」「Web 閲覧履歴」「お気に入り」はメニュータブの各エージェントのタブ(例: Android 使用制限)に表示さ れていましたが、現在は「Android/iOS - ブラウザー」タブに統合されています。

設定項目名	可能な操作
<u>Web フィルタリング</u>	Web フィルタリングの設定セットを新規作成する         Web フィルタリングの設定セットを編集する         Web フィルタリングの設定セットを複製する         Web フィルタリングの設定セットを削除する         Web フィルタリングの設定セットを削除する         Web フィルタリングの設定セットを削除する         Web フィルタリングの設定セットを削除する
<u>Web 閲覧履歴</u>	Web 閲覧履歴の設定セットを新規作成する         Web 閲覧履歴の設定セットを編集する         Web 閲覧履歴の設定セットを複製する         Web 閲覧履歴の設定セットを削除する         Web 閲覧履歴の設定セットをまとめて削除する
<u>お気に入り</u>	お気に入りの設定セットを新規作成する お気に入りの設定セットを編集する お気に入りの設定セットを複製する お気に入りの設定セットを削除する お気に入りの設定セットをまとめて削除する
標準ブラウザー及び+browser Safety Manager 利用時のWeb閲覧を制限する機能です。閲覧できるWebサイトのURL指定、 もしくは、閲覧できないWebサイトのURL指定のいずれかを行うことができます。Webサイトの閲覧が禁止された場合に は、禁止された旨のポップアップメッセージを表示します。Webフィルタリングを利用する時はAndroid 端末のブラウザー 設定で javascript を有効にしてください。

【注意事項】

- ◆本機能は、+browser Safety Manager で使用できる機能です。+browser Safety Manager のご利用にはオプションのお申し込みが必要です。Android の場合は、標準ブラウザーでもご利用いただけます。
- ◆Android 端末で Web フィルタリングを利用する場合は、ブラウザー設定で javascript を有効にしてください。
- ◆Web フィルタリングを設定すると、Android の場合は、標準ブラウザー及び+browser Safety Manager のお気に入りから、iPhone/iPad の場合は、+browser Safety Manager のお気に入りからフィルタリング対象となる URL のお気に入りが削除されます。
- ◆本製品のご利用を解約いただいても、機器に対して行った設定はそのまま保持されるのでご注意ください。解約の際は事前に各種設定 セットに「設定なし」を適用してください。

【参考ページ】

◇+browser Safety Manager のインストール方法等についての詳細は、下記を参照してください。

Android の場合⇒Android エージェントユーザーマニュアル

iPhone/iPad の場合⇒iPhone/iPad 向けユーザーマニュアル

Contras In -	C      Webフィルタリング - Windows Internet Explorer		
© • •	والمركبين فالمواجد والمركبة والمركب	🕶 🕼 🍕 🖌 🖓 Google	<del>،</del> م
🏫 お気に入り	- Webフィルタリング		
	【企業名】 トップ	マッブ 機器 メニュー Mebフィルタリング	管理者としてログイン中 ログアウト
	*	新規作成	
		設定	_
	1	設定 - 編集中 設定名	
	2	禁止方式 ●許可するURLを指定する(指定されていないURL(は禁止) ●禁止するURLを指定する(指定されていないURL(は許可)	
	3	URL一覧(先頭部分の一致による比較) URL (ノギクンで2月4月、4000代表で)	3
		<ul> <li>(+7+3-2-2±/ш. 1000+4-€)</li> <li>✓ 保存</li> </ul>	
	~		-
	ver.3	2.1   <b>   <u>利用規約</u> @   <u>ブライバシーボリシー</u> @   <u>ヘルプ</u> @</b>	



項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	禁止方式	・許可する URL を指定する : URL 一覧で設定した Web サイトのみ閲覧できるようにします。
		・禁止する URL を指定する : URL 一覧で設定した Web サイトは閲覧できないようにします。
3	URL 一覧	・URL : 制限対象となる URL を入力します。(入力する URL は完全一致していなくても、前
		方一致で <u>適</u> 用されます)
		※[追加] 🛨 をクリックすると、入力欄が追加されます。
		※[削除] 👿 をクリックすると、入力欄が削除されます。
		※URL を 31 個以上登録した場合、ご使用の端末によっては Web フィルタリングに時間がか
		かる場合がございます。
		※すべての URL へのアクセスを禁止したい場合は、「禁止方式」から「許可する URL を指定する」を
		選択し、「URL 一覧」で「X」ボタンで全ての URL を削除してから保存してください。すべての URL
		へのアクセスが禁止されます。

### 3.14.1.1 Web フィルタリング画面を表示する

Web フィルタリング画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [Web フィルタリング]をクリックします。

# 3.14.1.2 Web フィルタリングの設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. Web フィルタリング画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【禁止方式】

閲覧する URL の使用禁止条件を下記より選択します。

許可する URL を指定する (指定されていない URL は禁止):ホワイトリスト形式 禁止する URL を指定する (指定されていない URL は許可):ブラックリスト形式

【URL 一覧 (先頭部分の一致による比較)】

フィルタリングする URL を入力します。「https」から始まる URL も指定可能です。

URL:指定する URL 情報を入力します。

+ボタン:設定する URL 情報を追加します。複数の URL を登録することが可能です。



作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、Web フィルタリングの設定セットを新規作成する場合と同様で す。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

### 3.14.1.4 Web フィルタリングの設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

# 3.14.1.5 Web フィルタリングの設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 3.14.1.6 Web フィルタリングの設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。



Web フィルタリングの設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。
	下記から選択
【禁止方式】	・許可する URL を指定する (指定されていない URL は禁止)
	・禁止する URL を指定する (指定されていない URL は許可)
	入力必須です。
	設定内で重複はできません。
【URL 一覧 (先頭部分の一致による比較)】	200 文字以内で入力してください。
	半角英数字、記号のみで入力してください。
	先頭は「http://」か「https://」にしてください。

標準ブラウザー及び+browser Safety Manager 利用時の Web 閲覧履歴を取得し、管理サイトのログに表示する機能です。また、ブラウザーに保存されている、Web 閲覧履歴を削除することができます。上記操作は、同期のタイミングで定期的に実行されます。

【注意事項】

◆本機能は、+browser Safety Manager で使用できる機能です。+browser Safety Manager のご利用にはオプションのお申し込みが必要で す。Android の場合は、標準ブラウザーでもご利用いただけます。

【参考ページ】

◇+browser Safety Manager のインストール方法等についての詳細は、下記を参照してください。

Android の場合⇒Android エージェントユーザーマニュアル

iPhone/iPad の場合⇒iPhone/iPad 向けユーザーマニュアル



項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	Web 閲覧履歴ログ	・Web 閲覧履歴ログを取得する:Web サイトの閲覧履歴を取得しログ画面に 表示します。 ・Web 閲覧履歴ログを取得しない:Web サイトの閲覧履歴の取得を行いません。
3	Web 閲覧履歴の削除	・Web 閲覧履歴を定期的に削除:Web サイトの閲覧履歴を定期通信と 同期のタイミングで削除します。 ・なにもしない:Web サイトの閲覧履歴の削除を行いません。

# 3.14.2.1 Web 閲覧履歴画面を表示する

Web 閲覧履歴画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [Web 閲覧履歴]をクリックします。

# 3.14.2.2 Web 閲覧履歴の設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. Web 閲覧履歴画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

### 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【Web 閲覧履歴ログ】

Web 閲覧履歴取得の有効/無効の設定を下記より選択します。

Web 閲覧履歴ログを取得する:端末の Web 閲覧履歴取得を「取得する」に設定します。 Web 閲覧履歴ログを取得しない:端末の Web 閲覧履歴取得を「取得しない」に設定します。

【Web 閲覧履歴の削除】

取得した Web 閲覧履歴を定期的に削除するように設定します。

Web 閲覧履歴を定期的に削除:Web 閲覧履歴の定期削除を有効にします。 なにもしない:Web 閲覧履歴の操作をなにもしないに設定します。

### 3.14.2.3 Web 閲覧履歴の設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、Web 閲覧履歴の設定セットを新規作成する場合と同様です。

- 1. 設定セットー覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

# 3.14.2.4 Web 閲覧履歴の設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

### 3.14.2.5 Web 閲覧履歴の設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 3.14.2.6 Web 閲覧履歴の設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 3.14.2.7 Web 閲覧履歴の設定セット入力値

Web 閲覧履歴の設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。
	下記から選択
【Web 閲覧履歴ログ】	・Web 閲覧履歴ログを取得する
	・Web 閲覧履歴ログを取得しない
	下記から選択
【Web 閲覧履歴の削除】	・Web 閲覧履歴を定期的に削除
	・なにもしない

機器の標準ブラウザー及び+browser Safety Manager に対して、お気に入りを追加する機能です。

【注意事項】

- ◆本機能は、+browser Safety Manager で使用できる機能です。+browser Safety Manager のご利用にはオプションのお申し込みが必要で す。Android の場合は、標準ブラウザーでもご利用いただけます。
- ◆対象端末が Android L であり、端末の標準ブラウザが「Google Chrome」である場合、端末にお気に入りを登録できません。

【参考ページ】

◇+browser Safety Manager のインストール方法等についての詳細は、下記を参照してください。

Android の場合⇒Android エージェントユーザーマニュアル

iPhone/iPad の場合⇒iPhone/iPad 向けユーザーマニュアル

② ・ お気に入り - Windows Internet Explorer
☆ お気に入り - お気に入り
「企業名」 「管理者としてロクイン中」
+ ▼         ▲         ▲         ★         ▲         ●
2     お気に入り       タイトル     URL       ・     ・
<ul> <li>✔ 保存</li> </ul>

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	お気に入り	タイトル:お気に入りに登録する Web サイトのタイトルを入力します。(タイトルはお好き なものを入力してください。) URL:お気に入りに登録する Web サイトの URL を入力します。 ※[追加] * をクリックすると、入力欄が追加されます。 ※[削除] x をクリックすると、入力欄が削除されます。

# 3.14.3.1 お気に入り画面を表示する



お気に入り画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [お気に入り]をクリックします。

# 3.14.3.2 お気に入りの設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. お気に入り画面を表示します。
- 2. [新規作成] 🛨 をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

### 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【お気に入り】

端末のお気に入り設定情報を登録します。

タイトル:お気に入りのタイトル名を設定します。

URL:お気に入り先 URL 情報を設定します。

+ボタン:設定するお気に入り情報を追加します。複数のお気に入り情報を登録することが可能です。

### 3.14.3.3 お気に入りの設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、お気に入りの設定セットを新規作成する場合と同様です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。

3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

# 3.14.3.4 お気に入りの設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。



作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 3.14.3.6 お気に入りの設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能で す。

1. 設定セットー覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。

- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 3.14.3.7 お気に入りの設定セット入力値

お気に入りの設定では下記入力ルールで設定を行います。

大項目名	小項目名	ルール	
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。		
	タイトル	入力必須です。	
		100 文字以内で入力してください。	
		半角英数字、「-」、「_」、「@」のみで入力してください。	
【お気に入り】		入力必須です。	
	URL	200 文字以内で入力してください。	
		半角英数字、記号のみで入力してください。	
		先頭は「http://」か「https://」にしてください。	

iOS 機器に対する設定および、設定セットの作成を行います。「設定テンプレート」「構成プロファイル」「ローミング設定」 に関しては、設定セットの作成後、機器一括設定および、機器ごとの設定にて適用してください。設定項目および、作成可 能な設定セットは以下のとおりです。

設定項目名	可能な操作
<u>設定テンプレート</u>	<ul> <li>・設定テンプレートを新規作成する</li> <li>・設定テンプレートを編集する</li> <li>・設定テンプレートを編集する</li> <li>・設定テンプレートをもとに各種デフォルト設定セットを変更する</li> <li>・設定テンプレートを削除する</li> <li>・設定テンプレートをまとめて削除する</li> </ul>
<u>エージェント共通管理</u>	・ <u>Jailbreak 状態検知を編集する</u>
<u>構成プロファイル</u>	<ul> <li>・構成プロファイルの設定セットを新規作成する</li> <li>・構成プロファイルの設定セットを編集する</li> <li>・構成プロファイルの設定セットを複製する</li> <li>・構成プロファイルの設定セットを削除する</li> <li>・構成プロファイルの設定セットをまとめて削除する</li> </ul>
<u>構成プロファイルアップロード</u>	・ <u>構成プロファイルをアップロードする</u> ・ <u>アップロード済みの構成プロファイルを編集する</u> ・ <u>構成プロファイルを削除する</u> ・ <u>構成プロファイルをまとめて削除する</u> ・ <u>構成プロファイルを</u> メとめて削除する
<u>ローミング設定</u>	<ul> <li>・<u>ローミング設定の設定セットを新規作成する</u></li> <li>・<u>ローミング設定の設定セットを編集する</u></li> <li>・<u>ローミング設定の設定セットを複製する</u></li> <li>・<u>ローミング設定の設定セットを削除する</u></li> <li>・<u>ローミング設定の設定セットをまとめて削除する</u></li> </ul>

# 3.15.1 設定テンプレート

設定テンプレートは複数の設定セットを1つにまとめたものです。設定テンプレートを適用すると含まれるすべての設定セットが適用されるため、機能ごとに設定セットを指定する必要はありません。頻繁に利用する設定セットを設定テンプレートとしてまとめておくことで、操作負荷を軽減させることができます。作成した設定テンプレートは、組織ごとまたは機器 ごとの設定にて適用してください。

【注意事項】

- ◆設定テンプレートを一括して複数の機器に適用することはできません。
- ◆設定が機器に反映されるまでの時間は、サーバーや機器の通信状態に依存します。

②     ③     ③     □	plorer		
	second second second	🝷 🔒 🔄 🗙 🖓 Google	◄ ٩
☆ お気に入り			
【企業名】			管理者としてログイン中
トップ	マップ    機器    メ	ニュー 👌 設定テンプレート	<u> ログアウト</u>
デフォルト: (所属組織に従う) (1) ・ 2)	設定テンプレート1		
3 □ いた 設定テンプレート1 デフォルトに設定する	設定		⑤ 操作 ▼
<ul> <li>設定テンプレート2</li> <li>デフォルトに設定する</li> </ul>	設定		
	テンブレート名 設定テンブレート		
	設定 <u>構成プロファイル</u>	(所属組織に従う)	
	() ローミング設定	(所属組織に従う)	
	🗙 アブリケーション配信	(所属組織に従う)	
	🔘 アプリケーション検知	(所属組織に従う)	
	<u> Webフィルタリング</u>	(所属組織に従う)	
	Web閲覧履歴	(所属組織に従う)	
	あ気に入り	(所属組織に従う)	
	DEP定義ブロファイル	(所属組織に従う)	
	/ 編集 6		
	   <u></u>   <u>利用規約</u> @ ブ <u>ライ</u>	<u>バシーポリシー</u> ゅ  <u>ヘルプ</u> ゅ	

項番	対象	説明
1	[新規作成]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・新規作成:設定テンプレートを新規で作成します。
		新規作成方法は「設定テンプレートを新規作成する」301ページを参照して
		ください。
2	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・全てにチェックを入れる : 全ての設定テンプレートのチェックボックス
		にチェックが入ります。
		・全てのチェックをはずす : 全ての設定テンプレートのチェックボックス
		からチェックをはずします。
		・一括削除 : チェックの入った設定テンプレートを削除します。 詳細は「設
		定テンプレートをまとめて削除する」302 ページを参照してください。
3	設定テンプレート一覧	登録されている設定テンプレート一覧が表示されます。
4	設定テンプレート情報	選択した機能により画面が切り替わります。設定テンプレート一覧より選
		択した設定テンプレート情報が表示されます。

5	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・デフォルト:設定テンプレートで設定されている設定セットをデフォル
		トにします。詳細は、「設定テンプレートをもとに各種デフォルト設定セ
		ットを変更する」301 ページを参照してください。
		・削除:設定テンプレートを削除します。詳細は「設定テンプレートを削
		除する」302 ページを参照してください。
6	[編集]	登録されている設定テンプレート情報を編集することができます。詳細は
		「設定テンプレートを編集する」301 ページを参照してください。

# 3.15.1.1 設定テンプレート画面を表示する

設定テンプレート画面を表示します。

# 1. メニュータブをクリックします。

2. [設定テンプレート]をクリックします。

# 3.15.1.2 設定テンプレートを新規作成する

設定テンプレートを作成します。

- 1. 設定テンプレート画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックして新規作成メニューを表示させます。
- 3. [新規作成]をクリックします。
- 4. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

### 【ポリシー名】

設定テンプレートの名称を指定します。

### 【設定】

設定テンプレートに含める設定セットを指定します。なお、含めた設定セットに対する編集および削除は、 設定テンプレートにも自動的に反映されます。

# 3.15.1.3 設定テンプレートを編集する

作成済みの設定テンプレートを編集します。入力項目に関しては、設定テンプレートを新規作成する場合と同様です。

- 1. 設定テンプレートー覧より対象とする設定テンプレートをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

# 3.15.1.4 設定テンプレートをもとに各種デフォルト設定セットを変更する

設定テンプレートに含まれている設定セットを、各種デフォルト設定セットにします。

- 1. 設定テンプレート一覧より対象とする設定テンプレートをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [デフォルト]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

※"(設定なし)"としている設定セットについてはデフォルト設定セットの変更を行いません。

※既にライセンス認証されている機器には適用されません。

デフォルト設定セットの指定後にライセンス認証される機器のみに適用されます。

# 3.15.1.5 設定テンプレートを削除する

作成済みの設定テンプレートを削除します。

- 1. 設定テンプレート一覧より対象とする設定テンプレートをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 3.15.1.6 設定テンプレートをまとめて削除する

作成済みの設定テンプレートを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能で す。

- 1. 設定テンプレートー覧より対象とする設定テンプレートのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 3.15.1.7 設定テンプレートのデフォルト設定セットを指定する

iOS のデフォルトの設定テンプレートの指定手順は Android 環境での指定手順と同一です。 詳細は「設定テンプレートのデフォルト設定セットを指定する」205 ページを参照してください。

# 3.15.1.8 設定テンプレートのデフォルト設定セットをなしにする

iOS のデフォルトの設定テンプレートの解除手順は Android 環境での解除手順と同一です。 詳細は「設定テンプレートのデフォルト設定セットをなしにする」 206 ページを参照してください。

# 3.15.1.9 設定テンプレートの入力値

設定テンプレートでは下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【テンプレート名】	1 文字~30 文字で入力してください。
【設定】	作成済みの設定セットより選択

機器にインストールされている、全ての iOS エージェントに対して共通するルール設定を行うことができます。設定を保存 した時点で、すべての iOS 機器に対して適用されます。

【注意事項】

◆設定が機器に反映されるまでの時間は、サーバーや機器の通信状態に依存します。

② ユニー・チャート・アージェント共通管理 - Windows Internet Explorer	
🚱 🔾 💌 📓 🐜 an lan laiter in general in territoria, repert politicari i 🗸 🗿 😽 🗙 🖓 Google	+ م
☆ お気に入り ■ 141	
【企業名】	管理者としてログイン中
トップ マップ 機器 メニュー > エージェント共通管理	ログアウト
エージェント共通管理	
① Jailbreak状態検知 株会知する	
VPN共通管理	
2 PNDZ94+-	
$(t_{sL})$	
※VPNの接続タイプ「カスタム SSL」で使用されるキーを追加・編集します。	
	*

項番	対象	説明
1	Jailbreak 状態検知	検知する:iOS 端末が Jailbreak されているかの検知を行います。 検知しない:iOS 端末が Jailbreak されているかの検知を行いません。
2	VPN カスタムキー	VPN のキーを入力します。

# 3.15.2.1 エージェント共通管理画面を表示する

エージェント共通管理画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [エージェント共通管理]をクリックします。

# 3.15.2.2 Jailbreak 状態検知を編集する

Jailbreak 状態検知を行うための設定を編集します。Jailbreak 状態検知とは、Jailbreak された iOS 機器を検知する機能です。 検知した場合はログに出力されます。また、機器画面の機器タブにて確認することが可能です。

1. エージェント共通管理画面を表示します。

2. [編集]をクリックします。

3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【Jailbreak 状態検知】

Jailbreak 状態検知を行うかどうかを指定します。

検知する:Jailbreak 状態検知を行います。

検知しない: Jailbreak 状態検知を行いません。

# 3.15.2.3 エージェント共通管理の入力値

エージェント共通管理では下記入力ルールで設定を行います。

【Jailbreak 状態検知】	下記より選択
	・検知する
	・検知しない
【VPN カスタムキー】	カスタムキーを記入。

# 3.15.3 構成プロファイル

構成プロファイルとは、Apple 社が提供している Apple Configurator 上で作成することができるプロファイルで、 iPhone/iPad に対する制御や設定を行うことができます。本製品では構成プロファイルをアップロードする(311 ページ)際 に、管理サイト上で作成することも可能です。当画面では、構成プロファイルアップロード(310 ページ)からアップロード された単一の構成プロファイル、または複数の構成プロファイルを用いて設定セットを作成します。作成した設定セットは 機器一括設定および、機器ごとの設定にて適用してください。

【注意事項】

- ◆Apple Configurator の詳細については Apple 社にお問い合わせください。
- ◆既に構成プロファイルが適用されている機器に対して、構成プロファイルの再適用を行うと、後から配布した構成プロファイルで上書 きされますのでご注意ください。ただし、後述の削除防止が設定された構成プロファイルはいかなる場合も上書きされません。この場 合、各構成プロファイルの内容がマージされて適用されます。同一の項目に対して複数の設定が存在する場合にどの設定を優先するか など、マージ方法の詳細については Apple 社の仕様に依存します。本製品では制御を行っておりません。
- 【参考ページ】

◇構成プロファイルのアップロードについて⇒構成プロファイルアップロード 310 ページ

◇一括機器設定について⇒一括して複数の機器に設定セットを適用する 152 ページ

◇機器ごとの設定について⇒単一の機器に設定セットを適用する 61 ページ

ん の の の の の の の の の の の の の の の の の の		
	- 🔒 👉 🗙 Google	+ م
☆ お気に入り		
【企業名】	管理者として口	ダイン中
トップ	マップ   機器   メニュー → 構成ブロファイル   ログア	ウト
	新規作成	
	設定	- 11
	設定 - 編集中	
U	設定名	
2	構成プロファイル プロファイル名 削除防止 (選択してください) ■ 削除禁止 ■ メ (+ボタンで追加: 2件まで) +	
	※11削除防止」を設定した場合、端末のボータルから手動で構成プロファイルを行ンストールしてくたさい。 ※11削除防止」から「削除不可」を選択した場合は、端末から構成プロファイル削除することはできません。イン トールした構成プロファイルを端末から削除するには、Apple社のドhone構成ユーティリティを使用してください ※17削除防止」から「パスワード」を選択した場合は、端末からパスワードを入力することで、構成プロファイルイ 削除できます。 ※17削除防止」を有効から無効に変更する場合は、手動でインストールした構成プロファイルを端末から削除し ください。構成プロファイルは上書きされません。	ス E .て
	✔ 保存	- 11
-		
ver.4	30	-

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	構成プロファイル名	設定したい構成プロファイルを選択します。構成プロファイルのアップロード方法 は「構成プロファイルアップロード」310 ページを参照してください。 ※1 設定あたり構成プロファイルは 10 件まで登録できます。構成プロファイルのア ップロード数が 10 件未満の場合は、その数までしか登録できません。 ※[追加] ・ をクリックすると、入力欄が追加されます。 ※[削除] × をクリックすると、入力欄が削除されます。

# 3.15.3.1 構成プロファイル画面を表示する

構成プロファイル画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2.[構成プロファイル]をクリックします。

設定セットを作成します。

- 1. 構成プロファイル画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

### 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

### 【構成プロファイル】

本設定セットで適用元とする構成プロファイルを指定します。複数指定が可能です。

\* をクリックすることで、入力行が追加されます。

🔀 をクリックすることで、入力行が削除されます。

なお、削除防止を指定すると構成プロファイルのインストールに機器側の操作が必要となります。

設定項目		説明
プロファイル名		をクリックすると構成プロファイルアップロード(310 ページ)で登録した構成プロファイルが
		表示されます。適用する構成プロファイルを指定してください。
削除防止	削除禁止	チェックボックスにチェックを入れることで指定可能となります。指定することで、構成プロファイ
		ルの削除方法を制限することが可能です。
	パスワード	チェックボックスにチェックを入れることで指定可能となります。合わせてパスワードを指定してく
		ださい。指定することで、構成プロファイルの削除方法を制限することが可能です。

作成方法に応じた構成プロファイルの削除方法は以下のとおりです。

構成プロファイルの種別	削除方法
通常の構成プロファイル (削除防止機能なし)	・機器一括設定または機器ごとの設定から「(設定なし)」を適用する。 ・機器から MDM 構成プロファイルを削除する(合わせて削除される)。 ・機器を PC に接続して Apple Configurator から削除する。
削除禁止を指定した 構成プロファイル	・Apple Configurator からは削除できません。ワイプにて削除してください。
パスワードを指定した 構成プロファイル	・機器からパスワードを入力して削除する。 ・機器を PC に接続して Apple Configurator から削除する(パスワード入力不要)。

※MDM 構成プロファイルとは iOS 機器のライセンス認証を行った際にインストールされる構成プロファイルのことで

す。

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、構成プロファイルの設定セットを新規作成する場合と同様で す。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

# 3.15.3.4構成プロファイルの設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

# 3.15.3.5構成プロファイルの設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 3.15.3.6構成プロファイルの設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 3.15.3.7構成プロファイルの設定セット入力値

構成プロファイルでは下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール	
【設定名】	1 文字~30 文字で入力	してください。
【構成プロファイル】	プロファイル名	プルダウンメニューで設定する構成プロファイルを選択します。
	削除防止(有効無効)	チェックを入れる、チェックを入れない。

削除防止(方法)	削除防止 (有効無効) をチェックした場合のみ選択可能。下記より選択。 ・削除禁止 ・パスワード
パスワード	削除防止(方法)にパスワードを指定した場合のみ入力可能。 入力必須です。255 文字以下にしてください。 半角英数字、「.」、「-」のみ入力できます。

# 3.15.4 構成プロファイルアップロード

「構成プロファイル(305ページ)」で設定セットを作成する際に参照する構成プロファイルの設定を行います。当画面では、 iOS端末のパスコードや各種制限に関する多種多様な設定(「FaceTimeを許可」、「YouTubeの使用を許可など」)を簡単に 作成することが可能です。

本画面を使用することで、Apple 社が提供する「Apple Configurator」および「Apple Configurator」から作成されるペイロード(iOS/Mac 機器向けの設定セット)をインストールする必要なしに、管理サイトから設定セットを簡単に作成することが可能になります。

【注意事項】

- ◆1 企業がアップロード可能な構成プロファイルは 300 ファイルとなります。
- ◆Mac OS では個別構成プロファイルの更新は行うことはできません。

【参考ページ】

◇設定セットの作成について⇒構成プロファイルの設定セットを新規作成する 307 ページ

e - 構成プロファイルアップロード - Windows Internet Explorer	×
	+ م
☆ お気に入り - 構成プロファイルアップロード	
[企業名] 管	理者としてログイン中
3 構成プロファイル1	
□ 400 構成プロファイル1	6
管理 一般 バスコード 制限 Wi+Fi その他 マ	操作→
構成プロファイル3 構成プロファイル名	
▶ 編集 ダウンロード ±	
	J
-	
	-

項番	対象	説明
1	[新規作成]	クリックすると入力欄が表示されます。構成プロファイル新規作成方法は「構成プ
		ロファイルをアップロードする」311 ページを参照してください。
2	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		<ul> <li>・全てにチェックを入れる:全ての構成プロファイルのチェックボックスにチェ</li> </ul>
		ックが入ります。
		・全てのチェックをはずす:全ての構成プロファイルのチェックボックスからチ
		ェックをはずします。
		・一括削除 : チェックの入った構成プロファイルを削除します。 詳細は「構成プロ
		ファイルをまとめて削除する」322 ページを参照してください。
3	構成プロファイル一覧	登録されている構成プロファイル名一覧が表示されます。

4	構成プロファイル情報	構成プロファイル一覧より選択した構成プロファイル情報が表示されます。
5	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・削除:構成プロファイルを削除します。詳細は「構成プロファイルを削除する」322
		ページを参照してください。
6	[編集]	登録されている構成プロファイル情報を編集することができます。 詳細は「アップ
		ロード済みの構成プロファイルを編集する」311 ページを参照してください。
$\bigcirc$	[ダウンロード]	構成プロファイルのダウンロードを行うことができます。詳細は「構成プロファ
		イルをダウンロードする」323 ページを参照してください。

# 3.15.4.1 構成プロファイルアップロード画面を表示する

構成プロファイルアップロード画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [構成プロファイルアップロード]をクリックしま

す。

す。

# 3.15.4.2構成プロファイルをアップロードする

構成プロファイルをアップロードします。Apple Configurator で作成済みのファイルを指定する方法と、管理サイト上で新規 作成する方法があります。

- 1. 構成プロファイルアップロード画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※Apple Configurator の詳細については Apple 社にお問い合わせください。

また、新規作成画面内に Apple Configurator 公式ガイドへのリンクを設置していますのでご活用ください。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【プロファイル名】

設定セットの名称を指定します。

【構成プロファイル】

アップロードする構成プロファイルを指定します。

空のプロファイルを新規作成:空のプロファイルをアップロードします。

詳細設定はアップロード済みの構成プロファイルを編集する(311ページ)で行います。

ファイルをアップロード: Apple Configurator で作成済みのプロファイルをアップロードします。

[参照]ボタンをクリックして、アップロードするファイルを指定してください。

### 3.15.4.3 アップロード済みの構成プロファイルを編集する

アップロード済みの構成プロファイルを編集します。Apple Configurator で作成済みのファイルで上書きする方法と、管理サ イト上で設定内容を変更する方法があります。アップロード済みの構成プロファイルは、管理/一般/パスコード/制限/ 証明書の単位で設定値をまとめてあり、編集もこの単位で行います。本章に記載のない項目を設定する場合は、Apple Configurator で作成した構成プロファイルをアップロードしてください。

1. 構成プロファイルー覧より対象とする構成プロファイルをクリックします。

2. 目的のタブをクリックします。

3. [編集]をクリックします。

4. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※Apple Configurator の詳細については Apple 社にお問い合わせください。

また、編集画面内に Apple Configurator 公式ガイドへのリンクを設置していますのでご活用ください。

※[管理]タブにおける入力項目の詳細は以下のとおりです。

【プロファイル名】

構成プロファイルをアップロードする(311ページ)場合と同様です。

【構成プロファイル】

アップロードする構成プロファイルを指定します。

変更しない:構成プロファイルを変更しません。(編集をキャンセルすることと同じです)

ファイルをアップロード: Apple Configurator で作成済みのプロファイルで上書きします。 [参照]ボタンをクリックして、アップロードするファイルを指定してください。

※[一般]タブにおける入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【説明】

構成プロファイルの説明を入力してください。

※[パスコード]タブにおける入力項目の詳細は以下のとおりです。

### 【単純値を許可】

「する」をチェックすると、パスコードに連続する文字や反復する文字を使用することをユーザーに許可します。 (たとえば、「3333」や「DEFG」のようなパスコードが許可されます。)

【英数字の値が必要】

「はい」をチェックすると、パスコードに少なくとも1つの英数字を含めることを強制します。

【最小のパスコード長】

パスコードの最小文字数を指定します。

### 【複合文字の最小数】

パスコードに必要な、英数字以外の文字(\$、&、および!)の最小数を指定します。

#### 【パスコードの最大有効期間[日]】

指定した間隔(日数)でユーザーがパスコードを変更することを要求します。

#### 【最大自動ロック時間[分]】

ユーザーが設定可能な、自動ロックまでの最大時間を指定します。

#### 【パスコード履歴】

新しいパスコードが以前に使用したパスコードと一致した場合、そのパスコードは受け入れられません。 この設定では、受け入れ禁止として記憶するパスコードの数を指定します。

#### 【デバイスロックの最大猶予期間】

ユーザーが設定可能な、パスコード入力を行わずにロックを解除できるまでの最大時間を指定します。

### 【入力を失敗できる回数】

ロック解除の際、試行できるパスコード誤入力の回数を決定します。

### ※[制限]タブにおける入力項目の詳細は以下のとおりです。

(\*1)のついている項目は、監視対象端末の場合のみ、適用されます。

#### 【デバイスの機能】

### App のインストールを許可

このオプションをオフにすると、App Store は無効になり、アイコンがホーム画面から削除されます。

ユーザーは、App Store や「iTunes」を使って App をインストールしたり、アップデートしたりすることはできません。

### カメラの使用を許可

このオプションをオフにすると、カメラは完全に無効になり、カメラアイコンがホーム画面から削除されます。 ユーザーは写真やビデオを撮ったり、「FaceTime」を使ったりすることができません。

#### FaceTime を許可

このオプションをオフにすると、ユーザーは FaceTime ビデオコールの配置または受信ができません。

#### スクリーンショットを許可

このオプションをオフにすると、ユーザーはディスプレイのスクリーンショットを保存できません。

### ローミング中の自動同期を許可

このオプションをオフにすると、ユーザーがアカウントにアクセスしているときに限り ローミング中の機器が同期されます。

#### Siri を許可

このオプションをオフにすると、ユーザーは Siri、音声コマンド、または読み上げを使用できません。

デバイスのロック中に Siri を許可

このオプションをオフにすると、ユーザーはパスコードを使って機器のロックを解除しないと Siriを使用できなくなります。

#### Siriの不適切な単語フィルタを有効にする (\*1)

このオプションをオフにすると、不適切な単語がフィルタリングされなくなります。

#### Siri にユーザー生成コンテンツを表示 (\*1)

このオプションをオフにすると、ユーザは独自のコンテンツを Siri に追加できなくなります。

#### 音声ダイヤルを許可

このオプションをオフにすると、ユーザーは音声コマンドを使って電話をかけることができません。

#### ロック画面での Passbook 通知を許可

このオプションをオフにすると、ロックされている間は機器に Passbook 通知が表示されなくなります。

#### App 内課金を許可

このオプションをオフにすると、ユーザーは App 内で購入することができません。

# 購入時に常に iTunes Store パスワードを要求

ユーザーは購入の前に常に Apple ID パスワードの入力を求められます。

通常、次回の購入時の認証までには短い猶予期間が設けられます。

#### マルチプレーヤーゲームを許可

このオプションをオフにすると、ユーザーは Game Center でマルチプレーヤーゲームをプレイできません。

#### Game Center の友人の追加を許可

このオプションをオフにすると、ユーザーは Game Center に友達を追加できません。

### Touch ID によるデバイスのロック解除を許可

このオプションをオフにすると、ユーザはデバイスのロックを解除するためにパスコードを入力する必要があります。

### ロック画面にコントロールセンターを表示

このオプションをオフにすると、ユーザは上にスワイプしてコントロールセンターを表示できなくなります。

### ロック画面に通知センターを表示

このオプションをオフにすると、画面がロックされている場合にユーザは通知を受信できなくなります。

### ロック画面に今日表示を表示

このオプションをオフにすると、ユーザは下にスワイプして今日表示を使用する通知センターをロック画面で表示 できなくなります。このオプションをオンにすると、ロック画面に本日日付が表示されます。

#### 強制的に追跡型広告を制限

このオプションをオンにすると、App で広告識別子(非永続的、デバイス識別子)を使用してターゲット広告を表示することが禁止されます。

#### "すべてのコンテンツと設定を消去"を許可(\*1)

このオプションをオフにすると、端末のリセット機能「すべてのコンテンツと設定を消去」が使用できなくなります。

#### モバイルデータ通信 App 設定の変更を許可(\*1)

このオプションをオフにすると、アプリケーションによるモバイルデータ使用方法の変更はできません。

#### アカウント設定の変更を許可(\*1)

このオプションをオフにすると、ユーザは新規アカウントの作成も、ユーザ名、パスワード、およびアカウントに 関連付けられているその他の設定の変更もできなくなります。

### "友達を探す"設定の変更を許可(\*1)

このオプションをオフにすると、ユーザは「友達を探す」App の設定を変更できなくなります。

#### Game Center の使用を許可 (\*1)

このオプションをオフにすると、Game Center が無効になります。

### 構成プロファイルのインストールを許可 (\*1)

このオプションをオフにすると、ユーザは各自のデバイスに追加の構成プロファイルをインストールできなくなり ます。

#### 【アプリケーション】

### YouTube の使用を許可(プリインアプリのみ対象)

このオプションをオフにすると、プリインストールされた YouTube App は無効になり、アイコンがホーム画面から 削除されます。(iOS 5 以前が対象です。AppStore からインストールされた YouTube App は対象外です。)

#### iTunes Store の使用を許可

このオプションをオフにすると、iTunes Store は無効になり、アイコンがホーム画面から削除されます。 ユーザーはコンテンツをプレビュー、購入、およびダウンロードできません。

#### Podcast の使用を許可 (\*1)

このオプションをオフにすると、Podcast が無効になります。

### Safari の使用を許可

このオプションをオフにすると、Safari Web ブラウザ App は無効になり、アイコンがホーム画面から削除されます。 ユーザーが Web クリップを開くこともできなくなります。

#### 自動入力を有効にする

このオプションをオフにすると、「Safari」はユーザーが Web フォームに入力した値を記憶しません。

#### 強制的に詐欺警告

このオプションをオフにすると、「Safari」は不正または欠陥があると判断された Web サイトへのアクセスを 禁止しません。

### JavaScript を有効にする

このオプションをオフにすると、「Safari」は Web サイト上のすべての Javascript を無視します。

# ポップアップを開かない

このオプションをオフにすると、「Safari」のポップアップブロック機能が無効になります。

#### Cookie の受け入れ

すべての Cookie を許可する、Cookie を許可しない、直接アクセスしていないサイトからの Cookie を拒否するの いずれかを選択します。

### AirDrop を許可 (\*1)

このオプションをオフにすると、ユーザは App で AirDrop を使用できなくなります。

#### iBooks Store を許可 (\*1)

このオプションをオフにすると、iBooks Store が無効になり、ユーザが「iBooks」App から iBooks Store にアクセ スできなくなります。

#### iMessage を許可 (\*1)

このオプションをオフにすると、iMessage を使用したメッセージの送受信ができなくなります。お使いのデバイ スがテキストメッセージに対応している場合、テキストメッセージの送受信はできます。お使いのデバイスがテキ ストメッセージに対応していない場合は、ホーム画面から「メッセージ」アイコンが削除されます。

#### App の削除を許可 (\*1)

このオプションをオンにすると、ユーザは App を削除できるようになります。App Store や「iTunes」など、iOS に付属している App をユーザが削除することはできません。

### [iCloud]

#### バックアップを許可

このオプションをオンにすると、ユーザーは機器から iCloud にバックアップを作成できます。

#### 書類とデータを許可

このオプションをオンにすると、ユーザーは iCloud に書類を保存できます。

#### 自分のフォトストリームを許可(許可しないとデータ損失の可能性あり

このオプションをオンにすると、ユーザーはフォトストリームを有効にできます。

この機能制限を使って構成プロファイルをインストールすると、ユーザーの機器からフォトストリームの写真が消 去され、「カメラロール」の写真がフォトストリームに送信されなくなります。写真のコピーがない場合、これら の写真は失われます。

#### iCloud での写真共有を許可

このオプションがオンの場合、ユーザーは他の人に自分の写真を見るよう勧めたり、他の人が共有しているフォト ストリームを表示したりできます。

#### iCloud キーチェーンを許可

このオプションをオフにすると、iCloud キーチェーンは使用されなくなります。

#### 管理対象 App が iCloud にデータを保存することを許可

このオプションをオフにすると App による iCloud へのデータ保存が禁止されます。

#### 【セキュリティとプライバシー】

#### Apple への診断情報と使用状況データの送信を許可

このオプションをオフにすると、Apple に iOS の診断情報が送信されません。

#### 信頼されていない TLS 証明書の受け入れをユーザに許可

このオプションをオフにすると、検証できない証明書をユーザーが許可しようとする場合に、

ユーザーに確認を求めません。この設定は「Safari」および「メール/連絡先/カレンダー」アカウントに適用されま す。

#### 証明書信頼設定の自動アップデートを許可

このオプションをオンにすると、iOS デバイスは既知の信頼できる証明書の信頼設定変更を自動的に受け入れるようになります。

#### 管理対象外出力先で管理対象ソースからの書類を許可

「管理対象ソース」とは[その他]の[ドメイン]タブ内の「管理対象の Safari Web ドメイン」(322 ページ)で指定された Web サイトのコンテンツです。PDF 形式などのコンテンツを Safari からアクセスする際に、Safari の画面下部に Safari 以外の外部アプリからコンテンツを開くメニュー画面が表示される場合があります。

このオプションをオフにすると、管理サイトで非管理対象として配信したアプリ、もしくは手動で AppStore からイ ンストールしたアプリ(管理対象外出力先)は、Safari の外部アプリケーションの一覧に表示されなくなります。

つまり、管理対象外出力先のアプリから、「管理対象の Safari Web ドメイン」で指定されたコンテンツにはアクセ スすることができなくなります。この設定により、Safari を経由した外部アプリケーションの起動を制限すること が可能ですが、外部アプリケーションから直接 URL を入力する場合など、Safari を経由しないコンテンツアクセス は制御されません。

### 制限の構成を許可(\*1)

このオプションをオフにすると、端末の[設定]メニューの[機能制限を設定]が使用できなくなります。

#### 管理対象出力先で管理対象外ソースからの書類を許可

このオプションをオフにすると、管理対象外 App で作成した書類を管理対象 App で開けなくなります。

Handoff を許可

このオプションをオフにすると、Handoff機能が使用できなくなります。

#### Spotlight でインターネット検索結果を許可

このオプションをオフにすると、Spotlightによるインターネット検索が使用できなくなります。

#### 最初の AirPlay ペアリングでパスコードを要求

このオプションをオンにすると、最初の AirPlay ペアリングにおいて端末のパスコードが要求されます。

Configurator 以外のホストとのベアリングを許可(\*1)

このオプションをオンにすると、デバイスを任意の Mac と同期することができます。

【コンテンツレーティング】

#### 不適切な内容の音楽、Podcast、および iTunes U メディアを許可

このオプションをオフにすると、iTunes Store 内の不適切な内容の音楽やビデオコンテンツが隠されます。 不適切な内容には、コンテンツプロバイダによってフラグが設定されています。

### iBooks Store で不適切な性的描写のあるブックの閲覧を許可

このオプションをオフにすると、iBookstoreのアダルト向けコンテンツが隠されます。 不適切な内容には、コンテンツプロバイダによってフラグが設定されています。

【レーティングの地域】

レーティングの地域を選択します。

### 【許可されるコンテンツレーティング】

### ムービー

許可する最大レーティングの値を選択します。

#### テレビ番組

許可する最大レーティングの値を選択します。

#### App

許可する最大レーティングの値を選択します。

※[Wi-Fi]タブにおける入力項目の詳細は以下のとおりです。

[Wi-Fi]タブにおける設定は、Wi-Fi 設定を端末へ反映させる機能であり、通信手段を制限させる機能ではありません。ユーザ ーが端末の[設定][Wi-Fi]画面からプロキシ設定を手動で変更した場合、本タブでの設定が上書きされます。

「プロキシ設定」の設定(なし/手動/自動)により、入力できる項目が異なります(「手動」に設定された場合、「プロキシサ ーバーおよびポート」などのフィールドが表示され、入力可能になります)。また「セキュリティの種類」フィールドの設定 などにもより、入力できる項目が変化します。

SSID (サービスセット識別子)

利用する Wi-Fi ネットワークの SSID。

#### 非公開ネットワーク

非公開ネットワークの場合はチェックします。

#### プロキシ設定

「自動」「手動」から選択します。

#### プロキシサーバーの URL

必須。プロキシ設定を定義している PAC ファイルの URL。

#### PAC が到達不能の場合に直接接続を許可

このオプションをオフにするとオフ PAC ファイルに到達できない場合、デバイスはデスティネーションに直接接続できません。

### プロキシサーバーおよびポート

プロキシサーバのネットワークアドレスとポート番号。

### プロキシユーザー名

プロキシサーバの認証に用いるユーザ名。

プロキシパスワード

プロキシサーバの認証に用いるパスワード。

### セキュリティの種類

Wi-Fi のセキュリティを設定します。

# パスワード

Wi-Fi のセキュリティのパスワードを設定します。

※[その他]の[証明書]タブにおける入力項目の詳細は以下のとおりです。

【証明書ファイル】

アップロードする証明書を指定します。[参照]をクリックして、アップロードする証明書を選択してください。 なお、アップロードには PEM または DER 形式の証明書を指定してください

※[その他]タブ : [グローバル HTTP プロキシ]における入力項目の詳細は以下のとおりです。

本設定は監視対象である端末のみ適用できます。監視対象外端末で適用した場合、設定に失敗します。

# 【タイプ】

認証の必要なプロキシでは「手動」を使用します。

【プロキシサーバーのドメイン名】

プロキシのタイプが「手動」の場合は必須です。

### 【ポート】

プロキシのタイプが「手動」の場合は必須です。

### 【ユーザー名】

プロキシサーバのユーザ名。この設定は、プロキシのタイプが「手動」の場合にのみ指定できます。

【パスワード】

プロキシサーバの認証パスワード。この設定は、プロキシのタイプが「手動」の場合にのみ指定できます。

【プロキシ PAC の URL】

プロキシのタイプが「自動」の場合に必須です。

【PAC が到着不能の場合に直接接続を許可】※iOS 7.0 以降のみ対応

このオプションをオンにすると、プロキシサーバに到達できない場合、iOS デバイスはプロキシサーバをバイパスします。

【キャプティブネットワークにアクセスするためにプロキシのバイパスを許可】※iOS 7.0 以降のみ対応 このオプションをオンにすると、iOS デバイスは既知のワイヤレスネットワークにアクセスするためにプロキシ設定を 無視できます。

※[その他]タブ:[Web フィルタリング]における入力項目の詳細は以下のとおりです。

本設定は監視対象である端末のみ適用できます。監視対象外端末で適用した場合、設定に失敗します。

【許可された Web サイト】

ブラウズを非アダルトコンテンツに制限し、許可された URL のリストを提供するか、特定の Web サイトのみに制限 する場合に選択します。

【許可された URL】

このリストに URL を追加すると、その Web サイトが自動フィルタによってアダルトと見なされた場合でもアクセス が許可されます。このリストを空のままにすると、「ブラックリストにある URL」にリストされているものを除いて、 すべての非アダルト Web サイトへのアクセスが許可されます。

【ブラックリストにある URL】

特定の Web サイトへのアクセスを拒否するには、サイトの URL をこのリストに追加します。ユーザはこれらのサイトにはアクセスできません(自動フィルタによって非アダルトと見なされた場合でも)。

【指定した Web サイト】

アクセスを許可したい Web サイトを追加します。「URL」列に Web サイトの URL を入力します。「名前」列にブッ クマークの名前を入力します。フォルダ内にブックマークを作成する場合は、「ブックマーク」列にフォルダの場所を入 力します。たとえば、「よく使う項目」フォルダにブックマークを作成するには、「/Favorites/」と入力します。 ないため、ユーザーはメーラーの起動時にパスワードを手動で入力する必要があります。

【アカウントの説明】

電子メールアカウントの説明を、人が読める形の文字列で指定します。これが「Mail and Settings」アプリケーショ ンに表示されます。

#### 【アカウントの種類】

POP、IMAP のいずれかを指定します。このアカウントが用いるプロトコルを定義します。

### 【パスの接頭辞】

パスの接頭辞を入力します。

### 【ユーザー情報】

所属ユーザーの情報を利用するか選択します。

### 【ユーザ表示名】

アカウントの完全ユーザ名。送信メッセージなどに埋め込まれます。

#### 【メールアドレス】

アカウントの完全電子メールアドレスを指定します。ペイロードに指定がなければ、プロファイルのインストール 時に尋ねられます。

### 【ユーザがこのアカウントからメッセージを移動することを許可】

このオプションをオンにすると、この電子メールアカウントから別のアカウントにメッセージを移動することはで きません。また、メッセージの送信元アカウント以外から、転送や返信をすることも禁じます。

### 【最近使ったアドレスの同期を許可】

このオプションをオンにすると、このアカウントは「最近使用したアドレス」の同期処理の対象外になります。

【Mail のみで使用】

このオプションをオンにすると、このアカウントから他社製アプリケーションでメールを送信することはできません。

#### 【メールサーバ(受信)】

受信メールサーバのホスト名(または IP アドレス)を指定します。

### 【ポート(受信)】

受信メールサーバのポート番号を指定します。

### 【ユーザ名(受信)】

電子メールアカウントのユーザ名を指定します。

【認証のタイプ(受信)】

受信メールの認証スキームを表します。EmailAuthPassword、EmailAuthNone のいずれかを指定します。

### 【パスワード(受信)】

受信メールサーバのパスワード。

### 【SSL を使用(受信)】

受信メールサーバが認証用に SSL を利用するか否かを指定します。

#### 【メールサーバ(送信)】

送信メールサーバのホスト名(または IP アドレス)を指定します。

### 【ポート(送信)】

送信メールサーバのポート番号を指定します。指定しなければ、プロトコルによって決まっているデフォルトのポ ート番号になります。

#### 【ユーザ名(送信)】

電子メールアカウントのユーザ名を指定します。

#### 【認証のタイプ(送信)】

送信メールの認証スキームを指定します。指定できる値は EmailAuthPassword、EmailAuthNone のいずれかです。

※[その他]の[ドメイン]タブにおける入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【メールドメイン】

これらのドメインと一致しないメールアドレスは"メール"でマークされます。

### 【管理対象の Safari Web ドメイン】

[制限]タブの「管理対象外出力先で管理対象ソースからの書類を許可」(317 ページ)が有効な場合に、管理対象となる Web コンテンツの URL を指定します。管理対象のコンテンツは、Safari からのアクセス時に外部アプリの起動を制限されます。 詳細は「管理対象外出力先で管理対象ソースからの書類を許可」(317 ページ)を参照してください。

### 3.15.4.4 構成プロファイルを削除する

アップロード済みの構成プロファイルを削除します。

- 1. 構成プロファイルー覧より対象とする構成プロファイルをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 3.15.4.5構成プロファイルをまとめて削除する

アップロード済みの構成プロファイルを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除

可能です。

- 1. 構成プロファイル一覧より対象とする構成プロファイルのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 3.15.4.6 構成プロファイルをダウンロードする

アップロード済みの構成プロファイルをダウンロードします。修正して再アップロードする場合にご利用ください。

1. 構成プロファイル一覧より対象とする構成プロファイルをクリックします。

2. [ダウンロード]をクリックして、任意の場所に構成プロファイルを保存してください。

# 3.15.4.7 構成プロファイルアップロードの入力値

構成プロファイルアップロードでは下記入力ルールで設定を行います。

大項目名	小項目名	ルール	
【プロファイル名】	入力必須です。1 文字~30 文字で入力してください。		
【構成プロファイル】	構成プロファイルを参照		
【説明】	入力必須です。1 文字~1000 文字で入力してください。		
【単純値を許可】	チェックを入れる。入れない。		
【英数字の値が必要】	チェックを入れる。入れない。		
【是小のパスコード트】			
	(なし), 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16		
【複合文字の最小数】			
	(なし), 1, 2, 3, 4		
【パスコードの最大有効期間[日1】	半角数字のみ入力できます。		
	0 以上 730 以下で入力してください。		
【最大自動ロック時間[分]】	下記より選択		
	(なし), 1, 2, 3, 4, 5, 10, 15		
【パスコード履歴】	半角数字のみ入力できます。		
	0 以上 50 以下で入力してください。		
【デバイスロックの最大猶予期間】	下記より選択		
	即時, 1 分, 5 分, 15 分, 1 時間, 4 時間		
【入力を失敗できる回数】	下記より選択		
	(なし), 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10		
	App のインストールを許可	チェックを入れる。入れない。	
	カメラの使用を許可	チェックを入れる。入れない。	
【デバイスの機能】	FaceTime を許可	チェックを入れる。入れない。	
	スクリーンショットを許可	チェックを入れる。入れない。	
	ローミング中の自動同期を許可	チェックを入れる。入れない。	

	Siri を許可	チェックを入れる。入れない。	
	デバイスのロック中に Siri を許可	チェックを入れる。入れない。	
	Siri の不適切な単語フィルタを有効にす	チェックを入れる。入れない。	
	る (*1)		
	Siri にユーザー生成コンテンツを表示	チェックを入れる。入れない。	
	(*1)		
	音声ダイヤルを許可	チェックを入れる。入れない。	
	ロック画面での Passbook 通知を許可	チェックを入れる。入れない。	
	App 内課金を許可	チェックを入れる。入れない。	
	購入時に常に iTunes Store パスワード	エテックホーカス しわたい	
	を要求		
	マルチプレーヤーゲームを許可	チェックを入れる。入れない。	
	Game Center の友人の追加を許可	チェックを入れる。入れない。	
	Touch ID によるデバイスのロック解除を許	チェックを入れる。入れない。	
	可		
	ロック画面にコントロールセンターを表	チェックを入れる、入れない。	
	示	テェックを入れる。入れない。	
	ロック画面に通知センターを表示	チェックを入れる。入れない。	
	ロック画面に今日表示を表示	チェックを入れる。入れない。	
	強制的に追跡型広告を制限	チェックを入れる。入れない。	
	"すべてのコンテンツと設定を消去"を	チェックを入れる。入れない。	
	許可 (*1)		
	モバイルデータ通信 App 設定の変更を許	チェックを入れる。入れない。	
	可(*1)		
	アカウント設定の変更を許可 (*1)	チェックを入れる。入れない。	
	"友達を探す"設定の変更を許可 (*1)	チェックを入れる。入れない。	
	Game Center の使用を許可(*1)	チェックを入れる。入れない。	
	構成プロファイルのインストールを許可	チェックを入れる。入れない。	
	(*1)		
	YouTube の使用を許可(プリインアプリのみ		
	対象)	チェックを入れる。入れない。	
	※iOS 5 以前の端末にプリインストーされた		
	アプリのみ削除可能です		
	iTunes Store の使用を許可	チェックを入れる。入れない。	
【アプリケーション】	Podcast の使用を許可 (*1)	チェックを入れる。入れない。	
	Safari の使用を許可	チェックを入れる。入れない。	
	自動入力を有効にする	チェックを入れる。入れない。	
	強制的に詐欺警告	チェックを入れる。入れない。	
	JavaScriptを有効にする	チェックを入れる。入れない。	
	ポップアップを開かない	チェックを入れる。入れない。	
	 Cookie の受け入れ	 下記より選択	
		. 1 7:12	
-----------------	--------------------------------------	----------------	--
	AirDrop を許可 (*1)	チェックを入れる。入れない。	
	iBooks Store を許可(*1)	チェックを入れる。入れない。	
	iMessage を許可 (*1)	チェックを入れる。入れない。	
	App の削除を許可 (*1)	チェックを入れる。入れない。	
	バックアップを許可	チェックを入れる。入れない。	
	書類とデータを許可	チェックを入れる。入れない。	
	自分のフォトストリームを許可(許可しないと		
	データ損失の可能性あり	テェックを入れる。入れない。	
	iCloud での写真共有を許可	チェックを入れる。入れない。	
	iCloud キーチェーンを許可	チェックを入れる。入れない。	
	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー		
	存することを許可	チェックを入れる。入れない。	
	Apple への診断情報と使用状況データの送		
		チェックを入れる。入れない。	
	にという		
		チェックを入れる。入れない。	
	証明書信頼設定の目動アッファートを許 	チェックを入れる。入れない。	
	管理対象出力先で管理対象外ソースから	チェックを入れる。入れない。	
	の書類を許可		
【セキュリティとプライバシー】	管理対象外 App で管理対象 App から	チェックを入れる。入れない。	
	の書類を許可		
	Configurator 以外のホストとのペアリン	チェックを入れる 入れたい	
	グを許可 (*1)		
	制限の構成を許可 (*1)	チェックを入れる。入れない。	
	Handoff を許可	チェックを入れる。入れない。	
	Spotlight でインターネット検索結果を許		
	可	チェックを入れる。入れない。	
	最初の AirPlay ペアリングでパスコードを		
		チェックを入れる。入れない。	
	- 不適切な内容の音楽、Podcast、		
【コンテンツレーティング】	および iTunes U を許可	チェックを入れる。入れない。	
	iBooks Store で不適切た性的描写のある		
		チェックを入れる。入れない。	
【レーティングの地域】			
	「記みツ選八		
	・カナダ		
	・ドイツ		

	・フランス ・アイルランド	
	・日本	
	・ニュージーランド	
	・イギリス	
		下記より選択
		・ムービーを許可しない
		•G
	/. ―ビー	• PG
		• PG-13
		۰R
		• NC-17
		・すべてのムービーを許可
		下記より選択
		・テレビ番組を許可しない
		• TV-Y
		• TV-Y7
【許可されるコンテンツレーティング】 	テレビ番組	• TV-G
		• TV-PG
		• TV-14
		• TV-MA
		・すべてのテレビ番組を許可
		下記より選択
		・App を許可しない
		• 4+
	Арр	• 9+
		• 12+
		• 17+
		・すべての App を許可
		入力必須です。利用する Wi-Fi ネットワ
【Wi-Fi】		ー ークの SSID を入力してください。
		チェックを入れる。入れない。
	 プロキシ設定	なし、手動、自動から選択。
	プロキシサーバーの URL	必須。プロキシ設定を定義している PAC
	 PAC が到達不能の場合に直接接続を許可	プロキシ設定が「自動」な場合のみ、チ
	プロキシサーバーおとびポート	プロキシ設定が「毛動」な場合のみ マ
		~ □ ヽ ヽ 以 に ハ ・ ' 丁 刧」  は 物 ロ い い か 。 / 
		は十円数子りの入力可能。 
	フロキシユーザー名	フロキシ設定が「手動」な場合のみ。

	プロキシパスワード	プロキシ設定が「手動」な場合のみ。
	セキュリティの種類	「なし」、「WEP」、「WPA/WPA2 パーソ
		ナル」、「WPA2 パーソナル(AppleTV を除
		く iOS8 以降)」、「任意(パーソナル)」の
		いずれかを指定します。
	パスの接頭辞	パスの接頭辞を指定します。
	パスワード	「セキュリティの種類」が「なし」以外
		の場合にパスワードを設定します。
	下記より選択。	
	手動,自動	
【プロキシサーバーのドメイン名】(*1)	【タイプ】が「手動」の場合、入力必須で	す。半角英数字と記号のみ入力できます。
	【タイプ】が「手動」の場合、入力必須で	す。半角数字のみ入力できます。
[ホート] (^1)	0 以上 65535 以下で入力してください。	
	半角英数字と記号のみ入力できます。	
【ユーサー名】(*1) 	1 文字~255 文字で入力してください。	
	半角英数字と記号のみ入力できます。	
	1 文字~255 文字で入力してください。	
【プロキシ PAC の URL】(*1)	【タイプ】が「自動」の場合、入力必須で	す。
※iOS 7.0 以降のみ対応	半角英数字と記号のみ入力できます。	
【PAC が到着不能の場合に直接接続を許	+7	
可】(*1) ※iOS 7.0 以降のみ対応	9 ବ	チェックを入れる。入れない。
【キャプティブネットワークにアクセスする		
ためにプロキシのバイパスを許可】(*1)	する	チェックを入れる。入れない。
※iOS 7.0 以降のみ対応		
	下記より選択	
【許可された Web サイト】(*1)	・アダルトコンテンツを制限	
	・指定した Web サイトのみ	
	【許可された Web サイト】で「アダルトコンテ	ンツを制限」を選択した場合、入力必須です。
	1 文字~255 文字で入力してください。	
【許可さわ <i>t-</i> 11P1】(*1)	制御文字は入力しないでください。	
	1000 件以下にしてください。	
	重複しないものを入力してください。	
	http://または https://で始めてください。	
	【許可された Web サイト】で「アダルトコンテ	ンツを制限」を選択した場合、入力必須です。
	1 文字~255 文字で入力してください。	
【ブラックリストにある URL】(*1)	制御文字は入力しないでください。	
	1000 件以下にしてください。	
	重複しないものを入力してください。	
	http://または https://で始めてください。	
		【許可された Web サイト】で「指定した Web
【指定した Web サイト】(*1)	URL	サイトのみ」を選択した場合、入力必須で
		す。

		1 文字~255 文字で入力してください。
		制御文字は入力しないでください。
		http://または https://で始めてください。
	名前	1 文字~30 文字で入力してください。
		制御文字は入力しないでください。
		1 文字~255 文字で入力してください。
	<u> </u>	制御文字は入力しないでください。
	アカウントの説明	電子メールアカウントの説明を文字
		列として入力してください。
	アカウントの種類	POP、MAP のいずれかを指定。
	パスの接頭辞	パスの接頭辞を文字列として入力し
		てください。
	 ユーザ表示名	アカウントの完全ユーザ名を文字列
		として入力してください。
	メールアドレス	完全電子メールアドレスを文字列と
		して入力してください。
	 ユーザがこのアカウントからメッセ	チェックを入れる。入れない。
	ージを移動することを許可	
	最近使ったアドレスの同期を許可	チェックを入れる。入れない。
	Mailのみで使用	チェックを入れる。入れない。
	メールサーバ(受信)	受信メールサーバのホスト名(または
		受信メールサーバのポート番号を半
【メール】		「魚数字と」て入力」てください
	コーザタ(受信)	雪子メールアカウントのコーザ名を
		EmailAuthPassword EmailAuthNone
		CITIAIIAUITFASSWOIU、ETHAIIAUITNOILE
	SSL を使用(受信)	チェックを入れる。入れない。
	メールサーバ(送信) 	受信メールサーバのホスト名(または
		IP アドレス)を文字列として人力し
		てください。
	ポート(送信)	受信メールサーバのポート番号を半
		角数字として入力。
	ユーザ名(送信)	電子メールアカウントのユーザ名を
		文字列として入力してください。
	認証のタイプ(送信)	EmailAuthPassword、EmailAuthNone
		のいずれか。
	POP/IMAP と同じパスワードを使用	チェックを入れる。入れない。

	する	
	パスワード(送信)	送信メールサーバのパスワードを文
		字列として入力してください。
	SSL を使用(送信)	チェックを入れる。入れない。
【ドメイン】	マークされていないメールドメイン	リストとして追加してください。
	管理対象の Safari Web ドメイン	リストとして追加してください。

音声ローミングやデータローミングの有効/無効を設定する機能です。

🍘 🗰 🖬 - ローミング設定 - Windows Internet	Explorer	×
O V E Han ( ha here a p 's)	geweihl, beinerk besten hanning a 👻 🔒 😚 🗙 🖓 Google	<del>،</del> م
☆ お気に入り		
【企業名】		管理者としてログイン中
トッフ	クローマップ   機器    メニュー  >   ローミンク設定	
	新規作成	
	観定	
	設定-編集中	
	① 設定名	
	<ul> <li>② 音声ローミング設定 ※IOS 5.0以降のみ対応</li> <li>● 有効にする</li> </ul>	
	◎ 無効にする	
	<ul> <li>データローミング設定 ※ЮS 5.0以降のみ対応</li> <li>● 有効にする</li> <li>● 無効にする</li> </ul>	
	✔ 保存	
<b>★ ↓</b> 1/0 <b>→ →</b>		-

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	音声ローミング設定	有効にする:音声ローミング設定を有効にします。   無効にする:音声ローミング設定を無効にします。
3	データローミング設定	有効にする : データローミング設定を有効にします。   無効にする : データローミング設定を無効にします。

# 3.15.5.1 ローミング設定画面を表示する

ローミング設定画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [ローミング設定]をクリックします。

### 3.15.5.2 ローミング設定の設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. ローミング設定画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

#### 【音声ローミング設定】

音声ローミングの有効/無効を指定します。本機能は iOS 5.1.1 以降のみ対応しています。

有効にする:音声ローミングを行います。

無効にする:音声ローミングを行いません。

【データローミング設定】

データローミングの有効/無効を指定します。本機能は iOS 5.1.1 以降のみ対応しています。

有効にする:データローミングを行います。

無効にする:データローミングを行いません。

#### 3.15.5.3 ローミング設定の設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、ローミング設定の設定セットを新規作成する場合と同様です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

### 3.15.5.4 ローミング設定の設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.15.5.6 ローミング設定の設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 3.15.5.7 ローミング設定の設定セット入力値

ローミング設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。
	下記より選択
【音声ローミング設定】	・有効にする
	・無効にする
	下記より選択
【データローミング設定】	・有効にする
	・無効にする

iOS 機器のアプリケーションに対する設定および、設定セットの作成を行います。「アプリケーション配信」「アプリケーシ ョン検知」に関しては、設定セットの作成後、機器一括設定および、機器ごとの設定にて適用してくださ い。設定項目および、作成可能な設定セットは以下のとおりです。

設定項目名	可能な操作
<u> VPP ライセンス</u>	<u>VPP ライセンスの設定セットを新規作成する</u> <u>VPP ライセンスの設定セットを編集する</u> <u>VPP ライセンスの設定セットを複製する</u> <u>VPP ライセンスの設定セットを削除する</u> <u>VPP ライセンスの設定セットをまとめて削除する</u>
<u>VPP 設定テンプレート</u>	<u>VPP 設定テンプレートを新規作成する</u> <u>VPP 設定テンプレートを複製する</u> <u>VPP 設定テンプレートを削除する</u> <u>VPP 設定テンプレートをまとめて削除する</u>
<u>管理対象アプリポリシー</u>	<u>管理対象アプリポリシーの設定セットを新規作成する</u> 管理対象アプリポリシーの設定セットを編集する 管理対象アプリポリシーの設定セットを複製する 管理対象アプリポリシーの設定セットを削除する 管理対象アプリポリシーの設定セットをまとめて削除する
<u>オリジナルアプリ登録</u>	<u>オリジナルアプリをアップロードする</u> マニフェストファイルをダウンロードする <u>オリジナルアプリを登録する</u> <u>オリジナルアプリを編集する</u> <u>オリジナルアプリを削除する</u> <u>オリジナルアプリをまとめて削除する</u>
<u>アプリケーション配信</u>	<u>アプリケーション配信の設定セットを新規作成する</u> アプリケーション配信の設定セットを編集する アプリケーション配信の設定セットを複製する アプリケーション配信の設定セットを削除する アプリケーション配信の設定セットをまとめて削除する
<u>アプリケーション検知</u>	アプリケーション検知の設定セットを新規作成する アプリケーション検知の設定セットを編集する アプリケーション検知の設定セットを複製する アプリケーション検知の設定セットを削除する アプリケーション検知の設定セットをまとめて削除する

# 3.16.1 VPP ライセンス

Apple 社の提供する Volume Purchase Program (VPP) を利用して、App Store から提供されるアプリケーションのライセン ス管理とアプリケーション配信を行います。当画面の「アプリケーション」タブからライセンスの残数、付与状況を確認し、 各ユーザーにアプリケーションを割り当てることが可能です。VPP ライセンスを管理するには、VPP ストアから VPP トーク ンをダウンロードする必要があります。

VPP ライセンスの管理には、本画面と「VPP 設定テンプレート」「管理対象アプリポリシー」「アプリケーション配信」画面 を使用します。各画面の役割と VPP アプリケーション配布のステップは以下の通りです。



項番	対象	説明
1	VPP ライセンス(「管	VPP トークンのアップロード。アップロード済みのトークンファイルの有効期限
	理」タブ)	の確認。詳細は 336 ページを参照してください。
2	VPP 設定テンプレート	ユーザーと組織を対象に VPP アプリケーションを配布する際のテンプレートを作
		成。詳細は 340 ページを参照してください。
3	ユーザー・組織画面	VPP テンプレートで作成したテンプレートの適用することで、VPP ライセンスを
	(「VPP」タブ)	仮当てすることができます。詳細は 129 ページを参照してください。
4	VPP ライセンス(「アプ	VPP ライセンスの残数、保有数の確認。②で仮当てしたライセンスを実際にユー
	リケーション」タブ)	ザーと組織に付与します。詳細は 337 ページを参照してください。
5	管理対象アプリポリシ	VPP 付与のポリシーを作成します。詳細は 343 ページを参照してください。
	—	
6	アプリケーション配信	「管理対象アプリポリシー」で作成したポリシーを適用し、配信対象のアプリケ
		ーションに VPP ライセンスを付与します。詳細は 350 ページを参照してください。

※VPP トークンファイルの詳細については、Apple 社の「Volume Purchase Program (VPP)」に関する情報を参照してくだ さい。

※本機能では VPP で購入したアプリのみを対象とします。

※VPP トークンの有効期限は1年間です。1年に1回の更新が必要です。

※アプリケーションの VPP ライセンスを機器に対して直接付与することはできません。機器にライセンスを付与する際には、 「機器」画面の「管理」タブの「所属」より「組織」または「ユーザー」を選択して、機器をユーザーまたは組織に紐づける 必要があります。次にユーザーまたは組織に対してライセンスを付与することで、機器に対してライセンスを付与します。

※「ユーザー」または「組織」画面の「VPP タブ」で割り当てたライセンスは、本画面の「アプリケーション」タブで、「未 割当数」としてカウントされます。この状態では実際にはライセンスは付与されていません。「未割当数」の左の「割当」カ ラムから「反映」をクリックして付与を行います。

※「ユーザー」または「組織」画面の「VPP」タブからライセンスを付与すると、当画面の「アプリケーション」タブに「未 割当数」としてカウントされます。この状態ではライセンスは付与されていない状態なので、「反映」をクリックしてライセ ンスを付与します。

※ユーザーからライセンスを回収すると、対象のアプリケーションはユーザーの端末のホーム画面から削除されます。

VPP ライセンス画面

VPP ライセンス画面は「管理」タブと「アプリケーション」タブから設定を行います。

「管理」タブでは VPP トークンのアップロードを行い、「アプリケーション」タブでライセンスの割当を行います。

※「管理」タブに関しては以下を参照してください。

⇒管理タブ 336 ページ

※「アプリケーション」タブに関しては以下を参照してください。

⇒アプリケーションタブ 337 ページ

# 【管理】タブ

VPP トークンのアップロードを行います。

CONTRACTOR - VPPライセンス - Windows Internet Ex	plorer ·	- • ×
	🔽 💼 🖓 🗙 🖓 Google	۰ م
🚖 お気に入り 🕢 - VPPライセンス		
【企業名】 トップ	マップ 機器 メニュー > VPPライセンス	管理者としてログイン中 ログアウト
+ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	VPP VPP設定テンプレート	*
	管理 アブリケーション	操作 ▼
C	axxと「##来干 アガウント名	
G		参照
	✔ 保存 り 取消	
	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	

項番	対象	説明
1	アカウント名	ライセンスに関連付けるアカウント名を入力します。
2	VPP トークンアップロ ード	管理サイトにアップロードする VPP トークンを選択します。

### 【アプリケーション】タブ

アプリケーションタブでは、アプリケーション名、所持数、設定可能数などライセンスに含まれるアプリケーションに関す る詳細が表示されます。またライセンスの仮当て対象ユーザー(または組織)にライセンスの割当を行います。割当済みライ センスの回収も当画面で行うことが可能です。



項番	対象	説明
1	アプリケーション名	VPP トークンに含まれるアプリケーションの名前。
2	所持数	保有するライセンスの総数。
3	使用数	保有するライセンスの内、ユーザーに割り当てられたライセンスの数。
4	残数	保有ライセンスの数から、割り当て済みのライセンス数を差し引いた残数。
5	未割当数	「ユーザー」または「組織」画面の「VPP」タブからライセンスを仮当てられた、
		ユーザー数です。右の[反映]をクリックして、ライセンスを付与してください。
6	詳細	アプリケーション詳細へのリンク。
$\bigcirc$	割当	「未割当数」としてカウントされているユーザーに対してライセンスを付与します。「未割当数」のユーザーはライセンス割り当て後に、「使用数」のユーザーとしてカウントされます。
		※[反映]をクリックした後に「未割当数」「使用数」が更新されない場合は、当画   面を再読み込みしてください。
8	回収	「ユーザー」または「組織」画面の「VPP」タブから削除された VPP ライセンス の回収(ライセンスの割り当て解除)を行います。「使用数」の該当ユーザーは、「残 数」としてカウントされます。ユーザーからライセンスを回収すると、対象のア プリケーションはユーザーの端末のホーム画面から削除されます。 ※[実行]をクリックした後に「使用数」「残数」が更新されない無い場合は、当画 面を再読み込みしてください。

### 3.16.1.1 VPP ライセンス画面を表示する

VPP ライセンス画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [VPP ライセンス]をクリックします。

# 3.16.1.2 VPP ライセンスの設定セットを新規作成する

VPP ライセンスの設定セットを作成します。

- 1. VPP ライセンス画面より[新規作成] 🛨 をクリックします。
- 2. [ファイルを選択]をクリックし、アップロードする VPP トークンファイルを選択します。
- 3. [保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【アカウント名】

VPP ライセンスに関連付けるアカウント名を指定します。

【ファイルを選択】

アップロードする VPP トークンファイルを選択します。

#### 3.16.1.3 VPP ライセンスの設定セットを編集する

作成済みのライセンスを編集します。設定名の変更とアカウントの再選択が可能です。

- 1. ライセンス一覧より対象とするライセンスをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

#### 3.16.1.4 VPP ライセンスの設定セットを複製する

作成済みのライセンスを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とするライセンスをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

## 3.16.1.5 VPP ライセンスの設定セットを削除する

作成済みのライセンスを削除します。

- 1. ライセンス一覧より対象とするライセンスをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 3.16.1.6 VPP ライセンスの設定セットをまとめて削除する

作成済みの VPP ライセンスを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. ライセンス一覧より対象とするライセンスのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 3.16.1.7 VPP ライセンスの設定セット入力値

VPP ライセンスの設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【アカウント名】	入力必須です。
	設定内で重複はできません。
	制御文字は入力できません。
	30 文字以内で入力してください。

VPP を配布するための設定テンプレートを作成します。ユーザーと組織の VPP 設定作成時に VPP 配布テンプレートを適用 することで VPP 設定を簡単に行うことが可能です。

VPP 設定テンプレートを作成するには「VPP ライセンス」334 ページから、VPP トークンファイルをアップロードし、VPP アカウント名を登録します。トークンファイルに記述されたライセンス情報は、指定したアカウント名を通じて管理可能に なります。この時登録したアカウント名を本画面のアカウント情報として選択することで、テンプレートを使用したライセ ンス管理が可能になります。作成したテンプレートを新規ユーザーと組織の VPP 設定作成時に適用することで、VPP を使用 したライセンスの付与が簡単になります。

またアプリケーションを配信する際に、VPP アプリライセンスを自動的に付与することが可能です。「管理対象アプリポリ シー」343 ページでアプリライセンスのポリシーを作成し、「アプリケーション配信」350 ページで作成したポリシーを選択 してください。

#### 【注意事項】

◆VPP トークンファイルの詳細については、Apple 社の「Volume Purchase Program (VPP)」に関する情報を参照してください。

@ 0,000 Hz -	- Windows Internet Expl	vrer ·	- • ×
00-	Petige - to control approximation of the	💌 🗐 🖓 🗙 🖓 Google	+ م
🏠 お気に入り	Sidowa Hi - magazina		
	【企業名】		管理者としてログイン中
	トップ	マッブ 機器 メニュー > VPP設定テンプレート	ログアウト
	~	新規作成	
		設定	
	1	スンペー 1480パトト テンプレート名	
	2	VPP管理配布登録 VPPライセンス	
	3	VPPアブリライセンス付与 アブリケーション名 ガイ バージョ ズ ン	言¥細
		✓ (+ボタンで追加: 50件まで)	詳□ × 細 ×
		✓ 保存	
	Ţ		
	111		

項番	対象	説明
1	テンプレート名	・VPP 設定テンプレートの設定名
2	VPP 管理配布登録	・VPP ライセンス :「VPP ライセンス」334 ページ で作成したアカウント名を 指定します。

3	VPP アプリライセンス	VPP設定テンプレートの適用により付与されるライセンスの詳細を表示します。
	19 <del>7</del>	・アフリケーション  ・サイズ
		・バージョン
		<ul> <li>・詳細</li> </ul>
3.16.2.1 VPP 設定テンプレート画面を表示します。		

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [VPP 設定テンプレート]をクリックします。

### 3.16.2.2 VPP 設定テンプレートを新規作成する

VPP 設定テンプレートを作成します。

- 1. VPP 設定テンプレート画面より[新規作成] 🛨 をクリックします。
- 2. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【テンプレート名】

設定セットの名称を指定します。

【VPP 管理配布登録】

#### 【VPP ライセンス】

「VPP ライセンス」334 ページ で作成したアカウント名を指定します。

#### 【VPP アプリライセンス付与】

VPP 設定テンプレートの適用により付与されるライセンスの詳細を表示します。

- アプリケーション:編集画面ではプルダウンメニューからアプリケーションが選択可能です。
- ・サイズ:アプリケーションのサイズを表示。
- ・バージョン:アプリケーションのバージョンを表示。
- ・詳細:アプリケーションの詳細を表示。

### 3.16.2.3 VPP 設定テンプレートを編集する

作成済みのテンプレートを編集します。設定名の変更とアカウントの再選択が可能です。また「アプリケーション名」のプル ダウンメニューからアプリケーションを選択することで、ライセンスを付与したいアプリケーションを選択できます。 またアプリケーションの右端に表示された 🔀 をクリックして特定のアプリケーションのライセンスを削除できます。

- 1. テンプレートー覧より対象とするテンプレートをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

作成済みのテンプレートを複製します。

- 1. テンプレートー覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

### 3.16.2.5 VPP 設定テンプレートを削除する

作成済みのテンプレートを削除します。

- 1. テンプレートー覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 3.16.2.6 VPP 設定テンプレートをまとめて削除する

作成済みのテンプレートを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. テンプレートー覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 3.16.2.7 VPP 設定テンプレート入力値

VPP 設定テンプレートの設定では下記入力ルールで設定を行います。

大項目名	小項目名	ルール
【設定名】	テンプレート名	入力必須です。
		設定内で重複はできません。
		制御文字は入力できません。
		30 文字以内で入力してください。
【VPP 管理配布登録】	VPP ライセンス	「VPP ライセンス」で作成したアカウント名を選択します。
【VPP アプリライセンス付与】	アプリケーション名	アプリケーションをプルダウンメニューより選択します。

アプリケーションを配信する際に、VPP アプリライセンスを自動的に付与することが可能です。本画面でアプリライセンスのポリシーを作成し、「アプリケーション配信」350ページ)画面で作成したポリシーを選択してください。

🍘 🚥 - VPPライセンス - Windows Internet Explorer	- • ×
	+ م
☆ お気に入り - 管理対象アプリポリシー	
【企業名】	者としてログイン中
トッブ マッブ 機器 メニュー > 管理対象アブリボリシー	ログアウト
<ul> <li>         ・         ・         ・</li></ul>	
設定	
ポリシー名 管理対象アプリポリシー	
② VPPアプリライセンス付与 VPPライセンスを利用しない	
3 Per app VPN Per app VPNを利用しない	
/ 編集	
	_
v	
	÷

項番	対象	説明
1	ポリシー名	管理対象アプリポリシーの名前。
2	VPP アプリライセンス 付与	チェックボックスをオンにすると配信対象アプリに VPP アプリライセンスが付 与されます。
3	Per app VPN	「Per app VPN を利用する」チェックボックスをオンにして Per app VPN 構成 プロファイルの作成を行います。
		チェックボックスがオンになると、80 ページ「VPN 設定(iOS 機器のみ)」にて 表示される VPN 設定フィールドが表示されます。 ※Per app VPN では L2TP、PPTP 接続タイプは使用できません。 ※Per app VPN ではユーザー認証方式が証明書方式のみとなります。

### 3.16.3.1 管理対象アプリポリシー画面を表示する

管理対象アプリポリシー画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [管理対象アプリポリシー]をクリックします。

## 3.16.3.2 管理対象アプリポリシーの設定セットを新規作成する

管理対象アプリポリシーを作成します。

1. 管理対象アプリポリシー画面より[新規作成] 🛨 をクリックします。

2. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【ポリシー名】

ポリシー名を指定します。

【VPP アプリライセンス付与】

付与する場合にチェックボックスをオンにしてください。

【Per app VPN を利用する】

利用する場合にチェックボックスをオンにしてください。

### 3.16.3.3 管理対象アプリポリシーの設定セットを編集する

作成済みのアポリポリシーを編集します。設定名の変更とアカウントの再選択が可能です。

- 1. アプリポリシーー覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

#### 3.16.3.4 管理対象アプリポリシーの設定セットを複製する

作成済みのアプリポリシーを複製します。

- 1. アプリポリシーー覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

# 3.16.3.5 管理対象アプリポリシーの設定セットを削除する

作成済みのアプリポリシーを削除します。

- 1. アプリポリシーー覧より対象とするアプリポリシーをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 3.16.3.6 管理対象アプリポリシーの設定セットをまとめて削除する

作成済みのアプリポリシーを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. アプリポリシーー覧より対象とするアプリポリシーのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 3.16.3.7 管理対象アプリポリシーの設定セット入力値

管理対象アプリポリシーの設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【ポリシー名】	入力必須です。
	設定内で重複はできません。
	制御文字は入力できません。
	30 文字以内で入力してください。
【VPP アプリライセンス付与】	使用する場合はチェックします。

アプリケーション配信でオリジナルアプリを配信する場合は、当画面で配信対象のアプリを事前に登録する必要があります。 アプリ登録は、「アプリのアップロード」→「マニフェストファイルのダウンロード」→「ダウンロードしたマニフェストフ ァイルを用いてアプリを登録」という流れで行います。

🍘 🖬 📲 📲 👘 👘 👘 👘 🖉 - オリジナルアプリ登録 - Windows Internet Explorer	
	<del>،</del> م
😭 お気に入り	
【企業名】	管理者としてログイン中
トップ マップ 機器 メニュー > オリジナルアプリ登録	ログアウト
◆ ▼ ^ 新規作成	アプリアップロード @
設定	
設定	
<ol> <li>マニフェストファイル</li> <li>ファイルを選択 選択されていません</li> </ol>	
※オリジナルアプリのアップロード後に生成される。配布用マニフェストファイルを登録してく アプリのアップロードは画面右上の「アプリアップロード」ボタンから行えます。	(ださい。オリジナル
2	
	=
3 ノアイルを選択 選択されていません	
<ul> <li>イコンスは12×512/2010のPK(GB)(*)</li> <li>ファイルを選択 選択されていません</li> </ul>	
5 プロビジョニングプロファイル ファイルを選択 選択されていません	
※有効期限を管理する場合は、ブロビジョニングプロファイルをアップロードしてください。	
✔ 保存	
	-

項番	対象	説明
1	マニフェスト	登録対象とするオリジナルアプリのマニフェストファイルを選択します。
	ファイル	
2	アイコン	アイコンの有無を指定します。
3	アイコン小	アイコンファイルを選択します。
	(57×57 ピクセル	
	の PNG 画像)	
4	アイコン大	アイコンファイルを選択します。
	(512×512 ピクセルの	
	PNG 画像)	
5	プロビジョニングプ	プロビジョニングプロファイルを選択します。
	ロファイル	※有効期限を管理する場合は、プロビジョニングプロファイルをアップロードしてください

# 3.16.4.1 オリジナルアプリ登録画面を表示する

オリジナルアプリ登録画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [オリジナルアプリ登録]をクリックします。

登録するためのオリジナルアプリをアップロードします。既に登録対象とするアプリがアップロード済みの場合は不要です。 アップロード後はマニフェストファイルのダウンロード画面が表示されます。マニフェストファイルはオリジナルアプリの 登録に必要となります。

1. オリジナルアプリ登録画面を表示します。

- 2. [新規作成] + をクリックします。既に[アプリアップロード]が表示されている場合は不要です。
- 3. [アプリアップロード]をクリックします。
- 4. 表示された画面上で、[アップロード]タブをクリックします。
- 5. アップロードするアプリとマニフェストファイルを指定します。必ずペアで指定する必要があります。
- 6. [アップロード]をクリックします。
- 7. 表示されるリンクをクリックしてマニフェストファイルをダウンロードします。

※必ずしも手順7でマニフェストファイルをダウンロードする必要はありません。

次項の「マニフェストファイルをダウンロードする」にて、いつでもダウンロードが可能です。

### 3.16.4.3 マニフェストファイルをダウンロードする

オリジナルアプリの登録に必要なマニフェストファイルをダウンロードします。前項の手順7でダウンロード済みの場合は 不要です。

1. オリジナルアプリ登録画面を表示します。

- 2. [新規作成] + をクリックします。既に[アプリアップロード]が表示されている場合は不要です。
- 3. [アプリアップロード]をクリックします。
- 現在アップロードされているマニフェストファイルの一覧が表示されます。
   任意のマニフェストファイルをダウンロードしてください。

#### 3.16.4.4 オリジナルアプリを登録する

アップロード済みのオリジナルアプリを登録します。登録にはアプリとペアになるマニフェストファイルが必要となります。

1. オリジナルアプリ登録画面を表示します。

- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※オリジナルアプリの登録の際に必要なファイルはアプリケーションプログラム(\*.ipa)とマニュフェストファイル(\*.plist)です。

Xcode の Organizer で書き出す際に「Save for Enterprise Distribution」にチェックを入れます。「Application URL」は [http://test.com]などのダミーURL を入力します。また「Title」は利用者に表示されるアプリ名となりますので、アプリ名 を入力してください。(その他の値は入れる必要はありません)

開発会社に依頼している場合は上記注意をお伝えいただければ、問題なく2つのファイルを納品いただけます。

(必要に応じてアイコン画像(57×57,512×512の PNG 形式)もご用意ください。)

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【マニフェストファイル】

登録対象アプリとペアとなるマニフェストファイルを指定します。指定するマニフェストファイルは事前にダウンロー ドしておく必要があります。ダウンロードは前述のいずれかの方法で行ってください。

【アイコン】

アイコンの有無を指定します。「あり」を選択した場合のみ後述のアイコン画像の指定が可能となります。

あり:アイコンがある場合に選択します。

なし:アイコンが無い場合に選択します。

【アイコン小(57×57 ピクセルの PNG 画像)】

アイコン小(57×57 ピクセルの PNG 画像)を指定します。

【アイコン大(512×512 ピクセルの PNG 画像)】

アイコン大(512×512 ピクセルの PNG 画像)を指定します。

【プロビジョニングプロファイル】

プロビジョニングプロファイルを指定します。

※有効期限を管理する場合は、プロビジョニングプロファイルを指定します。

## 3.16.4.5 オリジナルアプリを編集する

登録済みのオリジナルアプリを編集します。入力項目に関しては、オリジナルアプリを登録する場合と同様です。

- 1. オリジナルアプリー覧より対象とするオリジナルアプリをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. [アップロード]をチェックします。
- 4. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

## 3.16.4.6 オリジナルアプリを削除する

登録済みのオリジナルアプリを削除します。

- 1. オリジナルアプリー覧より対象とするオリジナルアプリをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

登録済みのオリジナルアプリを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能で す。

1. オリジナルアプリー覧より対象とするオリジナルアプリのチェックボックスにチェックを入れます。

- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 3.16.4.8 オリジナルアプリ登録の入力値

オリジナルアプリ登録では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【アイコン】	下記より選択
	- あり
	・なし

指定したアプリケーションのダウンロード案内を機器に通知することができます。

【注意事項】

- ◆管理オプションにチェックが入っていた場合で、端末が監視対象端末(「用語集」462 ページ参照)だった場合は、アプリケーションはサイ レントインストールされます。詳細は、「■アプリケーション配信の設定セットを新規作成する」351 ページの【オリジナルアプリー覧】 を参照してください。
- ◆アプリケーションを配信する際に、VPP アプリライセンスを自動的に付与する場合は、「管理対象ポリシー」343 ページ を設定してく ださい。
- ◆アプリケーション配信を行うと、対象のiOS端末にユーザーに VPP アプリケーションによる割り当て許可を求める確認画面が表示され ます(VPP アプリケーションの初回配布のみ)。端末ユーザーの同意後の同期が開始されると、VPP アプリケーションの配布が開始され ます。また、ユーザーが同意を拒否した場合は、8 時間が経過した後の同期時に再度確認画面が表示されます。この確認画面の詳細に ついては「iPhone/iPad 向けユーザーマニュアル」の「VPP アプリケーションの割り当てを許可する」をご参照ください。

	アプリケー ×			☆ 🕸
【企業名】			管理者とし	てログイン中
トップ	┃ マップ ┃ 機器 ┃ メニュー  > ア	プリケーション配信		<u> </u>
00	新規作成			
	設定			- 11
	設定 - 編集中			
0	設定名 〒スト			
2	オリジナルアブリー覧 アブリケーション名 (+ボタンで追加: 50件まで)	管理   バックアップ	ポリシー	
	※事前にオリジナルアブリ登録をおこなってください。「メニ: ブリを登録できます。 ※「管理」および「バックアップ」はDS 50以降のみ対応	ュー ]→「オリジナルアプリ登	診録」から、オリジラ	+ <i>ルア</i>
3	App Storeアブリー覧			更新
	Store D アブリケーション名	管理 バックアップ	ポリシー	
	284417350	🗹 有効 📃 許可	管理対象ア プリポリシー がありませ ム.	8
	(+ボタンで追加: 50件まで)		700	0
	※Store DICは、App StoreアブリケーションのURLに含まれ URL[https://itunes.apple.com/jp/app/example/id/Store II ※インストールするICは、機器ICApple Dが設定済みである ※「管理」およびIバックアップ1は105 50以降のみ対応	、るIDを入力してください。 ≫?mt=8」のくStore ID>の部 ≫必要があります。	汾になります。	
	<ul> <li>✔ 保存</li> </ul>			
	·			
		<u>w</u> ze		-

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	オリジナルアプリー覧	登録済みのオリジナルアプリを選択します。オリジナルアプリの登録方法は「オリ ジナルアプリ登録」346 ページを参照してください。また、管理対象アプリの有 無、バックアップ、Per app VPN 設定も指定可能です。 ※[追加] ・ をクリックすると、入力欄が追加されます。 ※[削除] × をクリックすると、入力欄が削除されます。

3	App Store アプリー覧	Store ID を入力し、[更新]をクリックすると、App Store よりダウンロードされた アプリが反映されます。Store ID を入力し、 [更新]をクリックすると App Store
		よりダウンロードされたアプリが反映されます。また、管理対象アプリの有無、
		バックアップ、Per app VPN 設定も指定可能です。  ※[追加] ➡ をクリックすると、入力欄が追加されます。
		※[削除] × をクリックすると、入力欄が削除されます。

※「管理」カラムのチェックボックスでの設定に関しては「管理対象の Safari Web ドメイン」(322 ページ)を参照してく ださい。このチェックボックスにチェックを入れずにアプリを送信した場合、アプリのバージョンアップが正しく行えなく なる場合があります(既にインストールされていると判断されるため)。この場合、アプリケーションを一度削除してから、 再度配信を行ってください。

## 3.16.5.1 アプリケーション配信画面を表示する

アプリケーション配信画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [アプリケーション配信]をクリックします。

### 3.16.5.2 アプリケーション配信の設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. アプリケーション配信画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【オリジナルアプリー覧】

端末へ配信するオリジナルアプリを設定します。

アプリケーション:アプリケーションを指定します。オリジナルアプリ登録 346 ページで登録したアプリケーションを 指定可能です。設定保存後は、アプリケーション ID およびバージョンが自動表示されます。

※下記、2項目はオプションであり、アプリケーション配信の「アプリケーション管理」を利用している企業のみご利用 いただけます。詳細は、管理者にお問い合わせください。

- 管理:管理対象アプリとして配信する場合は、チェックします。※iOS5.1.1以降にのみ対応しています。
  - ここにチェックを入れると、下記2点が可能となります。
  - アプリケーションのデータのバックアップ制御⇒次項「バックアップ」参照
  - ・アプリケーションとそれに関連付けられたデータを必要に応じて削除
  - ⇒「機器の管理領域のデータを削除する(iOS 機器)」71 ページ参照

また、ここにチェックが入っており、端末が監視対象端末(用語集 462 ページ参照)の場合は、アプリケーション はサイレントインストールされます。

- バックアップ:アプリケーションのデータをiTunesまたはiCloudにバックアップすることを許可する場合は、チェックします。「管理」にチェックが入っている場合のみ指定可能です。※iOS5.1.1 以降にのみ対応しています。 なお、アプリインストール後にバックアップの「許可/禁止」の設定内容の変更はできません。変更する場合は、アプリのアンインストール/インストールを行ってください。
- ポリシー:「管理対象アプリポリシー」343 ページで作成したポリシーを指定することで、VPP アプリライセンスまた は Per app VPN 設定を適用することが可能です。ポリシーに VPP と Per app VPN の片方または両方が設定さ れていた場合、以下の挙動となります。
  - ・VPP 有効化のみを定義したポリシー:オリジナルアプリー覧のポリシー選択では列挙されません。
  - ・Per app VPN のみの利用を有効にしたポリシー/
  - 両方の機能を指定したポリシー:オリジナルアプリー覧で選択された場合、VPP 有効化は無視されます。

【App Store アプリー覧】

端末へ配信する App Store アプリを設定します。

Store ID: Store ID を指定します。入力後に[更新]または[保存]をクリックすると以降の情報を自動取得して表示します。 アプリケーション名:アプリケーション名を表示します。

サイズ:サイズを表示します。

バージョン:バージョンを表示します。

詳細:詳細を表示します。

※下記、2項目はオプションであり、アプリケーション配信の「アプリケーション管理」を利用している企業のみご利用いた だけます。詳細は、管理者にお問い合わせください。

- 管理:管理対象アプリとして配信する場合は、チェックします。※iOS5.1.1以降にのみ対応しています。 ここにチェックを入れると、下記2点が可能となります。
  - ・アプリケーションのデータのバックアップ制御⇒次項「バックアップ」参照
  - ・アプリケーションとそれに関連付けられたデータを必要に応じて削除

⇒「機器の管理領域のデータを削除する(iOS 機器)」71 ページ参照

また、ここにチェックが入っており、端末が監視対象端末(用語集 462 ページ参照)の場合は、アプリケーション はサイレントインストールされます。

バックアップ:アプリケーションのデータを iTunes または iCloud にバックアップすることを許可する場合は、チェック します。「管理」にチェックが入っている場合のみ指定可能です。※iOS5.1.1 以降にのみ対応していま す。

### 3.16.5.3 アプリケーション配信の設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、アプリケーション配信の設定セットを新規作成する場合と同様です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

### 3.16.5.4 アプリケーション配信の設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

#### 3.16.5.5 アプリケーション配信の設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セットー覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.16.5.6 アプリケーション配信の設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 3.16.5.7 アプリケーション配信の設定セット入力値

アプリケーション配信の設定では下記入力ルールで設定を行います。

大項目名	小項目名	ルール
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。	
【オリジナルアプリー覧】	アプリケーション	設定内で重複はできません。
		プルダウンメニューでオリジナルアプリを選択します。
	管理	チェックを入れる。入れない。
	バックアップ	チェックを入れる。入れない。
	ポリシー	管理対象アプリポリシーを選択。もしくは空欄。
【App Store アプリー覧】	Store ID	設定内で重複はできません。

		半角数字のみ入力できます。
		0 以上 2147483647 以下で入力してください。
	アプリケーション名	Store ID 入力後に[更新]、または[保存]をクリックして
		自動取得してください。
	管理	チェックを入れる。入れない。
	バックアップ	チェックを入れる。入れない。
	ポリシー	管理対象アプリポリシーを選択。もしくは空欄。

機器のアプリケーション一覧を取得し、指定した条件と一致するアプリケーションを検知し、ログ表示する機能です。機器 に指定するアプリケーションがインストールされていないことを確認する(インストール推奨アプリケーション)、もしくは、 指定するアプリケーションがインストールされていることを確認する(インストール非推奨アプリケーション)ことができま す。アプリケーションの検知は、機器ごとに1日1回ランダムなタイミングで実行します。

【注意事項】

◆プリインストールアプリは検知対象外です。

0	- 77 - Tamitina - Marin Marine - 77	- レテーション検知 - Windows Internet Explorer
	お気に入り	- 77
	【企筹	答】 管理者としてログイン中 ドップ マップ 機器 メニュー > アプリケーション検知 ログアウト
	+ -	新規作成
		設定
		設定 - 編集中
		① 設定名
		② インストール推奨アプリケーション アプリケーション名 アプリケーション の バージョン条件 (+ボタンで追加: 50件まで)
		※検知対象アブリケーションのバージョンがビリオド「J区切りの数字でない場合、バージョン条件は無視されます。
		インストール非推奨アブリケーション       バージョン名       アブリケーション         アブリケーション名       アブリケーション       バージョン条件         (+ボタンで追加: 50件まで)       ・       ・
		※検知対象アプリケーションのハーションかビリオト「J区切りの数字でない場合、ハーション条件は無視されます。 ✔ 保存
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	インストール推奨アプ リケーション	<ul> <li>・アプリケーション名:アプリケーション名を入力します。(アプリケーション名はお好きなものを入力してください。)</li> <li>・アプリケーション ID:アプリケーション ID を入力します。(アプリケーション ID は機器のアプリケーション詳細情報画面で確認してください。詳細情報画面の表示方法は「アプリケーションの詳細を確認する」48 ページを参照してください。)</li> <li>・バージョン条件:バージョン条件を設定します。</li> <li>※[追加]</li> <li>※[追加]</li> <li>をクリックすると、入力欄が追加されます。</li> </ul>
		≪ 入刀例 ≫ ABC アプリのバージョン 2.0 以上を推奨アプリケーションにする場合 アプリケーション名:ABC アプリ アプリケーション ID:abcxxxxxx バージョン条件:≧2.0

3	インストール非推奨ア	・アプリケーション名:アプリケーション名を入力します。(アプリケーション名
Ŭ	プリケーション	はお好きなものを入力してください。)
		・アプリケーション ID: アプリケーション ID を入力します。(アプリケーション
		ID は機器のアプリケーション詳細情報画面で確認してください。詳細情報画面の
		表示方法は「アプリケーションの詳細を確認する」48ページを参照してください。)
		・バージョン条件:バージョン条件を設定します。
		※[追加] 🛨 をクリックすると、入力欄が追加されます。
		※[削除] 👿 をクリックすると、入力欄が削除されます。
		《人川例》
		ABC アフリのバージョン 2.0 未満を非推奨アフリケーションにする場合
		アプリケーション名:ABC アプリ
		アプリケーション ID:abcxxxxxx
		バージョン条件: <2.0

# 3.16.6.1 アプリケーション検知画面を表示する

アプリケーション検知画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [アプリケーション検知]をクリックします。

## 3.16.6.2 アプリケーション検知の設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. アプリケーション検知画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【インストール推奨アプリケーション】

インストールを推奨するアプリケーションを登録します。

【インストール非推奨アプリケーション】

インストールを推奨しないアプリケーションを登録します。

※アプリケーション ID の調べ方は以下を参考にしてください。

・目的のアプリが端末にインストールされている場合
 ⇒アプリケーションの詳細を確認する(46ページ)を参照してください。

・目的のアプリが端末にインストールされていない場合 ⇒目的のアプリの AppStoreID と、AppleAPI の SearchAPI を使って検索することが可能です。 以下、確認までの手順です。

例) KDDI Smart Mobile Safety Manager の場合

1. AppleStoreID の確認方法

目的のアプリをインターネット検索し、iTunes プレビューというサイトで探してください。

※検索キーワード: 『KDDI Smart Mobile Safety Manager - iTunes - Apple』

iTunes プレビューのサイト URL に、目的のアプリの AppStoreID がございます。

URL : https://itunes.apple.com/jp/app/id 547474814

└ この枠内が AppStoreID となります。

AppStoreID: 547474814

2. アプリケーション ID の確認方法

"1"で確認した AppStoreID を以下の URL の末尾に指定し URL 検索をしてください。

以下の URL は AppleAPI の SearchAPI を使った検索プログラムです。

※Internet Explorer では、スクリプトエラーが発生するため、Google Chrome など他のブラウザーをご利用ください。

URL : http://itunes.apple.com/lookup?country=JP&id= 547474814

この URL にアクセスし表示された情報のうち、"bundleld"という項目がアプリケーション ID になります。

bundleId :

"com.kddi.kddismartmanager" └ アプリケーション ID

# 3.16.6.3 アプリケーション検知の設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、アプリケーション検知の設定セットを新規作成する場合と同様 です。

1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックしま

す。

- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

## 3.16.6.4 アプリケーション検知の設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

# 3.16.6.5 アプリケーション検知の設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 3.16.6.6 アプリケーション検知の設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

### 3.16.6.7 アプリケーション検知の設定セット入力値

アプリケーション検知では下記入力ルールで設定を行います。

大項目名	小項目名	ルール
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。	
		入力必須です。
	アプリケーション名	60 文字以内で入力してください。
		制御文字は入力できません。
【ノンフト = 世将		入力必須です。
	アプリケーション ID	60 文字以内で入力してください。
アプリケージョン】		半角英数字、「.」、「-」のみ入力できます。
	バージョン条件	入力必須です。
		255 文字以内で入力してください。
		制御文字は入力できません。
		入力必須です。
	アプリケーション名	60 文字以内で入力してください。
		制御文字は入力できません。
【ノンフト リ北桜将		入力必須です。
	アプリケーション ID	60 文字以内で入力してください。
アフリケーション】		半角英数字、「.」、「-」のみ入力できます。
		入力必須です。
	バージョン条件	255 文字以内で入力してください。
		制御文字は入力できません。

# 【注意事項】

◆デバイスマネジメントパック版ではご利用いただけません。

設定項目名	可能な操作
<u>エージェント共通管理</u>	<u>リモートロックの解除方法を保存する</u>

# 3.17.1 エージェント共通管理

機器にインストールされている、全ての Mac エージェントに対して共通するルール設定を行うことができます。設定を保存 した時点で、すべての Mac OS 機器に対して適用されます。Mac 機器ごとに適用されるリモートロックに関しては「機器」 画面の「リモート操作」タブ(73ページ)からの設定を参照してください。

【注意事項】

- ◆デバイスマネジメントパック版では、本機能をご利用いただけません。
- ◆Mac での通信は、ユーザーログイン時に実施されます。
- ◆Mac でのリモートロックではユーザーログイン時に再起動しロック画面を表示します。
- ◆リモートワイプでは、パスワード入力後、OS の再インストールから実施が必要となります。
- ◆本画面で設定するパスコードはリモートロックとリモートワイプ共通です。リモートワイプのパスコードはワイプ後の Mac 機器で求め られます。
- ◆設定が機器に反映されるまでの時間は、サーバーや機器の通信状態に依存します。
- ◆リモートロックが発生した後に管理サイト上でパスコードを変更して同期を行っても、Mac 機器上のパスワードは更新されません。必 要な場合は、リモートロックが発生した際のパスコードを管理ログから調べて下さい。

🍘 🐂 🖬 - エージェント共通管理 - Windows Internet Explorer	- • ×
🚱 💭 🗢 🔝 hit politika italih apilenae, jeri postljena lajki strenjega i judi kasti 🔹 🖷 🤧 🗙 🛃 Google	• م
☆ お気に入り の mphaned bit - エージェント共通管理	
【企業名】	管理者としてログイン中
トップ マップ 機器 メニュー > エージェント共通管理	ログアウト
エージェント共通管理	^
端末でのリモートロック・リモートワイプ後のロック解除コード 639803	
※リモートロック・リモートワイブ実行時の本設定が、機器に設定される解除コードとなり ます。実行当時の解除コードについてはログを参照ください。	
	-

項番	対象	説明
1	端末でのリモート ロックの解除方法	解除コード:ロックを解除するためのパスコードを6桁の数字で記入します。
# 3.17.1.1 エージェント共通管理画面を表示する

エージェント共通管理画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [エージェント共通管理]をクリックします。

# 3.17.1.2 リモートロックの解除方法を保存する

リモートロックの解除方法を保存します。

- 1. エージェント共通管理画面を表示します。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

## 3.17.1.3 エージェント共通管理の入力値

エージェント共通管理では下記入力ルールで設定を行います。

【端末でのリモートロックの	6桁の数字で記入します。
解除方法】	

# 3.18 iOS/Mac OS

iOS/Mac 機器の Apple Push 証明書を登録します。

設定項目名	可能な操作
<u>Apple Push 証明書登録</u>	<u>Apple Push 証明書を登録する</u> <u>Apple Push 証明書を更新する</u>

クライアント名称に関して: iOS/Mac OS のクライアント証明の名称は「ApplePush 証明書(旧名称: iOS ID)」として記載 します。

## 3.18.1.1 Apple Push 証明書を登録する

端末を管理するには、Apple Push 証明書の登録が必要です。手順に従い、Apple Push 証明書の登録を行ってください。

【注意事項】

- ◆Apple 社の提供する「Device Enrollment Program (DEP)」を使用した機器管理に関しては「KDDI Smart Mobile Safety Manager DEP 導入マニュアル」を参照してください。
- ◆Apple Push 証明書を登録するために管理者用の「Apple ID」が必要になります。
- ◆既に Apple Push 証明書が登録されている場合は、登録済みの証明書と異なるトピック値を持つ証明書をアップロードすることはできま せん。異なるトピック値の証明書を使用する際は、375ページ「Apple Push 証明書を削除する」から既存の証明書の削除を行ってくだ さい。
- ◆Apple Push 証明書の有効期限は1年間です。有効期限が切れる前に、必ず Apple Push 証明書の更新を行ってください。
   ⇒Apple Push 証明書を更新する 370 ページ
- ◆Apple Push 証明書の有効期限の通知メール設定を行うことができます(デフォルトで有効ですが、設定画面で有効なメールアドレスを 指定する必要があります)。

⇒ログメール通知を新規作成する 189ページ

◆サーバーに配置された Apple Push 証明書と機器に割り当てられた証明書のトピック値が異なる場合は、機器の管理や情報の取得を行うことはできません。

基本	
MDMプロファイルトビック	

各機器に割り当てられたトピック値は上記の「機器」画面の「機器」タブ内の機器詳細画面から確認可能です。機器のトピック値が表示されるのは、2015 年 3 月 28 日以降に認証された機器となります(2015 年 3 月 28 日以前に認証された機器のトピック値は 「(Unknown)」として表示されます。



5

6

お好きな場所(デスクトップなど)を選択し[保存]を クリックします。

ICY0 Ridney	- Apple Push証明書登録		
	【企業名】		管理者としてログイン
	トップ マップ 機器	Apple Pushagender 200	
署名済みの証明	書亜実icselファイルの生成とダウンロード		
名済みの証明書	名前を付けて保存	- 4 = 7.0 but othe	
ダウンロード ±			~
	登理 ▼ 新しいフォルター	33 ¥	e
証明書ファイル	会 お気に入り 良.User		
北下のリンクより「	■ デスクトップ 厚コンピューター		
証明書ファイル(よ、	国 最近表示した場所		
ttps://identity.ap			
Enternet Explore			ラウザーで開い
てください。	ビーデュスシー		
	<ul> <li>ビデオ</li> </ul>		
証明書ファイル	⇒ ミュージック 🗸		
FUKtett totat	ファイル名(N): signed_csr.dat		•
ファイルを選択	ファイルの種類(T): DAT ファイル		•
10年(※証明書発行の		保存(S) キャンセ	the second second
		4	

Apple Push Certificates Portal サイト(A)を開きます。

※Internet Explorer では Apple Push Certificates Portal サイトを 表示できないため、Safari、Google Chrome、Firefox 等のブラウ ザーで開いてください。

※証明書発行の際に使用された Apple ID は、お忘れになりませ んようご注意お願いします。証明書の更新(1 年に 1 回)の際に必 要となります。証明書の有効期限が切れた場合、本製品はご利用 いただけなくなります。

② DODENNE No Apple Push証明書登録 - Windows Internet Explorer	
🚱 🔾 👻 🔚 🖬 🖓 🖓 🖓 Google	• م
☆ お気に入り 🔀 Dubline III - Apple Push証明書登録	
【企業名】 管理者としてロジ	ቻብンΦ
トップ マップ 機器 メニュー > Apple Push証明書登録 ログアク	21
1. 署名済みの証明書要求(CSR)ファイルの生成とダウンロード	Â
署名違みの証明書新来にGRIファイルをダウンロードしてください。 ダウンロード =	
2. 証明書ファイルの取得	
以下のリンクより「Apple Push Certificates Portal」にログインし証明書を取得してください。 証明書ファイルは、署名済みの証明書要求(CSR)をアップロートすることで取得できます。	
http://dentiv.agele.com/aubcert/ 別internet Discore (Lapple Plan Leartificher Fortatサイトを表示できないため、Safari, Google Chrome, Firefox等のブラウザーで開 てくたさい。 ※証明書を1年に1回更新する必要があります。証明書の有効期限が以れた場合、本製品はご利用いただけななおります。	to -
3. 証明書ファイルの登録	
2より作成した証明書ファイルを指定してください。 ファイルを選択 選択されていません	
備考(HERID場所での際に使用されたApple DERITに記載することを推測します。)	
保行 *	

※手順 7~14 は Apple Push Certificates Portal サイトになります。画像はイメージです。

Apple ID と Apple ID のパスワードを入力し[Sign in] をクリックします。

Apple ID			
Forgot your Apple ID?	_		
Password			
Forgot your password?			
Sign in			

すでに証明書が作成されている場合は、以下のよう な画面が表示されます。[Create a Certificate]をクリ ックします。

iervice	Vendor	Expiration Date*	Status	Actions	
000000000000000000000000000000000000000	10000000000000000	Jan 1, 2013	Active	Renew Download	Revoke
000000000000000000000000000000000000000	30000300000000000	Jan 1, 2013	Active	Renew Download	Revoke
100000000000000000000000000000000000000	30000300000000000	Jan 1, 2013	Active	Renew Download	Revoke
000000000000000000000000000000000000000	300000000000000000000000000000000000000	Jan 1, 2013	Active	Renew Download	Rev
000000000000000000000000000000000000000	000000000000000000000000000000000000000	200000000000000000000000000000000000000	2000000000		

	_			
Get Started				
Create a Certificate	10000012000000000000000000000000000000	300300300300300300300300300	00000000	
FAQ				
200000000000000000000000000000000000000	2000000;			

9

①規約を確認し、チェックボックスにチェックを
 入れます。

②[Accept]をクリックします。

Terms of U	e			
00000000000000000000000000000000000000		X0000X00000000000000000000000000000000		
000000000000000000000000000000000000000	00X 0001000010000010001000010000XX			
		XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		
	1 ave read and agree to the	se terms and conditions.		
	· -	Printable Version > Decline Accept	2	

10

[ファイルを選択]をクリックします。

Create a New Push Certificate
「ファイルを選択 選択されていません Cancel Uplead

11 <sup>管理サイトよりダウンロードしたファイルを選択し</sup> [開く]をクリックします。



12 選択したファイル名が青枠内に表示されます。よろ しければ[Upload]をクリックします。

Create a	New Push Certificate	
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		
ファイルを選択	signed_csr.dat	

**13** <sup>証明書が作成されました。</sup> [Download]をクリックします。



14 お好きな場所(デスクトップなど)を選択し[保存]を クリックします。

1		
	○○○■ デスクトップ ・	<ul> <li>・ チューデスクトップの検索</li> </ul>
Confirmat	整理 ▼ 新しいフォルダー	·· 0
E	☆ (放気スカ) 通 ダウンー・デ 第 ダウンー・デ 第 ランペーション 2 単さ成为した型 ※ 中に、シント ※ ビンテキャー 第 ビンデー 第 ビ	
	ファイル名(N):	
	ファイルの100m(T): PEM ファイル	
	▲ フォルダーの辞事示	保存(S) キャンセル

15

管理サイトの[ファイルを選択]をクリックします。



Apple Push Certificates Portal で作成した証明書フ ァイルを選択し[開く]をクリックします。

9 Optimul III IOS I	登録 - Windows Internet Explorer	
30 - R-	Concentration of the second state of the secon	- ⊕   4   X    ∰ Google P ·
会 お気に入り	an - IOS ID登録	
last state of the second s		管理者としてログイン中
-		Apple Pusht 即書包録 ログアウト
1. 署名済み(	<ul> <li>System restrict to a system restrict</li></ul>	<ul> <li>・ 4 デスクトップの検索</li> </ul>
署名済みの証	整理 ▼ 新しいフォルダー	B3 • 🔟 😥
ダウンロー	☆ お気に入り	
2. 証明書フラ	<ul> <li>■ デスクトップ</li> <li>● ポットワーク</li> <li>● 最近表示した場所</li> </ul>	
以下のリンク 証明書ファイ	G ライブラリ	
https://ident	<ul> <li>ドキュメント</li> <li>ビクチャ</li> </ul>	
※Internet E てください。 ※証明書発行 ※証明書先行	目 ビデオ 』 ミュージック	ンザーで開い
	a • • • •	,
3. 証明書フ	ファイル名(N):	<ul> <li>すべてのファイル (*.*)</li> </ul>
2より作成した		聞く(0) キャンセル
<u>- 19</u>		
		Ψ

17

16

選択した証明書ファイル名が青枠内に表示されま す。「備考」欄には、任意の文字列を登録できます。 以下のように証明書発行の際に使用された Apple ID を登録してください。

Apple ID: xxxx@example.com 更新者:xxxx 更新 日:2014/10/01

よろしければ[保存]をクリックします。



Apple Push 証明書の登録が完了しました。



Apple Push 証明書の更新は以下の手順に従って行います。Apple Push 証明書の有効期限が切れた場合、構成プロファイルでの制御ができなくなり、リモートロック、リモートワイプ等の機能が使用できなくなります。有効期限が切れる前に、Apple Push 証明書の更新を行ってください。Apple Push 証明書を更新後、機器側での操作は特に必要ありません。

【注意事項】

- ◆有効期限が切れた場合は Apple Push Certificates Portal サイトから証明書の更新が必要となります。更新を行う場合、証明書のトピック値が更新前と同一であることを確認してください。更新までの間、Apple Push 証明書が無効になりますのでご注意ください。もし同期が行えない端末が存在する場合は、証明書の再発行が必要な場合があります。
- ◆Apple Push 証明書が失効する 60 日前より、トップページの Apple Push 証明書の有効期限の表示が赤字になります。
- ◆Apple Push 証明書の更新には、前回ご利用いただいた Apple ID および証明書をご利用ください。 前回と違う証明書を登録してしまうと、全ての機能が使えなくなります。トピックの値を確認し、必ず同じ証明書を使用してください。 (詳細は、手順2、8を参照してください。)
- ◆Apple Push 証明書を新規に取得した場合は、機器側で再度、構成プロファイルをインストールする必要があります。 構成プロファイルのインストール方法は、「iPhone iPad ユーザーマニュアル」の「ライセンス認証(プロファイルのインストール)を行う」を参照してください。
  - ①ページリンクの[メニュー]をクリックします。
     ②「iOS/Mac OS」の[ Apple Push 証明書登録]をクリックします。
     ※デバイスマネジメントパック版では、「iOS/Mac OS」パネルではなく、「Apple Push 証明書」パネルになります。



[編集]をクリックします。

※「トピック」(A)の値は、証明書の確認に必要となります(手順 8)。書き留めておくことをお勧めします。



# [ダウンロード]をクリックします。

4

6

確認画面が表示されます。[保存]をクリックします。

お好きな場所(デスクトップなど)を選択し[保存]を クリックします。

• ≞ + × 🕅 Google

お気に入り In Contract In - Apple DushiF加速の

00.0

保存 🕶

• ≞ 4 × 3 Google 00- E= お気に入り ほどのほ Acole PushiFill® newed) トップ マップ 機器 メニュー > Apple Push証明書登録 1. 署名済みの証明書要求(CSR)ファイルの生成とダウンロード 署名済みの証明書要求(CSR)ファイルをダウンロードしてください。 2. 証明書ファイルの取得 ファイルのダウンロード - セキュリティの警告 以下のリンクより「Apple Push Certificate 証明書ファイルは、署名済みの証明書要 このファイルを聞くか、または保存しますか? 名前: signed\_csr.dat 種類 不明なファイルの種類 発信元 https://identity.apple.com/pushcert/@ net Evplorer 713Apple Push Cert 海のブラウザーで聞い べいternet Explorer Clashphe Plan Cert でください。 ※証明書を1年に1回更新する必要があり 以ます。 3. 証明書ファイルの登録 2より作成した証明書ファイルを指定してください。 ファイルを選択 選択されていません 備考(※証明書発行の際に使用されたApple Dを以下に記載することを推奨します。) 保存 🔹 - Windows Inte 00 · 0 • ≞ 4 × ₫ お気に入り IC IONIDATE HII - Annie Push研算書書 (近来る) トップ マップ 機器 メニュー > Apple Push証明書登録 1. 署名済みの証明書亜汞(CSR)ファイルの生成とダウンロード 署名済みの証明書 () 電デスクトップ・ ダウンロード 🔹 整理 ▼ 新しいフォルダー 33 • 0 ☆ お気に入り
 ダウンロード
 デスクトップ
 細 延表示した場所 同ライブラリ 通 User 2. 証明書ファイル 道 User 博コンピューター 匈ネットワーク 以下のリンクより「 証明書ファイルは、 https://identity: iiii ライブラリ ⊡ ドキュメント ※Internet Explo てください。 ※証明書を1年に ザーで聞い ビクチャ
 ビデオ
 ミュージック 3. 証明書ファイル ファイル名(N): signed\_csr.dat ファイルの種類(T): DAT ファイル 2より作成した証明 ファイルを選択 備考(※証明書発行 保存(S) ーヤンセル フォルダーの非表示
 保存 ፣

• 🔒 4 🗙 🛃 Google

(A) cates Portalサイトを表示できないため、Safari, Google Chrome, Firefox等のブラクザーで開い

機器 メニュー > Apple Push証明書登録

Apple Push Certificates Portal サイト(A)を開きます。

※Internet Explorer では Apple Push Certificates Portal サイ トを表示できないため、Safari、Google Chrome、Firefox 等の ブラウザーで開いてください。 O ▼ ≥ max
 Sinch 0
 Examination

ダウンロード ±

2. 証明書ファイルの取得

3. 証明書ファイルの登録

保存 🔹

2より作成した証明書ファイルを指定してください。 ファイルを選択 選択されていません 備考 (※証明書発行の際に使用されたopple Dを以下に記載することを推測します。)

1. 署名済みの証明書要求(CSR)ファイルの生成とダウンロード

署名済みの証明書要求(CSR)ファイルをダウンロードしてください。

以下のリンク大VIAnake Puah Certificates Pontulにログイン証明書を取得してくてき、 証明書ファイルは、署名済みの証明書要求(SR)をアップロードすることで取得できます。 http://identituseele.com/aushcert/ (人)

ください。 《証明書を1年に1回更新する必要があります。証明書の有効期限が切れた場合、本製品はご利用いただけなくなります。 ※手順 7~13 は Apple Push Certificates Portal サイトになります。画像はイメージです。

Apple ID と Apple ID のパスワードを入力し[Sign in] をクリックします。

Sign in.		_		
( Apple ID	1. 100			
Password	ble IDr			
Forgot your pas	ssword?			
	Sign in	'n		



[ファイルを選択]をクリックします。

8

9

Renew	Push Certificate	e		
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	000000000000000000000000000000000000000	000000000000000000000000000000000000000	200000000	
Service xxx Vendor xxx	20000000000000000000000000000000000000			
ファイルを選択	灌択されていません			
		Cancel Up	load	

管理サイトよりダウンロードしたファイルを選択し [開く]をクリックします。

	<ul> <li>         ・ ■ デスクトップ         ・     </li> </ul>	<ul> <li>・ 4y デスクトップの検索</li> </ul>
	整理 マ 新しいフォルダー	88 • 🗊 🛛
xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx	☆ お気に入り 通 977590~F 開 720~F 開 720~F 型 単位表示した者: 通 977590 ③ P43325ト 副 2025年 置 ビジオ 副 ミニージック	
	■ ¬¬,ν <sub>¬</sub> _ <sub>n</sub> _ + 、 = ファイル発(N):	・ デベてのファイル(**) ・ ■<(0) キャンセル

選択したファイル名が青枠内に表示されます。よろ しければ[Upload]をクリックします。

Renew P	ish Certificate			
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		000000000000000000000000000000000000000	2003000000000K	
Service x00000 Vendor x0000 ファイルを選択	signed_csr.dat	Cancel	Upload	



11

Confirmation	
Service Vdendor Expiration Date Minage Certif	atter Constant Consta

13 お好きな場所(デスクトップなど)を選択し[保存]を

	○○○ ■ デスクトップ →	<ul> <li>チョーデスクトップの検索</li> </ul>
Confirmat	整理 ▼ 新しいフォルダー	B • 0
X0000000000000000000000000000000000000	☆ おおに入り 通 クランロード 第 フスクトップ 副 最も思えした。朝 第 ラスクトップ 副 最も思えした。朝 第 ライズラント 日 トキュメント 副 ピジタット 日 ビジオ ④ モニシシック ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
	ファイル名(N):	•
	ファイルの種類(T): PEMファイル	- 保存(S) キャンセル

14 管理サイトの[ファイルを選択]をクリックします。



Apple Push Certificates Portal で作成した証明書フ ァイルを選択し[開く]をクリックします。

Ø Optimal III - IOS I	D登録 - Windows Internet Explorer	
OO-E-	<ul> <li>Colorentia (descarda (company)), inclusion (color)</li> </ul>	- 🔒   4-   ×    🛃 Google 🛛 🖓 -
会 お気に入り 🔡	In Internet A IOS ID登録	
		管理者としてログイン中
and the owner of the owner o		
1 累全济社	愛 アップロートするファイルの道氏	
1. 18 10 / 4 / /	00° = 725 F05 1	• + + 7X7F9708# p
署名済みの証	整理 ▼ 新しいフォルダー	83 • 🔟 😧
ダウンロー	☆ お気に入り ほ ダウンロード 第 ダウンロード 第 フンピューター	
2. 証明書フコ	<ul> <li>■ デスクトップ</li> <li>● ポンテワーク</li> <li>② 最近表示した場所</li> <li>■ abcpem</li> </ul>	
以下のリンク 証明書ファイ,	同 ライブラリ	
https://ident		
∭Internet E		フザーで開い
てください。 ※証明書発行 ※証明書を1	♪ ミュージック	
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
3. 証明書フ	ファイル名(N):	<ul> <li>すべてのファイル (*.*)</li> </ul>
2.より作成した		■<(0) キャンセル
<u>- 19</u> 17 +		
	Line of Street Martines	- Late of the attraction - Late at at -



「備考」欄には、任意の文字列を登録できます。以 下のように証明書発行の際に使用された Apple ID を登録してください。

Apple ID: xxxx@example.com 更新者:xxxx 更新 日:2014/10/01

よろしければ[保存]をクリックします。 Apple Push 証明書の更新が完了しました。





17

登録済みの証明書と異なるトピック値を持つ証明書を使用する際は、既存の Apple Push 証明書の削除が必要です。 Apple Push 証明書の削除は以下の手順に従って行います。

#### 【注意事項】

◆別の Apple Push 証明書を登録する際には、Apple Push 証明書を削除した後、署名済みの証明書要求(CSR)ファイルを生成し、「Apple Push Certificates Portal」で「Create a Certificate」にて証明書を作成ください。

①ページリンクの[メニュー]をクリックします。 ②「iOS/Mac OS」の[ Apple Push 証明書登録]をク リックします。

※デバイスマネジメントパック版では、「iOS/Mac OS」パネル ではなく、「Apple Push 証明書」パネルになります。

Windows Internet Explorer	a 0 6 x Microsoft	
☆ お気に入り 図 CODONNE HEI - メニュー	• III   •9   X   [5] coogle	<i>,</i> ,,
「企業名」 トップ マップ 横	# <b>[</b> 1	料理希としてログイン中 ログアウト
	NS-7797-142/2	-1
	管理対象アプリポリシー	
	メリジナルアプリ登録	
	<ul> <li>アラリケーション配信</li> <li>アラリケーション税相</li> </ul>	
		- 1
	Windows	

[証明書を削除]をクリックします。

					18	
() • 12	Maria Concernantia	Number of Concession, 5	and which the second second	• =  +  ×	Google	,
お気に入り	Solouna M	Apple Push証明書登録				
		トップ	マップ 機器	X==	sple Pushl即書登録	ログアウト
1728-0						
2015/08	/20 15:02:18まで有	効				
ドック						
com.app	le.mgmt.External.9a	07ad0d-5119-4499	-b7f1-37ed52b53002			
備考 (C1L)						
(30)						
- 編約	第 × 証明書で	消退余				

4

確認メッセージが表示されます。 [OK]ボタンをクリックしてください。

C Colonial In: Apple Push証明書登録 - Windows Inter	net Explorer	
OO+ Summer of the second street and the second	Cherchengeninensen halfen · 읍 4+ × 웹 Google	ر
会 お気に入り R Collegent Hill ・ Apple Push証明書登録	a 🗌	
【企業名】		
トップ	マップ 機器 メニュー > Apple Push重明書金録	ログアウト
£₹■丹都		
2015/08/20 15:02:18まで有効		
FE-y2 com apple ment External Ba07adOtt=5119=64	99-b7f1-37~f72b53002	
Get	55 5711 57852535002	
(/J_) Web	ページからのメッセージ #24	
> 編集 × 証明書を削除	_	
	Apple Push証明書を制除した場合、現在管理下にあるIOS稿録、Mac	
	US機器の管理か行えなくなります。よろしいれは「UK」ホタンモク リックしてください。	
	1	
	0K 40500	
_		
	***********************************	

# 証明書が削除されました。

※証明書の削除は完了しましたが、証明書の「備考」セクションは削除されていません。必要な場合は[編集]から備考の削除を行ってください。

0- 2	Mapping Concerning Street	a filozofia (la consta	#10x/#01	• 曲 4	🕫 🗙 🛃 Google		
お気に入り	Scottmar HI - Apple	Push証明書登録					
		2業名]					間着としてログイン
		トップ マップ	機器	×=a-	> Apple Push計明書量	50	ログアウト
証明書 登録され	ていません						
備考 (なし)							
~ 編9	E .						

Apple 社の提供する「Device Enrollment Program (DEP)」を使用した機器管理に関しては「KDDI Smart Mobile Safety Manager DEP 導入マニュアル」を参照してください。

【注意事項】

◆デバイスマネジメントパック版では、本機能をご利用いただけません。

# 3.19 Windows

Windows 機器に対する設定および、設定セットの作成を行います。「エージェント共通管理」以外に関しては、設定セットの作成後、機器一括設定および、機器ごとの設定にて適用してください。設定項目および、作成可能な設定セットは以下のとおりです。

【注意事項】

◆デバイスマネジメントパック版ではご利用いただけません。

設定項目名	可能な操作
<u>設定テンプレート</u>	<ul> <li>・ 設定テンプレートを新規作成する</li> <li>・ 設定テンプレートを編集する</li> <li>・ 設定テンプレートをもとに各種デフォルト設定セットを変更する</li> <li>・ 設定テンプレートを削除する</li> <li>・ 設定テンプレートをまとめて削除する</li> </ul>
<u>エージェント共通管理</u>	・ <u>エージェント共通管理を編集する</u>
<u>エージェント個別管理</u>	<ul> <li>エージェント個別管理の設定セットを新規作成する</li> <li>エージェント個別管理の設定セットを編集する</li> <li>エージェント個別管理のデフォルト設定セットを指定する</li> <li>エージェント個別管理の設定セットを削除する</li> <li>エージェント個別管理の設定セットをまとめて削除する</li> </ul>
<u>システム診断</u>	<ul> <li>・ システム診断の設定セットを新規作成する</li> <li>・ システム診断の設定セットを編集する</li> <li>・ システム診断のデフォルト設定セットを指定する</li> <li>・ システム診断の設定セットを複製する</li> <li>・ システム診断の設定セットを削除する</li> <li>・ システム診断の設定セットをまとめて削除する</li> </ul>
システムセキュリティ	<ul> <li>システムセキュリティの設定セットを新規作成する</li> <li>システムセキュリティの設定セットを編集する</li> <li>システムセキュリティのデフォルト設定セットを指定する</li> <li>システムセキュリティの設定セットを複製する</li> <li>システムセキュリティの設定セットを削除する</li> <li>システムセキュリティの設定セットをまとめて削除する</li> </ul>
<u>・MS Office ライセンス管理</u>	・ <mark>■MS Office ライセンス管理画面の並び替えを行う</mark> ・ <mark>■MS Office ライセンス一覧をダウンロードする</mark> ・ <mark>■MS Office ライセンス一覧を編集する</mark>

設定テンプレートは複数の設定セットを1つにまとめたものです。設定テンプレートを適用すると含まれるすべての設定セットが適用されるため、機能ごとに設定セットを指定する必要はありません。頻繁に利用する設定セットを設定テンプレートとしてまとめておくことで、操作負荷を軽減させることができます。作成した設定テンプレートは、組織ごとまたは機器 ごとの設定にて適用してください。

【注意事項】

- ◆設定テンプレートを一括して複数の機器に適用することはできません。
- ◆設定が機器に反映されるまでの時間は、サーバーや機器の通信状態に依存します。

②     ③     ③     □	cplorer		X
	and the second second second	🛋 🕶 🔒 😚 🗙 🚷 Google	+ م
☆ お気に入り			
【企業名】			管理者としてログイン中
トップ	- マップ - 機器	メニュー     設定テンプレート	
	設定デンブレート1		
◎ ■ 診定テンプレート1	設定		操作 →
□	<sup>みだと</sup> テンプレート名 設定テンプレート1 設定		
	正一ジェント個別管理	(所属組織に従う)	
	図 アブリケーション禁止	(所属組織に従う)	
		(所属組織に従う)	
	<u> _co/dvd/ブルーレイ</u>	(所属組織に従う)	
	<u>Wi-Fiフィルタリング</u>	(所属組織に従う)	
	システム設定・診断	(所属組織に従う)	
	<u>システムセキュリティ</u>	(所属組織に従う)	
	<u>暗号化</u>	(所属組織に従う)	
		(所属組織に従う)	
	<u></u>   <u>利用規約</u> @ ブ	<u>ライバシーポリシー</u> ゅ   <u>ヘルブ</u> ゅ	

項番	対象	説明
1	[新規作成]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・新規作成:設定テンプレートを新規で作成します。 新規作成方法は「設定テンプレートを新規作成する」380ページを参照して ください。
2	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・全てにチェックを入れる:全ての設定テンプレートのチェックボックス にチェックが入ります。 ・全てのチェックをはずす:全ての設定テンプレートのチェックボックス からチェックをはずします。 ・一括削除:チェックの入った設定テンプレートを削除します。詳細は「設 定テンプレートをまとめて削除する」381 ページを参照してください。
3	設定テンプレート一覧	登録されている設定テンプレート一覧が表示されます。
4	設定テンプレート情報	選択した機能により画面が切り替わります。設定テンプレートー覧より選 択した設定テンプレート情報が表示されます。

5	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・デフォルト:設定テンプレートで設定されている設定セットをデフォル
		トにします。詳細は、「設定テンプレートをもとに各種デフォルト設定セ
		ットを変更する」380 ページを参照してください。
		・削除:設定テンプレートを削除します。詳細は「設定テンプレートを削
		除する」381 ページを参照してください。
6	[編集]	登録されている設定テンプレート情報を編集することができます。詳細は
		「設定テンプレートを編集する」380 ページを参照してください。

## 3.19.1.1 設定テンプレート画面を表示する

設定テンプレート画面を表示します。

## 1. メニュータブをクリックします。

2. [設定テンプレート]をクリックします。

# 3.19.1.2 設定テンプレートを新規作成する

設定テンプレートを作成します。

- 1. 設定テンプレート画面を表示します。
- 2. [新規作成] 🛨 をクリックして新規作成メニューを表示させます。
- 3. [新規作成]をクリックします。
- 4. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【ポリシー名】

設定テンプレートの名称を指定します。

#### 【設定】

設定テンプレートに含める設定セットを指定します。なお、含めた設定セットに対する編集および削除は、 設定テンプレートにも自動的に反映されます。

## 3.19.1.3 設定テンプレートを編集する

作成済みの設定テンプレートを編集します。入力項目に関しては、設定テンプレートを新規作成する場合と同様です。

- 1. 設定テンプレートー覧より対象とする設定テンプレートをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

## 3.19.1.4 設定テンプレートをもとに各種デフォルト設定セットを変更する

設定テンプレートに含まれている設定セットを、各種デフォルト設定セットにします。

- 1. 設定テンプレート一覧より対象とする設定テンプレートをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [デフォルト]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

※"(設定なし)"としている設定セットについてはデフォルト設定セットの変更を行いません。

※既にライセンス認証されている機器には適用されません。

デフォルト設定セットの指定後にライセンス認証される機器のみに適用されます。

## 3.19.1.5 設定テンプレートを削除する

作成済みの設定テンプレートを削除します。

- 1. 設定テンプレートー覧より対象とする設定テンプレートをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

#### 3.19.1.6 設定テンプレートをまとめて削除する

作成済みの設定テンプレートを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能で す。

- 1. 設定テンプレート一覧より対象とする設定テンプレートのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.19.1.7 設定テンプレートのデフォルト設定セットを指定する

Windows のデフォルトの設定テンプレートの指定手順は Android 環境での指定手順と同一です。詳細は「設定テンプレート のデフォルト設定セットを指定する」 205 ページを参照してください。

## 3.19.1.8 デフォルトの設定テンプレートをなしにする

Windows のデフォルトの設定テンプレートの解除手順は Android 環境での解除手順と同一です。詳細は「設定テンプレート のデフォルト設定セットをなしにする」 206 ページを参照してください。

## 3.19.1.9 設定テンプレートの入力値

設定テンプレートでは下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【テンプレート名】	1 文字~30 文字で入力してください。
【設定】	作成済みの設定セットより選択

機器にインストールされている、全ての Windows エージェントに対して共通するルール設定を行うことができます。設定を 保存した時点で、すべての Windows 機器に対して適用されます。

【注意事項】

- ◆設定が機器に反映されるまでの時間は、サーバーや機器の通信状態に依存します。
- ◆リモートロックは日本語版 Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 に対応します。
- ◆バージョン 7.2.100.0 以前の Windows エージェントではリモートロックを行うことはできません。

② 「 「 」 」 エージェント共通管理 - Windows Internet Explorer	- • ×
🚱 🖉 💌 🖉 nil poljekća iko išlaplimana, je klapost je poljeka kaze je poljeki kazi 💿 🖷 😚 🗙 🚷 Google	• ٩
☆ お気に入り 🗾 liphermel die - エージェント共通管理	
【企業名】	管理者としてロダイン中
トップ マップ 機器 メニュー > エージェント共通管理	ログアウト
エージェント共通管理	<u>^</u>
管理サーバーとの通信間隔     分数指定: 30分	
2 管理サーバーと通信できなかった場合 なにもしない	
3 (GL)	
<ul> <li>3 端末でのリモートロックの解除方法 解除コードの入力: GXA5qYjg</li> </ul>	
5 端末でのエージェント停止・ライセンス解除・アンインストールの制限 制限なし	
<ul> <li>         ・         ・         ・</li></ul>	
/ 編集	
	-
<u>                                    </u>	

項番	対象	
1	管理サーバーとの	指定分数、指定時間、指定日数を入力し、設定することができます。初期設定で
	通信間隔	は 30 分に設定されています。
2	管理サーバーと通	管理サーバーと端末の最後の通信から一定時間が経過した場合に、Windows 端末
	信できなかった場	をロックすることができます。
	合	ロックするまでの時間を指定分数、指定時間、指定日数後で設定できるため、端
		末を紛失した場合などに第三者のアクセスを制限することが可能となります。
3	ロックメッセージ	ロック中のWindows機器の画面にお好きなメッセージを表示させることができま
		す。(最大文字数は 200 文字です)
		初期設定ではメッセージは登録されていません。
		※メッセージ表示時、入力されたメッセージの前後にある空白は削除されます。
		※ロックメッセージが無記入の場合は、管理サイト上では「(なし)」と表示されま
		すが、端末には「(なし)」は表示されません。
4	端末でのリモート	リモートロックの解除方法を設定することができます。
	ロックの解除方法	・なし:リモートロックの解除は管理サイトからのみ行うことができます。
		・解除コードの入力:Windows 機器に解除コードを入力することでリモートロッ
		クを解除することができます。

5	端末でのエージェ	Windows 機器でライセンスを解除する場合や、エージェントをアンインストール
	ント停止・ライセン	する場合に、パスワードを要するか設定することができます。
	ス解除・アンインス	・制限なし:パスワードを入力せずにライセンス解除やアンインストールするこ
	トールの制限	とができます。
		・パスワードの入力:ライセンス解除やアンインストールする際にパスワードの
		入力が必要となります。初期設定ではランダムな 8 文字のパスワードが設定され
		ています。
6	ライセンス認証オ	ライセンス認証時に、管理外機器の検出を有効にするかどうかを選択します。初
	プション	┃期値は「管理外機器の検出を有効にする(次回ライセンス認証時のみ)」が設定され
		ており、ライセンス認証が一度終わると「なし」へ設定が変更されます。
		・管理外機器の検出を有効にする:ライセンス認証の度に管理外機器の検出を有
		対にしたい場合、選択します。ライセンス認証後も「なし」へ変更されることはあ
		りません。
		・管理外機器の検出を有効にする(次回ライセンス認証時のみ):初期値で選択され
		ています。本設定後、ライセンス認証が一度終わると、設定は自動的に「なし」へ
		◎ 変更されます。常に管理外機器の検出を有効にしたい場合は、「管理外機器の検出
		を有効にする」を選択します。
		↓・なし:管理外機器の検出をしない場合に選択します。

### 3.19.2.1 エージェント共通管理画面を表示する

エージェント共通管理画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [エージェント共通管理]をクリックします。

#### 3.19.2.2 エージェント共通管理を編集する

エージェント共通管理を編集します。

- 1. エージェント共通管理画面を表示します。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【管理サーバーとの通信間隔】

機器が管理サーバーと定期的に同期する間隔を指定します。

分数指定:指定した分数間隔で同期を行います。分数を合わせて指定します。

時間指定:指定した時間間隔で同期を行います。時間を合わせて指定します。

日数指定:指定した日数間隔で同期を行います。日数を合わせて指定します。

【管理サーバーと通信できなかった場合】

管理サーバーと機器が同期できなかった場合に機器にリモートロックを行うことが可能です。リモートロックを行うまでの猶予時間を指定してください。

なにもしない:リモートロックを行いません。

- 指定分数後にロック:指定分数経過後に機器をリモートロックします。分数を合わせて指定します。
- 指定時間後にロック:指定時間経過後に機器をリモートロックします。時間を合わせて指定します。
- 指定日数後にロック:指定日数経過後に機器をリモートロックします。日数を合わせて指定します。

【ロックメッセージ】

リモートロックした機器の画面にメッセージを表示することができます。表示するメッセージを入力してください。

【端末でのリモートロックの解除方法】

機器側でのリモートロック解除方法を指定してください。

なし:管理者に連絡をしなければリモートロック解除ができません。

管理サイトでリモートロック解除操作を行ったのちに、機器と管理サーバーが同期を行う必要があります。 解除コードの入力:解除コードを指定します。機器側で解除コードを入力することでリモートロックを解除できます。 【端末でのエージェント停止・ライセンス解除・アンインストールの制限】

機器側でエージェント停止・ライセンス解除・アンインストールを行う際の制限を指定します。

制限なし:制限を設けません。

解除コードの入力:パスワードを指定します。機器側でエージェント停止・ライセンス解除・アンインストールを 行う際、パスワードが要求されます。

【ライセンス認証オプション】

ライセンス認証を行う Windows 機器に対して管理外機器の検出機能を有効にするかどうかを指定します。ただし、既に ライセンス認証されている機器には適用されません。設定完了後にライセンス認証される機器のみに適用されます。

管理外機器の検出を有効にする:ライセンス認証を行うすべての機器にたいして検出機能を有効にします。 管理外機器の検出を有効にする(次回ライセンス認証時のみ):本設定後、最初に認証する機器のみ検出機能を有効にしま

す。

なし:検出機能を有効にしません。

エージェント共通管理では下記入力ルールで設定を行います。

大項目名	小項目名	ルール
		分数指定を選択時は入力必須です。
		半角数字のみ入力できます。
		10 以上 59 以下で入力してください。
I da mu in la c	下記より選択	時間指定を選択時は入力必須です。
【官理サーハーとの	・分数指定	半角数字のみ入力できます。
通信间隔】	• 時间指定	1 以上 23 以下で入力してください。
	・日剱指定	日数指定を選択時は入力必須です。
		半角数字のみ入力できます。
		1 以上 365 以下で入力してください。
		分数指定を選択時は入力必須です。
		半角数字のみ入力できます。
	下記より選択	10 以上 59 以下で入力してください。
	・なにもしない	時間指定を選択時は入力必須です。
	・指定分数後にロック	半角数字のみ入力できます。
通信できなかつに場合】	<ul> <li>指定時間後にロック</li> </ul>	1 以上 23 以下で入力してください。
	・指定日数後にロック	日数指定を選択時は入力必須です。
		半角数字のみ入力できます。
		1 以上 365 以下で入力してください。
	200 文字以内で入力してください。制	ー 削御文字の入力はできません。
[1099392-9]	※空白類(タブ、改行等)は入力できま	す
	下記より選択	解除コードの入力を選択時は入力必須です。
「頭末でのりモートロック」	・なし	4 文字以上 20 文字以内で入力してください。
の解除力法】	・解除コードの入力	半角英数字のみ入力できます。
【端末でのエージェント停	下記より選択	解除コードの入力を選択時は入力必須です。
止・ライセンス解除・アン	・制限なし	4 文字以上 20 文字以内で入力してください。
インストールの制限】	・解除コードの入力	半角英数字のみ入力できます。
	下記より選択	
【ライセンス認証オプショ	・管理外機器の検出を有効にする	
ン	・管理外機器の検出を有効にする(次回ライセンス認証時のみ)	
	・なし	

# 3.19.3 エージェント個別管理

Windows エージェントに対する管理外機器の検出機能に関する設定セットを作成します。当設定セットを用いることで、検 出機能の利用可否を指定することが可能です。作成した設定セットは一括機器設定および、機器ごとの設定にて適用してく ださい。

【参考ページ】

◇一括機器設定について⇒一括して複数の機器に設定セットを適用する 152 ページ

◇機器ごとの設定について⇒単一の機器に設定セットを適用する 61 ページ

🍘 🗰 - エージェント個別管理 - Windows Internet Explorer	x
Google	ب م
☆ お気に入り	
【企業名】	管理者としてログイン中
トップ マップ 機器 メニュー > エージェント個別管理	ログアウト
<ul> <li></li></ul>	4 操作 -
無効 デフォルトに設定する	
■ 2 設定名 (5) 無効	
管理外機器の検出	
× × 1/1 × ×	-
<u>利用規約</u> @  <u>プライバシーポリシー</u> @  <u>ヘルプ</u> @	

項番	対象	説明
1	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・全てにチェックを入れる:全ての設定セットのチェックボックスにチェックが入り
		│・全てのチェックをはすす:全ての設定セットのチェックホックスからチェックをは │ ギュナナ
		9しより。 「「「「「「」」」、「」、「」、「」、「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」
		・一括則味:ナエツクの入つに設定セツトを削除しまり。詳細は エーシェント個別    笠田の恐ウセットをまトめて割除する1990 & ごち会昭」 てください
		官理の設定セットをまとめて削除する1309ハージを参照してくたさい。
2	エージェント値   別管理設定一覧	登録されているエージェント個別管理設定一覧が表示されます。
3	エージェント個	エージェント個別管理設定一覧より選択したエージェント個別管理設定情報が表示
	別管理設定情報	されます。
4	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。
		・削除:設定セットを削除します。詳細は「エージェント個別管理の設定セットを削
		除する」389 ページを参照してください。
5	設定名	お好きな名前を入力します。

6	管理外機器の検	機器にインストールされている Windows エージェントに対して、エージェントが入っ
	出	ていない管理外機器の検出有無の設定をします。
		・有効:管理外機器の検出を有効にします。
		・無効:管理外機器の検出を無効にします。
$\overline{\mathcal{I}}$	[編集]	登録されているエージェント個別管理設定情報を編集することができます。詳細は
		「エージェント個別管理の設定セットを編集する」388 ページを参照してください。

#### 3.19.3.1 エージェント個別管理画面を表示する

エージェント個別管理画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [エージェント個別管理]をクリックします。

## 3.19.3.2 エージェント個別管理の設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. エージェント個別管理画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【管理外機器の検出】

管理外機器の検出の利用可否を指定します。

有効:管理外機器の検出を利用します。

無効:管理外機器の検出を利用しません。

### 3.19.3.3 エージェント個別管理の設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、エージェント個別管理の設定セットを新規作成する場合と同様 です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※既にライセンス認証されている機器には適用されません。

デフォルト設定セットの指定後にライセンス認証される機器のみに適用されます。

## 3.19.3.4 エージェント個別管理の設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.19.3.5 エージェント個別管理の設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。

- 2. [その他の操作] をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.19.3.6 エージェント個別管理の設定セット入力値

エージェント個別管理では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。
	下記より選択
【管理外機器の検出】	・有効
	・無効

Windows のシステムまわりに対して設定および診断を行います。問題がある場合はログ(435ページ)に出力します。作成 した設定セットは一括機器設定および、機器ごとの設定にて適用してください。

【参考ページ】

◇一括機器設定について⇒一括して複数の機器に設定セットを適用する 152 ページ

◇機器ごとの設定について⇒単一の機器に設定セットを適用する 61 ページ

8	システム診断 - Windows Internet Exp	lorer		
	ale constraints and pro-	- 🔒 😚 🗙 Google		+ م
🏫 お気に入り	- システム診断			
	【企業名】   トップ	マップ     機器     メニュー     システム診断       新規作成            設定       設定 - 編集中		管理者としてログイン中 ログアウト
		設定名           システム設定・診断 項目           アライフ空き容量診断 デフラグを自動実行する システムドライブの復元を有効化する CPU温度診断 ハードディスク異常診断 htemet Explorerの新しいドージョンを自動的にインストールしない	-  	<ul> <li>書診世所</li> <li>□</li> &lt;</ul>
	14 ( 1/1 ) »	<ul> <li>※システムによりグルーブボリシーが設定されている場合、グルーブボリシーが優先さわれない場合があります。</li> <li>※グルーブボリシーについては、御社のシステム管理者にご相談ください。</li> <li>✔ 保存</li> </ul>	うちんめ、設	

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	システム設定・診断	項目ごとに設定/診断を指定します。設定のみ可能な項目と、診断のみ可能な項目が 存在します。

## 3.19.4.1 システム設定・診断画面を表示する

システム設定・診断画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [システム設定・診断]をクリックします。

## 3.19.4.2 システム設定・診断の設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. システム設定・診断画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

## 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

#### 【システム設定・診断】

実行を指示する設定および診断を指定します。

項目	設定/診断	説明	
	設定	・設定は指定できません。	
ドライブ空き容量診断	-人 M/C	・オンにするとドライブ空き容量の状態を診断します。	
	吉乡 西川	・オフにした場合は何も行いません。	
		・オンにするとデフラグの自動実行を有効にします。	
	また	・既に有効な場合は何も行いません。	
デフラグを自動実行する	設定	・Windows のグループポリシーが設定済みの場合は何も行いません。	
		・オフした場合は設定セット適用前の状態に設定を復元します。	
	診断	・診断は指定できません。	
	設定	・オンにするとシステムドライブの復元を有効にします。	
		・既に有効な場合は何も行いません。	
システムドライブの復元を有効化する		・Windows のグループポリシーが設定済みの場合は何も行いません。	
		・オフした場合は設定セット適用前の状態に設定を復元します。	
	診断	・診断は指定できません。	
	設定	・設定は指定できません。	
CPU 温度診断	診断	・オンにすると CPU 温度を診断します。	
		・オフにした場合は何も行いません。	
	設定	・設定は指定できません。	
ハードディスク異常診断	診断	・オンにするとハードディスク異常を診断します。	
		・オフにした場合は何も行いません。	
Internet Evelorer Official States	を設定	・オンにすると Internet Explorer の新しいバージョンの自動インストー	
Internet Explorer の新しいハーションを 自動的にインストールしない		ルが無効になります。	
	診断	・診断は指定できません。	

※Windows Server は、Inteenet Explorer の自動更新抑止に対応していません。

### 3.19.4.3 システム設定・診断の設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、システム設定・診断の設定セットを新規作成する場合と同様で す。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

#### 3.19.4.4 システム設定・診断の設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

### 3.19.4.5 システム設定・診断の設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.19.4.6 システム設定・診断の設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.19.4.7 システム設定・診断の設定セット入力値

システム設定・診断の設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。
【システム設定・診断】	設定および診断にチェックを入れる。入れない。

Windowsのセキュリティまわりに対して設定および診断を行います。問題がある場合はログ(185ページ)に出力します。 作成した設定セットは一括機器設定および、機器ごとの設定にて適用してください。

【参考ページ】

◇一括機器設定について⇒一括して複数の機器に設定セットを適用する 152ページ

◇機器ごとの設定について⇒単一の機器に設定セットを適用する 61ページ

e	ステムセキュリティ - Windows Intern	et Explorer	
<ul> <li>         ・ お気に入り         ・     </li> </ul>	- システムヤキュリティ		
	(企業名) (企業名) トップ	マッブ       機器       メニュー > システムセキュリティ         設定       設定         設定       設定         システムセキュリティ       運用         ファイアウォールが無効な場合、Windowsファイアウォールを有効化する         WindowsのGuestアカウントを無効化する         WindowsのGuestアカウントを無効化する         Windowsの更新を自動インストールする         スクリーンセーバーの解除時にようこそ画面に戻る         ウイルス対策ソフト         スパイウェア対策ソフト         メンステムビサントーブポリシーが設定されている場合、グループポリシーが優先され れない場合があります。         *グループポリシーについては、御社のシステム管理者にご相談ください。         マ 保存	管理者としてログイン中 クログアウト クログアウト クログアウト クログアウト クログアウト の の の の の の の の の の の の の
		利用規約で ブライバシーボリシーで ヘルブで	*

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	システムセキュリティ	項目ごとに設定/診断を指定します。設定と診断が可能な項目と、診断のみ可能 な項目が存在します。

## 3.19.5.1 システムセキュリティ画面を表示する

システムセキュリティ画面を表示します。

#### 1. メニュータブをクリックします。

2. [システムセキュリティ]をクリックします。

## 3.19.5.2 システムセキュリティの設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

## 1. システムセキュリティ画面を表示します。

- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

## 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【システムセキュリティ】

#### 実行を指示する設定および診断を指定します。

項目	設定/診断 説明	
		・オンにすると Windows ファイアウォールを有効にします。
	=1, -5	・既に有効な場合は何も行いません。
ファイアウォールが無効な場合、	設定	・Windows のグループポリシーが設定済みの場合は何も行いません。
Windows ファイアウォールを有効化する		・オフした場合は設定セット適用前の状態に設定を復元します。
	=A N/r	・オンにすると Windows ファイアウォールの状態を診断します。
	<b>ē≥ 性</b> ∏	・オフにした場合は何も行いません。
	設定	・オンにすると Windows の Guest アカウントを無効にします。
		・既に無効な場合は何も行いません。
		・Windows のグループポリシーが設定済みの場合は何も行いません。
Windows の Guest ア カウントを無効化する		・オフした場合は設定セット適用前の状態に設定を復元します。
	診断	・オンにすると Windows の Guest アカウントの状態を診断します。
		・オフにした場合は何も行いません。
	設定	・オンにすると Windows の自動更新を有効にします。
Windows の更新を		・既に有効な場合は何も行いません。
		・Windows のグループポリシーが設定済みの場合は何も行いません。
自動インストールする		・オフした場合は設定セット適用前の状態に設定を復元します。
	=☆⊯⊑	・オンにするとWindowsの自動更新の状態を診断します。
	診断	・オフにした場合は何も行いません。

	設定	・オンにするとスクリーンセーバー解除時にようこそ画面を
スクリーンセーバーの解除時に		表示する設定に変更します。
		・既に表示する設定になっている場合は何も行いません。
		・Windows のグループポリシーが設定済みの場合は何も行いません。
ようこて画面に戻る		・オフした場合は設定セット適用前の状態に設定を復元します。
	診断	・オンにするとスクリーンセーバー解除時の状態を診断します。
		・オフにした場合は何も行いません。
	設定	・設定は指定できません。
ウイルス対策ソフト	診断	・オンにするとウイルス対策ソフトの状態を診断します。
		・オフにした場合は何も行いません。
スパイウェア対策ソフト	設定	・設定は指定できません。
	診断	・オンにするとスパイウェア対策ソフトの状態を診断します。
		・オフにした場合は何も行いません。

## 3.19.5.3 システムセキュリティの設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、システムセキュリティの設定セットを新規作成する場合と同様 です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

## 3.19.5.4 システムセキュリティの設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

## 3.19.5.5 システムセキュリティの設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セットー覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.19.5.6 システムセキュリティの設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

# 3.19.5.7 システムセキュリティの設定セット入力値

システムセキュリティの設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。
【システムセキュリティ】	設定および診断にチェックを入れる。入れない。
## 3.19.6 MS Office ライセンス管理

MS Office ライセンスの確認、管理およびダウンロードを行うことができます。

ライセンスの保有数や使用数の確認を行うことができます。また管理ライセンスの一覧を CSV エクスポートすることが可能です。

MS Office のライセンス数は「機器」画面の「アプリ」タブ(45ページ)情報から自動的に集計されます。ソフトウェアのダ ウングレードなど、ライセンスの調整を行った際には、実際のライセンス数と本画面のライセンス数との間に齟齬が発生し てしまう場合があります。この場合、「移行元 ID:」「移行先 ID:」「移行するライセンス数:」を使用してライセンス数の調整 を行います。



項番	対象	説明
1	CSV ダウンロード	ライセンス管理情報を CSV ファイルに出力します。 CSV ファイルに含めるアプ
		リケーションを以下から選択します。
		・調整なし
		・調整未完了
		<ul> <li>調整済み</li> </ul>
2	集計	ライセンスを集計します。
3	「移行元 ID:」「移行先	移行元のアプリケーション ID を最初のフィールド、移行先のアプリケーション
	ID:」「移行するライセン	ID を中央のフィールド、移行するライセンス数を最後のフィールドに記入しま
	ス数:」	す。[実行]ボタンを押してライセンスを移行します。
4	ID	アプリケーション固有の ID を表示します。

5	アプリケーション名	保有するライセンスのアプリケーション名を表示します。
6	ライセンス形態	ライセンスの形態を表示します。
$\bigcirc$	保有数	保有するライセンスの数を表示します。使用数をクリックすると該当する製品名
		でフィルタされた「アプリケーションレポート」画面が表示されます。
8	使用数	保有するライセンスの内、機器に使用されているライセンス数を表示します。
9	残数	保有するライセンスから使用数を差し引いたライセンスの残数を表示します。
10	未認証数	未認証の機器数を表示します。未認証機器の数は赤色で表示されます。
1	移行元 ID	ライセンスの移行が行われた場合、ライセンスの移行元 ID を表示します。
12	調整数	ライセンスの移行が行われた場合の調整数(例 :「-5」「15」)を表示します。
13	過不足数	「残数」に表示されたライセンスから調整数を差し引いた数を表示します。
14)	[編集]アイコン	保有数の編集を行います。

【実際のライセンス調整の例】

MS Office 2007 のライセンスを 100 本持っていて 10 本不足しています。

MS Office 2010 のライセンスを 100 本持っていて 10 本余計に保有しています。

この解消するために、過剰に保有している 2010 のライセンスを用いて、2007 をアクティベートしました。その結果、MS Office 2007 の 保有数は「100」、使用数は「110」としてカウントされます。「残数」は「保有数」から「使用数」を差し引いた数値となるので、「-10」として カウントされます。このままの状態ですと帳簿として不正に見えてしまうので、実際のライセンス調整オペレーションを「MS Office ライセ ンス管理」ページに反映できるよう、MS Office 2010 から 2007 に 10 ライセンス移動します。

				移行元	ID:	移行先ID:[	移行す	るライゼ	ノス数: 🦳	[ 実行 ]
ID	アプリケーション名 ↓	ライセンス形態 ↓	保有数	使用数 ↓	残数 ↓	未認証数 ↓	移行元D	調整数 ↓	過不足数 ↓	
1	MS Office 2007	製品版または OEM 版	100	110 👜	-10	0		0	0	<ul> <li>Image: A set of the set of the</li></ul>
2										
3	MS Office 2010	製品版または OEM 版	100	90 🖙	10	0		0	0	<ul> <li>Image: A set of the set of the</li></ul>

この調整を「MS Office ライセンス管理」に反映するため、「「移行元 ID:」「移行先 ID:」「移行するライセンス数:」フィール ドを使用して調節を行います。

MS Office 2007 の ID が「1」、MS Office 2010 の ID が「3」だと仮定します。この例では「移行元 ID:」「移行先 ID:」「移行 するライセンス数:」を記入して[実行]ボタンをクリックします。正しく調整が完了すると、「残数」から「調整数」が差し引 かれ、「過不足数」が「0」となります。 移行元ID: 3 移行先ID: 1 移行するライゼンス数: 10 実行

ID	アプリケーション名 ↓	ライセンス形態 ↓	保有数	使用数 ↓	残数 ↓	未認証数 ↓	移行元₪	調整数 ↓	過不足数  ↓	
1	MS Office 2007	製品版または OEM 版	100	110 👜	-10	0	з	10	0	/
2										
3	MS Office 2010	製品版または OEM 版	100	90 🖙	10	0		-10	0	1

調整の導入により、ライセンスの状態は以下の2つに分類されます。

ステータス	ライセンスの状態
調整なし	調整数が未入力。
調整済み	調整数が入力されており、過不足数が「0」。

#### 3.19.6.1 MS Office ライセンス管理画面を表示する

MS Office ライセンス管理画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [MS Office ライセンス管理]をクリックします。

## 3.19.6.2 MS Office ライセンス管理画面の並び替えを行う

表示する MS Office ライセンス管理情報を並び替えます。

- 1. MS Office ライセンス管理画面を表示します。
- 2. 表の見出し部分をクリックして管理情報を並び替えます。

※「保有数」以外の項目で並び替えを行うことができます。

#### 3.19.6.3 MS Office ライセンス一覧をダウンロードする

表示されている MS Office ライセンスを CSV ファイルとしてダウンロードします。

1. MS Office ライセンスを表示します。

2. [CSV ダウンロード]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。

※件数によってはダウンロードに時間がかかる場合があります。

#### 3.19.6.4 MS Office ライセンス一覧を編集する

表示されている MS Office ライセンスを編集します。

「移行元 ID:」「移行先 ID:」「移行するライセンス数:」フィールドを以下のように編集します。
 移行元のアプリケーション ID を最初のフィールド、移行先のアプリケーション ID を中央のフィールド、移行
 するライセンス数を最後のフィールドに記入します。
 2. [実行]ボタンを押してライセンスを移行します。

# 3.19.6.5 MS Office ライセンス管理タブの入力値

MS Office ライセンス管理の設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【保有数】	0 から 2147483647 の間の半角数字を入力します。

Windows 機器に対する使用制限の作成を行います。設定項目および、作成可能な設定セットは以下のとおりです。

## 【注意事項】

◆デバイスマネジメントパック版ではご利用いただけません。

設定項目名	可能な操作
<u>アプリケーション禁止</u>	<u>アプリケーション禁止の設定セットを新規作成する</u> <u>アプリケーション禁止の設定セットを編集する</u> <u>アプリケーション禁止のデフォルト設定セットを指定する</u> <u>アプリケーション禁止の設定セットを複製する</u> <u>アプリケーション禁止の設定セットを削除する</u> <u>アプリケーション禁止の設定セットをまとめて削除する</u>
<u>USB</u>	<u>USB の設定セットを新規作成する</u> <u>USB の設定セットを編集する</u> <u>USB の設定セットを複製する</u> <u>USB の設定セットを削除する</u> <u>USB の設定セットをまとめて削除する</u>
<u>CD/DVD/ブルーレイ</u>	<u>CD/DVD/ブルーレイの設定セットを新規作成する</u> <u>CD/DVD/ブルーレイの設定セットを編集する</u> <u>CD/DVD/ブルーレイの設定セットを複製する</u> <u>CD/DVD/ブルーレイの設定セットを削除する</u> <u>CD/DVD/ブルーレイの設定セットをまとめて削除する</u>
<u>Wi-Fi フィルタリング</u>	Wi-Fi フィルタリングの設定セットを新規作成する Wi-Fi フィルタリングの設定セットを編集する Wi-Fi フィルタリングのデフォルト設定セットを指定する Wi-Fi フィルタリングの設定セットを複製する Wi-Fi フィルタリングの設定セットを削除する Wi-Fi フィルタリングの設定セットをまとめて削除する
<u>暗号化</u>	<u>暗号化の設定セットを新規作成する</u> <u>暗号化の設定セットを編集する</u> <u>暗号化の設定セットを複製する</u> <u>暗号化の設定セットを削除する</u> <u>暗号化の設定セットをまとめて削除する</u>

# 3.20.1 アプリケーション禁止

Windows エージェントに対するアプリケーション禁止ルールに関する設定セットを作成します。当設定セットを用いること で、指定したアプリケーションの起動を禁止することが可能です。作成した設定セットは一括機器設定および、機器ごとの設 定にて適用してください。なお、禁止されているアプリケーションを起動しようとした場合、禁止対象である旨のメッセージ が表示され、アプリケーションの起動が行えません。

【参考ページ】

◇一括機器設定について⇒一括して複数の機器に設定セットを適用する 152 ページ
 ◇機器ごとの設定について⇒単一の機器に設定セットを適用する 61 ページ

00.	アプリケーション禁止 - Windows Internet Explorer	× o v
お気に入り	- アプリケーション禁止	
	【企業名】	
	新規作成	*
	マブリケーション名	
	③ ウインドウ名で禁止するアブリケーション アブリケーション名 ウインドウ名 条件 レーン・ション名 マインドウ名 条件 (+ボタンで追加: 300件まで) ★ 保存	
		÷

項番 対象	彭	兑明
<ol> <li>① 設定名</li> </ol>	ま	お好きな名前を入力します。
② 実行ファ するアフ	<ul> <li>イル名で禁止</li> <li>リケーション</li> <li>に</li> <li>※</li> <li>%</li> <li>例</li> <li>入</li> <li>※</li> </ul>	<ul> <li>実行ファイル名を指定し、アプリケーションの起動を禁止します。</li> <li>・アプリケーション名:アプリケーション名を入力します。(アプリケーション名はお好きなものを入力してください。)</li> <li>・実行ファイル名:実行ファイル名を入力します。</li> <li>※禁止できるファイルは exe ファイルのみです。</li> <li>※実行ファイル名には拡張子(.exe)を含めないでください。列)ペイント(実行ファイル名が mspaint.exe)を禁止する場合は「mspaint」と入力します。</li> <li>※[追加] ● をクリックすると、入力欄が追加されます。</li> <li>※[削除] ● をクリックすると、入力欄が削除されます。</li> </ul>

3	ウィンドウ名で禁止す	ウィンドウ名を指定し、アプリケーションの起動を禁止します。
	るアプリケーション	・アプリケーション名:アプリケーション名を入力します。(アプリケーション名)
		はお好きなものを入力してください。)
		・ウィンドウ名:ウィンドウ名を入力します。
		・条件:「と一致する」「を含む」のどちらかを選択します。
		例)ペイントで作成されたファイルすべてを禁止する場合
		・ウィンドウ名:「ペイント」
		・条件 : 「を含む」を選択
		ウィンドウ名が「abc.png - ペイント」というペイントファイルを禁止する場合
		・ウィンドウ名:「abc.png - ペイント」
		・条件「と一致する」を選択
		※[追加] 💶 をクリックすると、入力欄が追加されます。
		※[削除] 👿 をクリックすると、入力欄が削除されます。

#### 3.20.1.1 アプリケーション禁止画面を表示する

アプリケーション禁止画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [アプリケーション禁止]をクリックします。

## 3.20.1.2 アプリケーション禁止の設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. アプリケーション禁止画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【実行ファイル名で禁止するアプリケーション】

実行ファイル名で禁止対象となるアプリケーションを指定します。

アプリケーション名:アプリケーション名を入力します。

実行ファイル名:実行ファイル名を入力します。指定可能なファイルは exe ファイルのみです。 拡張子は入力しないでください。

【ウインドウ名で禁止するアプリケーション】

ウインドウ名で禁止対象となるアプリケーションを指定します。

アプリケーション名:アプリケーション名を入力します。

ウインドウ名:ウインドウ名を入力します。

アプリケーションを起動した際にタイトルバーに表示される文字列から指定してください。

条件:指定するウインドウ名のマッチング条件を設定します。

#### 3.20.1.3 アプリケーション禁止の設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、アプリケーション禁止の設定セットを新規作成する場合と同様 です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

### 3.20.1.4 アプリケーション禁止のデフォルト設定セットを指定する

デフォルト設定セットを指定します。デフォルト設定セットは、機器がライセンス認証されたときに自動的に適用されます。 自動適用させたい設定がある場合に指定してください。

1. 設定セット一覧より対象とする設定セットの[デフォルトに設定する]をクリックします。

※デフォルトに設定可能な設定セットは1つのみです。

※既にライセンス認証されている機器には適用されません。

デフォルト設定セットの指定後にライセンス認証される機器のみに適用されます。

#### 3.20.1.5 アプリケーション禁止の設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

#### 3.20.1.6 アプリケーション禁止の設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セットー覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.20.1.7 アプリケーション禁止の設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.20.1.8 アプリケーション禁止の設定セット入力値

アプリケーション禁止では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール				
【設定名】	1 文字~30 文字で入力し				
【実行ファイル名で	アプリケーション名	60 文字以内で入力してください。制御文字は入力できません。			
禁止するアプリケーション】		255 文字以内で入力してください。制御文字は入力できません。			
	実行ファイル名	また、次の文字種は入力できません。			
		「¥」、「/」、「<」、「>」、「*」、「?」、「"」、「 」、「:」			
【ウインドウ名で	アプリケーション名	60 文字以内で入力してください。制御文字は入力できません。			
禁止するアプリケーション】	ウインドウ名	255 文字以内で入力してください。制御文字は入力できません。			
		下記から選択			
	条件	・と一致する			
		・を含む			

USBの使用を禁止する機能です。USBストレージのみ禁止する方法、USBストレージおよびポータブルデバイスを禁止する 方法、全ての USB の使用を禁止する方法の 3 通りあります。

項番	設定方法	説明
1	禁止(ストレージのみ)	USB メモリ等の USB 大容量記憶装置の使用を禁止。
2	禁止 (ストレージおよび ポータブルデバイス)	USB メモリ等の USB 大容量記憶装置に加えて、ポータブルデバイスを禁止。 WPD(Windows ポータブル デバイス)として PC に認識されている USB 機器の使 用を禁止することができます。WPD は携帯電話、デジタル カメラ、ポータブル メディアプレーヤーなどの多くの携帯機器で利用される接続機能です。
3	禁止	全ての USB 接続を禁止。

USB 機器の使用を禁止した場合には USB デバイスのハードウェア ID またはデバイスインスタンスパスによる特定機器の許可(ホワイトリスト)が可能です。

全ての USB の使用を禁止した場合、外部、内部を含む USB デバイスが利用できなくなります。(USB を利用するアプリケー ションの中には、起動から禁止される場合もあります。)また、全ての USB の使用を禁止した場合でも、スマートフォンを USB 接続した場合の充電は禁止されません。

【注意事項】

◆設定の際は、注意して設定してください。

- ◆一部のスマートフォンなどのデバイスでは接続の際に使用されるドライバーによってポータブルデバイス、ストレージ以外の接続機能の提供、およびアプリケーションを使用したファイル転送などの機能を提供しています。このようなデバイスの場合、「禁止(ストレージおよびポータブルデバイス)」では USB 機器の利用は禁止できません。個別にアプリケーションの起動禁止を行うか、または USBの「禁止」(すべての USB)機能などでの対応の検討が必要です。
- ◆禁止設定を解除またはホワイトリストに登録した場合、USB デバイスを挿しなおすことでご利用いただけます。
- ◆全ての USB の使用を禁止した場合、お使いの機器によってはキーボード、マウスなどによる入力ができなくなることが

あります。必要に応じてホワイトリストに入力機器を登録してください。

【参考ページ】

◇一括機器設定について⇒一括して複数の機器に設定セットを適用する 152 ページ
 ◇機器ごとの設定について⇒単一の機器に設定セットを適用する 61 ページ

C - USB - Windows Internet Explorer	
OO • Serie on a constraint freque to structure and	
会 お気に入り	
【企業名】	管理者としてログイン中
トップ マップ 機器	メニュー > USB <u>ログアウト</u>
★ ▼ 新規作成	
設定	
設定 – 編集中	
① 設定名	
dSBデバイス ● 許可	
<ul> <li>②</li> <li>○ 禁止(ストレージのみ)</li> <li>※マウス、キーボードなどは ※スマートフォンなどは禁止さ</li> <li>○ 禁止(ストレージおよびボ</li> </ul>	iiLichません。 hません。 ータブルデバイス)
※ストレージ以外にスマートフ ● 禁止	ォンなどのボータブルデバイスも禁止されます。
※下記で許可したデバイス参 ※USB接続の充電は禁止され	結すべてのUSBデバイスの使用が禁止されます。 ません。
③ 許可USBデバイス(ハードウェアID ハードウェアID (+ボタンで追加: 300件まで)	
④ 許可USBデバイス(インスタンスパ インスタンスパスまたはシリアル (+ ボタンで追加: 800件まで)	スまたはシリアルID) D
✔ 保存	
	コープライバシーボリシー 直一 ヘルプ 酒

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	USB デバイス	<ul> <li>・許可:全ての USB の使用を許可します。</li> <li>・禁止(ストレージのみ): USB メモリ等の USB 大容量記憶装置の使用を禁止します。</li> <li>※マウス、キーボードなどは禁止されません。</li> <li>※スマートフォンなどは禁止されません。</li> <li>・禁止(ストレージおよびポータブルデバイス)</li> <li>※WPD(Windows ポータブル デバイス)として PC に認識されているスマートデバイス、カメラなどの USB 接続も禁止されます。</li> <li>※マウス、キーボードなどは禁止されません。</li> <li>・禁止:全ての USB の使用を禁止します。</li> </ul>
3	許可 USB デバイス (ハードウェア ID)	※スペートフォンなどを03B 接続した場合、光電は宗正されよどわ。
4	許可 USB デバイス (インスタンスパス またはシリアル ID)	許可する USB デバイスのインスタンスパスまたはシリアル ID を入力します。 ※300 件まで追加が可能です。 ※[追加] + をクリックすると、入力欄が追加されます。 ※[削除] × をクリックすると、入力欄が削除されます。

# 3.20.2.1 USB 画面を表示する

USB 画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [USB]をクリックします。

## 3.20.2.2 USB の設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. USB 画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

#### 【USB デバイス】

USB デバイスの使用設定を行います。

許可:全ての USB 機器の使用を許可します。

禁止(ストレージのみ): USB メモリ等の USB ストレージの使用を禁止します。

※マウス、キーボードなどは禁止されません。

- ※スマートフォンなどは禁止されません。
- 禁止(ストレージおよびポータブルデバイス)
- ※WPD(Windows ポータブル デバイス)として PC に認識されているスマートデバイス、カメラなどの USB 接続も禁止 されます。

※マウス、キーボードなどは禁止されません。

- 禁止:全ての USB 機器の使用を禁止します。
- ※スマートフォンなどを USB 接続した場合、充電は禁止されません。
- ※【許可 USB デバイス(ハードウェア ID)】、【許可 USB デバイス(インスタンスパスまたはシリアル ID)】で接続禁止 から除外したい USB デバイスを指定できます。

【許可 USB デバイス(ハードウェア ID)】

許可する USB デバイスのハードウェア ID の設定を行います。300 件まで入力可能です。

- ハードウェア ID: ハードウェア ID を入力します。
- ※ハードウェア ID は製品識別に有効な値です。同一製品内の個体識別には使用できません。

#### 【許可 USB デバイス(インスタンスパスまたはシリアル ID)】

許可する USB デバイスのインスタンスパスまたはシリアル ID の設定を行います。300 件まで入力可能です。

インスタンスパスまたはシリアル ID:インスタンスパスまたはシリアル ID を入力します。

※インスタンスパスは個体識別に有効な値です。インスタンスパスにより個体を一意的に特定できるかは製品によりま す。詳しくはご使用のデバイスメーカーにお問い合わせください。

## 3.20.2.3 USB の設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、USBの設定セットを新規作成する場合と同様です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

#### 3.20.2.4 USB の設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

#### 3.20.2.5 USB の設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

#### 3.20.2.6 USB の設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

#### 3.20.2.7 USB の設定セット入力値

USBの設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。
【USB デバイス】	下記から選択
	・許可
	・禁止(ストレージのみ)

	・禁止(ストレージおよびポータブルデバイス)
	・禁止
【許可 USB デバイス(ハードウェア ID)】	ハードウェア ID の情報を入力します。
	確認したハードウェア ID の形式にしたがって入力してください。
	半角英数字と記号で入力してください。
	※USB 機器によって入力値が異なることがございます。
	※ハードウェア ID は最大 300 件まで登録できます。
【許可 USB デバイス	インスタンスパスまたはシリアル ID の情報を入力します。
(インスタンスパスまたはシリアル ID)】	確認したインスタンスパスまたはシリアル ID の形式にしたがって入力してくださ
	い。
	半角英数字と記号で入力してください。
	※USB 機器によって入力値が異なることがございます。
	※インスタンスパスとシリアル ID は合計最大 300 件まで登録できます。

CD/DVD/ブルーレイの使用を禁止する機能です。作成した設定セットは一括機器設定および、機器ごとの設定にて適用後、 機器を再起動することで有効となります。

【参考ページ】

◇一括機器設定について⇒一括して複数の機器に設定セットを適用する 152 ページ

◇機器ごとの設定について⇒単一の機器に設定セットを適用する 61ページ

CD/DVD/J/-L-1 - Windows Internet Explorer		
☆ お気に入り	- CD/DVD/ブルーレイ	
	 【企業名】 トップ	管理者としてログイン中       マップ     機器       メニュー     CD/DVD/ブルーレイ       ゴグアウト       新規作成
	へ 第 語	201 </th
		端末を再起動した後に設定が反映されます。 定名
		<ul> <li>許可</li> <li>禁止</li> </ul>
	I < 1/1 → P	■ ■  利用規約@ プライバシーボリシー@ ヘルブ@

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	CD/DVD/ブルーレイ	・許可:CD/DVD/ブルーレイの使用を許可します。 ・禁止:CD/DVD/ブルーレイの使用を禁止します。

#### 3.20.3.1 CD/DVD/ブルーレイ画面を表示する

CD/DVD/ブルーレイ画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [CD/DVD/ブルーレイ]をクリックします。

## 3.20.3.2 CD/DVD/ブルーレイの設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. CD/DVD/ブルーレイ画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

## 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【CD/DVD/ブルーレイ】

CD/DVD/ブルーレイの使用設定を行います。

許可:CD/DVD/ブルーレイの利用を許可します。

禁止:CD/DVD/ブルーレイの利用を禁止します。

#### 3.20.3.3 CD/DVD/ブルーレイの設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、CD/DVD/ブルーレイの設定セットを新規作成する場合と同様です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

#### 3.20.3.4 CD/DVD/ブルーレイの設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。

以降は新規作成の場合と同様です。

## 3.20.3.5 CD/DVD/ブルーレイの設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.20.3.6 CD/DVD/ブルーレイの設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.20.3.7 CD/DVD/ブルーレイの設定セット入力値

CD/DVD/ブルーレイの設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール	
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。	
【CD/DVD/ブルーレイ】	下記から選択	
	• 許可	
	・禁止	

特定の無線LAN アクセスポイントのみ接続を許可する機能です。指定された SSID または MAC アドレス以外への Wi-Fi 接続 は禁止されます。作成した設定セットは一括機器設定および、機器ごとの設定にて適用してください。Windows エージェン トは Wi-Fi 接続時に接続先アクセスポイントの SSID および MAC アドレスを、許可するネットワークリストと比較し、接続 を許可・中断します。

【参考ページ】

◇一括機器設定について⇒一括して複数の機器に設定セットを適用する 152 ページ
 ◇機器ごとの設定について⇒単一の機器に設定セットを適用する 61 ページ

@ 0,0=== HI -	- Wi-Fiフィルタリング - Windows Internet Explorer	
<b>O</b> • <b>E</b>	🗸 🔒 😽 🗙 🚮 Google	<del>ب</del> م
🏫 お気に入り	・Wi-Fiフィルタリング	
	[企業名]	管理者としてログイン中
and the second s	トップ マップ 機器 メニュー > Wi-Fiフィルタリング	ログアウト
	新規作成	
	設定	
	設定 - 編集中	
	(1) 設定名	
	<ul> <li>(2) 許可するネットワーク</li> <li>SSD MACアドレス</li> <li>(+ボタンで追加: 300件まで)</li> </ul>	×
	✔ 保存	
		-

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	許可するネットワーク	端末に接続を許すネットワークリストを作成します。 ・SSID:SSID を入力します。 ・MAC アドレス:アクセスポイントの MAC アドレスを入力します。 ※300 件まで追加が可能です。 ※MAC アドレスの指定は任意です。 ※MAC アドレスとは、アクセスポイントの BSSID を意味します。 ※同一の SSID に複数の MAC アドレスを指定することが可能です。 ※[追加] ◆ をクリックすると、入力欄が追加されます。 ※[削除] ※ をクリックすると、入力欄が削除されます。

Wi-Fi フィルタリング画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [Wi-Fi フィルタリング]をクリックします。

## 3.20.4.2 Wi-Fi フィルタリングの設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

1. Wi-Fi フィルタリング画面を表示します。

- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【許可するネットワーク】

Wi-Fi フィルタリングの使用設定を行います。 SSID : 許可するネットワークに追加する SSID 名を入力します。

MAC アドレス:アクセスポイントの MAC アドレスを入力します。

#### 3.20.4.3 Wi-Fi フィルタリングの設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、Wi-Fi フィルタリングの設定セットを新規作成する場合と同様で す。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

#### 3.20.4.4 Wi-Fi フィルタリングのデフォルト設定セットを指定する

デフォルト設定セットを指定します。デフォルト設定セットは、機器がライセンス認証されたときに自動的に適用されます。 自動適用させたい設定がある場合に指定してください。

1. 設定セット一覧より対象とする設定セットの[デフォルトに設定する]をクリックします。

※デフォルトに設定可能な設定セットは1つのみです。

※既にライセンス認証されている機器には適用されません。

デフォルト設定セットの指定後にライセンス認証される機器のみに適用されます。

## 3.20.4.5 Wi-Fi フィルタリングの設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

#### 3.20.4.6 Wi-Fi フィルタリングの設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

#### 3.20.4.7 Wi-Fi フィルタリングの設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セットー覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

#### 3.20.4.8 Wi-Fi フィルタリングの設定セット入力値

Wi-Fi フィルタリングの設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール	
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。	
【許可するネットワーク】	SSID	入力必須です。
		32 文字以内で入力してください。
		半角英数字、「-」、「_」、「@」のみで入力してください。
	MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX」(X は大文字の 16 進数)という形式で入
		カしてください。

Windows セットアップに対する設定および、設定セットの作成を行います。設定項目および、作成可能な設定セットは以下のとおりです。

【注意事項】

◆デバイスマネジメントパック版ではご利用いただけません。

設定項目名	可能な操作
<u>暗号化</u>	<ul> <li>暗号化の設定セットを新規作成する</li> <li>暗号化の設定セットを編集する</li> <li>暗号化の設定セットを複製する</li> <li>暗号化の設定セットを削除する</li> <li>暗号化の設定セットをまとめて削除する</li> </ul>
<u>プロキシ</u>	<u>プロキシの設定セットを新規作成する</u> <u>プロキシの設定セットを編集する</u> <u>プロキシの設定セットを複製する</u> <u>プロキシの設定セットを削除する</u> <u>プロキシの設定セットをまとめて削除する</u>

## 3.21.1 暗号化

BitLocker を使用して、お使いの Windows 機器のシステムドライブのデータを暗号化します。作成した設定セットは一括機 器設定および、機器ごとの設定にて適用してください。データドライブおよびリムーバブルディスクは手動による暗号化が 必要です。

【注意事項】

- ◆BitLocker は Windows が提供する暗号化機能です。本機能は BitLocker 機能を備える OS、エディションにのみ対応しています。 ただし、以下に該当する機器については対象外となります。
  - ・既に本製品以外の暗号化ツールを導入している機器
  - ・デュアルブート環境を導入している機器
  - ・Windows7 で TPM が非搭載の機器
- ◆上記の条件を満たす全ての Windows 機器に暗号化が行える保障はございません。事前に動作確認を行ってください。 本機能で、暗号化が行えない場合や BitLocker のオプション機能が必要な場合は、手動にて暗号化する事もご検討ください。 ◆回復キーについては「機器」画面の「セキュリティ」タブ(49ページ)を参照してください。

【参考ページ】

◇一括機器設定について⇒一括して複数の機器に設定セットを適用する 152 ページ

◇機器ごとの設定について⇒単一の機器に設定セットを適用する 61 ページ



項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	BitLocker の有効化/無 効化	暗号化の有効化/無効化を指定します。

#### 3.21.1.1 暗号化画面を表示する

暗号化画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。

2. [暗号化]をクリックします。

## 3.21.1.2 暗号化の設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. 暗号化画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【BitLocker の有効化/無効化】

暗号化の利用可否を指定します。

有効化する:暗号化を利用します。 無効化する:暗号化を利用しません。

## 3.21.1.3 暗号化の設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、暗号化の設定セットを新規作成する場合と同様です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

#### 3.21.1.4 暗号化の設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

## 3.21.1.5 暗号化の設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.21.1.6 暗号化の設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.21.1.7 暗号化の設定セット入力値

暗号化の設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名 ルール		
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。	
【BitLocker の有効化/無効化】	下記から選択	
	・有効化する	
	・無効化する	

インターネット接続に利用するプロキシサーバーの設定を行う機能です。本設定では、端末のインターネットオプションの プロキシサーバーの設定を行います。作成した設定セットは一括機器設定および、機器ごとの設定にて適用してください。

【参考ページ】

◇一括機器設定について⇒一括して複数の機器に設定セットを適用する 152 ページ

◇機器ごとの設定について⇒単一の機器に設定セットを適用する 61 ページ

	プロキシ - Windows Internet Explorer		
<ul> <li></li></ul>	Rinney HI - Th‡>		• 4
	【企業名】 「トップ		管理者としてログイン中 ログアウト
	<u>م</u>	新規作成	~
		設定 - 編集中	_
	0	設定名	
	2	プロキシ設定の利用 ◎ 利用する ◎ 利用しない	
	3	プロキシサーバー設定     種類     プロキシサーバーアドレス     ?       HTTP	
	4	例外設定 アドレス (+ボタンで追加: 10件まで) ※設定を誤った場合通信不能となり、制御できなくなってしまうため十分ご確認ください	
		✓ 保存   利用規約@ ブライバシーボリシー@ ヘルブ@	*

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	プロキシ設定の利用	<ul> <li>・利用する:プロキシを利用し、接続先のプロキシサーバーを指定します。</li> <li>・利用しない:プロキシを利用しません。</li> </ul>
3	プロキシサーバー設定	<ul> <li>・種別:設定できるプロキシサーバーのプロトコル種別です。利用する種別のチェックボックスをオンにします。</li> <li>・プロキシサーバーアドレス:指定するプロキシサーバーのアドレスです。</li> <li>・ポート:各プロトコルで利用するポート番号を指定します。</li> <li>・全てのプロトコルに同じプロキシサーバーを使用する:全てのプロトコル種別に同一のプロキシサーバーを指定する場合にチェックします。</li> </ul>
4	例外設定	・アドレス : 例外として許可するプロキシサーバーを指定します。 ※[追加] + をクリックすると、入力欄が追加されます。 ※[削除] x をクリックすると、入力欄が削除されます。

## 3.21.2.1 プロキシ画面を表示する

プロキシ画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [プロキシ]をクリックします。

## 3.21.2.2 プロキシの設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. プロキシ画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

#### 【設定名】

設定セットの名称を指定します。

#### 【プロキシ設定の利用】

利用する:プロキシを利用し、接続先のプロキシサーバーを指定します。

- 利用しない: プロキシを利用しません。このチェックボックスをチェックすると「プロキシサーバー設定」は使用できません。
- 【プロキシサーバー設定】
  - 種別:プロトコル種別ごとにプロキシサーバーを指定します。HTTP、Secure、FTP、Socks プロトコルでの指定が可能 です。各種別のチェックボックスをチェックすると、「プロキシサーバーアドレス」と「ポート」が入力可能に なります。

※チェックボックスのチェックを外しても「プロキシサーバーアドレス」と「ポート」の入力値はクリアされま せん。

プロキシサーバーアドレス:プロキシサーバーのアドレスを指定します。

※誤ったプロキシ設定を行った場合には、InternetExplorerによるインターネット接続や 自動での Windows Update が接続不可となる可能性があります。

ポート:各プロトコルで利用するポート番号を指定します。

全てのプロトコルに同じプロキシサーバーを使用する:このチェックボックスで全てのプロトコル種別に同一のプロキ シサーバーを指定します。

#### 【例外設定】

例外として許可するプロキシサーバーを指定します。

## 3.21.2.3 プロキシの設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、プロキシの設定セットを新規作成する場合と同様です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

## 3.21.2.4 プロキシの設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。
   以降は新規作成の場合と同様です。

## 3.21.2.5 プロキシの設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

#### 3.21.2.6 プロキシの設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.21.2.7 プロキシの設定セット入力値

プロキシの設定では下記入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【設定名】	1 文字~30 文字で入力してください。
【プロキシ設定の利用】	下記より選択
	・利用する

	・利用しない		
【プロキシサーバー設定】	種別	利用するプロトコル種別を選択します。	
		• HTTP	
		Secure	
		• FTP	
		• Socks	
	プロキシサーバーアド	プロキシサーバーのアドレスを入力。	
	レス	200 文字以内で入力してください。	
		半角英数字、記号のみで入力してください。	
		先頭は「http://」か「https://」にしてください。	
	ポート	接続先のポート番号を入力。	
		入力必須です。	
		半角数字のみ入力できます。	
		0 以上 65535 以下を指定してください。	
【例外設定】	アドレス	10 件以下にしてください。	
		重複しないものを入力してください。	

# 3.22 Windows MS-MDM

Windows MS-MDM に対する設定および、設定セットの作成を行います。設定項目および、作成可能な設定セットは以下のとおりです。

【注意事項】

◆デバイスマネジメントパック版ではご利用いただけません。

設定項目名	可能な操作
<u>Web フィルタリング(MS-MDM)</u>	Web フィルタリング(MS-MDM)の設定セットを新規作成する           Web フィルタリング(MS-MDM)の設定セットを編集する           Web フィルタリング(MS-MDM)の設定セットを複製する           Web フィルタリング(MS-MDM)の設定セットを複製する           Web フィルタリング(MS-MDM)の設定セットを削除する           Web フィルタリング(MS-MDM)の設定セットを削除する

## 3.22.1 Web フィルタリング(MS-MDM)

MS-MDM を利用した Web フィルタリングを通じて、Web 閲覧を制限する機能です。対象の Windows 機器でフィルタリング を行うにはバッチファイルの実行と設定が必要です。このバッチファイルは、マニュアルサイトからダウンロードが可能で す。詳しくは「Windows エージェントユーザマニュアル」の「Web フィルタリング(MS-MDM)の設定を行う」を参照してく ださい。

特定の Web サイトの URL を「禁止する URL」に登録することで、特定の Web サイトへのアクセスを禁止することが可能で す。

また、「許可する URL」を指定することで、許可された特定の URL 以外のアクセスをすべて禁止することが可能です。

「許可する URL」「禁止する URL」を同時に指定することで、より細かいアクセスの規制を行うことが可能です。

例 1 : google.com へのアクセスを禁止し、Google Maps と Google ニュースへのアクセスのみ許可 検索エンジン Google へのアクセスを禁止する場合は「禁止する URL」に「https://www.google.com」を追加します。しかし、 Google Maps と Google ニュースのみ例外的にアクセスを許可したい場合は、

「https://www.google.com/maps」「https://news.google.com/news」を「許可する URL」に追加します。

例 2 : google.com へのアクセスを許可するが、Google Maps と Google ニュースへのアクセスのみを禁止 検索エンジン Google へのアクセスを許可する場合は「許可する URL」に「https://www.google.com」を追加します。しかし、 Google Maps と Google ニュースのみ例外的にアクセスを禁止したい場合は、

「https://www.google.com/maps」「https://news.google.com/news」を「禁止する URL」に追加します。

【注意事項】

- ◆本機能は、Windows 機器のみ有効です。
- ◆対象 OS は、「Windows 8.1 Update」を適用済みの Windows 8.1/Pro/ Enterprise です。
- ◆本機能の使用には対象の Windows 機器での設定が必要です。必要な設定については、「Windows ユーザーマニュアル」の「MS-MDMの基本操作」を参照してください。
- ◆Web フィルタリングが設定どおりに有効にならない場合(禁止された URL にアクセスできてしまう場合など)、機器のブラウザのキャッシュを消去し、機器を再起動してください。

e - ユーザー - Windows Internet Explorer	- • ×
	<del>ب</del> م
☆ お気に入り	
【企業名】 管理者として	ログイン中
トップ マップ 機器 メニュー > Webフィルタリング(MS-MDM) ログ	701
設定 操作 👻	
設定 - 編集中	
2 3 ダウンロードを禁止	
3 UR (+ボなノア)皆加: 200/(生まで)	
京山 中国 Call Call Call Call Call Call Call Cal	
URL (+ボタンで追加: 300件まで)	
※「許可するURL」に登録したURLのみ閲覧可能です。 ※「許可するURL」を登録したいより場合、すべてのWeb閲覧が禁止されます。	
*本機能はレジストリの編集を行ったWindows(MS-MDM機器のみ適用できます。詳しくはWindowsエージェントマニュアルをご参照ください。	
※Windows 8.1 Updateを適用している必要があります。	
	Ŧ

項番	対象	説明
1	設定名	お好きな名前を入力します。
2	ダウンロードを禁止	チェックボックスをオンにして、ファイルのダウンロードを禁止します。
3	許可する URL	アクセスを許可する URL を入力します。
4	禁止する URL	アクセスを規制する URL を入力します。

## 3.22.1.1 Web フィルタリング(MS-MDM)の設定セット画面を表示する

Web フィルタリング(MS-MDM)画面を表示します。

- 1. メニュータブをクリックします。
- 2. [Web フィルタリング(MS-MDM)]をクリックします。

# 3.22.1.2 Web フィルタリング(MS-MDM)の設定セットを新規作成する

設定セットを作成します。

- 1. Web フィルタリング(MS-MDM)画面を表示します。
- 2. [新規作成] + をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

※入力項目の詳細は以下のとおりです。

【設定名】

設定セットの名称を指定します。

【ファイルダウンロード】

「ダウンロードを禁止」をチェックして、Windows 機器へのダウンロードを禁止します。

#### 【許可する URL】

アクセスが許可された URL のホワイトリストです。 ※[追加] ・ をクリックすると、入力欄が追加されます。 ※[削除] をクリックすると、入力欄が削除されます。

【禁止する URL】

アクセスを禁止する URL のブラックリストです。 ※[追加] ・ をクリックすると、入力欄が追加されます。 ※[削除] ・ をクリックすると、入力欄が削除されます。

#### 3.22.1.3 Web フィルタリング(MS-MDM)の設定セットを編集する

作成済みの設定セットを編集します。入力項目に関しては、Web フィルタリング(MS-MDM)の設定セットを新規作成する場 合と同様です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [編集]をクリックします。
- 3. 必要事項を入力して、[保存]をクリックします。

#### 3.22.1.4 Web フィルタリング(MS-MDM)の設定セットを複製する

作成済みの設定セットを複製します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。

3. [複製]をクリックすると複製元の設定が初期値として表示された状態で新規作成画面が開きます。

以降は新規作成の場合と同様です。

#### 3.22.1.5 Web フィルタリング(MS-MDM)の設定セットを削除する

作成済みの設定セットを削除します。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットをクリックします。
- 2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
- 3. [削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.22.1.6 Web フィルタリング(MS-MDM)の設定セットをまとめて削除する

作成済みの設定セットを複数指定して削除します。削除したい対象が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

- 1. 設定セット一覧より対象とする設定セットのチェックボックスにチェックを入れます。
- 2. [その他の操作] 🔽 をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
- 3. [一括削除]をクリックします。
- 4. 確認画面で[OK]をクリックします。

## 3.22.1.7 Web フィルタリング(MS-MDM)の設定セット入力値

Web フィルタリング(MS-MDM)の設定では下記入力ルールで設定を行います。

大項目名	小項目名	ルール	
設定名		1 文字~30 文字で入力してください。	
		入力必須です。	
	URL	設定内で重複はできません。	
許可する URL		200 文字以内で入力してください。	
		半角英数字、記号のみで入力してください。	
		先頭は「http://」か「https://」にしてください。	
		入力必須です。	
	URL	設定内で重複はできません。	
禁止する URL		200 文字以内で入力してください。	
		半角英数字、記号のみで入力してください。	
		先頭は「http://」か「https://」にしてください。	

# 4 備考

本章では、機能および操作以外で管理・運用の際に必要となる情報を記載します。

4.1	機能一覧	
4.2	ログー覧	
4.2.1	操作ログ	
4.2.2	システムログ	
4.2.3	Apple MDM ログ	
4.2.4	Android エージェントログ	451
4.2.5	iOS エージェントログ	
4.2.6	Windows エージェントログ	
4.3	バックアップ・復元項目一覧	457
4.4	インポートデータ入力方法	
4.5	VPP アプリケーションの配信手順	
4.5.1	VPP トークンについて	
4.5.2	VPP トークンの管理サイトへのアップロード	
4.5.3	VPP ライセンスの確認	
4.5.4	端末とユーザーの関連付け	
4.5.5	ライセンスの仮割当・割当の反映	
4.5.6	ライセンスの回収	
4.5.7	管理対象アプリポリシーの作成	
4.5.8	アプリケーション配信設定の作成	
4.5.9	アプリケーション配信設定を割当	
4.5.10	iOS 端末での割当許可	
4.6	同期情報一覧	
4.6.1	管理サイト→端末	
4.6.2	端末→管理サイト	
4.7	「(設定なし)」とした場合の各種設定の挙動	
4.7.1	Android	
4.7.2	iOS	
4.7.3	Windows	
4.8	ハードウェア ID インスタンスパスまたはシリアル ID の調べ方	
4.8.1	調査方法	
4.8.2	ハードウェア ID の取得	
4.8.3	デバイス インスタンス パスからのハードウェア ID とシリアル ID の取得	
4.9	用語集	

OS別の機能一覧は下記の通りです。使用できる機能には、機能詳細が書かれているページ数を表記しており、使用できない 機能には、「-」を表記しています。

機能名		Android	iOS	Windows	
組織	組織図	96			
	組織	97			
	組織インポート(新規)	101			
	組織インポート(変更)	103			
	組織エクスポート		105		
Zone	ゾーン		108		
Management	ポリシー		113		
	ゾーンポリシー構成		117		
ユーザー	ユーザー		121		
	ユーザーカスタム項目		131		
	ユーザーインポート(新規)		137		
	ユーザーインポート(変更)		139		
	ユーザーエクスポート		141		
		144			
	機器	144			
	機器カスタム項目	145			
	一括機器設定	151			
	機器インポート(新規)	154			
	機器インポート(変更)		156		
	機器レポート(エクスポート)		158		
	管理外機器エクスポート		-	160(※1)	
	アプリケーションレポート		162		
	メッセージ通知		165	-	
	ネットワーク		-	171(※1)	
	クライアント証明書	57			
	(Android/iOS/Windows 機器のみ)				
証明書管理	クライアント証明書管理	176			
	クライアント証明書一括アップロード	179			
	CA 証明書管理	181			
管理	ログ	185			
	通知設定	188			
	ポータル表示設定	193			
	認証制御設定	196			
設定	個人設定		199		
使用制限	アプリケーション禁止	223	-	402	
---------	-------------------	-----	-----	-----	
	SD カード	228	-	-	
	カメラ	232	-	-	
	Bluetooth	235	-	-	
	スクリーンロック	238	-	-	
	リモートロック	243	70	75	
	リモートワイプ	247	71	76	
	Wi-Fi フィルタリング	250	-	414	
	Web フィルタリング		289	-	
	Web 閲覧履歴		293	-	
	発信先制限	253	-	-	
	アプリケーション検知	257	355	-	
	Secure Shield	261	-	-	
	USB	-	-	406	
	CD/DVD/ブルーレイ	-	-	411	
ウイルス対策ソ	ウイルス対策機能	267	-	-	
フト					
セットアップ	アプリケーション配信	272	350		
	Wi-Fi	276	-	-	
	お気に入り		296	-	
	連絡先	280	-	-	
	暗号化	285	-	418	
	プロキシ	-	-	421	
	構成プロファイル	-	305	-	
	構成プロファイルアップロード	-	310	-	
	ローミング設定	-	330	-	
	オリジナルアプリ登録	-	346	-	
	システム設定・診断	-	-	390	
	システムセキュリティ	-	-	393	
	MS Office ライセンス管理	-	-	397	
	VPP ライセンス	-	334	-	
	VPP 設定テンプレート	-	340	-	
	管理対象アプリポリシー	-	343	-	

その他	設定テンプレート	203	300	379
	Apple Push 証明書登録	-	363	-
	エージェント共通管理	207	303	382
	エージェント個別管理	211	-	387
	設定バックアップ	214	-	-
	位置情報管理	216	-	-
	App Manager	219	-	-

※1:Windows エージェントを使用し、機器検出が ON になっている場合のみ使用できる機能です。

#### 4.2 ログ一覧

管理サイトのログ画面で確認できるログを以下に示します。

## 4.2.1 操作ログ

管理サイト上での操作に関するログの一覧です。一部の操作ログについては、SP サイトから操作を行った際に企業名が付与 されます。それ以外は SP サイトン管理サイトともに同じログ内容となります。

【注意事項】

◆以下のログはデバイスマネジメントパック版のみで出力されます。

⇒オプション契約ログ 446 ページ

⇒法人契約情報プロビ項目 API ログ 446 ページ

⇒法人管理者 ID 管理連携 API ログ 446 ページ

⇒デバイス情報プロビ項目 API ログ 447 ページ

ログ名	契機	種別	ログ
ログインログ	(供行场化)	答理	企業「(対象企業)」に対してユーザー「(ログインユーザー)」が~
		日生	※他の企業の画面で操作
		色田	(なし)
		官理	※存在しないコントローラーにアクセス
		ÁA: TER	(なし)
		官理	※未ログイン状態で、ログインが必要なコントローラーにアクセス
		体田	(なし)
	(凹凹渣杉)	官理	※ログイン状態で、セッションの有効期限を過ぎた
		佐田	(なし)
		官理	※ログイン状態で、存在しないリソースや表示権限のないリソースにアクセス
		佐田	(なし)
		官理	※Ajax のみで使用される URL にブラウザーでアクセス
	ログアウト	管理	"ユーザー名"がログアウトしました。
	ログイン	管理	"ユーザー名"がログインしました。
企業管理ログ	企業作成	管理	"ユーザー名"が企業「(企業名)」を作成しました。
		管理	"ユーザー名"が企業「(企業名)」を変更しました。
	入类竺田桂起亦五		※企業名を変更しない場合
	正未官理情報変更	答田	"ユーザー名"が企業「(旧企業名)」を「(新企業名)」に変更しました。
		官理	※企業名を変更する場合
	企業削除	管理	"ユーザー名"が企業「(企業名)」を削除しました。
	企業一括削除	管理	"ユーザー名"が企業を一括削除しました:「(企業名 1)」,「(企業名 2)」,
	利用企業ライセンス更新	管理	"ユーザー名"が企業「(企業名)」のライセンスを変更しました。
	利用企業アプリ更新	管理	"ユーザー名"が企業「(企業名)」のアプリ「(アプリ名)」を変更しました。
ユーザー	ユーザー作成	管理	"ユーザー名"がユーザー「(ユーザー名)」を作成しました。
管理ログ		体田	"ユーザー名"がユーザー「(ユーザー名)」を変更しました。
	ユーリー官理情報変更	管埋	※ユーザー名を変更しない場合

ログ名	契機	種別	ログ
		答理	"ユーザー名"がユーザー「(旧ユーザー名)」を「(新ユーザー名)」に変更しました。
			※ユーザー名を変更する場合
	ユーザーパスワード変更	管理	"ユーザー名"がユーザー「(ユーザー名)」のパスワードを変更しました。
	ユーザー削除	管理	"ユーザー名"がユーザー「(ユーザー名)」を削除しました。
	ユーザーー括削除	管理	"ユーザー名"がユーザーを一括削除しました:「(ユーザー名1)」,「(ユーザー名2)」,…
組織ログ	組織作成	管理	"ユーザー名"が組織「(組織名)」を作成しました。
		答理	"ユーザー名"が組織「(組織名)」を変更しました。
	<b>組織</b> 面新	БÆ	※組織名を変更しない場合
		管理	"ユーザー名"が組織「(旧組織名)」を「(新組織名)」に変更しました。
		БÆ	※組織名を変更する場合
	組織削除	管理	"ユーザー名"が組織「(組織名)」を削除しました。
	組織一括削除	管理	"ユーザー名"が組織を一括削除しました:「(組織名 1)」,「(組織名 2)」,…
		答理	"ユーザー名"が組織「(組織名)」の Android 機器に対して設定テンプレート「(テンプレ
		БÆ	ート名)」を適用しました。
	設定テンプレート適用	答理	"ユーザー名"が組織「(組織名)」の iOS 機器に対して設定テンプレート「(テンプレート
	設たナノノレート適用	БÆ	名)」を適用しました。
		管理	"ユーザー名"が組織「(組織名)」の Windows 機器に対して設定テンプレート「(テンプレ
			ート名)」を適用しました。
		管理	"ユーザー名"が組織「(組織名)」の Android 機器に対する設定を変更しました。
	設定変更	管理	"ユーザー名"が組織「(組織名)」の iOS 機器に対する設定を変更しました。
		管理	"ユーザー名"が組織「(組織名)」の Windows 機器に対する設定を変更しました。
マップログ	除外	管理	"ユーザー名"が MAC アドレス「(MAC アドレス)」の機器を除外しました。
	除外解除	管理	"ユーザー名"が MAC アドレス「(MAC アドレス)」の機器を除外から解除しました。
機器ログ	ライセンス認証待ち iOS 機器作成	管理	"ユーザー名"がライセンス認証待ちの iOS 機器「(機器名)」を作成しました。
	ライセンス認証待ち Android 機器作成	管理	"ユーザー名"がライセンス認証待ち Android 機器「(機器名)」を作成しました。
	ライセンス認証待ち Windows 機器作成	管理	"ユーザー名"がライセンス認証待ち Windows 機器「(機器名)」を作成しました。
	パッケージ	管理	"ユーザー名"が機器「(機器名)」のライセンスを変更しました。
		答理	"ユーザー名"が機器「(機器名)」を変更しました。
	楼哭笸玾恄叝亦百	БÆ	※機器名を変更しない場合
		答理	"ユーザー名"が機器「(旧機器名)」を「(新機器名)」に変更しました。
		БÆ	※機器名を変更する場合
	機器設定変更(各機能ごと)	管理	"ユーザー名"が機器「(機器名)」の(機能名)の設定を「(設定名)」に変更しました。
	機器削除	管理	"ユーザー名"が機器「(機器名)」を削除しました。
	機器一括削除	管理	"ユーザー名"が機器を一括削除しました:「(機器名 1)」,「(機器名 2)」,
	同期開始	答理	"ユーザー名"が機器「(機器名)」に同期を通知しました。
	אמתואריי	ц	※Android, iOS 共通
	同期字了	管理	(なし)
		官理	※Android のみ
	同期失敗	管理	(なし)
		百姓	※Android のみ
	Push 通知無効時	管理	(なし)

ログ名	契機	種別	ログ		
	リモートロック通知	管理	"ユーザー名"が機器「(機器名)」にリモートロックを通知しました。		
	ロック解除	管理	"ユーザー名"が機器「(機器名)」にロック解除を通知しました。		
	リモートワイプ通知	管理	"ユーザー名"が機器「(機器名)」にリモートワイプを通知しました。		
	パスコード削除通知	管理	"ユーザー名"が機器「(機器名)」にパスコード削除を通知しました。		
	同期				
	リモートロック通知				
	リモートワイプ通知	官埋			
	パスコード削除通知		証明書が登録されていない or 有効期限切れの場合		
	Exchange 設定作成	管理	"ユーザー名"が機器「(機器名)」の Exchange 設定を作成しました。		
	Exchange 設定変更	管理	・ユーザー名"が機器「(機器名)」の Exchange 設定を変更しました。		
	Exchange 設定削除	管理	"ユーザー名"が機器「(機器名)」の Exchange 設定を削除しました。		
インポート			"ユーザー名"が(インポート対象)の新規インポートの CSV ファイルをアップロードしま		
共通ログ		管理	Lt		
			※新規の場合		
			"ユーザー名"が(インポート対象)の変更インポートの CSV ファイルをアップロードしま		
	アップロード	管理	した。		
			※変更の場合		
		管理	(なし)		
			※指定されたファイルがサーバー上で見つからない場合		
		管理	(なし)		
			※ファイルが空(0Byte)の場合		
		管理	(なし)		
			※ファイルサイズが 10MB を越えている場合		
		管理	(なし)		
			※拡張子が.csv でない場合		
		答理	(なし)		
		日生	※タブ・改行以外の制御文字が含まれている場合		
		答理	(なし)		
		672	※文字コードが正しくない場合		
		管理	(なし) ※CSV として正しい形式でない場合		
		管理	(なし) ※CSV にヘッダー行しかない場合		
		管理	(なし) ※エラーが一つ以上ある場合		
	バリデーション	答理	(なし)		
		日生	※中断した場合		
		管理	"ユーザー名"が(インポート対象)の新規インポートを開始しました。		
		管理	"ユーザー名"が(インポート対象)の変更インポートを開始しました。		
	インポート		"ユーザー名"が(インポート対象)の新規インポートを中断しました。(成功 n 件、失敗		
		管理	n 件)		
			※中断した場合		

ログ名	契機	種別	ログ
		管理	"ユーザー名"が(インポート対象)の変更インポートを中断しました。(成功 n 件、失敗
			n 件)
			※中断した場合
			"ユーザー名"がインポートで(インポート対象)を一括作成しました。(成功n件、失敗n
			件)
		管理	※成功とエラーの両方の行がある場合
			  ※全ての行がエラーの場合
			件)
		管理	   ※成功とエラーの両方の行がある場合
			※全ての行がエラーの場合
レポートログ	レポート作成	管理	(なL)
(機器/アプリ)		管理	(¢)
一括機器			(30) 
設定ログ		管理	
(Android)			/~。 
() maronay	機器設定一括変更(各機能ごと)		
		答理	
		日生	
		管理	
	ᆘᆍᆖᅣᇦᇖᄼᅝᆆ		
	リモードログノ通知	管理	ユーサー右 が (版語) 現石) が (クルーク石) の Android 版語にアモードロックを 通知 」 = 1 た
		管理	ユーサー名が主ての Android (成都にロック)件味を通知しました。
	ロック解除	AAC TER	ユーサー名 かい 企業分類名 リかいクルーク名 りの Android 機器にロック解除を通知
		官埋	
			※クルーノの機器に対して一括変更した場合
		管理	"ユーザー名"が全ての Android 機器にリモートワイフを通知しました。
			※全ての機器に対して一括変更した場合
	リモートワイプ通知		- "ユーザー名"が「(企業分類名)」が「(グルーブ名)」の Android 機器にリモートワイブを
		管理	
			※グループの機器に対して一括変更した場合
一括機器		管理	"ユーザー名"が全ての iOS 機器の(機能名)の設定を「(設定名)」に一括変更しました。
設定ログ			※全ての機器に対して一括変更した場合
(iOS)	機器設定一括変更(各機能ごと)		"ユーザー名"が「(機器分類名)」が「(グループ名)」の iOS 機器の(機能名)の設定を
		管理	「(設定名)」に一括変更しました。
			※グループの機器に対して一括変更した場合
	リモートロック通知	管理	"ユーザー名"が全ての iOS 機器にリモートロックを通知しました。
		官理	※全ての機器に対して一括変更した場合

ログ名	契機	種別	ログ
			"ユーザー名"が「(機器分類名)」が「(グループ名)」の iOS 機器にリモートロックを通知
		管理	しました。
			※グループの機器に対して一括変更した場合
		<i></i>	"ユーザー名"が全ての iOS 機器にリモートワイプを通知しました。
		管埋	※全ての機器に対して一括変更した場合
	リモートワイプ通知		"ユーザー名"が「(機器分類名)」が「(グループ名)」の iOS 機器にリモートワイプを通知
		管理	しました。
			※グループの機器に対して一括変更した場合
			"ユーザー名"が全ての iOS 機器にパスコード削除を通知しました。
		管理	※全ての機器に対して一括変更した場合
	パスコード削除通知		"ユーザー名"が「(機器分類名)」が「(グループ名)」の iOS 機器にパスコード削除を通
		管理	知しました。
			※グループの機器に対して一括変更した場合
一括機器			"ユーザー名"が全ての Windows 機器の(機能名)の設定を「(設定名)」に一括変更しま
設定ログ		管理	し <i>†</i> =。
(Windows)			※全ての機器に対して一括変更した場合
	機器設定一括変更(各機能ごと)		
		管理	  を「(設定名)」に一括変更しました。
			  ※グループの機器に対して一括変更した場合
	リモートロック通知	管理	- "ユーザー名"が全ての Windows 機器にリモートロックを通知しました。
			ー "ユーザー名"が「分類名」が「グループ名」のWindows機器にリモートロックを通知しま
		管理	し <i>t</i> =。
		管理	・ "ユーザー名"が全ての Windows 機器にロック解除を通知しました。
	ロック解除		ー "ユーザー名"が「分類名」が「グループ名」の Windows 機器にロック解除を通知しまし
		管理	t <sub>= o</sub>
			・ "ユーザー名"が「分類名」が「グループ名」の Windows 機器にリモートワイプ
		管理	(BitLocker)を通知しました。
	リモートワイブ通知		ー "ユーザー名"が「分類名」が「グループ名」の Windows 機器にリモートワイプ(データ削
		管理	除を通知しました。
企業分類ログ	企業分類作成	管理	"ユーザー名"が企業分類「(企業分類名)」を作成しました。
		<u> </u>	"ユーザー名"が企業分類「(企業分類名)」を変更しました。
		管理	※企業分類名を変更しない場合
	企業分類変更	<i>tt</i>	"ユーザー名"が企業分類「(旧企業分類名)」を「(新企業分類名)」に変更しました。
		管理	※企業分類名を変更する場合
-	企業分類削除	管理	"ユーザー名"が企業分類「(企業分類名)」を削除しました。
		<u> </u>	"ユーザー名"が企業分類を一括削除しました:「(企業分類名 1)」,「(企業分類名
	企業分類一括削除   管理	管理	2)」,
企業自由入力	企業自由入力項目作成	管理	"ユーザー名"が企業自由入力項目「(企業自由入力項目名)」を作成しました。
項目ログ			"ユーザー名"が企業自由入力項目「(企業自由入力項目名)」を変更しました。
	企業自由入力項目変更	管埋	※企業自由入力項目名を変更しない場合

ログ名	契機	種別	ログ
			"ユーザー名"が企業自由入力項目「(旧企業自由入力項目名)」を「(新企業自由入力
		管理	項目名)」に変更しました。
			※企業自由入力項目名を変更する場合
	企業自由入力項目削除	管理	"ユーザー名"が企業自由入力項目「(企業自由入力項目名)」を削除しました。
	企業白山入力佰日—— 廷削除	答理	"ユーザー名"が企業自由入力項目を一括削除しました:「(企業自由入力項目名 1)」,
		672	「(企業自由入力項目名 2)」,…
ユーザー分類	ユーザー分類作成	管理	"ユーザー名"がユーザー分類「(ユーザー分類名)」を作成しました。
ログ		答理	"ユーザー名"がユーザー分類「(ユーザー分類名)」を変更しました。
		672	※ユーザー分類名を変更しない場合
	ユーザー分類変更		"ユーザー名"がユーザー分類「(旧ユーザー分類名)」を「(新ユーザー分類名)」に変更
		管理	しました。
			※ユーザー分類名を変更する場合
	ユーザー分類削除	管理	"ユーザー名"がユーザー分類「(ユーザー分類名)」を削除しました。
	ュ—ザ—分類— 廷削除	答理	"ユーザー名"がユーザー分類を一括削除しました:「(ユーザー分類名 1)」,「(ユーザ
		672	一分類名 2)」,
ユーザー自由	┐—ぜ—白山冫力值日作成	答理	"ユーザー名"がユーザー自由入力項目「(ユーザー自由入力項目名)」を作成しまし
入力項目ログ		日理	t=。
			"ユーザー名"がユーザー自由入力項目「(ユーザー自由入力項目名)」を変更しまし
		管理	<i>t</i> =。
	┐―ぜ―白由 λ カ項日変雨		※ユーザー自由入力項目名を変更しない場合
			"ユーザー名"がユーザー自由入力項目「(旧ユーザー自由入力項目名)」を「(新ユー
		管理	ザー自由入力項目名)」に変更しました。
			※ユーザー自由入力項目名を変更する場合
	1ーザー自由入力項目削除	答理	"ユーザー名"がユーザー自由入力項目「(ユーザー自由入力項目名)」を削除しまし
			<i>t</i> <sub>2</sub> ,
	コーザー自由入力項日一括削除	管理	"ユーザー名"がユーザー自由入力項目を一括削除しました:「(ユーザー自由入力項
		官埋	目名 1)」,「(ユーザー自由入力項目名 2)」, …
機器分類ログ	機器分類作成	管理	"ユーザー名"が機器分類「(機器分類名)」を作成しました。
		管理	"ユーザー名"が機器分類「(機器分類名)」を変更しました。
	機器分類変更		※機器分類名を変更しない場合
		管理	"ユーザー名"が機器分類「(旧機器分類名)」を「(新機器分類名)」に変更しました。
			※機器分類名を変更する場合
	機器分類削除	管理	"ユーザー名"が機器分類「(機器分類名)」を削除しました。
	機哭分類一括削除	管理	"ユーザー名"が機器分類を一括削除しました:「(機器分類名 1)」,「(機器分類名
		日 垤	2)」,
機器自由入力	機器自由入力項目作成	管理	"ユーザー名"が機器自由入力項目「(機器自由入力項目名)」を作成しました。
項目ログ		答珊	"ユーザー名"が機器自由入力項目「(機器自由入力項目名)」を変更しました。
	64	ы· <u></u>	※機器自由入力項目名を変更しない場合
	機器自由入力項目変更		"ユーザー名"が機器自由入力項目「(旧機器自由入力項目名)」を「(新機器自由入力
管:		管理	項目名)」に変更しました。
		※機器自由入力項目名を変更する場合	

ログ名	契機	種別	ログ
	機器自由入力項目削除	管理	"ユーザー名"が機器自由入力項目「(機器自由入力項目名)」を削除しました。
			"ユーザー名"が機器自由入力項目を一括削除しました:「(機器自由入力項目名 1)」,
	機器目田人刀項目一括削除	管埋	「(機器自由入力項目名 2)」, …
エージェント			
共通管理ログ	設定変更	官埋	ユーサー名 かエーシェント共通官理の設定を変更しました。
設定バック			
アップログ	設定変更	官埋	- "ユーサー名"が設定ハックアッフの設定を変更しました。 
個人設定ログ	環境設定変更	管理	"ユーザー名"が自分の環境設定を変更しました。
	パスワード変更	管理	"ユーザー名"が自分のパスワードを変更しました。
	アプリケーションメモクリア	管理	"ユーザー名"が自分のアプリケーションメモをクリアしました。
SD カード	設定作成	管理	"ユーザー名"が(機能名)の設定「(設定名)」を作成しました。
使用制限ログ			"ユーザー名"が(機能名)の設定「(設定名)」を変更しました。
		官埋	※設定名を変更しない場合
	設定変更		"ユーザー名"が(機能名)の設定「(旧設定名)」を「(新設定名)」に変更しました。
		管理	※設定名を変更する場合
	設定削除	管理	"ユーザー名"が(機能名)の設定「(設定名)」を削除しました。
	設定一括削除	管理	"ユーザー名"が(機能名)の設定を一括削除しました:「(設定名 1)」,「(設定名 2)」,…
カメラ使用		管理	(SD カードと同様)
制限ログ	(SD カードと同様)		
アプリケーショ	(SD カードと同様)	管理	(SD カードと同様)
ン禁止ログ			
アプリケーショ		体田	
ン配信ログ	(SD リートと向様)	官理	
お気に入り		答理	
ログ	(SD リートと回体)	官理	
Web フィルタリ		体田	
ングログ	(SD カートと同様)	官埋	(SD カートと同様)
Wi-Fi ログ	(SD カードと同様)	管理	(SD カードと同様)
Wi-Fiフィルタリ			
ングログ	(SD カートと同様)	官埋	(SD カートと同様)
Bluetooth		体田	
使用制限ログ	(SD カートと同様)	官埋	(SD カートと同様)
スクリーン			
ロックログ	(SD カートと同様)	管埋	(SD カートと同様)
リモート		6/c TC	
ロックログ	(SD カートと同様)	官埋	(SD カートと同様)
リモート		6/c TC	
ワイプログ	(SU カートと同様)	官埋	(50 カートと同様)
発信先制限		<i>bi</i> r тер	
ログ	(SU カートと向标)	官埋	(20 ソート 2 回体)

ログ名	契機	種別	ログ
ウイルス対策	(50 カードと同样)	答理	(ちカードと同様)
機能ログ		日生	
アプリケーショ	(SDカードと同样)	答理	(ちカードと同样)
ン検知ログ		日垤	
位置情報	(SD カードと同様)	答理	(SDカードと同様)
管理ログ		日生	
USB ログ	(SD カードと同様)	管理	(SD カードと同様)
CD/DVD/ブル	(SD カードと同様)	答理	(SDカードと同様)
ーレイログ			
システム診断	(SD カードと同様)	管理	(SD カードと同様)
ログ			
システムセキュ	(SD カードと同様)	管理	(SD カードと同様)
リティログ			
暗号化ログ	(SD カードと同様)	管理	(SD カードと同様)
プロキシログ	(SD カードと同様)	管理	(SD カードと同様)
CA 証明書管	(SD カードと同様)	管理	(SD カードと同様)
理ログ			
Secure Shield	(SD カードと同様)	管理	(SD カードと同様)
ログ			
連絡先ログ	設定作成	管理	(SD カードと同様)
	設定変更	管理	(SD カードと同様)
	設定削除	管理	(SD カードと同様)
	連絡先追加	管理	"ユーザー名"が(機能名)の設定「(設定名)」に連絡先を追加しました。
	連絡先変更	管理	"ユーザー名"が(機能名)の設定「(設定名)」の連絡先を変更しました。
	連絡先削除	管理	"ユーザー名"が(機能名)の設定「(設定名)」の連絡先を削除しました。
		管理	"ユーザー名"が(機能名)の設定「(設定名)」の連絡先の変更インポートの CSV ファイ
		672	ルをアップロードしました。
		管理	"ユーザー名"が(機能名)の設定「(設定名)」の連絡先の変更インポートを開始しまし
	インポート		<i>t</i> =•
		管理	"ユーザー名"が(機能名)の設定「(設定名)」の連絡先の変更インポートを中断しまし
			た。(成功 n 件、失敗 n 件)
		答理	"ユーザー名"がインポートで(機能名)の設定「(設定名)」の連絡先を一括変更しまし
		672	た。(成功 n 件、失敗 n 件)
エージェント	(SD カードと同様)	管理	(SD カードと同様)
個別管理ログ		19-1 1	
構成プロファイ	(SD カードと同様)	管理	(SD カードと同様)
ルログ		64	
構成プロファイ	構成プロファイル作成	管理	"ユーザー名"が構成プロファイル「(プロファイル名)」を作成しました。
ルアップロード	構成プロファイル変更	管理	"ユーザー名"が構成プロファイル「(プロファイル名)」を変更しました。
ログ		※プロファイル名を変更しない場合	

ログ名	契機	種別	ログ
			"ユーザー名"が構成プロファイル「(旧プロファイル名)」を「(新プロファイル名)」に変更
		管理	しました。
			※プロファイル名を変更する場合
	構成プロファイル削除	管理	"ユーザー名"が構成プロファイル「(プロファイル名)」を削除しました。
	推みプロファイルーズ当家	街田	"ユーザー名"が構成プロファイルを一括削除しました:「(プロファイル名 1)」,「(プロフ
	<b>伸成ノロノアイル― 石削</b> 哧	官垤	アイル名 2)」,
個別構成プロ	個別構成プロファイルを作成	管理	"ユーザー名"が機器「(機器名)」の個別構成プロファイルを作成しました。
ファイルログ	個別構成プロファイルを変更	管理	"ユーザー名"が機器「(機器名)」の個別構成プロファイルを変更しました。
	個別構成プロファイルを削除	管理	"ユーザー名"が機器「(機器名)」の個別構成プロファイルを削除しました。
Apple Push 証	証明書登録	管理	"ユーザー名"が Apple Push 証明書を登録しました。
明書登録ログ	証明書削除	管理	"ユーザー名"が Apple Push 証明書を削除しました。
	証明書変更	管理	"ユーザー名"が Apple Push 証明書を変更しました。
	証明書設定変更	管理	"ユーザー名"が Apple Push 証明書の設定を変更しました。
	ちの きの た 大 王		Apple Push 証明書の有効期限が YYYY/mm/dd HH:MM:SS に切れます。ご利用の
	証明書設定変更	官埋	Apple ID を使用して手順に従って更新してください。
ライセンス		65 - T	(なし)
認証ログ		管理	※iPhone, iPad 以外の場合
			(なし)
	表示	管理	※iOS4.0 未満の場合
			(なし)
		管理	※Safari 以外の場合
初期登録ログ	ログイン	管理	"機器のユーザー名"が初期登録画面を開きました。
(ポータル)			"機器のユーザー名"がユーザー「(ユーザー名)」を作成して登録しました。
		管理	※ユーザーを新規作成して紐付けた場合
	ユーザー登録		"機器のユーザー名"がユーザー「(ユーザー名)」を登録しました。
		管理	※既存ユーザーに紐付けた場合
	機器情報登録	管理	"機器のユーザー名"が機器情報を登録しました。
ポータル			
ホームログ	ログイン	管理	"機器のユーザー名"がポータルホーム画面を開きました。
ユーザー登録			"機器のユーザー名"がユーザー「(ユーザー名)」を作成して登録しました。
ログ(ポータル)		管理	※ユーザーを新規作成して紐付けた場合
	ユーザー登録		"機器のユーザー名"がユーザー「(ユーザー名)」を登録しました。
		管理	※既存ユーザーに紐付けた場合
機器情報			
登録ログ	機器情報登録	管理	"機器のユーザー名"が機器情報を登録しました。
(ポータル)			
オリジナルアプ	設定作成	管理	"ユーザー名"がオリジナルアプリ「(アプリケーション名)」を作成しました。
リ登録ログ			"ユーザー名"がオリジナルアプリ「(旧アプリケーション名)」を「(新アプリケーション名)」
	設定変更	管理	に変更しました。
			※設定名を変更しない場合

ログ名	契機	種別	ログ
		管理	"ユーザー名"オリジナルアプリ「(アプリケーション名)」を変更しました。
			※設定名を変更する場合
	設定削除	管理	"ユーザー名"がオリジナルアプリ「(アプリケーション名)」を削除しました。
			"ユーザー名"がオリジナルアプリを一括削除しました:「(アプリケーション名 1)」,「(ア
	設定一括則际	官埋	プリケーション名 2)」,
証明書	証明書作成	管理	"ユーザー名"が証明書「(ファイル名)」を作成しました。
管理ログ		答田	"ユーザー名"が証明書「(ファイル名)」を変更しました。
	訂四書亦五	官理	※ファイル名を変更しない場合
	証明書変史	答理	"ユーザー名"が証明書「(旧ファイル名)」を「(新ファイル名)」に変更しました。
		官理	※ファイル名を変更する場合
	証明書削除	管理	"ユーザー名"が証明書「(ファイル名)」を削除しました。
	証明書一括削除	管理	"ユーザー名"が証明書を一括削除しました:「(ファイル名 1)」,「(ファイル名 2)」,・・・
証明書一括ア		答理	
ップロードログ	証明者一括作成	官理	ユーサー名 が証明書を一括作成しました!!(ファイル名 1)」,!(ファイル名 2)」,・・・
通知設定	ログメール通知設定作成	管理	"ユーザー名"がログメール通知設定を作成しました。
ログ	ログメール通知設定変更	管理	"ユーザー名"がログメール通知設定を変更しました。
	ログメール通知設定削除	管理	"ユーザー名"がログメール通知設定を削除しました。
	無通信検知設定作成	管理	"ユーザー名"が無通信検知設定を作成しました。
	無通信検知設定変更	管理	"ユーザー名"が無通信検知設定を変更しました。
	無通信検知設定削除	管理	"ユーザー名"が無通信検知設定を削除しました。
メッセージ	メッセージ作成	管理	"ユーザー名"がメッセージ「(メッセージ名)」を作成しました。
通知ログ		答理	"ユーザー名"がメッセージ「(メッセージ名)」を変更しました。
	イットレンション	官埋	※メッセージ名を変更しない場合
		答理	"ユーザー名"がメッセージ「(旧メッセージ名)」を「(新メッセージ名)」に変更しました。
		日垤	※メッセージ名を変更する場合
	メッセージ削除	管理	"ユーザー名"がメッセージ「(メッセージ名)」を削除しました。
	メッセージ配信	管理	"ユーザー名"がメッセージ「(メッセージ名)」を配信しました。
	メッセージーゼ削除	答理	"ユーザー名"がメッセージを一括削除しました:「(メッセージ名 1)」,「(メッセージ名
		日生	2)」,
ネットワーク	設定作成	管理	"ユーザー名"がネットワーク「(ネットワーク名)」を作成しました。
ログ		答理	"ユーザー名"がネットワーク「(ネットワーク名)」を変更しました。
		672	※ネットワーク名を変更しない場合
	設定変更		"ユーザー名"がネットワーク「(旧ネットワーク名)」を「(新ネットワーク名)」に変更しまし
		管理	<i>t</i> =.
			※ネットワーク名を変更する場合
	設定削除	管理	"ユーザー名"がネットワーク「(ネットワーク名)」を削除しました。
	設定一括削除	管理	"ユーザー名"がネットワークを一括削除しました:「(ネットワーク名 1)」,「(ネットワーク
			名 2)」,
	ネットワーク上限	管理	ネットワークは最大数(1000)までしか作成できないため、ライセンス認証オプションを
			「なし」に変更しました。
お知らせログ	お知らせ作成	管理	"ユーザー名"がお知らせを作成しました。

ログ名	契機	種別	ログ
	お知らせ更新	管理	"ユーザー名"がお知らせを変更しました。
	お知らせ削除	管理	"ユーザー名"がお知らせを削除しました。
ポータル表示		<b>** TH</b>	
設定ログ	設定変更	官埋	"ユーサー名"がホータル表示設定を変更しました。
App Manager	乳白赤五	英田	
ログ	<b>改</b> 此変更	官理	ユーリー右 が App Manager の設定を変更しました。
機器認証	機架認証設定の亦再	答理	
設定ログ	阪船応証設定の変更	日任	
設定	設定テンプレート作成	管理	"ユーザー名"が設定テンプレート「(テンプレート名)」を作成しました。
テンプレート		答理	"ユーザー名"が設定テンプレート「(テンプレート名)」を変更しました。
ログ		百姓	※設定名を変更しない場合
	設定テンプレート変更		"ユーザー名"が設定テンプレート「(旧テンプレート名)」を「(新テンプレート名)」に変更
		管理	しました。
			※設定名を変更する場合
	設定テンプレート削除	管理	"ユーザー名"が設定テンプレート「(テンプレート名)」を削除しました。
	学 チャップ・トー 本学家	色田	"ユーザー名"が設定テンプレートを一括削除しました:「(テンプレート名 1)」,「(テンプ
	設定ノノノレート一指則味	官理	レート名 2)」,
		体田	"ユーザー名"が機器「(機器名)」に設定テンプレート「(テンプレート名)」を適用しまし
	設定テンフレート適用	管理	<i>t</i> =.
ゾーンログ	設定作成	管理	"ユーザー名"がゾーン「(ゾーン名)」を作成しました。
	影中田和	管理	"ユーザー名"がゾーン「(ゾーン名 1)」を「(ゾーン名 2)」に変更しました。
	<b>改</b> 足史初	管理	"ユーザー名"がゾーン「(ゾーン名)」を変更しました。
	設定削除	管理	"ユーザー名"がゾーン「(ゾーン名)」を削除しました。
	設定一括削除	管理	"ユーザー名"がゾーンを一括削除しました:(ゾーン名)
VPP 設定テン	VPP 設定テンプレート作成	管理	"ユーザー名"が VPP 設定テンプレート「(テンプレート名)」を作成しました。
プレートログ		管理	"ユーザー名"が VPP 設定テンプレート「(テンプレート名)」を変更しました。
	VPP 設定テンプレート変更	色田	"ユーザー名"が VPP 設定テンプレート「(旧テンプレート名)」を「(新テンプレート名)」に
		官理	変更しました。
	VPP 設定テンプレート削除	管理	"ユーザー名"が VPP 設定テンプレート「(テンプレート名)」を削除しました。
	Vpp 設守テンプ!ト	答理	"ユーザー名"が VPP 設定テンプレートを一括削除しました:「(テンプレート名 1)」,
	♥₽₽ 設定 / ンノレート 拍削隊	日任	「(テンプレート名 2)」, …
管理対象アプ	設定作成	管理	"ユーザー名"が管理対象アプリポリシー「(設定名)」を作成しました。
リポリシーログ	設定更新	管理	"ユーザー名"が管理対象アプリポリシー「(設定名)」を変更しました。
	む今田共	答理	"ユーザー名"が管理対象アプリポリシー「(旧設定名)」を「(新設定名)」に変更しまし
	改化文利	日任	t <sub>=</sub> 。
	設定削除	管理	"ユーザー名"が管理対象アプリポリシー「(設定名)」を削除しました。
記今一任当家		答理	"ユーザー名"が管理対象アプリポリシー「(設定名)」を一括削除しました:「(設定名
		自住	1)」,「(設定名 2)」,
ポリシーログ	設定作成	管理	"ユーザー名"がポリシー「(ポリシー名)」を作成しました。
		管理	"ユーザー名"がポリシー「(ポリシー名 1)」を「(ポリシー名 2)」に変更しました。
	改化史制	管理	"ユーザー名"がポリシー「(ポリシー名)」を変更しました。

ログ名	契機	種別	ログ
	設定削除	管理	"ユーザー名"がポリシー「(ポリシー名)」を削除しました。
	設定一括削除	管理	"ユーザー名"がポリシーを一括削除しました: (ポリシー名)
ゾーンポリシー 構成ログ	(SD カードと同様)	管理	(SD カードと同様)
Web フィルタリ ング (MS-MDM)ロ グ	Web フィルタリング(MS-MDM)	管理	(SD カードと同様)
+browser		管理	"ユーザー名"が(機能名)の設定「(設定名)」を作成しました。
Safety		管理	"ユーザー名"が(機能名)の設定「(設定名)」を変更しました。
Manager for	お気に入り・Web フィルタリング(操作)	管理	"ユーザー名"が(機能名)の設定「(旧設定名)」を「(新設定名)」に変更しました。
iOS ログ		管理	"ユーザー名"が(機能名)の設定「(設定名)」を削除しました。
		管理	"ユーザー名"が(機能名)の設定を一括削除しました:「(設定名 1)」,「(設定名 2)」,…
		機器	機器「(機器名)」のブラウザーがお気に入りの設定を行いました。
	お気に入り	機器	機器「(機器名)」のブラウザーがお気に入りの設定に失敗しました。
		機器	機器「(機器名)」のブラウザーが Web フィルタリングの設定を行いました。
	Web フィルタリンク	機器	機器「(機器名)」のブラウザーが Web フィルタリングの設定に失敗しました。
		機器	機器「(機器名)」の操作者が「(URL)」にアクセスしました(累計(回数)回)。
	閲覧履歴 	機器	機器「(機器名)」のブラウザーが Web 閲覧履歴を削除しました
MS Office ライ センス管理ロ	- T tr	管理	operator が MS Office ライセンス管理でアプリケーション名「アプリ名」の保有数を変更 しました。
<sup>史</sup> 新 グ	_ 史新	管理	operator が MS Office ライセンス管理でアプリケーション名「(アプリ名)」からアプリケー ション名「(アプリ名)」にライセンス数を移行しました。
オプション契約	オプション契約作成	管理	"ユーザー名"がオプション契約「(オプション契約名)」を作成しました。
ログ		管理	"ユーザー名"がオプション契約「(オプション契約名)」を変更しました。 ※オプション契約名を変更しない場合
	オプション契約変更	管理	"ユーザー名"がオプション契約「(旧オプション契約名)」を「(新オプション契約名)」に変更しました。 ※オプション契約名を変更する場合
	オプション契約削除	管理	"ユーザー名"がオプション契約「(オプション契約名)」」を削除しました。
	オプション契約一括削除	管理	"ユーザー名"がオプション契約を一括削除しました:「(オプション契約名 1)」,「(オプシ ョン契約名 2)」,…
法人契約情報	作成	管理	[KDDI ビジネスオンラインサポート]企業「(企業名)」が作成されました。
プロビ項目		<b>佐 T</b> 田	[KDDI ビジネスオンラインサポート]企業「(企業名)」が変更されました。
API ログ		官理	※企業名を変更しない場合
	更新		[KDDI ビジネスオンラインサポート]企業「(旧企業名)」が「(新企業名)」変更されまし
		管理	t <sub>=</sub> 。
			※企業名を変更する場合
	削除	管理	[KDDI ビジネスオンラインサポート]企業「(企業名)」が削除登録されました。
法人管理者 ID	作成	管理	[KDDI ビジネスオンラインサポート]ユーザー「(ユーザー名)」が作成されました。

ログ名	契機	種別	ログ
管理連携 API		管理	[KDDI ビジネスオンラインサポート]ユーザー「(ユーザー名)」が変更されました。
ログ			※ユーザーを変更しない場合
	更新		[KDDI ビジネスオンラインサポート]ユーザー「(旧ユーザー名)」が「(新ユーザー名)」変
		管理	更されました。
			※ユーザーを変更する場合
	削除	管理	[KDDI ビジネスオンラインサポート]ユーザー「(ユーザー名)」が削除されました。
デバイス情報	作成	管理	[KDDI ビジネスオンラインサポート]機器「(機器名)」が作成されました。
プロビ項目	更新	管理	[KDDI ビジネスオンラインサポート]機器「(機器名)」が変更されました。
API ログ		管理	[KDDI ビジネスオンラインサポート]機器「(機器名)」のロック画面の表示を行います。
			(受付番号:(受付番号))
			[KDDI ビジネスオンラインサポート]機器「(機器名)」のリモートロックを行います。(受付
		官理	番号:(受付番号))
	声虹(ロックロノプをナて担合)	答理	[KDDI ビジネスオンラインサポート]機器「(機器名)」のロック画面解除を行います。(受
	史利(ロックフィンをする場合)	官垤	付番号:(受付番号))
		答理	[KDDI ビジネスオンラインサポート]機器「(機器名)」のリモートロックの解除を受け付
		管理  管理	けました。(受付番号:(受付番号))
			付番号:(受付番号))
	削除	管理	

ログメール通知および検知に関するログの一覧です。

ログ名	契機	種別	ログ
ログメール			ログメール通知に失敗しました。送信先を確認してください:「<送信先メールアドレス
通知ログ		管理	1>」,「<送信先メールアドレス 2>」, …
			※メール送信に失敗した場合
	ログメール通知	14% BB	機器「(機器名)」の通信が(最終通信日時)から(指定期間)以上ありませんでした。
		懱奋	※無通信状態になった場合
		+继 55	機器「(機器名)」の通信が回復しました。
		懱岙	※無通信状態から回復した場合
同期完了	エション	松巴	機器「機器名」の同期を行いました。
ログ	于到问朔元]	饭岙	※管理サイトから手動同期した場合
未保護ログ	未保護	機器	機器「機器名」がウイルス対策ソフトで保護されていません。
脅威検知	杂式论句	松中	機器「機器名」のウイルス対策ソフトが脅威を検出しました:「脅威名 1 (ファイルパス
ログ	肖威快和	懱岙	1)」,「脅威名 2 (ファイルパス 2)」,
推奨アプリ	ᄮᄳᆿᆕᄔᄖᅝᄻᇷ	14% BB	機器「機器名」にインストール推奨アプリケーション「アプリ識別名」がインストールされ
非検知ログ	推奨アフリ非検知   機器   機器	懱奋	ていません。
非推奨アプリ	-1-14.17	144 00	機器「機器名」にインストール非推奨アプリケーション「アプリ識別名」がインストールさ
検知ログ	非推奨アノリ検知	機岙	れています。
推奨アプリ	14 4回		機器「機器名」にインストール推奨アプリケーション「アプリ識別名」がインストールされ
検知ログ		懱奋	ました。
非推奨アプリ	」」」は11月1日	144 00	機器「機器名」からインストール非推奨アプリケーション「アプリ識別名」がアンインスト
非検知ログ	非推奨アノリ非検知	機岙	ールされました。
アプリ検知			
対象外	アフリ検知対象外	機器	機器「機器名」のアフリケーション「アフリ識別名」が検知対象外となりました。
Apple Push 証			Apple Push 証明書の有効期限が yyyy/mm/dd HH:MM:SS に切れます。ご利用の
明書の有効期	バッチ処理	管理	Apple ID を使用して手順に従って更新してください。
限アラートログ			※60日前、30日前、14日前、7日前~有効期限の1日前
VPPライセンス	ライセンス割当	管理	「アプリケーション名」のライセンス割当が成功しました。
ログ	ライセンス回収	管理	「アプリケーション名」のライセンス回収が成功しました。
	VPP ユーザー登録	管理	ユーザー「ユーザー名」を VPP サービスに登録しました。
	VPP ユーザー削除	管理	ユーザー「ユーザー名」を VPP サービスから削除しました。
VPP サービス	VPP サービス参加依頼	機器	機器「%[asset]」に参加依頼を送付しました。
参加依頼ログ		機器	機器「%[asset]」への参加依頼が失敗しました:
		機器	機器「%[asset]」に参加依頼を送付します。

# 4.2.3 Apple MDM ログ

Apple が提供する MDM に関するログの一覧です。

【注意事項】

◆下記 Apple MDM ログの他にログが出力されることがございます。ログの詳細説明は Apple 社と iDEP 契約することで入手できる「MDM Protocol Reference」に記載されております。

ログ名	契機	種別	ログ
ライセンス		機器	機器「(機器名)」を認証しました。
認証ログ	ライセンス認証	+4% 99	機器「(機器名)」の認証に失敗しました。ライセンス数が足りません。
		饭岙	※ライセンス数を超えて機器を認証しようとした場合
リモート	リモートロックコマンド取得	機器	機器「(機器名)」のリモートロックを行います。
ロックログ	リモートロックコマンド完了	機器	機器「(機器名)」のリモートロックを行いました。
			機器「(機器名)」のリモートロックが失敗しました: "エラーメッセージ"("エラードメイ
	リモートロックコマンド矢敗	機器	ン":"エラーコード")
リモート	リモートワイプコマンド取得	機器	機器「(機器名)」のリモートワイプを行います。
ワイプログ		144.00	機器「(機器名)」のリモートワイプが失敗しました: "エラーメッセージ"("エラードメイ
	リモートワイフコマンド失敗	機器	ン":"エラーコード")
パスコード	パスコード削除コマンド取得	機器	機器「(機器名)」のパスコード削除を行います。
削除ログ	パスコード削除コマンド完了	機器	機器「(機器名)」のパスコード削除を行いました。
		144.00	機器「(機器名)」のパスコード削除が失敗しました: "エラーメッセージ"("エラードメイ
	バスコード削除コマンド失敗	機器	ン":"エラーコード")
構成プロファイ	構成プロファイルインストール		
ルインストール	コマンド取得	機器	機器!(機器名)」に構成ブロファイル!(ブロファイル名)」をインストールします。
ログ	構成プロファイルインストール	機器	
	コマンド完了		機器「(機器名)」に構成フロファイル「(フロファイル名)」をインストールしました。 
	構成プロファイルインストール	+## BB	機器「(機器名)」への構成プロファイル「(プロファイル名)」のインストールが一時的に延
	コマンド延期	機器	期されました。
	構成プロファイルインストール	+## BB	機器「(機器名)」への構成プロファイル「(プロファイル名)」のインストールが失敗しまし
	コマンド失敗	懱岙	た: "エラーメッセージ"("エラードメイン":"エラーコード")
構成プロファイ	構成プロファイル削除コマンド取得	機器	機器「(機器名)」から構成プロファイル「(プロファイル名)」を削除します。
ル削除ログ	構成プロファイル削除コマンド完了	機器	機器「(機器名)」から構成プロファイル「(プロファイル名)」を削除しました。
		+## BB	機器「(機器名)」からの構成プロファイル「(プロファイル名)」の削除が一時的に延期さ
	構成ノロノアイル削除コマント延期	懱奋	れました。
			機器「(機器名)」からの構成プロファイル「(プロファイル名)」の削除が失敗しました:
	構成ノロノアイル削除コマント失敗	機器	"エラーメッセージ"("エラードメイン":"エラーコード")
ローミング	ローミング設定コマンド取得	機器	機器「(機器名)」にローミング設定の変更を行います。
設定ログ	ローミング設定コマンド完了	機器	機器「(機器名)」にローミング設定の変更を行いました。
	ローミング設定コマンド延期	機器	機器「(機器名)」のローミング設定が一時的に延期されました。
	ローミング設定コマンド失敗	機器	機器「(機器名)」のローミング設定が失敗しました。
Per app VPN	Per app VPN コマンド取得	機器	機器「(機器名)」に Per app VPN の設定を行います。

設定	Per app VPN コマンド完了	機器	機器「(機器名)」に Per app VPN の設定を行いました。
	Per app VPN コマンド延期	機器	機器「(機器名)」の Per app VPN の設定が一時的に延期されました。
	Per app VPN コマンド失敗	機器	機器「(機器名)」の Per app VPN の設定が失敗しました。

Android エージェントの挙動に関するログの一覧です。

ログ名	契機	種別	ログ
ライセンス		14K BB	
認証ログ	フィセンス認証	惤岙	機器!(機器名)]のエーシェントを認証しました。
手動バックアッ			機器「(機器名)」のエージェントが手動バックアップを行いました: 復元コード「<復元コ
プログ		機器	-F>J
		機器	機器「(機器名)」のエージェントが手動バックアップに失敗しました。
	手動バックアップ		機器「(機器名)」のエージェントがバックアップへの復元に失敗しました:復元コード「<
		機器	復元コード>」
			機器「(機器名)」のエージェントがバックアップへ復元しました:復元コード「<復元コード
		機器	
自動バックアッ			機器「(機器名)」のエージェントが自動バックアップを行いました:復元コード「<復元コ
プログ	自動バックアップ	機器	-F>J
		機器	機器「(機器名)」のエージェントが自動バックアップに失敗しました。
アプリケーショ		+486 日日	機器「(機器名)」にインストール推奨アプリケーション「(アプリ識別名)」がインストールさ
ン検知ログ		饭岙	れていません。
		14% BB	機器「(機器名)」にインストール非推奨アプリケーション「(アプリ識別名)」がインストー
		機器	ルされています。
	アプリケーション検知	长线 电电	機器「(機器名)」にインストール推奨アプリケーション「(アプリ識別名)」がインストールさ
		饭岙	れました。
			機器「(機器名)」からインストール非推奨アプリケーション「(アプリ識別名)」がアンイン
	_	機器	ストールされました。
		機器	機器「(機器名)」のアプリケーション「(アプリ識別名)」が検知対象外となりました。
アプリケーショ		機器	機器「(機器名)」のエージェントがアプリケーション「<アプリケーション名> (<パッケージ
ン禁止ログ			名>)」をアプリケーション禁止により終了させました。
		松马巴	機器「(機器名)」のエージェントがアプリケーション「<アプリケーション名> (<パッケージ
		仅在	名>)」をインストール禁止により終了させました。
		機哭	機器「(機器名)」のエージェントがアプリケーション「<アプリケーション名> (<パッケージ
	アプリケーション禁止	175, 111	名>)」をカメラ禁止により終了させました。
			機器「(機器名)」のエージェントがアプリケーション「<アプリケーション名> (<パッケージ
		機器	名>>」の画面「<画面名>(<アクティビティ名>>」をアプリケーション禁止により終了させま
			した。
		機哭	機器「(機器名)」のエージェントが画面「<共通画面名>」をアプリケーション禁止により
		7783年1月	終了させました。
リモート		機器	機器「(機器名)」のエージェントがリモートワイプを行います。
ワイプログ		機器	機器「(機器名)」でリモートワイプが実行されませんでした。
スクリーン	スクリーンロック	機器	機器「(機器名)」のエージェントがスクリーンロックの設定を行いました。
ロックログ		機器	機器「(機器名)」のエージェントがスクリーンロックの設定に失敗しました。

ログ名	契機	種別	ログ
		機器	機器「(機器名)」のエージェントが端末が非対応 OS のためスクリーンロックの設定に
			失敗しました。
スクリーン		機器	機器「(機器名)」のエージェントがスクリーンロックのパスワードを変更しました。
ロックの			
パスワード	スクリーンロックのパスワード変更 	機器	機器「(機器名)」のエージェントがスクリーンロックのパスワード変更に失敗しました。
変更ログ			
リモート		機器	機器「(機器名)」のエージェントがロック画面を表示しました。
ロックログ		機器	機器「(機器名)」のエージェントがロック画面を解除しました。
		機器	機器「(機器名)」の操作者が正しい解除コードを入力しました。
		機器	機器「(機器名)」の操作者が不正な解除コードを入力しました。
	リモートロック	機器	機器「(機器名)」のエージェントがリモートロック有効の設定を受信しました。
		機器	機器「(機器名)」のエージェントがリモートロック無効の設定を受信しました。
		機器	機器「(機器名)」のエージェントと管理サーバーの通信が一定時間途絶えました。
		機器	機器「(機器名)」のエージェントと管理サーバーの通信が回復しました。
暗号化ログ		機器	機器「(機器名)」のエージェントが暗号化の設定を行いました。
	暗号化	機器	機器「(機器名)」のエージェントが暗号化の設定に失敗しました。
root 化状態			
検知ログ	root 化状態検知	機器	機器「(機器名)」のエージェントが端末の root 化を検知しました。
Bluetooth		機器	機器「(機器名)」のエージェントが Bluetooth の設定を行いました。
使用制限ログ		機器	機器「(機器名)」のエージェントが Bluetooth の設定に失敗しました。
	Bluetooth 使用制限	14% BB	機器「(機器名)」のエージェントが端末が非対応 OS のため Bluetooth の設定に失敗し
			ました。
ウイルス対策		機器	機器「(機器名)」がウイルス対策ソフトで保護されていません。
機能ログ	ウイルス対策機能	機器	機器「(機器名)」のウイルス対策ソフトが脅威を検出しました:「(脅威名 1 (ファイルパ
			ス1))」,「(脅威名 2 (ファイルパス 2))」,
お気に入り		機器	機器「(機器名)」のエージェントがお気に入りの設定を行いました。 (n 件スキップ)
ログ	お気に入り	松品	機器「(機器名)」のエージェントがお気に入りの設定に失敗しました。 (n 件中 n 件失
		成奋	敗、n 件スキップ)
カメラ使用	カマラ体田制限	機器	機器「(機器名)」のエージェントがカメラの設定を行いました。
制限ログ	/// ノ (文 / 四 順) (文 / 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	機器	機器「(機器名)」のエージェントがカメラの設定に失敗しました。
通知設定ログ		機器	機器「(機器名)」の通信が回復しました。
	無通信検知	松马巴	機器「(機器名)」の通信が"最終通信時間"から"設定したタイムアウト間隔"以上あり
		视拍	ませんでした。
連絡先ログ		機器	機器「(機器名)」のエージェントが連絡先の設定を行いました。
	医帽儿	機器	機器「(機器名)」のエージェントが連絡先の設定に失敗しました。 (n 件中 n 件失敗)
エージェント		機器	機器「(機器名)」のエージェントがエージェント個別管理の設定を行いました。
個別管理ログ	エーンエント個別管理 	機器	機器「(機器名)」のエージェントがエージェント個別管理の設定に失敗しました。
位置情報ログ		機器	機器「(機器名)」のエージェントが位置情報管理の設定を行いました。
		機器	機器「(機器名)」のエージェントが位置情報管理の設定に失敗しました。
		楼史	機器「(機器名)」のエージェントが位置情報の設定を行いました。(無線ネットワーク:
	「「「」」「「」」「「」」「」「」」「」「」」「」「」」「」」「」」「」」「」	1成 佰	結果、GPS 機能: 結果)

ログ名	契機	種別	ログ
		機器	機器「(機器名)」のエージェントが位置情報の設定に非対応です。
SD カード使用		機器	機器「(機器名)」のエージェントが SD カードの設定を行いました。
制限ログ	50 万一下使用制限	機器	機器「(機器名)」のエージェントが SD カードの設定に失敗しました。
Web フィルタリ		機器	機器「(機器名)」のエージェントが Web フィルタリングの設定を行いました。
ングログ	Web フィルダリング	機器	機器「(機器名)」のエージェントが Web フィルタリングの設定に失敗しました。
Wi-Fi ログ		1446 848	機器「(機器名)」のエージェントが端末が機内モードのため Wi-Fi の設定に失敗しまし
		機岙	<i>t</i> =.
		機器	機器「(機器名)」のエージェントが Wi-Fi の設定を行いました。 (n 件スキップ)
	Wi-Fi	144 00	機器「(機器名)」のエージェントが Wi-Fi の設定に失敗しました。 (n 件中 n 件失敗、n
		機岙	件スキップ)
			機器「(機器名)」のエージェントが端末の Wi-Fi が無効になっているため Wi-Fi の設定
		懱奋	に失敗しました。
Wi-Fiフィルタリ		機器	機器「(機器名)」のエージェントが Wi-Fi フィルタリングの設定を行いました。
ングログ	Wi-Fi フィルタリンク	機器	機器「(機器名)」のエージェントが Wi-Fi フィルタリングの設定に失敗しました。
Web 閲覧履歴	Web 閲覧履歴管理	機器	機器「(機器名)」の操作者が「(URL)」にアクセスしました (累計(回数)回)。
管理ログ		機器	機器「(機器名)」のエージェントが Web 閲覧履歴を削除しました。
発信先制限		機器	機器「(機器名)」のエージェントが電話番号「<電話番号>」の発信を禁止しました。
ログ	発信先制限	機器	機器「(機器名)」のエージェントが発信先制限の設定を行いました。
		機器	機器「(機器名)」のエージェントが発信先制限の設定に失敗しました。
Secure Shield		機器	機器「(機器名)」のエージェントの Secure Shield の設定を行いました。
ログ		機器	機器「(機器名)」のエージェントの Secure Shield の設定に失敗しました。
	Secure Shield	機器	機器「(機器名)」のエージェントの Secure Shield がメニューリストの取得を行いました。
		松田	機器「(機器名)」のエージェントの Secure Shield がメニューリストの取得に失敗しまし
		笟岙	<i>t</i> =.
		機器	機器「(機器名)」のエージェントは Secure Shield に対応していません。

# 4.2.5 iOS エージェントログ

iOS エージェントの挙動に関するログの一覧です。

ログ名	契機	種別	ログ
ライセンス	ライセンス認証	機器	機器「(機器名)」のエージェントを認証しました。
認証ログ		機器	機器「(機器名)」の認証に失敗しました。ライセンス認証待ち機器ではありません。
構成プロファイ			
ルチェックアウ	構成プロファイルチェックアウト検知	機器	機器「(機器名)」の MDM 構成プロファイルが削除され管理から外れました。
ト検知ログ			
Jailbreak		松巴	
検知ログ	エーンェント共通官理(iOS)	饭岙	(成奋・(成奋石)」のエーシェントハッ㎞木の JallDreak を快知しました。

Windows エージェントの挙動に関するログの一覧です。

ログ名	契機	種別	ログ
ライセンス認証	ライセンス認証	機器	機器「(機器名)」のエージェントを認証しました。
ログ		機器	機器「(機器名)」のエージェントの認証を解除しました。
リモート		機器	機器「(機器名)」のリモートロックを行います。
ロックログ		機器	機器「(機器名)」のリモートロックを行います。(PIN コード: PIN コード)
		機器	機器「(機器名)」のリモートロックを行いました。
	リモートロック	機器	機器「(機器名)」のリモートロックが失敗しました。
		機器	機器「(機器名)」のロック解除を行います。
		機器	機器「(機器名)」のロック解除を行いました。
		機器	機器「(機器名)」のロック解除が失敗しました。
リモートワイプ		機器	機器「(機器名)」のエージェントがリモートワイプを行います。
ログ		機器	機器「(機器名)」のリモーワイプを行います。(PIN コード:PIN コード)
		機器	機器「(機器名)」のエージェントがリモートワイプ(BitLocker)を行います。
		機器	機器「(機器名)」のエージェントがリモートワイプ(データ削除)を行います。
	ウモードウイン	機器	機器「(機器名)」でリモートワイプ(BitLocker)が実行されました。
		機器	機器「(機器名)」でリモートワイプ(BitLocker)が実行されませんでした。
		機器	機器「(機器名)」でリモートワイプ(データ削除)が実行されました。
		機器	機器「(機器名)」でリモートワイプ(データ削除)が実行されませんでした。
USB 使用制限		機器	機器「(機器名)」のエージェントが USB の設定を行いました。
ログ	USB 使用制限 	機器	機器「(機器名)」のエージェントが USB の設定に失敗しました。
CD/DVD/ブル		機器	機器「(機器名)」のエージェントが CD/DVD/ブルーレイの設定を行いました。
ーレイ使 用 制 限ログ	CD/DVD/ブルーレイ使用制限	機器	機器「(機器名)」のエージェントが CD/DVD/ブルーレイの設定に失敗しました。
アプリケーショ		機器	
ン禁止ログ	アプリケーション禁止	機器	
		機器	  機器「(機器名)」のエージェントが「(アプリケーション名) (対象名)」を禁止しました。
管理外機器		機器	 管理外機器「(管理外機器名)」がネットワーク「(ネットワーク名)」で検出されました。
ログ			管理外機器「(管理外機器名)」がネットワーク「(ネットワーク名)」から検出されなくなり
		機器	ました。
	管理外機器		
		機器	ットワーク名 2)」に移動しました。
		146 00	管理外機器「(管理外機器名)」がネットワーク「(ネットワーク名)」から検出されなくなり
		機器	ました。
システム診断		機器	機器「(機器名)」のエージェントがシステム診断の設定を行いました。
ログ	シフテム診断	機器	機器「(機器名)」のエージェントがシステム診断の設定に失敗しました。
	レンテム診断	機器	機器「(機器名)」のエージェントがシステム診断の項目「(設定項目)」の設定に成功しました。

ログ名	契機	種別	ログ
		機器	機器「(機器名)」のエージェントがシステム診断の項目「(設定項目)」の設定に失敗しま
			し <i>†</i> =。
		+4% <b>Q</b> P	機器「(機器名)」のエージェントはシステム診断の項目「(設定項目)」の設定に対応して
		成岙	いません。
		装品	機器「(機器名)」のエージェントがシステム診断の項目「(設定項目)」の設定をスキップ
		们成五百	しました。
		機器	機器「(機器名)」のエージェントがアラートを検出しました:「(アラート項目)」
		装品	機器「(機器名)」のエージェントがアラートを検出しなくなりました。診断結果に問題は
		们成石计	ありません:「(アラート項目)」
		tikk 日日	機器「(機器名)」のエージェントがシステム診断の項目「(設定項目)」の診断に失敗しま
		成岙	した。
		装品	機器「(機器名)」のエージェントはシステム診断の項目「(設定項目)」の診断に対応して
		们成石计	いません。
システムセキュ		機器	機器「(機器名)」のエージェントがシステムセキュリティの設定を行いました。
リティログ		機器	機器「(機器名)」のエージェントがシステムセキュリティの設定に失敗しました。
		桃史	機器「(機器名)」のエージェントがシステムセキュリティの項目「(設定項目)」の設定に
		们成石计	成功しました。
		桃史	機器「(機器名)」のエージェントがシステムセキュリティの項目「(設定項目)」の設定に
		1,52,745	失敗しました。
		+4% 88	機器「(機器名)」のエージェントはシステムセキュリティの項目「(設定項目)」の設定に
		102.41	対応していません。
	システムセキュリティ 機界	機器	機器「(機器名)」のエージェントがシステムセキュリティの項目「(設定項目)」の設定をス
		122 111	キップしました。
		機器	機器「(機器名)」のエージェントがアラートを検出しました:「(アラート項目)」
		機器	機器「(機器名)」のエージェントがアラートを検出しなくなりました。診断結果に問題は
		1成 拍	ありません:「(アラート項目)」
		機器	機器「(機器名)」のエージェントがシステムセキュリティの項目「(設定項目)」の診断に
			失敗しました。
		機器	機器「(機器名)」のエージェントはシステムセキュリティの項目「(設定項目)」の診断に
			対応していません。
暗号化ログ	暗号化	機器	機器「(機器名)」のエージェントが暗号化の設定を行いました。
		機器	機器「(機器名)」のエージェントが暗号化の設定に失敗しました。
プロキシログ	プロキシ	機器	機器「(機器名)」のエージェントがプロキシの設定を行いました。
	•••	機器	機器「(機器名)」のエージェントがプロキシの設定に失敗しました。
Wi-Fi フィルタリ	Wi-Fi フィルタリング         機           機         機	機器	機器「(機器名)」のエージェントが Wi-Fi フィルタリングの設定を行いました。
ングログ		機器	機器「(機器名)」のエージェントが Wi-Fi フィルタリングの設定に失敗しました。
Zone		機器	機器「機器名」の操作者がゾーン「zone」に入りました。ポリシー「(ポリシー名)」を適用
Management	Zone Management	1736 HH	します。
ログ		機器	機器「機器名」の操作者がゾーン外に出ました。機器の設定を適用します。

Android 端末で、バックアップ・復元できる項目一覧は下記の通りです。

復元できない機能には「-」を表記しています。

項目		バックアップ	復元	備考
システム設定	画面の自動回転	0	0	
	機内モード	0	0	4.2 以降、復元非対応
	タッチ操作音	0	0	
	選択時の操作音	0	0	
	入力時バイブレーション	0	0	
		0	0	端末再起動、または端末スリ
				ープ復帰後に復元内容が反映
	画面の明るさ			される
	アニメーションの表示速度	0	0	4.2 以降、両方非対応
	バックライト消灯(ms)	0	0	
	パスワードを表示	0	0	4.2 以降、両方非対応
	スリープモードにしない	0	0	4.2 以降、両方非対応
	日付と時刻の自動設定	0	0	4.2 以降、両方非対応
	24 時間表示	0	0	
	日付形式	0	0	
セキュリティ設	Bluetooth	0	_	
定	データローミング	0	_	
	GPS 機能を使用	0	_	
	提供元不明のアプリ	0	_	
	USB デバッグ	0	-	
	疑似ロケーションを許可	0	_	
	読み上げ設定を使用	0	_	
	音声の速度	0	_	
Wi-Fi 設定	Wi-Fi 有効	0	0	
	Wi-Fi スリープ設定	0	0	4.2 以降、復元非対応
	DHCP 有効	0	0	3 系以降は両方×
	IP アドレス	0	0	3 系以降は両方×
	ゲートウェイ	0	0	3 系以降は両方×
	ネットマスク	0	0	3 系以降は両方×
	DNS1	0	0	3 系以降は両方×
	DNS2	0	0	3 系以降は両方×
	Wi-Fi ネットワーク(SSID)	0	0	
	SSID 非表示	0	0	
	Wi-Fi ネットワーク(Key)	0	0	
	Wi-Fi ネットワーク(パスワ	0	0	
	<b>一</b> ド)			

電話帳情報	名前	0	0	
	名字	0	0	
	敬称	0	0	
	名前のカタカナ	0	0	
	名字のカタカナ	0	0	
	電話番号	0	0	
	電話番号タイプ	0	0	
	電話番号ラベル	0	0	
	Email アドレス	0	0	
	Email タイプ	0	0	
	Email ラベル	0	0	
	住所タイプ	0	0	
	住所ラベル	0	0	
	住所(番地)	0	0	
	住所(町名)	0	0	
	住所(市区町村)	0	0	
	住所(都道府県)	0	0	
	住所(国)	0	0	
	近地情報	0	0	
	住所の郵便番号	0	0	
	IM アドレス	0	0	
	IM タイプ	0	0	
	IM ラベル	0	0	
	IM プロトコル	0	0	
	プロトコルラベル	0	0	
	組織名	0	0	
	組織タイプ	0	0	
	組織ラベル	0	0	
	役職	0	0	
	所属	0	0	
	仕事内容	0	0	
	組織読み仮名	0	0	
連絡先設定	組織所在地	0	0	
	イベント日付	0	0	
	イベントタイプ	0	0	
	イベントラベル	0	0	
	Web アドレス	0	0	
	Web アドレスタイプ	0	0	
	Web アドレスラベル	0	0	
	ニックネーム	0	0	

	ニックネームタイプ	0	0	
	ニックネームラベル	0	0	
	関係者	0	0	
	関係タイプ	0	0	
	関係ラベル	0	0	
	備考	0	0	
お気に入り設定	タイトル	0	0	
	URL	0	0	
	作成日	0	0	
	最終アクセス日	0	0	
	アクセス回数	0	0	
	フォルダ名	0	0	

※異なる端末、OSによってバックアップ・復元できない項目がある可能性がございます。

ユーザーおよび機器をインポートする際に用いる、CSV ファイルの入力規約について記載します。

※インポートデータ入力方法≪ユーザーの場合≫

詳細は別紙「KDDI Smart Mobile Safety Manager CSV 出力項目」を参照してください。

項目名	入力方法
GUID	変更しないでください。(※変更データインポート時のみ表示されます。)
[S]ユーザー種別	「管理者」「閲覧者」「一般」を入力してください。
[F]パスワード	新規データの場合は、英数字 4 文字以上 20 文字以内で入力してください。
	変更データの場合は、「*」で表示されていますが、変更は可能です。英数字4文字以上
	20 文字以内で入力してください。また、「*」を 8 個入力した場合は、変更されません。
その他の[F]から始まる項	項目名に該当する値を自由に入力できます。
目	
[I]から始まる項目	値の変更はできません。
[G]から始まる項目	登録済みのグループ名を入力してください。ユーザーカスタム項目を登録していない場
	合は、項目は表示されません。

※インポートデータ入力方法≪機器の場合≫

詳細は別紙「KDDI Smart Mobile Safety Manager CSV 出力項目」を参照してください。

項目名	入力方法
GUID	変更しないでください。(※変更データインポート時のみ表示されます。)
[S]ユーザー	登録済みのユーザー名を入力してください。
[S:iOS]構成プロファイル	登録済みの構成プロファイル設定名を入力してください。
[G]から始まる項目	登録済みのグループ名を入力してください。機器カスタム項目(分類)を登録していない
	場合は、項目は表示されません。
[C]から始まる項目	機器カスタム項目(自由入力)の値を入力してください。機器カスタム項目(自由入力)を
	登録していない場合は、項目は表示されません。
[I]から始まる項目	値の変更はできません。
[P]から始まる項目	オプションパッケージを使用する場合は「ON」を入力し、使用しない場合は「空白(入力
	なし)」にしてください。
[S:iOS:Exchange]SSL を	「使用する」「使用しない」を入力してください。
使用	
[S:iOS:Exchange] 過 去 の	「無制限」「1日」「3日間」「1週間」「2週間」「1ヶ月」を入力してください。
メールを同期	
その他の	項目名に該当する値を入力してください。
[S:iOS:Exchange]から始	
まる項目	
その他の[S:から始まる項	設定セット名を入力してください。(※設定テンプレートと競合した場合は、設定テンプレ
目	ートが優先されます。)

※インポートデータ入力方法≪組織の場合≫

項目名	入力方法
GUID	変更しないでください。(※変更データインポート時のみ表示されます。)
[F]組織名	30 文字以内で入力してください。制御文字は入力できません。 同一上位組織内で
	の重複はできません。
[S]上位組織	登録済みの組織を入力してください。
[S]権限の引き継ぎ	上位組織の権限を引き継ぐ場合は、「ON」を入力、引き継がない場合は、空欄にしてく
	ださい。
[S:OS 名]設定セット名も	設定セット名を入力してください。(※設定テンプレートと競合した場合は、設定テンプレ
しくは設定テンプレート	ートが優先されます。)
(例)	※上位組織から継承する場合は、空欄にしてください。
[S:Android]設定テンプレ	
- F	
[S:iOS]ローミング設定	
[S:OS 名]設定セット名(継	上位組織から継承する場合は、「ON」と入力してください。
承)	※継承せずに設定セットをあてる場合は、空欄にしてください。
(例)	
[S:Android]アプリケーシ	
ョン禁止(継承)	
[S:iOS]ローミング設定(継	
承)	

#### 4.5 VPP アプリケーションの配信手順

Apple 社の提供する Volume Purchase Program (VPP)では、有料アプリのライセンス管理・配布を行うことが可能です。 VPP を利用することで有料アプリのライセンスを大量に購入し、複数のユーザーを対象に同時に配布することが可能となり ます。また不要となったライセンスを回収することで、ユーザー端末からアプリを削除することが可能です。

【注意事項】

- ◆本機能では VPP で購入したアプリのみサービス対象です。(VPP で購入された書籍等についてはサービス対象外です)
- ◆本機能以外(他の MDM 等)によってライセンスの付与・ユーザーの招待が行われた場合は、管理対象外となります。
- ◆本機能によってライセンスが付与されていても、AppStore からアプリの配信が取り消された場合は配信できません。
- ◆トークンの有効期間は1年間です。Apple Push 証明書と同様に1年に1回の更新が必要です。
- ◆ユーザーからライセンスを回収すると、対象のアプリケーションはユーザーの端末のホーム画面から削除されます。

#### 4.5.1 VPP トークンについて

VPP トークンとは、VPP アカウントを管理サイトにリンクするためのトークンです。VPP トークンには VPP プログラムで 購入したライセンスの種類や数量に関する情報が含まれています。この VPP トークンを「VPP ライセンス」(334 ページ) からアップロードすることで、VPP のライセンス管理・配布を管理サイト内で行うことができます。

Apple から VPP トークンを入手するには、以下の事前準備が必要です。

■メールアドレスの準備

■D-U-N-S ナンバーの登録(登録制の標準企業コードです。登録には数日かかる場合があります)

準備ができたら「<u>http://www.apple.com/jp/business/vpp</u>」から Apple の Volume Purchase Program へのアカウント登録を行 います。アカウントの発行まで2、3時間かかる場合があります。アカウントの登録が完了したら、VPPライセンスを使用し たアプリの一括購入が可能となります。

アプリの購入後に VPP トークンをダウンロードします。

管理サイトのトップメニューから「iOS - アプリケーション」以下の「VPP ライセンス」をクリックします。 「管理」タブから VPP トークンをアップロードします。

@ 0.0000 Hz -	VPPライセンス - Windows Intern	et Explorer -	
<b>G</b> • E	https://www.aphic.aphic	🕶 🕹 😽 🗛 🕹 🕹 🕹 🕹 🕹 🕹 🕹	+ م
🏫 お気に入り	- VPPライセンス		
	【企業名 ト:	) ップ マップ 機器 メニュー > VPPライゼンス	管理者としてログイン中 ログアウト
+ ▼ VPP	VPP設定テンプレート 有効期限 : 2014/11/11	<ul> <li>VPP</li> <li>VPP設定テンプレート</li> </ul>	
		管理     アブリケーション       設定 - 編集中	操作 ▼
		アカウンド名     アカウンド名     VPPトークンアップロード	
		3 🗸 保存 助消	(2)
		*	
		ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	

「アカウント名」に VPP トークンを表す任意のアカウント名を入力します。 [参照]ボタンからアップロードするアップロードする VPP トークンを指定します。

VPP トークンを指定したら、③[保存] をクリックして設定を保存してください。 ※本画面に関する詳細は 129 ページ「VPP ライセンス画面を表示する」を参照してください。 VPP トークンアップロード後、「アプリケーション」タブをクリックすると、VPP で購入したアプリケーションが一覧で表示されます。次ステップでこれらのアプリケーションをユーザーに割当します。

e ・ VPPライセンス - Windows Internet Explorer ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・								
🚱 🔾 🗢 🔝 🖬 🖉 Google						<del>ب</del> م		
☆ お気に入り								
【企業名】						管理	緒として	ログイン中
トップ	- マップ   機器   メニュ	. <u> </u>	VPPE	ライセン	ス		ログ	アウト
+ -	VPP							*
VPP VPP設定テンプレート	VPP設定テンブレート							
有効期限:2014/11/11							+8	
							121	
	アブリケーション名	所持数   <b>10</b>	使用数	残数	未割当数	詳細  =¥約□	割当	回収
	And the second second second	10	0	10	0	<u>= +#0</u>	反映	実行
	and the second s	2	1	1	0	詳細口	反映	実行
	The second second	1	0	1	0	詳細口	反映	実行
	AND DURING THE OWNER.	5	1	4	0	詳細口	反映	実行
	Contraction of the local distance of the loc	300	0	300	0	詳細口	反映	実行
	Second Second	300	0	300	0	<u>詳細</u> 四	反映	実行
	- La raix	300	з	297	0	詳細口	反映	実行
								-
	   100   100   101   <u>利用規約</u> @  <u>プライバシ</u>	<u>ーポリシー</u>	@   <u>^ル</u> プ	ē				

#### 4.5.4 端末とユーザーの関連付け

VPP ライセンスは機器に対して付与するのではなく、ユーザーに割当します。

まずはユーザー(121 ページ「ユーザー」画面)を作成し、「機器」画面(21 ページ)の「所属」オプションから機器との紐づけ を行ってください。





## 4.5.5 ライセンスの仮割当・割当の反映

ユーザーと機器の紐づけが完了したら、ユーザー(組織)に対してライセンスを割当します。ユーザー(組織)へのアプリラ イセンス付与は3ステップあります。

1.VPP テンプレートの作成(任意設定)
 2.ライセンスの仮割当(ユーザー/組織)
 3.ライセンスの割当を反映

各ユーザー(組織)に対してアプリのライセンスを付与する際には、複数のアプリをまとめたテンプレートを事前に作成する ことで効率的にユーザー(組織)画面で設定を行うことが可能です。

🖉 🚥 📲 - 👘 - Windows Internet Expl	orer -	_ • ×
	🛨 🕹 🕹 🕹 🛨 🕹 🛨 🕹 🛨 🕹 🕹 🕹 🕹	+ م
😭 お気に入り		
【企業名】		管理者としてログイン中
トップ	マップ 機器 メニュー > VPP設定テンプレート	ログアウト
	新規作成	*
	設定	
	設定 – 編集中	
1	テンプレート名	
	VPP管理記布登録	
2	) VPPライセンス	
	VPPアブリライセンス付与	
	アプリケーション名 サイ パージ ズ ン	
3		詳 <sup>四</sup> 🗵
	(+ボタンで追加: 50件まで)	9
	<ul> <li>✔ 保存</li> </ul>	
	-	

①「テンプレート名」に任意のテンプレート名を入力します。

②「VPP ライセンス」プルダウンメニューからアップロードした VPP トークンを指定します。

③テンプレートに含めるアプリケーションを追加します。

④[保存]をクリックして設定を保存します。

「ユーザー」画面の「VPP」タブ、または「組織」画面の「ユーザー設定」タブよりライセンスの仮割当を行います。

Colored Hen - ユーザー - Windows Internet Explo	rer	
	- 🔒 😽 🗙 🚱 Google	+ م
🚖 お気に入り		
【企業名】		管理者としてログイン中
トップ	/ マップ 機器 メニュー / ユーザー	ログアウト
検索: ユーサー名 昇順: ユーザー名	■ 管理者 admin@example.com	
管理者 管理者 admin@example.com	▲ 管理	操作 ▼
	デンフレート ① <sup> (・</sup>	•
	VPP - 編集中	
	2) PP管理配布登録 VPPライセンス VPP_TOKEN	
	<b>③</b> <u>参加依頼</u> 自動送信	
	PPアプリライセンス付与	
	✔ 保存 い 取消	
	*	*
	<b>」   利用規約</b> で  <u>プライバシーポリシー</u> で  <u>ヘルプ</u> で	

VPP 設定テンプレートを使用する場合は以下の手順で 466 ページで設定したテンプレートを選択します。

①VPP 設定テンプレートを選択します。

VPP 設定テンプレートを使用しない場合、または既存の VPP ライセンスからアプリを選択する場合は以下の手順で操作します。

②VPP 設定テンプレートを使用しない場合は「VPP ライセンス」からアップロードした VPP トークンを選択します。

③「参加依頼」はユーザーに複数の iOS 機器が紐づけられている場合に、どの iOS 機器に参加依頼が送付されるかを選択します。

・自動送信:最初に同期した端末が VPP サービスに参加します。(Apple ID が異なることを想定)

・手動送信:どの端末を VPP サービス参加させるかを選択できます。

④最後に、「VPP ライセンスアプリ付与」の[+]ボタンからアプリケーションを追加します。配布するアプリケーションを全 て追加したら、[保存]ボタンをタップして設定を保存します。

⑤[保存]をクリックして設定を保存します。

次に、仮割当したライセンスを反映します。

※「参加依頼」の設定は「組織」画面からは使用できません。

※「組織」画面からライセンスの仮割当を行う場合は、所属しているユーザーの「VPP」タブで VPP アプリライセンスが付与されていない

状態であることを確認してください。「ユーザー」画面の設定が優先されるため、「組織」画面からの設定が正しく反映されない場合があります。

#### 4.5.5.3 #3: ライセンスの割当を反映

前ステップで設定して仮割当を本割当として反映します。

管理サイトのトップメニューから「iOS - アプリケーション」以下の「VPP ライセンス」をクリックします。

「アプリケーション」タブを表示し、該当アプリケーションの①「未割当数」が「0」以上の数値であることを確認します(0の場合は反映する仮割当がありません)。次に、該当アプリケーションの②「割当」列の[反映]をクリックしてください。「未 割当数」が「0」になり、「使用数」カラムの数値が反映されたライセンス数に合わせて増加します。

e - ・ VPPライセンス - Windows Internet Explorer ・									
🔆 お気に入り									
【企業名】  管理者としてログイン中									
トップ			VPPE	イセン	ス		ログ	アウト	
	MDD								^
VPP設定テンプレート 有効期限: 2014/11/11	VPP設定テンブレート								
	管理 アブリケーション						操	作 🔹	
	アプリケーション名	所持数	使用数	残数	未割当数	詳細	割当	미収	
	line in	10	0	10	0	詳細口	反映	実行	
	AND THE PERSON NUMBER OF THE P	10	0	10	0	-	反映	実行	
	The second secon	2	1	1	0	<u>≣≢柴田</u> ⊡	反映	実任	
	THE REPORT OF A	1	0	1	0	詳細で	反映	実行	
	STATES STREET, STR	5	1	4	0	詳細。	反映	実行	
	and the second sec	300	0	300	0	詳細で	反映	<u>実行</u>	
	State of the laws	300	0	300	0	<u>言筆紙田</u> @	反映	実行	
		300	з	297	0	詳細で	反映	実行	
				Ð		0			
				U					
-									
									-
		<u>ーポリシー</u>	@   <u>ヘルブ</u>	e					

※「所持数」が「未割当数」を下回る場合、ライセンス付与できません。その場合、ライセンスの回収を行ってライセンスが付与されたユー ザーを減らしてください。詳しくは 469 ページ「ライセンスの回収」を参照してください。

※画面が変更しない場合は、画面を再読み込みしてください。

※仮割当を行った後も「未割当数」に反映されない場合は、対象ユーザーの「VPP」タブの設定をご確認ください。既に空の VPP アプリケ ーションのライセンスなどが割当済みの場合、「未割当数」が正しく更新されない場合があります。
ライセンスが付与されたユーザーを減らすことで、ライセンスの回収を行います。

ライセンスの仮割当時(467 ページ)と同様に、「ユーザー」画面の「VPP」タブ、または「組織」画面の「ユーザー設定」タ ブより割当てたアプリケーションを削除します。

e - ユーザー - Windows Internet Explorer			
		<del>ب</del> م	
☆ お気に入り 🔡 ロロトー ヨー	-tf-		
	【企業名】 管:	理者としてログイン中	
	トップ マップ 機器 メニュー > ユーザー	ログアウト	
検索: ユーザー名 昇順: ユーザー名		*	
管理者 管理者 admin@example.com	▲ 管理	作 •	
	デンプレート		
	(適用するテンプレートを選択)	•	
	✓ 適用		
	VPP - 編集中	- 11	
	VPP管理配布登録		
	VPPライセンス VPP TOKEN	<b>-</b>	
	参加依頼 自動注信	_	
	WPアプリライセンス付与	- 1	
	GarageBand ▼		
	Pemote ▼ YouTube ▼	×	
	Optimal Biz Web	×	
	(+木タンで追加 50件まで)		
	▶ 1 (保存 ) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
	*		
		-	

①画面下部の[編集]ボタンをクリックし、「VPP アプリライセンス付与」の削除[X]ボタンで回収するライセンスを削除します。

②[保存]をクリックして設定を保存します。

次に、仮回収したライセンスを反映します。

ライセンス割当の反映(468 ページ)と同様に、管理サイトのトップメニューから「iOS - アプリケーション」以下の「VPP ラ イセンス」をクリックします。

「アプリケーション」タブを表示し、該当アプリケーションの①「未割当数」がマイナスの数値であることを確認します(0の場合は反映する回収がありません)。次に、該当アプリケーションの「回収」列の[実行]をクリックしてください。「未割当数」が「0」になり、「使用数」カラムの数値が回収されたライセンス数に合わせて減少します。



※画面が変更しない場合は、画面を再読み込みしてください。

※仮回収を行った後も「未割当数」に反映されない場合は、対象ユーザーの「VPP」タブの設定をご確認ください。既に空の VPP アプリケ ーションのライセンスなどが割当済みの場合、「未割当数」が正しく更新されない場合があります。 アプリケーション配信の準備を進めます。まずは VPP ライセンスの利用オプションが有効に設定されたアプリポリシーを作成します。

トップメニューから「iOS – アプリケーション」以下の「管理対象アプリポリシー」をクリックします。

② ・ VPPライセンス - Windows Internet Explorer	- • ×
	+ م
☆ お気に入り - 管理対象アプリポリシー	
【企業名】 (企業名) 管理者 トップ マップ 機器 メニュー ・ 管理対象アプリポリシー	としてログイン中 ログアウト
設定 	
1 ポリシー名 管理対象 アブリボリシー	
マンドレージョン VPPライセンスを利用しない Per app VPN Per app VPN Per app VPN	J
-	
	-

①「ポリシー名」に任意のポリシー名を入力します。

②「VPP アプリライセンス付与」で必ず「VPP ライセンスを利用する」にチェックを入れてください。このアプリポリシー は次ステップの「アプリケーション配信設定」で指定します。 トップメニューから「iOS - アプリケーション」以下の「アプリケーション配信」をクリックします。

	アプリケー ×	<b>أ</b> أ	★ \$
		管理者としてログイン	-Φ
トツノ			
00	新規作成		
~			
	設定		
$\bigcirc$			
	<ul> <li>アブリケーション名 (1</li> <li>ドボタンで追加: 50件まで)</li> </ul>		
		→「オリジナルアプリ登録」から、オリジナルア	
	※「管理」および「バックアップ」は IOS 5.0以降のみ対応		
	App Storeアプリー覧 2	3 <b>4 E</b>	
	Store D アブリケーション名 管部	ピークロング (ボリシー) 理 バックアップ ボリシー	
	(TMA17750)	管理対象ア 方効 「 <sub>計可</sub> ブリボリシー <b>一</b>	
	284417300	有効 います がありませ 🛂 ん。	
	(+ホタンで追加: 50件まで)	t 1 +1 -7 (t"+1 >	
	With the second start and the	を入力してください。 t=8」の〈Store ID〉の部分になります。	
	- ※1 ノストール g るには、(機部 - Apple DD)設定済みである必要 ※「管理」および「バックアップ」は IOS 5.0以降のみ対応	わめりより。	
	✓ 保存		
~			
	「利用規約」「ブライパシーポリシー」」へいこ	1 m	

①「設定名」に任意の設定名を指定します。

②「Store ID」に配信するアプリケーションの Store ID を入力します。Store ID の調査方法に関しては 352 ページをご参照ください。

③「管理」チェックボックスは必ず「有効」に設定してください。

④「ポリシー」で前ステップ「管理対象アプリポリシーの作成」で作成したアプリポリシーを指定します。

### 4.5.9 アプリケーション配信設定を割当

機器に対してアプリケーション配信を行う場合、「機器」画面の「その他」タブの「設定」ページ(60ページ)からアプリ ケーション配信設定を割当てます。

組織に対してアプリケーション配信を行う場合、トップメニューの「組織」(97 ページ)を選択し、対象組織の[iOS 設定]を 選択します。

	eyChente(201	- 🔒 😚 🗙 🚷 Google		<del>ب</del> م
☆ お気に入り     ・ 機器     ・				
【企業名】		-	管理者としてログィ	(シ中)
	ベッノ   機器    ン	×		
1575: 1968-10 昇順: 機器名	〇 Android機器1 [	] And roid 機器ABC	ゆ 同期	
□ ⑦ Android機器1 [] ^	& 管理 🛛 🕀 機器 🗙 アブル	● 位置 🛛 パッケージ	その他 👻  操作 🔻	L
_ Android機器2[]	テンプレート			
2012/01/30 14:10:12	(適用するテンプレートを選択)			
	✔ 適用			
	設定			
	構成プロファイル	(所属組織に従う:設定なし)	▶ 編集	
	0 ローミング設定	(所属組織に従う設定なし)	▶ 編集	
	× アブリケーション配信	<b>テスト</b>	🖌 保存 🛛 🗣 取消	
	図 アプリケーション検知	(所属組織に従う設定なし)	▶ 編集	
	Webフィルタリング	(所属組織に従う設定なし)	▶ 編集	
	Web閒覧履歴	(所属組織に従う設定なし)	▶ 編集	
	あ気に入り	(所属組織に従う:設定なし)	▶ 編集	
				1
· · · · · ·	↓利田相约点↓づみ	イバシーポリシー ミーヘル ヴェ		
	<u>利用級約</u> 世   <u>22</u>	<u>1712—1772</u> @1 <u>\</u> NZ@		

「アプリケーション配信」の設定で、前ステップで作成したアプリケーション配信設定を指定します。

※組織に対して設定セットを当てる場合は、機器画面の「アプリケーション配信」の設定は「(所属組織に従う)」となってい る必要があります。 ①[続ける]をタップします。

アプリケーション配信設定を通知後、下図の画面が端末に表示されます。 以下のように同意を行う必要があります。

(変わ) 使利ツール ポイスメモ	FaceTime -
<b>Appとブックの しま</b> プックを割り当てつ す	<b>割り当てを許可</b> すか? があなたにAppと ることを望んでいま 。
戻る	続ける
電話 メール	Safari Su-Sup
Terms and Condition	ons and Apple Pri
Welcome to th With an Apple ID, you can videos, a	e iTunes Store download the latest music, and more.
Terms and Conc Privacy Please read and agree to the	litions and Apple / Policy se Terms & Conditions in orde
to use the i	runes Store.

Email Tunes Store TERMS OF SERVICE \* If you agree to associate your iTunes account to your organization, this organization will be able to place apps and books in your account, but will not be able to see your account activity or content on your device.

Cancel Agree

②「Terms and Conditions~」の画面で「Agree」をタップします。この画面の直前に Apple ID の入力が必要となる場合があ ります。

※初回配布時に同意していただければ、以後表示されません(管理サイトのユーザーを削除しない限り再度行う必要はありません)。途中で キャンセルされた場合は、8時間を経過後の同期時に、再度表示されます。

※同意後は、端末が「監視モード」に設定されていればサイレントインストールが可能となります(iOS8 にアップデート後に割当許可が再 度必要となる場合がございます)。

※アプリケーション配布のタイミング:アプリケーションはユーザーが「Terms and Conditions~」の画面で「Agree」をタップした後の同 期時に配布されます。同期のタイミングは端末の通信状況等に依存します。

# 4.6.1 管理サイト→端末

管理サイトから端末へ渡される情報です。

機器	大項目	中項目	小項目
	パッケージ	ライセンス	オプションパッケージ
			ポータル表示設定
			メッセージ通知
			エージェント共通管理
			エージェント個別管理
			設定バックアップ
			位置情報管理
			App Manager
			アプリケーション禁止
			SD カード
			カメラ
			Bluetooth
	その他		スクリーンロック
Android		乳白	リモートロック
		設定	リモートワイプ
			Wi-Fi フィルタリング
			発信先制限
			Secure Shield
			ウイルス対策機能
			アプリケーション配信
			Wi-Fi
			連絡先
			暗号化
			CA 証明書管理
			Web フィルタリング
			Web 閲覧履歴
			お気に入り

			最短同期間隔
		設定	ポータル表示設定
			メッセージ通知
			エージェント共通管理
			構成プロファイル
			ローミング設定
			アプリケーション配信
			VPP ライセンス
			VPP 設定テンプレート
iOS	その他		管理対象アプリポリシー
		Exchange 設定	Exchange ActiveSync ホスト
			SSL を使用
			ドメイン
			ユーザー
		Exchange 設定	メールアドレス
		個別構成プロファイル	パスワード
			固有名証明書
			過去のメールを同期
			構成プロファイル
			ポータル表示設定
			エージェント共通管理
			エージェント個別管理
			アプリケーション禁止
			USB
Windows	その他	設定	CD/DVD/ブルーレイ
			Wi-Fi フィルタリング
			システム設定・診断
			システムセキュリティ
			暗号化
			プロキシ

# 4.6.2 端末→管理サイト

端末から管理サイトへ渡される情報です。

機器	大項目	中項目	小項目
			機器名
		签理信起	ユーザー
		官理情報	機器カスタム項目
			備考
	管理		エージェントバージョン
		エージェント	通信日時
			認証日時
		ネットワーク	グローバル IP アドレス
		ログ	機器ログ
			モデル名
			電話番号
			ネットワークモード
		其大	ネットワークオペレーター
		金个	IMEI / MEID
			ファームウェアバージョン
	機器		ビルド番号
Android			シリアル番号
		ネットワーク	MAC アドレス
			IP アドレス
		Bluetooth	状態
		位置情報	無線ネットワーク
			GPS 機能
		バッテリー	バッテリー残量
			バッテリー状態
			パスワードのポリシー
		スクリーンロック	パスワードの再利用
			パスワードの有効期限
			自動ロックまでの時間
			ロック解除失敗によるワイプ
		リモートロック	状態
		暗号化	状態
		root 1	状態
			検知内容

		アプリケーション		
		バージョン名		
		メモリサイズ		
			アプリケーション名	
			パッケージ名	
	<b></b>		バージョン番号	
	アノリ		バージョン名	
		詳細	インストール日時	
			アップデート日時	
			アプリケーションサイズ	
			データサイズ	
			キャッシュサイズ	
	位置	位置情報		
		ウイルス対策ソフト	保護状態	
			ウイルス対策ソフト名	
			ウイルス対策機能	
			アプリケーションバージョン	
		<b>*</b>	パターンファイルバージョン	
	その他	奉平	パターンファイル最終更新チェック日時	
			パターンファイル最終更新日時	
			スキャン最終実行日時	
			状態取得日時	
		ログ	ウイルス対策ソフトのログ	
		メッセージ	未読既読状態	
			機器名	
		管理情報	ューザー	
		E /⊈1 f ≠k	機器カスタム項目	
			備考	
iOS	管理	エージェント	エージェントバージョン	
			通信日時	
			認証日時	
		ネットワーク	グローバル IP アドレス	
		ログ	機器ログ	

		デバイス名	
		電話番号	
		現在のキャリアネットワーク名	
		ホームのキャリアネットワーク名	
		IMEI / MEID	
	基本	OS バージョン	
		ビルドバージョン	
		モデル名	
		モデル番号	
		モデルファームウェアバージョン	
		シリアル番号	
		Bluetooth MAC アドレス	
機器	ネットワーク	Wi-Fi MAC アドレス	
	バッテリー	バッテリー残量	
		デバイス容量	
	ストレージ	利用可能なデバイス容量	
		パスコード保護	
	スクリーンロック	パスコード準拠(デバイス)	
		パスコード準拠(プロファイル)	
		音声ローミング設定	
	ローミング	データローミング設定	
		状態	
	暗号化	ハードウェア暗号化レベル	
	Jailbreak	状態	
	アプリケーション名		
	アプリケーション ID		
	バージョン		
アプリ	メモリサイズ		
	アプリケーションサイズ		
	データサイズ		
	VPP ライセンス		
		管理	
		名前	
		組織	
	構成プロファイル 	名前	
		識別子	
		説明	
		削除を許可	
		暗号化	

			管理対象
			UUID
			バージョン
			名前
		プロビジョニング	有効期限
		プロファイル	詳細
			ID
		証明書	発行先(証明書情報)
			発行者(証明書情報)
	位置	位置情報	
	その他	メッセージ	未読既読状態
			機器名
			ユーザー
		管埋情報	機器カスタム項目
			備考
	管理		エージェントバージョン
		エージェント	通信日時
			認証日時
		ネットワーク	グローバル IP アドレス
		ログ	機器ログ
		基本	コンピューター名
			ワークグループ
			Windows バージョン
			システム製造元
			システムモデル
Windows			シリアル番号
			NIC 名
			接続方法
			MAC アドレス
	楼哭		IP アドレス
	1灰 布片	ネットローク	デフォルトゲートウェイ
			DHCP
			DHCP サーバー
			DNS サーバー
			DNS サフィックス
			ネットワーク
			種別
		ハードウェマ	CPU
			メモリ
			マザーボード

		ビデオカード
		メーカー
	BIOS	バージョン
		日付
	ビニィゴ	総容量
		空き容量
	リモートロック	状態
	暗号化	状態
	アプリケーション名	
アプリ	バージョン	
	インストール日	
	アプリケーションサイズ	
	発行元	
	インストール先	
	MS Office ライセンス管理	
	Windows 自動更新	
	ファイアウォール	
セキュリティ	ウイルス対策ソフト	
	スパイウェア対策ソフト	
	スクリーンセーバー	
その他	機器検出情報	

# 4.7 「(設定なし)」とした場合の各種設定の挙動

機器ごとの設定画面(60ページ)および一括機器設定画面(151ページ)から「(設定なし)」とした設定を機器に適用した場合は、設定ごとに挙動が異なります。本章では「(設定なし)」を適用した場合の作用を設定ごとに示します。「そのまま設定値が継続される」設定については、「(設定なし)」を適用後、必要に応じて手動で設定を復元してください。

### 4.7.1 Android

項番	機器ごとの設定画面および	元に戻る	そのまま設定値が
	一括機器設定画面での設定名		継続される
1	エージェント個別管理	0	-
2	位置情報管理	0	-
3	アプリケーション禁止	0	-
4	SD カード	_	0
5	カメラ	0	_
6	Bluetooth	_	0
7	スクリーンロック	_	0
8	リモートロック	_	0
	※Android エージェントのバージョンが 5.7.0 未満の		
	場合は[元にもどる]動作となります。		
9	リモートワイプ	0	_
10	Wi-Fi フィルタリング	0	_
11	Web フィルタリング	0	_
12	Web 閲覧履歴	_	0
13	発信先制限	0	_
14	アプリケーション検知	0	_
15	Secure Shield	0	_
16	ウイルス対策機能	0	-
17	アプリケーション配信	0	_
18	Wi-Fi	-	0
19	お気に入り	-	0
20	連絡先	_	0
21	暗号化	0	_
22	CA証明書管理	—	0

## 4.7.2 iOS

項番	機器ごとの設定画面および	元に戻る	そのまま設定値が
	一招機器設定画面での設定名		を売りている
1	構成プロファイル	0	1
2	ローミング設定	-	0
3	アプリケーション配信	0	-
4	アプリケーション検知	0	_

# 4.7.3 Windows

項番	機器ごとの設定画面および 一括機器設定画面での設定名	元に戻る	そのまま設定値が 継続される
1	エージェント個別管理	0	_
2	アプリケーション禁止	0	_
3	USB	0	_
4	CD/DVD/ブルーレイ	0	_
5	システム設定・診断	0	_
6	システムセキュリティ	0	_

### 4.8 ハードウェア ID インスタンスパスまたはシリアル ID の調べ方

USB デバイスのハードウェア ID、インスタンスパス、シリアル IDの調査方法について以下に説明します。調査したハードウェア ID は管理サイトの[USB]メニューから使用を禁止することが可能です。

#### 【注意事項】

◆本マニュアルは Windows 7 基準で調査方法を記述しています。

### 4.8.1 調査方法







### 【表示方法が「アイコン」の場合】

[表示方法]で[小さいアイコン]または[大きいアイコン]が表示されている場合は[デバイスとプリンター] をクリックします。

~~~		
●● ◎ ・ コントロールパネル ・	すべてのコントロール パネル項目 🕨	◆ 4 コントロール パネルの検索 ク
コンピューターの役定を調整します		表示方法:大きいアイコン →
🖌 Flash Player	Intel(R) GMA Driver for Mobile	Java
RemoteApp とデスクトップ接続	Windows Anytime Upgrade	Windows CardSpace
Windows Defender	Windows Update	₩indows ファイアウォール
Windows モビリティ センター	アクションセンター	インターネット オブション
↓↓ インデックスのオプション	≪● キーボード	コンピューターの簡単操作センタ     ー
<del>اردون</del> کې	N 2776	920 / - 2 [29-1] ×==
712361	デスクトップ ガジェット	テバイスマネージャー
デバイスとプリンター	トラブルシューティング	ネットワークと共有センター
🗿 (100)	ジン バックアップと復元	パフォーマンスの情報とツール
フォルダー オプション	フォント	プログラムと機能
📢 ホームグループ	J 202	لل الم
🍇 ユーザー アカウント	(1) 位置センサーとその他のセンサー	÷ anca

3 [デバイスとプリンター]画面が表示されます。調査 対象の USB 機器を右クリックして、メニューから [プロパティ]を選択します。

Q							
90 -	コントロール バネル ・ 9	べてのコントロール	レバネル項目 🕨 🗄	デバイスとプリンター 🕨	<ul> <li>・</li> <li>・</li></ul>	スとプリンターの検索	٩
デバイスの追加	プリンターの追加	自動再生 マーフ	ァイルの参照 ▼	取り出し		<u> </u>	θ
<ul> <li>・デオパイス (2)</li> <li>・プリンターと</li> <li>・プリンターと</li> <li>・ディンショー</li> </ul>	UPDASS R4 BBR 72-4 FAX (4) FAX (4) Marcael X95 Document Writer	E(A) いの参照(B) いて トカットの作成(S) レシューティング(T トクットの作成(S) レシューティング(T) 「ご送る	2 QCOM Color (RPCS)				
UFC	DASKY2G モデル: UFD カテゴリ: 記憶	ASKY2G 装置					

対象機器の[プロパティ]が表示されます。[ハードウ ェア]タブをクリックします。

😞 UFDASKY2Gのフ	プロパティ		×	
全般 ハードウェア	]			
UFDA	SKY2G			
デバイスの機能				
名前		種類		
💷 E:¥		ポータブル デバ		
Imation UFD∂ 員 USB 大容量詞	ASKY2G USB Device 记憶装置	ディスク ドライブ ユニバーサル シ		
「デバイスの機能の	概要			
製造元:	Imation			
場所:	UMBus Enumerator			
デバイスの状態	このデバイスは正常に動作しています。			
		プロパティ(R)		
OK キャンセル 適用(A)				

[デバイス機器の概要]の[プロパティ]をクリックし

5

6

7

ます。

😞 UFDASKY2Gのフ	プロパティ	×
全般 ハードウェア	]	
UFDA	SKY2G	
デバイスの機能		
名前		種類
💷 E:¥		ポータブル デバ
Imation UFD	ASKY2G USB Device	ディスク ドライブ
「デバイスの機能の	概要	
製造元	Imation	
場所:	UMBus Enumerator	
デバイスの状態	このデバイスは正常に動作しています。	
		プロパティ(R)
	OK \$*	ッンセル 適用(A)

E:¥のプロパティ	3
全般ドライバ・詳細	
E¥	
プロパティ(P)	
デバイスの説明	
値(\/)	
UFDASKY2G	
OK キャンセル	

デバイス機器の概要プロパティ画面が開きます。[詳

細]タブをクリックします。

[プロパティ]プルダウンメニューから表示したい項 目を選択します。

e	· · · · ·
E:¥のプロパティ	×
全般 ドライバー 詳細	
E:¥	
プロパティ(P)	
デバイス インスタンス パス	•
値(V)	
WPDBUSENUMROOT¥UMB¥2&37C186B&0&S1	TORAGE#VOLUME#_??_USBSTOR
<	4
	OK キャンセル

### 4.8.2 ハードウェア ID の取得

ハードウェア ID を取得します。

対象機器の[プロパティ]が表示されます。[ハードウ ェア]タブをクリックします。

※複数のハードウェア ID が表示される場合があり ます。ハードウェア ID を利用して機器の仕様を規 制する場合、最長の ID を選択してください。文字 列の少ない ID (「HID\_DEVICE」など) で使用制 限を行うと、想定していない管理対象外の機器も 制限対象になってしまいます。ご注意ください。 ※ハードウェア ID の一部は後述する「デバイス イ ンスタンス パス」からの取得が可能です。

のプロパティ
全般 ドライバー 詳細
ACPI Fixed Feature ボタン
למולד-( <u>P</u> )
עדלא-א ID און אין די דער אין דער
ACPIFixedButton *FixedButton
OK         キャンセル

### 4.8.3 デバイス インスタンス パスからのハードウェア ID とシリアル ID の取得

デバイス インスタンス パスからシリアル ID を取得します。またハードウェア ID も同様の方法で取得可能です。

デバイス機器の概要プロパティ画面の[値]フィール ドから、[デバイス インスタンス パス]を選択しま す。

E:¥のプロパティ X
全般 ドライバー 詳細
E¥
プロパティ(P)
デバイス インスタンス パス 🔹
WPDBUSENUMROOT¥UMB¥2&37C186B&0&STORAGE#VOLUME#_??_USBSTOR
4 III +
OK キャンセル

デバイス インスタンス パスはハードウェア ID と シリアル ID で構成されます。シリアル ID は最後の [¥]記号から後半の文字列、[ハードウェア ID]は先頭 から最後の[¥]記号の直前までの文字列を指します。

USBCLASS¥VENDOR ID¥PRODUCT ID¥SERIAL ID

ハードウェアID

シリアルID

用語	意味
BackgroundFetch 機能	Apple 社から提供されている機能で iOS7 以降に搭載されています。
	この機能を使用すると iOS 側が日々のユーザーの使用状況を学習し、適切
	なタイミングで対象のアプリを呼び起こすことができます。詳細は Apple 社に
	お問い合わせください。
Bluetooth	機器などで数 m 程度の機器間接続に使われる短距離無線通信技術の一
	っ。
Exchange 設定	Exchange Serverと端末との接続先や接続ポリシーの設定。
GUID	本製品の機器を一意に識別する際の情報として利用される。
Jailbreak 状態	iOS のシステム管理者権限を取得し、Linux カーネル部分を含むファイルシ
	ステムにアクセス可能な状態にすること。
Push 通知	管理サイトから、端末に対して、リアルタイムに設定の指示を行うこと。
root 化	Android OS のシステム管理者権限を取得し、Linux カーネル部分を含むフ
	ァイルシステムにアクセス可能な状態にすること。
SSID	無線 LAN のアクセスポイントに付けられる英数字の名前です。
URL	Web サイトのアドレスのことです。
	例「http://www.xxxx.co.jp」
USB デバッグ	Android 端末のアプリケーション開発を行う際に利用する、開発向けモード。
Wi-Fi	無線 LAN 通信のことです。
アクティビティ	Android 端末の画面に相当し、ユーザーが操作する画面と操作に対する
	処理を行います。
エージェント	機器を管理、運用するためのアプリケーションです。
	管理、運用を行う機器にインストールしてください。
監視対象端末	Apple Configurator で監視対象と設定された端末のことです。詳細につ
	いては Apple 社にお問い合わせください。、
管理者	利用企業内で本製品の管理を行うユーザーのことです。管理サイトを使
	用し、機器の管理・運用を行います。
企業コード	企業毎に割り振られた英数字の企業を表す文字列です。利用企業を識別
	するために使用します。
サーバー	本マニュアルでは Android 端末や iPhone/iPad が通信を行う管理サーバ
	ーです。
サービス企業	本製品を提供する企業のことです。利用企業はサービス企業に対して利
	用の申し込みを行います。
スワイプ	iOS 機器の操作で指を触れたまま特定の方向になでること。画面のスク
	ロールやスライダーの移動の行うこと。
セキュリティ設定	端末のセキュリティ設定情報のこと。

認証コード	本製品のライセンス認証に必要な英数字の文字列です。企業コードと合
	わせて確認することで本製品の使用が可能となります。
パスコード	iOS 機器標準の画面ロックをかけた際の制御方式の一つ。
パッケージ名	アプリケーションごとに異なる決められた識別 ID のことです。
ブラウザー	インターネットをみるためのソフトのことです。
	(例:Internet Explorer や Firefox など)
モデル	端末の型番のこと。
ューザー	本製品を利用する機器の使用者です。
ライセンス	本製品を使用するための権利のことです。本製品を利用する機器の台数
	と同じ数のライセンスが必要となります。
リモートワイプ(管理領域)	iOS 機器にインストールされた MDM プロファイルを管理サイトから削
	除する機能のことです。
	これにより本製品から iOS 機器にインストールされた、MDM プロファ
	イル、ポータル(Web クリップ)、削除防止オプションを適用していな
	い構成プロファイル、Exchange プロファイル、VPN プロファイル、個
	別構成プロファイル、また管理対象アプリがアンインストールされま
	す。本機能を実行した場合、対象の iOS 機器は管理外機器となります。
利用企業	本製品を利用する企業のことです。

### 4.10 よくある質問と回答

よくある質問と回答の例を以下に示します。

- Q1 管理サイトが開けない
- A1 ①インターネットに接続できていますか?
  管理サイトを使用するにはインターネットへ接続できている必要があります。
  ご使用のパソコンがインターネットに接続できているかご確認ください。

②ご使用のパソコンが動作環境を満たしていますか? 本製品の動作環境は「管理サイト動作環境」13 ページをご覧ください。

- Q2 入力するログイン情報がわからない
- A2 KDDI 法人お客様センターにお問い合わせください。
- Q3 「ログイン状態を保持」にチェックを入れたが、自動的にログインされない
- A3 自動的にログインする期間は「ログイン状態に保持」にチェックを入れてから 14 日間です。14 日間を過ぎる と、再度入力が必要となります。また、1 度ログアウトすると、自動的にログインする機能は無効となります。 再度、ログイン情報を入力し、ログインを行ってください。

#### Q4 ユーザーが新規に登録できない

- A4 ライセンス数は足りていますか? お申し込みの内容により、お申し込みのライセンス数を超えてのユーザーの登録を行うことはできません。 お申し込みライセンス数は、トップページの契約情報で確認できます。
- Q5 機器を紛失してしまったので、至急リモートロックしたい。
- A5 以下の手順に従って、ロックしてください。≪Android 端末の場合≫
  - ①メニュー[リモートロック]よりロックする設定を作成してください。

(作成方法は「リモートロックの設定セットを新規作成する」244 ページを参照してください。)

- ※すでに作成済みの場合は新規に作成する必要はありません。
- ②[機器]より、ロックする機器を選択します。
- ③[設定]タブの「リモートロック」機能を編集し、ロックする設定を選択してください。
- (②③の設定方法は「単一の機器に設定セットを適用する」61 ページを参照してください。)

≪iPhone/iPad の場合≫

①[機器]より、ロックする機器を選択します。

- ②[その他]タブ「リモート操作」を選択し、「リモートロック」の[実行]をクリックします。
- (詳細は「リモートロックを行う」70 ページを参照してください。)

≪Windows の場合≫

①[機器]より、ロックする機器を選択します。

②[リモート操作]タブを選択し、「リモートロック」の[実行]をクリックします。
 (詳細は「リモートロックを行う」75ページを参照してください。)

- Q6 Android 端末の対応機種を知りたい。
- A6 ヘルプ画面の「Android エージェント 対応端末表」にてご確認ください。
   (ヘルプ画面の表示方法は「トップタブ」15 ページを参照してください。)
- Q7 インポート時に「413 Request Entity Too Large」というエラー画面が表示された。
- A7 インポートファイルのサイズがオーバーしています。 インポートできるファイルサイズは 10MB までです。ファイルサイズを 10MB 以下にし、インポートし直し てください。
- Q8 連絡先配信機能は、何の項目をキーにしてAndroid端末の電話帳に登録していますか?
- A8 以下の項目をキーにしています。
  - ・姓
  - ・名
  - ・電話番号

以上の項目が全て同じデータが既にAndroid端末に存在する場合はそのデータを登録することはできません。

- Q9 連絡先配信機能で、連絡先の上書きや変更はできますか?
- A9 連絡先の上書きや変更はできません。
- Q10 本製品の連絡先配信で、1件の連絡先に複数の電話番号やメールアドレスを登録できますか?
- A10 1件の連絡先に登録できる電話番号やメールアドレスは1つまでです。 同じ人の複数の電話番号等を登録する場合は、連絡先を複数設定する必要があります。
- Q11 既に設定セットが適用されているAndroid端末に、別の設定セットを適用させるとどうなりますか?
- A11 後から設定した設定セットを適用します。 端末に別の設定セットが既に適用されている場合、上書きされます。
- Q12 アプリケーション禁止を行ったら、禁止していないアプリも使用できなくなりました
- A12 アプリケーション禁止を行うと、禁止したアプリの機能を使用するアプリも使用できなくなります。
- Q13 カメラの制限を行ってから、使用できなくなったアプリがあります
- A13 OSがAndroid4.0未満の場合は、カメラの制限を行うと、カメラを使用するアプリも使用できなくなります。
- Q14 スクリーンロックの設定をかけた後、再度「端末の設定を変更しない」の状態に戻してもロックされてしまい ます
- A14 「端末の設定を変更しない」は、端末の今の設定から変更を行いません。以前に設定したものがあればそちらの設定が残ります。「制限なし」にチェックを入れたスクリーンロックの設定セットを作成し設定すると、ロックがかからないようになります。
- Q15 iPhone/iPadの構成プロファイルが削除されたことを確認する方法はありますか?

- A15 下記、条件を全て満たす場合は、管理サイトにて確認できます。
  - ・構成プロファイルインストール時に、管理サイトのバージョンが4.4以降であった場合
  - ・構成プロファイルインストール時に、iOS5以降であった場合
  - ・構成プロファイルの削除時に、管理サーバーとつながっていた場合

構成プロファイルが削除されると、機器-管理の通信日時の末尾に「(管理外)」と付加され、赤字で表示されま す。上記条件を満たさない場合は、端末の最終通信時間から判断してください。更新プロファイルが削除さ れた端末とは通信が行われないため、最終通信時間が更新されません。

- Q16 ウイルス対策ソフトの保護状態が、管理サイトと端末で異なっています。
- A16 ①下記のいずれかに該当する場合は端末側でのみ「保護されていません」と表示されます。
  - ・リアルタイムスキャンを"無効"とした設定セットを適用している場合
  - ・パターンファイルアップデートを"なし"とした設定セットを適用している場合
  - ・手動検索を一度も実行(要完了)していない場合

②下記のいずれかに該当する場合は管理サイト側でのみ「保護されていません」と表示されます。

- ・「パターンファイル最終更新チェック日時」が「状態取得日時」の15日以上前である場合
- ・「スキャン最終実行日時」が「状態取得日時」の15日以上前である場合
- Q17 設定セットの編集、削除ができません。
- A17 設定セット名の先頭に[S]がついているものは、サービス企業で作成したものであり、編集、削除することは できません。また、その設定セットをデフォルトに設定することもできません。
- Q18 機器にどんな設定を割り当てているか確認できますか?
- A18 機器ごとの設定画面(33ページ)にて適用指示を行った設定セット名の確認が可能です。 ただし、指示内容が反映済みかどうかは確認できません。